

# 子育てに関するアンケート調査 報 告 書

平成 21 年 3 月

岡 山 市

# 目次

## I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

## II 調査結果（就学前）

1. 回答者の属性	3
2. 両親の就労状況について	6
3. 保育サービスの利用について	14
4. 子どもの病児・病後児保育について	28
5. 子どもの一時預かりについて	30
6. 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて	32
7. 放課後児童クラブの利用希望	34
8. ベビーシッターの利用について	35
9. ファミリーサポートセンターの利用について	35
10. すべての方におうかがいします	37
11. 育児休業制度の利用について	43
12. 家族すべてのお子さんについて	45

## III 調査結果（小学校）

1. 回答者の属性	69
2. 両親の就労状況について	72
3. 放課後児童クラブの利用について	80
4. 子どもの病児・病後児の対応について	86
5. 子どもの一時預かりについて	89
6. 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて	90
7. ベビーシッターの利用について	92
8. ファミリーサポートセンターの利用について	93
9. すべての方におうかがいします	95
10. 育児休業制度の利用について	100
11. 家族すべてのお子さんについて	102

## IV 自由意見

1. 就学前児童自由意見	127
2. 小学校児童自由意見	128

## I 調査の概要



## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

国において平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、岡山市においても「岡山市子育てアクションプラン」を策定し、次代の社会を担う子どもを健やかに生まれ育つ環境づくりを推進している。

この度、前期計画を見直し、後期計画を策定するにあたり、市民の子育て支援に関する生活実態や要望・意見を把握するべく本調査を実施した。

### 2. 調査項目

#### 就学前児童

- ①お子さんと家族の状況について
- ②両親の状況について
- ③保育の状況について
- ④病児・病後児保育について
- ⑤一時預かりのことにについて
- ⑥宿泊を伴う一時預かりのことにについて
- ⑦放課後児童クラブの利用希望について
- ⑧ベビーシッターの利用について
- ⑨ファミリーサポートセンターの利用について
- ⑩育児休業制度の利用について
- ⑪その他

#### 小学校児童

- ①お子さんと家族の状況について
- ②両親の状況について
- ③放課後児童クラブの利用について
- ④病児・病後児保育について
- ⑤一時預かりのことにについて
- ⑥宿泊を伴う一時預かりのことにについて
- ⑦ベビーシッターの利用について
- ⑧ファミリーサポートセンターの利用について
- ⑨育児休業制度の利用について
- ⑩その他

### 3. 調査設計

- |     |      |  |
|-----|------|--|
| (1) | 調査地域 | 岡山市全域  |
| (2) | 母集団  | 就学前児童調査 小学校就学前の児童のいる世帯 1,800世帯<br>小学校児童調査 小学校在学中の児童のいる世帯 1,200世帯 |
| (3) | 抽出方法 | 無作為抽出  |
| (4) | 調査方法 | 郵送配布郵送回収   |
| (5) | 調査期間 | 平成21年1月～2月   |

#### 4. 回収結果

有効回収数（率）	就学前児童調査	1, 1 2 7（62.6%）
	小学校児童調査	7 1 6（59.7%）

#### 5. 報告書の見方

- （1） 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- （2） 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- （3） 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

## Ⅱ 調 査 結 果(就学前)

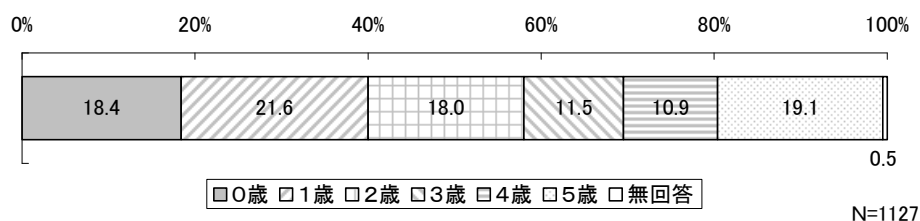




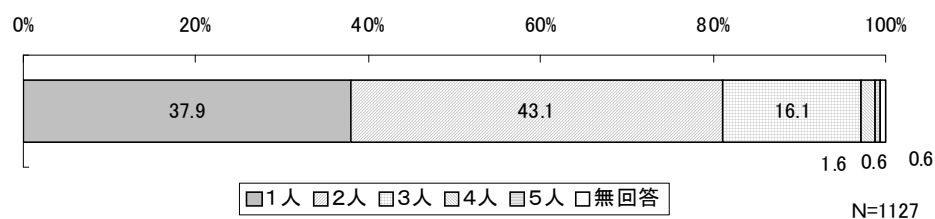
## Ⅱ. 調査結果（就学前）

### 1. 回答者の属性

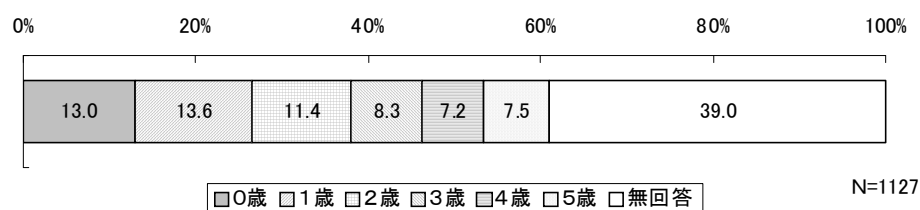
#### [1]－1 子どもの年齢



#### [1]－2 子どもの人数

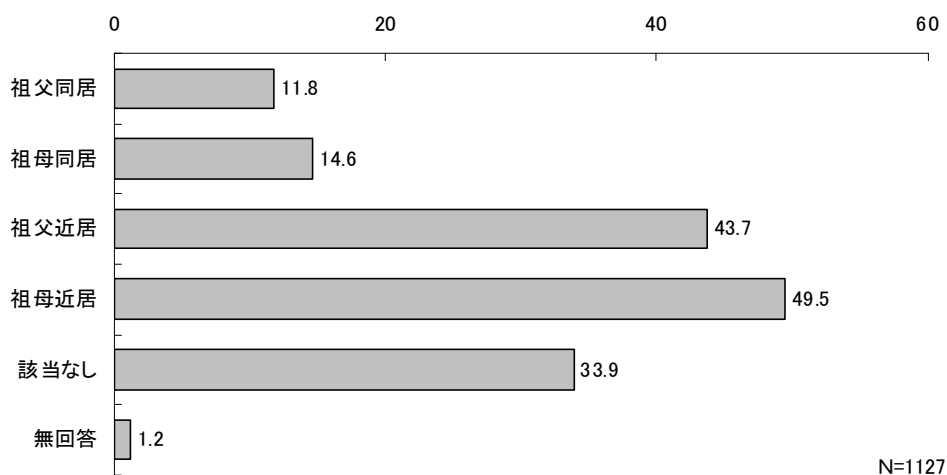


#### [1]－3 末子の年齢

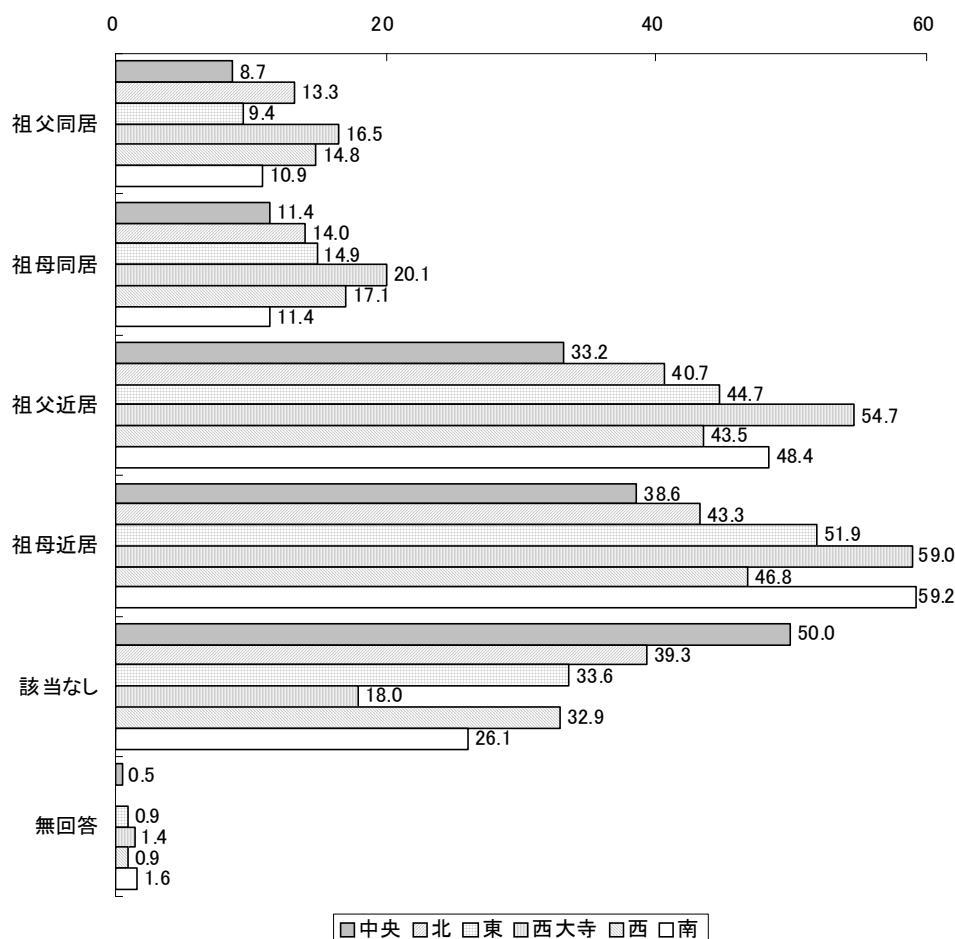


#### [1]－4 同居・近居の状況

両親以外の同居・近居の状況については、「祖母近居」（49.5%）、「祖父近居」（43.7%）、「該当なし」（33.9%）、「祖母同居」（14.6%）、「祖父同居」（11.8%）の順になっている。  
地区別にみると、西大寺・南では「祖父近居」「祖母近居」と回答した人の割合が高くなっている。

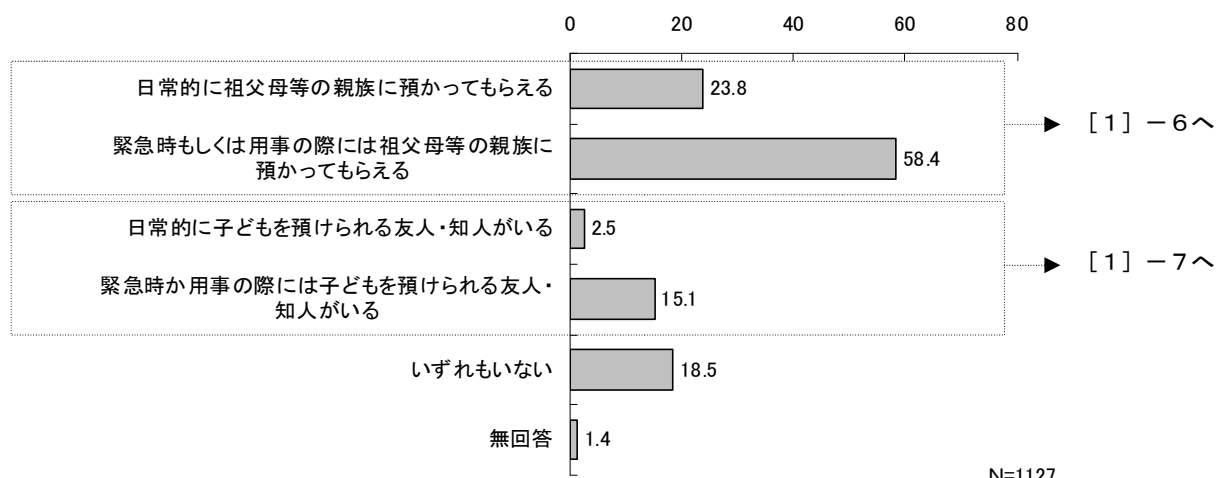


## <地区別>



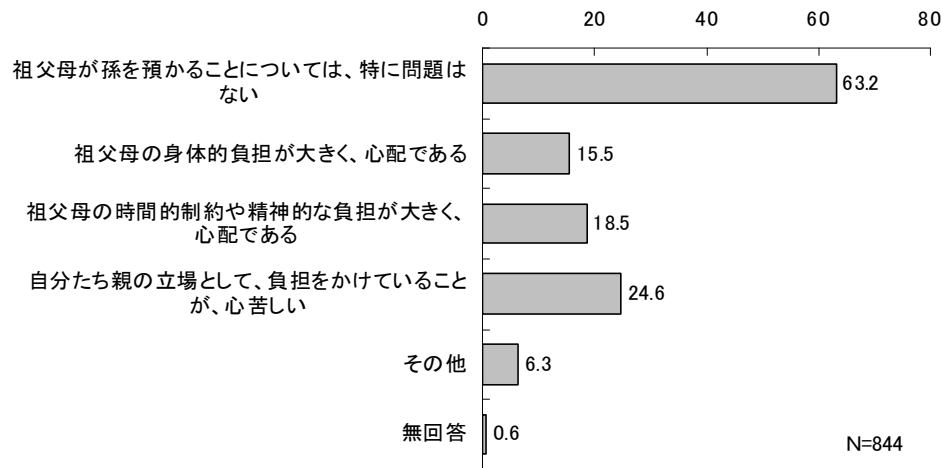
## [1]－5 日頃、お子さんを預かってもらえる人

日頃、お子さんを預かってもらえる人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」と回答した人の割合が 58.4%と最も高くなっている。次いで、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(23.8%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(15.1%)、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」(2.5%)となっている。また、「いずれもない」と回答した人の割合が2割弱(18.5%)と高くなっている。



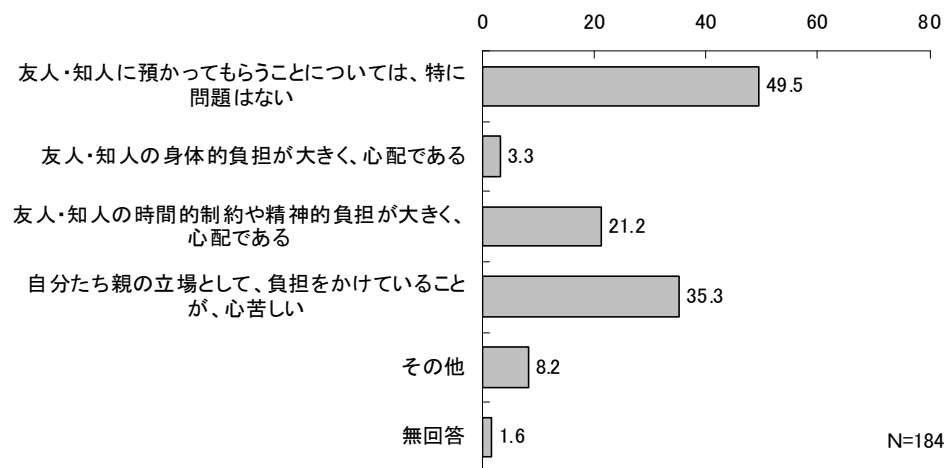
## [1]－6 祖父母に預かってもらっている状況

問4で「1 日常的に祖父母等の親戚に預かってもらえる」または「2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親戚に預かってもらえる」と回答した人について、祖父母に預かってもらっている状況を問うた。「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」と回答した人の割合が63.2%と最も高くなっている。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが、心苦しい」(24.6%)、「祖父母の時間的制約や精神的負担が大きく、心配である」(18.5%)の順になっている。



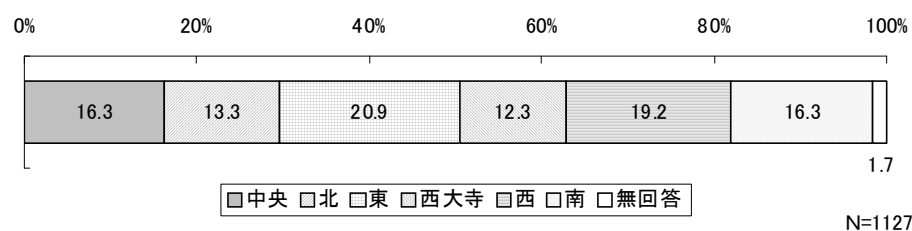
## [1]－7 友人・知人に預かってもらっている状況

問4で「3 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または「4 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」と回答した人について、友人・知人に預かってもらっている状況を問うた。「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」と回答した人の割合が49.5%と最も高くなっている。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが、心苦しい」(35.3%)、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく、心配である」(21.2%)の順になっている。



## [1]－8 住まいの地区

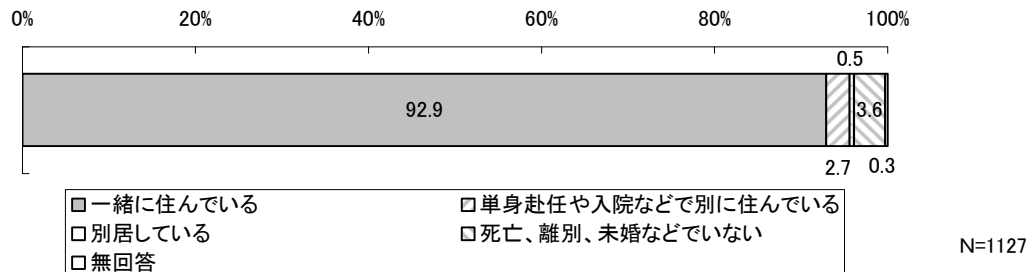
住まいの地区について、「東」と回答した人の割合が20.9%と最も高くなっている。次いで、「西」(19.2%)、「中央」「南」(ともに16.3%)、「北」(13.3%)、「西大寺」(12.3%)の順になっている。



## 2. 両親の就労状況について

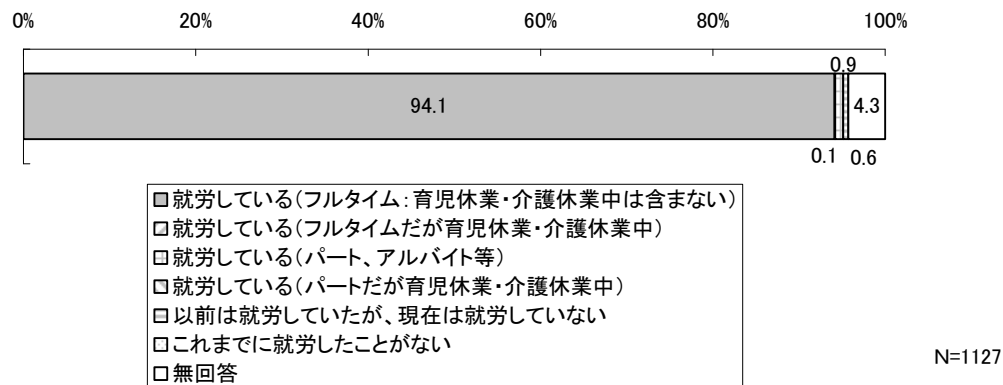
### [2]－1 両親のお子さんとの同別居状況(父親)

父親のお子さんとの同別居状況について、「一緒に住んでいる」と回答した人の割合が9割以上（92.9%）となっている。



### [2]－2 就労状況(父親)

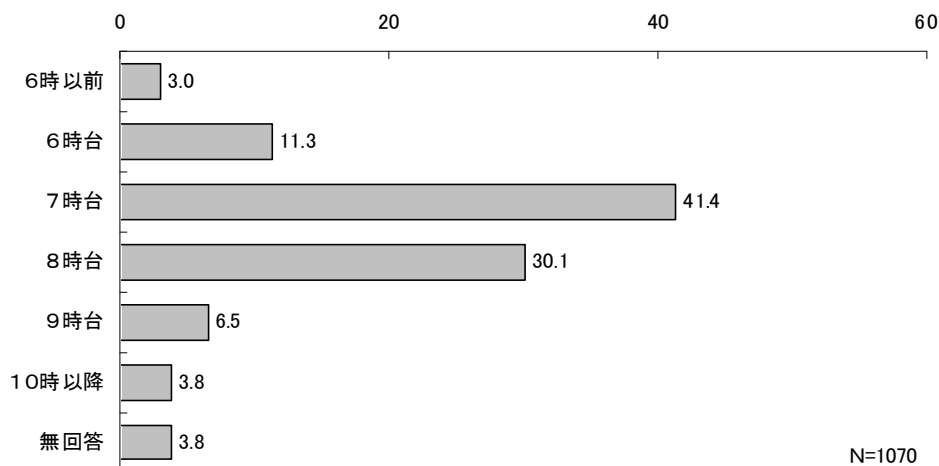
父親の就労状況について、「就労している（フルタイム：育児休業中・介護休業中は含まない）」と回答した人の割合が9割以上（94.1%）となっている。



### [2]－3 通勤状況(父親)(就労している方のみ 育児休業・介護休業中を除く)

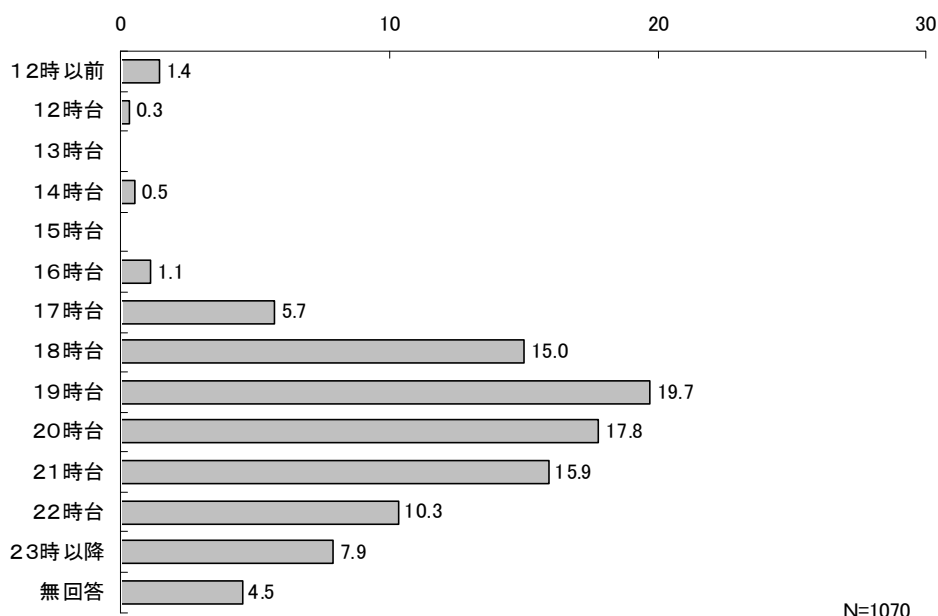
#### ○ 出勤時刻

父親の出勤時間について、「7時台」と回答した人の割合が4割以上（41.4%）と最も高くなっている。次いで、「8時台」（30.1%）、「6時台」（11.3%）の順になっている。



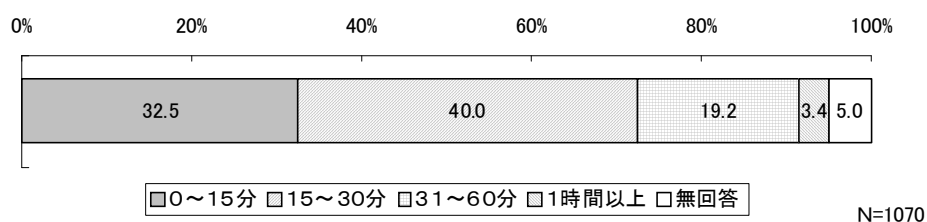
## ○ 帰宅時刻

父親の帰宅時間について、「19 時台」と回答した人の割合が 2 割程度（19.7%）と最も高くなっている。次いで、「20 時台」（17.8%）、「21 時台」（15.9%）の順になっている。



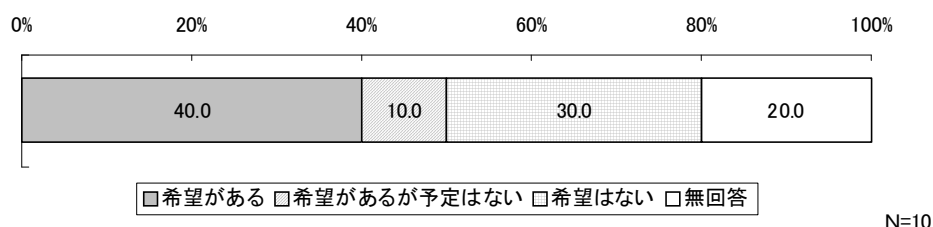
## ○ 通勤に要する時間

父親の通勤時間について、「15～30 分」と回答した人の割合が 4 割（40.0%）と最も高くなっている。次いで、「0～15 分」（32.5%）、「31～60 分」（19.2%）の順になっている。



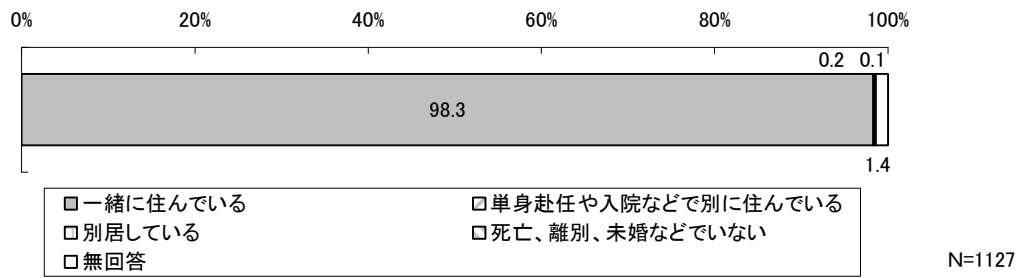
## [2]－4 パートの方でフルタイムへの転換希望(父親)

問 6（1）就労状況で「3 就労している（パートタイム、アルバイト等）」または「4 就労している（パートタイムだが育児休業・介護休業中）」と回答した人について、フルタイムへの転換希望を問うた。「希望がある」と回答した人の割合が 40.0%と最も高くなっている。次いで「希望はない」（30.0%）、「希望があるが予定はない」（10.0%）の順になっている。



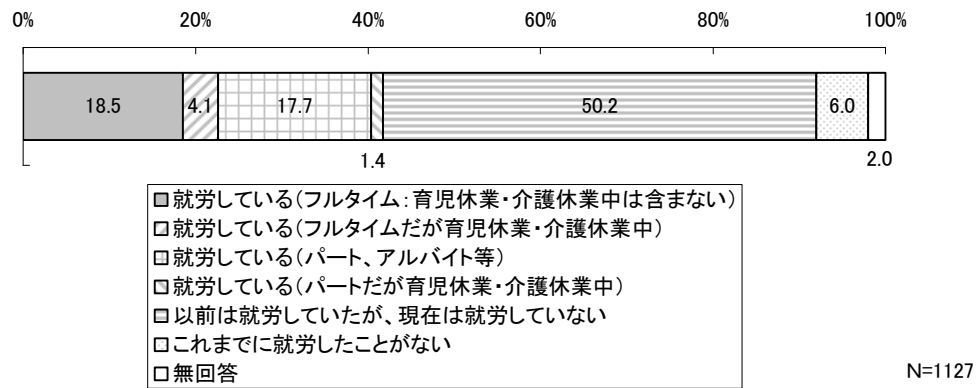
[2]－5 両親のお子さんとの同別居状況(母親)

母親のお子さんとの同別居状況について、「一緒に住んでいる」と回答した人の割合が9割以上（98.3%）となっている。

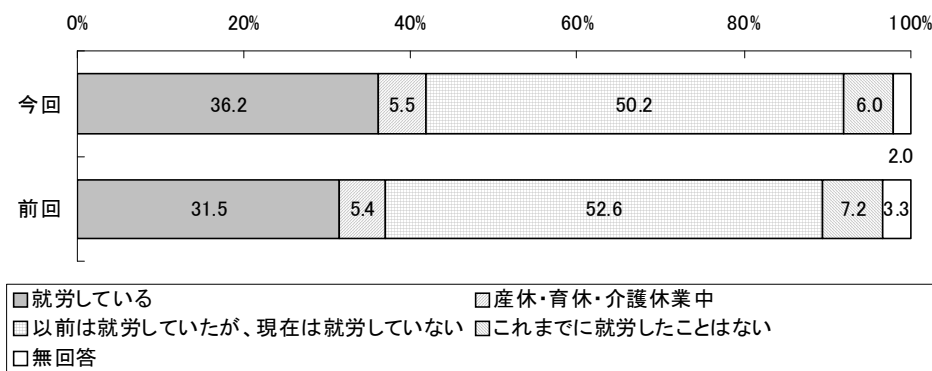


[2]－6 就労状況(母親)

母親の就労状況について、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した人の割合が5割以上（50.2%）と最も高くなっている。  
前回調査と比較すると、今回調査では「就労している」と回答した人の割合がやや高くなっている。  
年齢別にみると、3歳以上では「就労している（フルタイム：育児休業中・介護休業中は含まない）」と回答した人の割合が高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した人の割合が低くなっている。

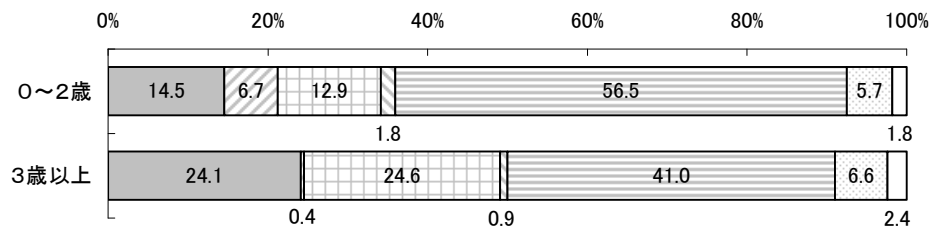


<前回比較>



注：今回調査の「就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）」「就労している（パート・アルバイト等）」は【就労している】に、「就労している（フルタイムだが育児休業・介護休業中）」「就労している（パートだが育児休業・介護休業中）」は【産休・育休・介護休業中】とした。また、前回調査については、子どもの身の回りの世話を主に行っている保護者の就労状況の数値を採用した。

## <年齢別>

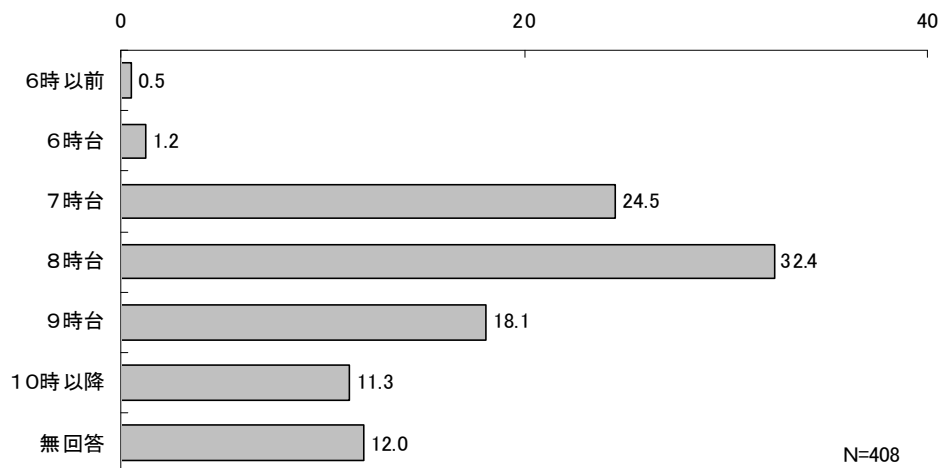


- ☐ 就労している(フルタイム: 育児休業・介護休業中は含まない)
- ☐ 就労している(フルタイムだが育児休業・介護休業中)
- ☐ 就労している(パート、アルバイト等)
- ☐ 就労している(パートだが育児休業・介護休業中)
- ☐ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ☐ これまでに就労したことがない
- ☐ 無回答

## [2]ー7 通勤状況(母親)(就労している方のみ 育児休業・介護休業中を除く)

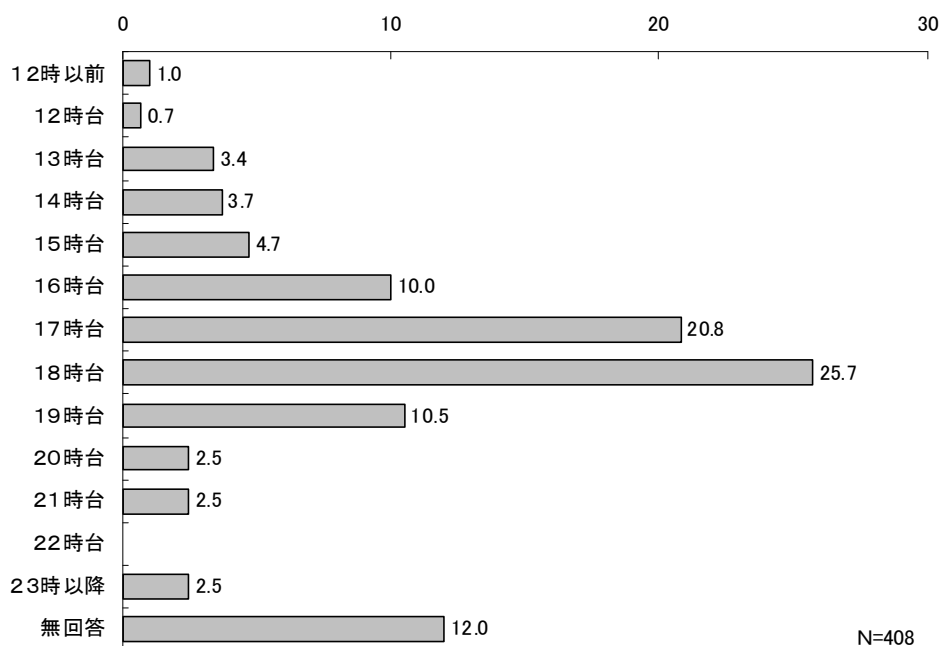
### ○ 出勤時刻

母親の出勤時間について、「8 時台」と回答した人の割合が 3 割以上 (32.4%) と最も高くなっている。次いで、「7 時台」(24.5%)、「9 時台」(18.1%) の順になっている。



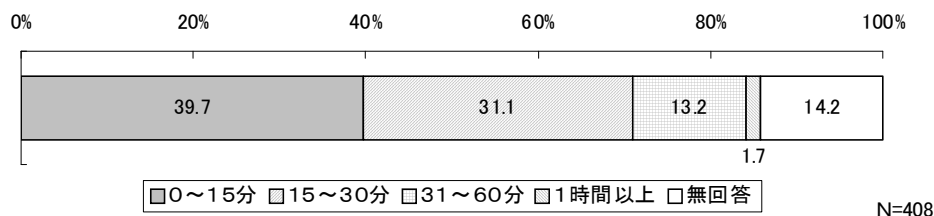
## ○ 帰宅時刻

母親の帰宅時間について、「18 時台」と回答した人の割合が 2 割以上（25.7%）と最も高くなっている。次いで、「17 時台」（20.8%）、「19 時台」（10.5%）の順になっている。



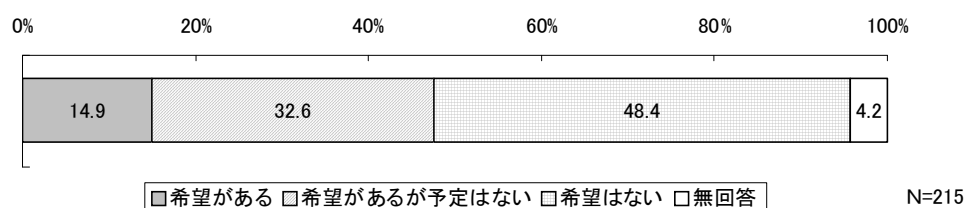
## ○ 通勤に要する時間

母親の通勤時間について、「0～15 分」と回答した人の割合が 4 割程度（39.7%）と最も高くなっている。次いで、「15～30 分」（31.1%）、「31～60 分」（13.2%）の順になっている。



## [2]－8 パートの方でフルタイムへの転換希望(母親)

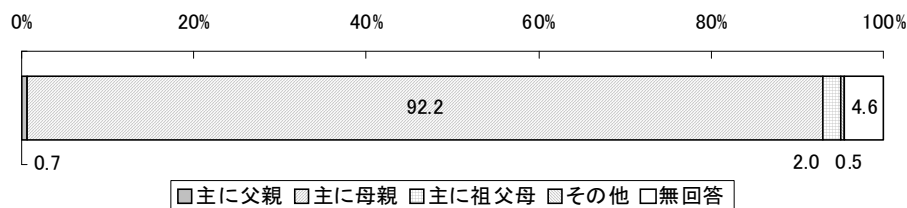
問 6（2）就労状況で「3 就労している（パートタイム、アルバイト等）」または「4 就労している（パートタイムだが育児休業・介護休業中）」と回答した人について、フルタイムへの転換希望を問うた。「希望はない」と回答した人の割合が 5 割程度（48.4%）と最も高くなっている。次いで「希望があるが予定はない」（32.6%）、「希望がある」（14.9%）の順になっている。





## [2]－9 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方

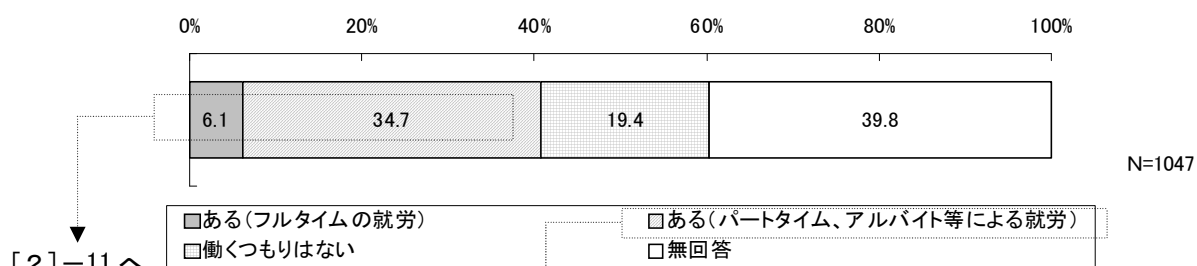
お子さんの身の回りの世話などを主にしている方について、「主に母親」と回答した人の割合が 9 割以上 (92.2%) と最も高くなっている。



N=1127

## [2]－10 お子さんの身の回りの世話などをしている方の就労希望

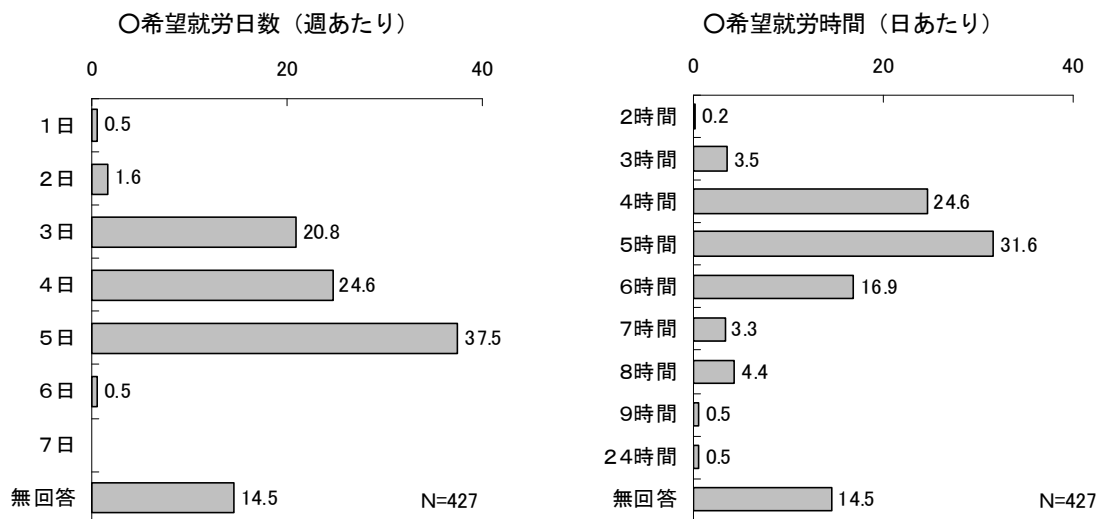
お子さんの身の回りの世話などをする方の就労希望について、「ある（パートタイム、アルバイト等による就労）」と回答した人の割合が 3 割以上 (34.7%) と最も高くなっている。次いで、「働くつもりはない」(19.4%)、「ある（フルタイムの就労）」(6.1%) の順になっている。



N=1047

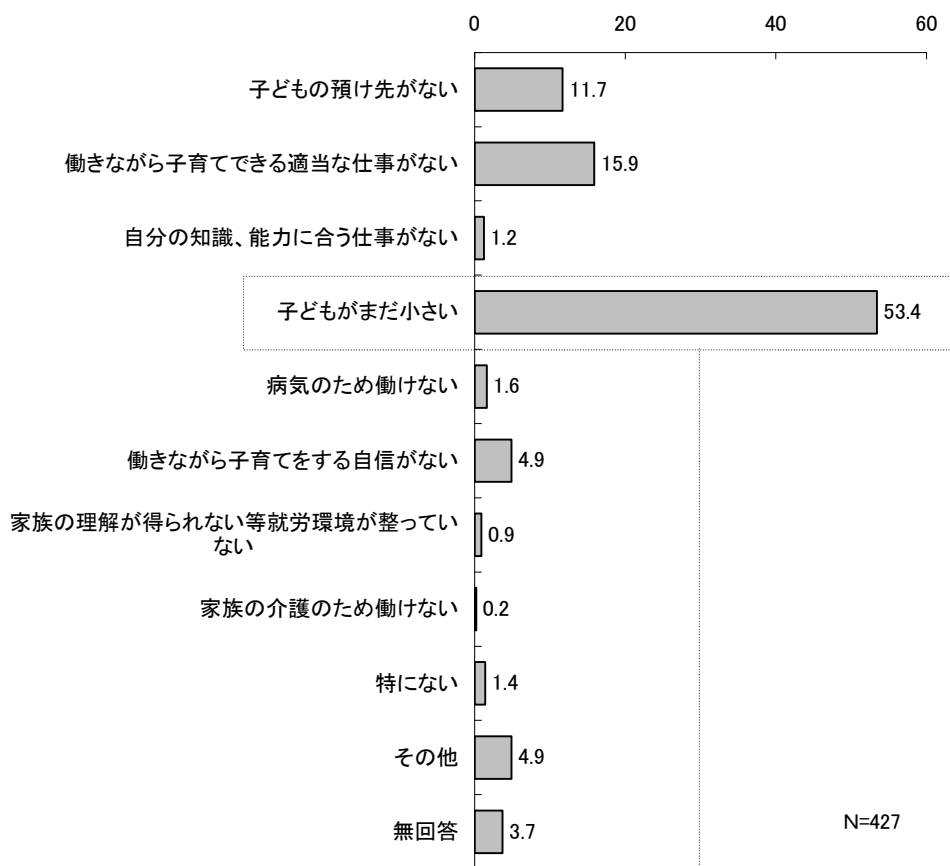
[2]－11 へ

## <「2 ある（パートタイム、アルバイト等による就労）」と回答した人の希望就労時間>



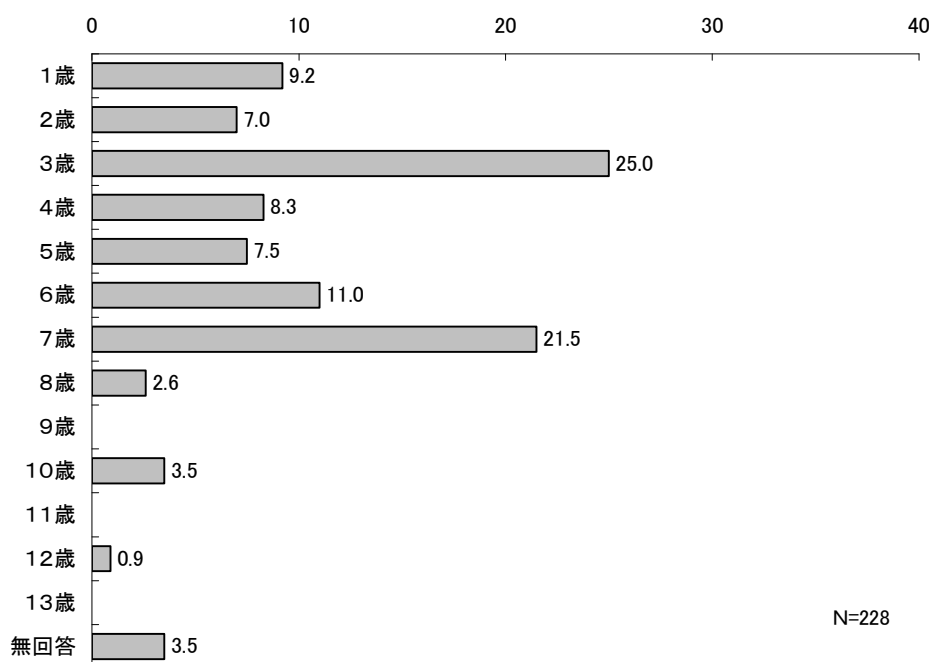
## [2]－11 働く希望がありながら就労していない理由

働く希望がありながら就労していない理由について、「子どもがまだ小さい」と回答した人の割合が 5 割以上 (53.4%) と最も高くなっている。次いで、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(15.9%)、「子どもの預け先がない」(11.7%) の順になっている。



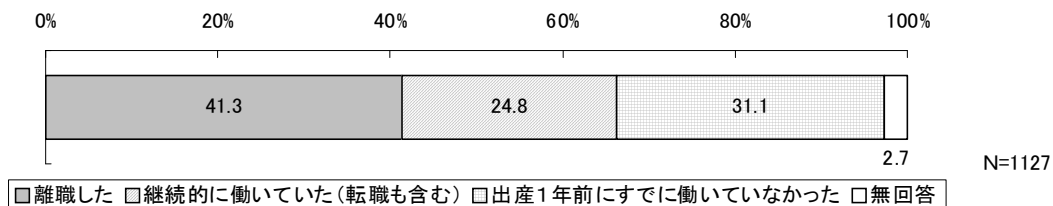
### ＜一番小さな子どもが何歳くらいになったら就労したいか＞

子どもがまだ小さいと回答した人は、一番小さな子どもが何歳くらいになったら就労したいかについて、「3 歳」と回答した人の割合が 25.0% と最も高く、次いで「7 歳」(21.5%)、「6 歳」(11.0%) の順になっている。



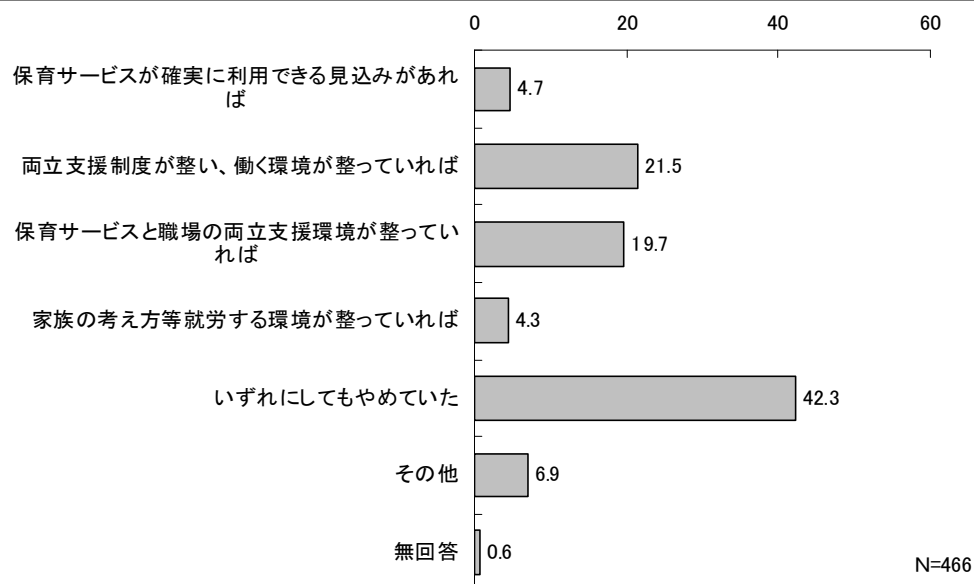
## [2]－12 出産前後の離職の有無

出産前後の離職の有無について、「離職した」と回答した人の割合が 4 割以上（41.3%）と最も高くなっている。次いで、「出産 1 年前にすでに働いていなかった」（31.1%）、「継続的に働いていた（転職も含む）」（24.8%）の順になっている。



## [2]－13 保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続していたか

問 9 で「1 離職した」と回答した人について、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続していたかを問うた。「いずれにしてもやめていた」と回答した人の割合が 4 割以上（42.3%）と最も高くなっている。次いで、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」（21.5%）、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」（19.7%）の順になっている。



### 3. 保育サービスの利用について

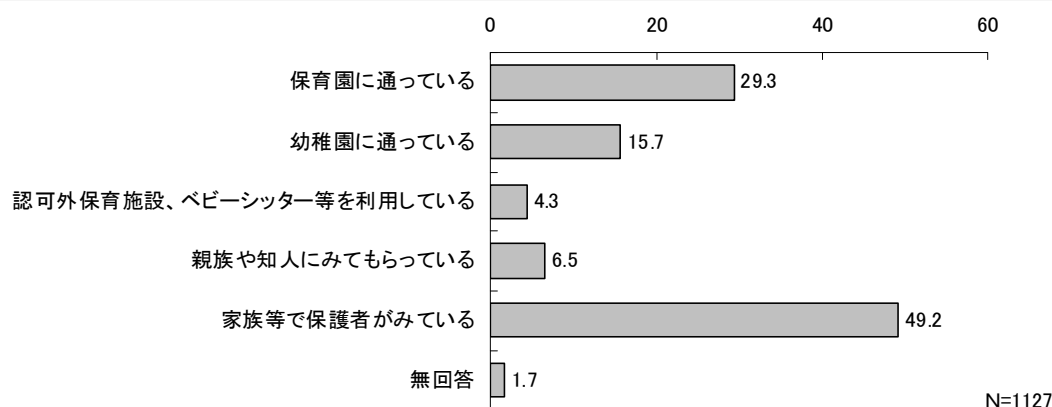
#### [3]－1 主な子どもの保育

通常のお子さんの保育について、「家庭等で保護者がみている」と回答した人の割合が 49.2%と最も高くなっている。次いで、「保育園（市立保育園又は認可保育園）に通っている」（29.3%）、「幼稚園（市立幼稚園又は認可幼稚園）に通っている」（15.7%）、「親族や知人にみてもらっている」（6.5%）、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用している」（4.3%）の順になっている。

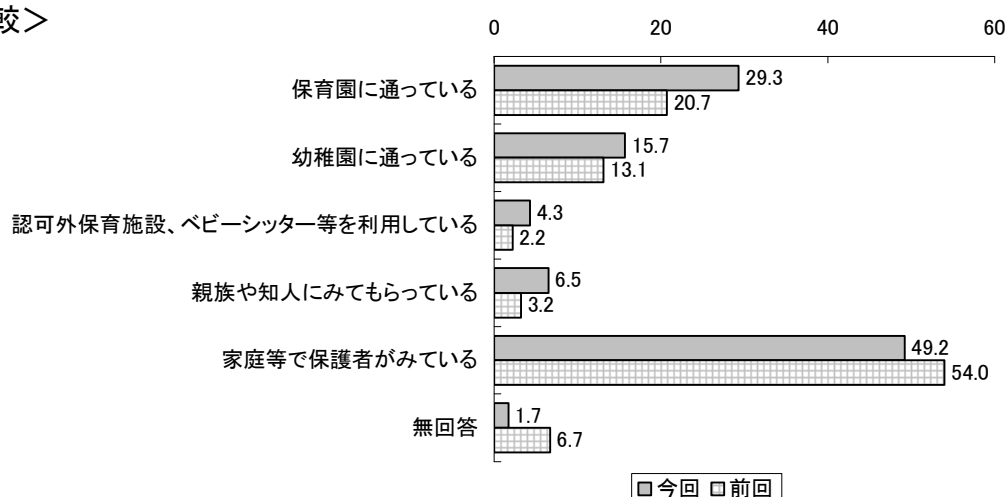
前回調査と比べると、「保育園（市立保育園又は認可保育園）に通っている」が前回調査の 20.7%から 29.3%と増加している。

年齢別にみると、0～2 歳では「家庭等で保護者がみている」、3 歳以上では「保育園（市立保育園又は認可保育園）に通っている」「幼稚園（市立幼稚園又は認可幼稚園）に通っている」と回答した人の割合が高くなっている。

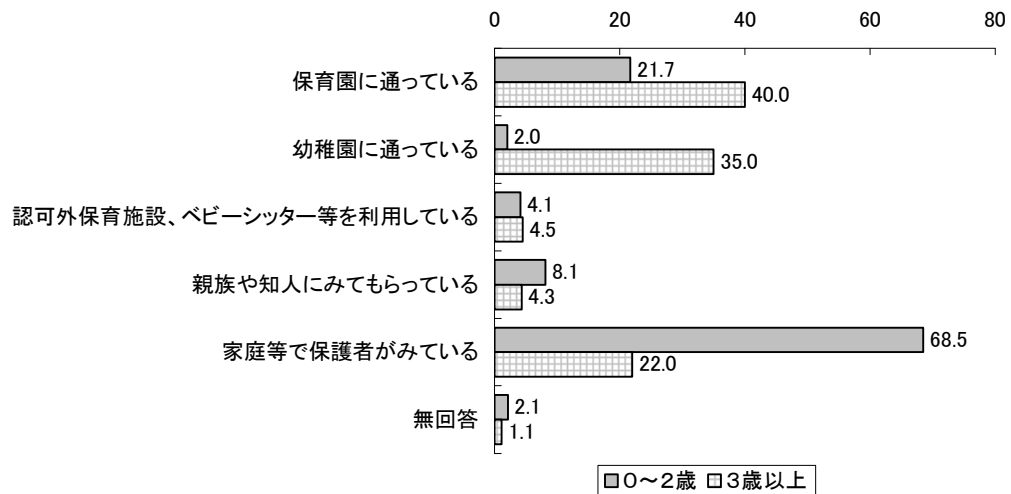
母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業中・介護休業中は含まない）では「保育園（市立保育園又は認可保育園）に通っている」、就労している（フルタイムだが、育児休業・介護休業中）・就労している（パートタイムだが、育児休業・介護休業中）、以前は就労していたが、現在はしていない・これまでに就労したことがないでは「家庭等で保護者がみている」と回答した人の割合が高くなっている。



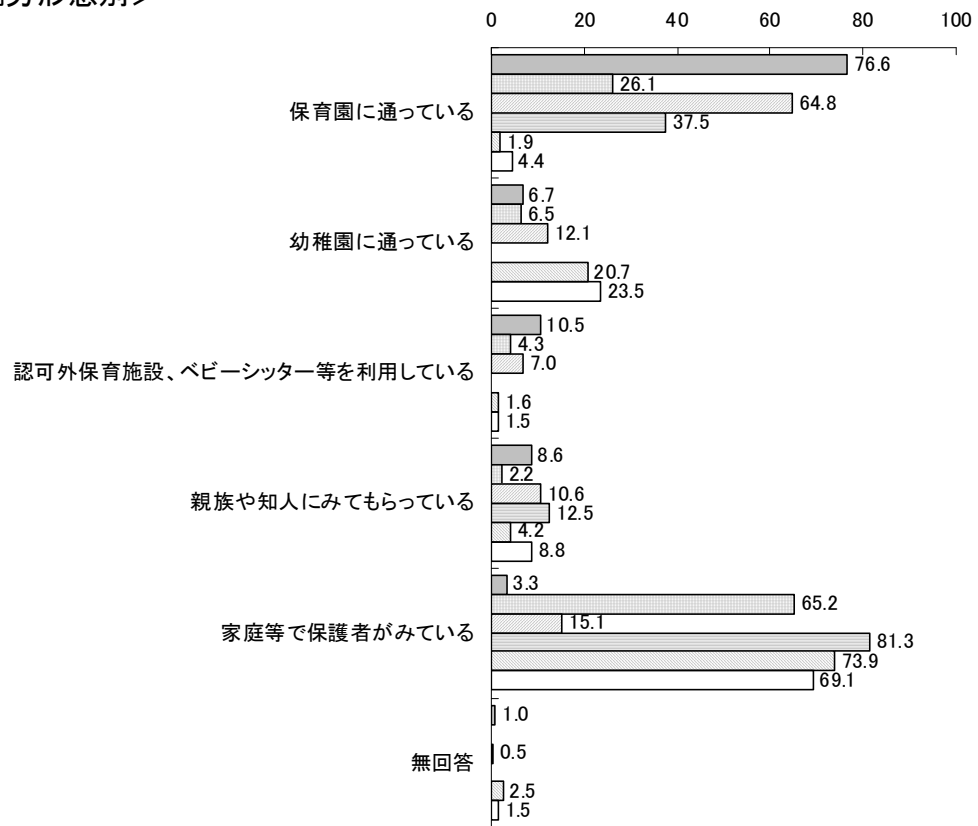
#### <前回比較>



## <年齢別>



## <母親の就労形態別>

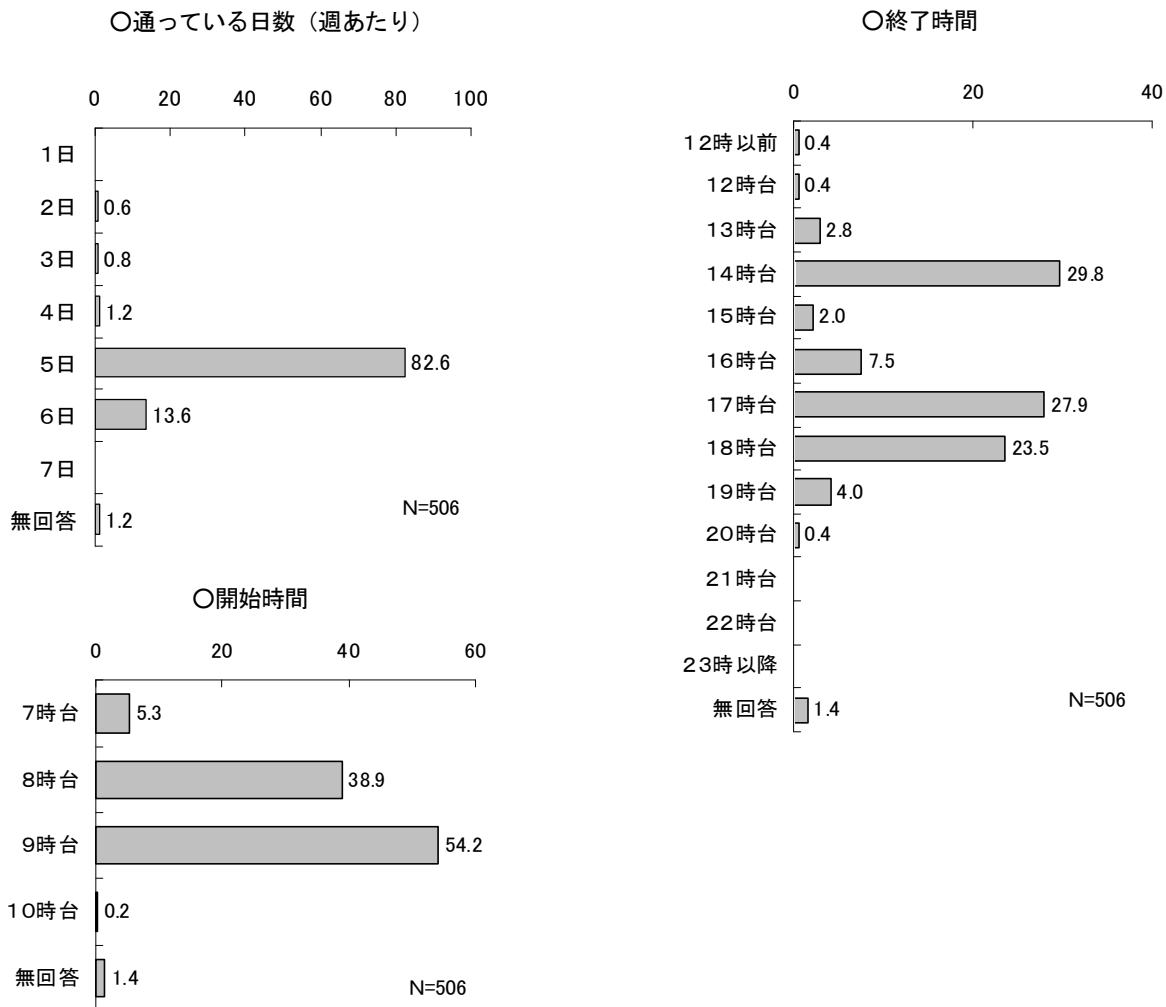


☒ 就労している(フルタイム)      ☐ 就労している(フルタイム: 育児・介護休業中)  
☐ 就労している(パート、アルバイト等)      ☐ 就労している(パートだが育児・介護休業中)  
☐ 以前は就労していたが、現在は就労していない      ☐ これまでに就労したことがない

## <保育園・幼稚園に通っている方>

### [3]－2 保育園・幼稚園に通っている頻度と時間

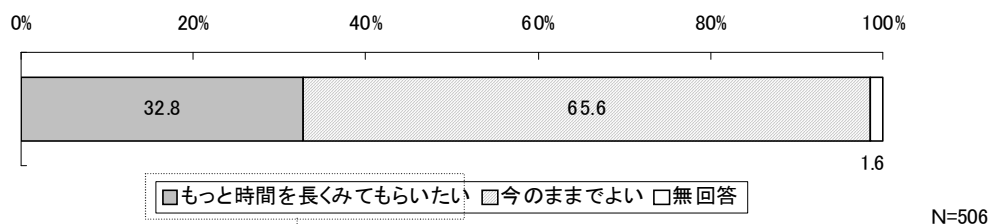
平日に保育園・幼稚園に通っている頻度について、日数では「5日」と回答した人の割合が8割以上(82.6%)と最も高くなっている。また開始時間については、「9時台」と回答した人の割合が5割以上(54.2%)と最も高く、次いで「8時台」(38.9%)、「7時台」(5.3%)の順になっている。終了時間については、「14時台」と回答した人の割合が3割程度(29.8%)と最も高く、次いで「17時台」(27.9%)、「18時台」(23.5%)の順になっている。



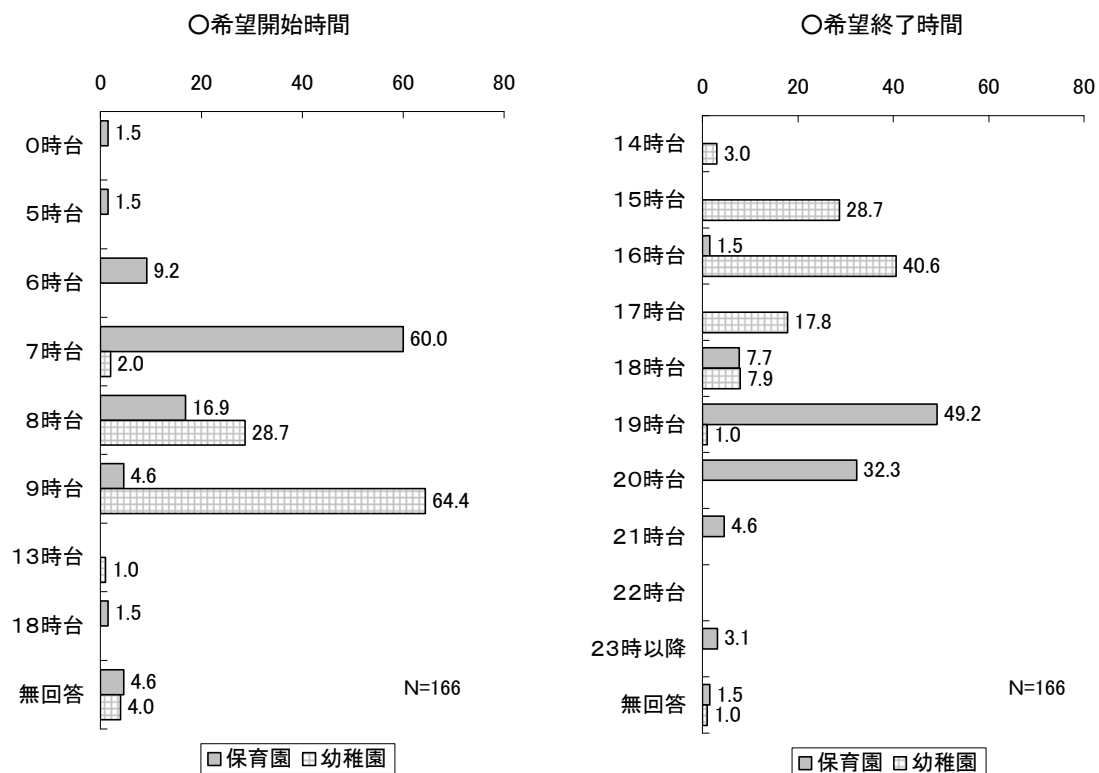
### [3]－3 保育園や幼稚園の平日の開園時間に対する要望

保育園や幼稚園の平日の開園時間に対する要望について、「もっと時間を長くみてもらいたい」と回答した人の割合が32.8%、「今のままでよい」と回答した人の割合が65.6%となっている。

もっと時間を長く見てもらいたい人について、保育園では希望開始時間は「7時台」が、希望終了時間は「19時台」と回答した人の割合が最も高くなっている。幼稚園では希望開始時間は「9時台」が、希望終了時間は「16時台」と回答した人の割合が最も高くなっている。



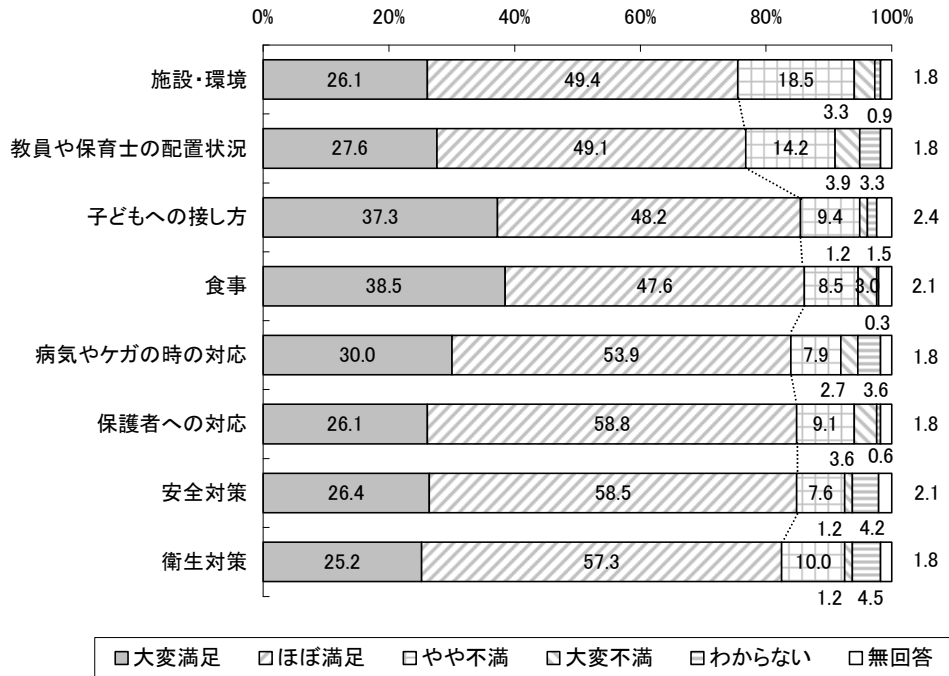
<どのような時間に保育園・幼稚園が開いていればよいか>



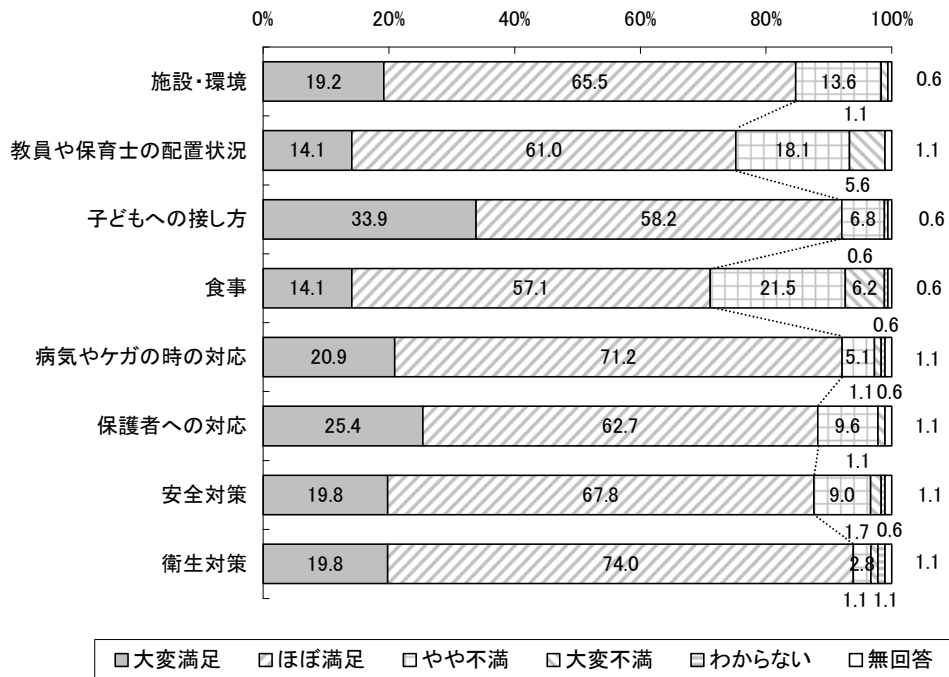
### [3]－4 現在通っている保育園・幼稚園に対する評価

現在通っている保育園・幼稚園に対する評価について、「大変満足」と回答した人の割合は、すべての項目について幼稚園よりも保育園で高くなっている。また、「大変満足」または「ほぼ満足」と回答した人の割合は、「施設・環境（園舎・園庭、玩具等）」「教員や保育士の配置状況（人員体制）（保育園のみ）」「食事（給食・弁当・おやつなど）（幼稚園のみ）」において8割未満と低くなっている。

#### ○保育園



#### ○幼稚園

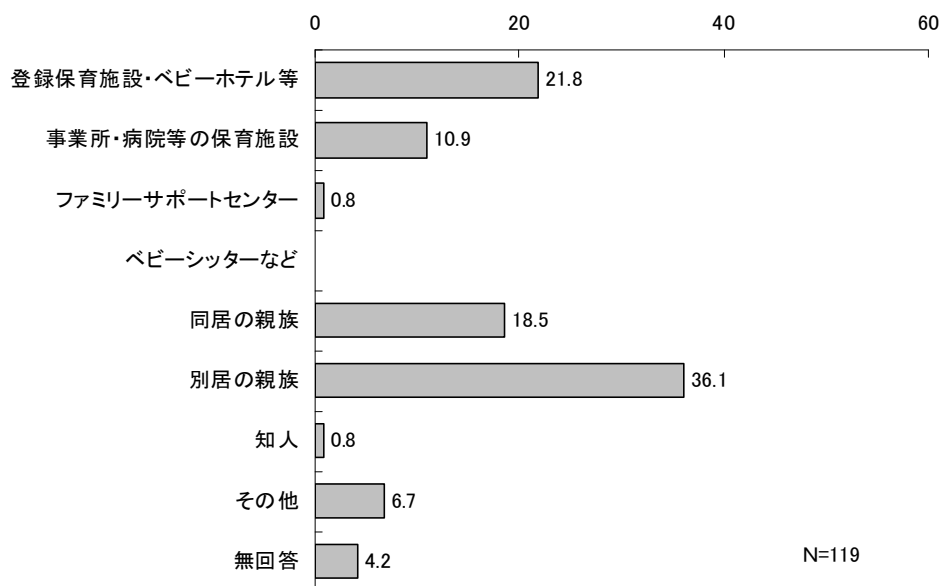




## <認可外保育施設、ベビーシッター等を利用している方・親族や知人等にみてもらっている方>

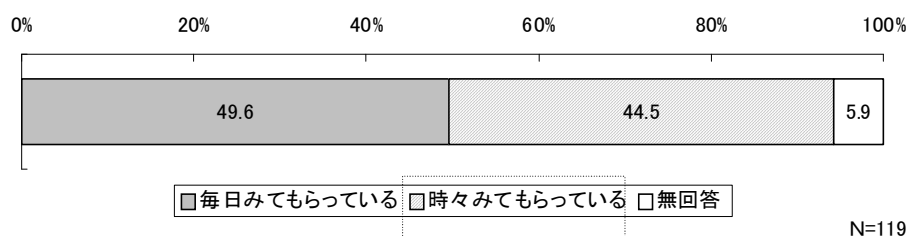
### [3]ー5 どこで(どなたに)みてもらっているか

通常、どこで、もしくはどなたにみてもらっているかについて、「別居の親族」と回答した人の割合が36.1%と最も高くなっている。次いで、「登録保育施設・ベビーホテル等」(21.8%)、「同居の親族」(18.5%)、「事業所・病院等の保育施設」(10.9%)の順になっている。

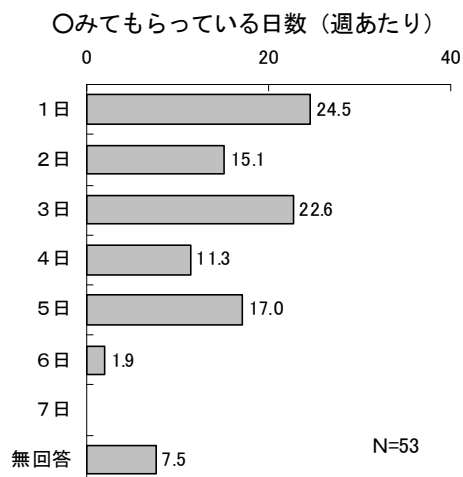


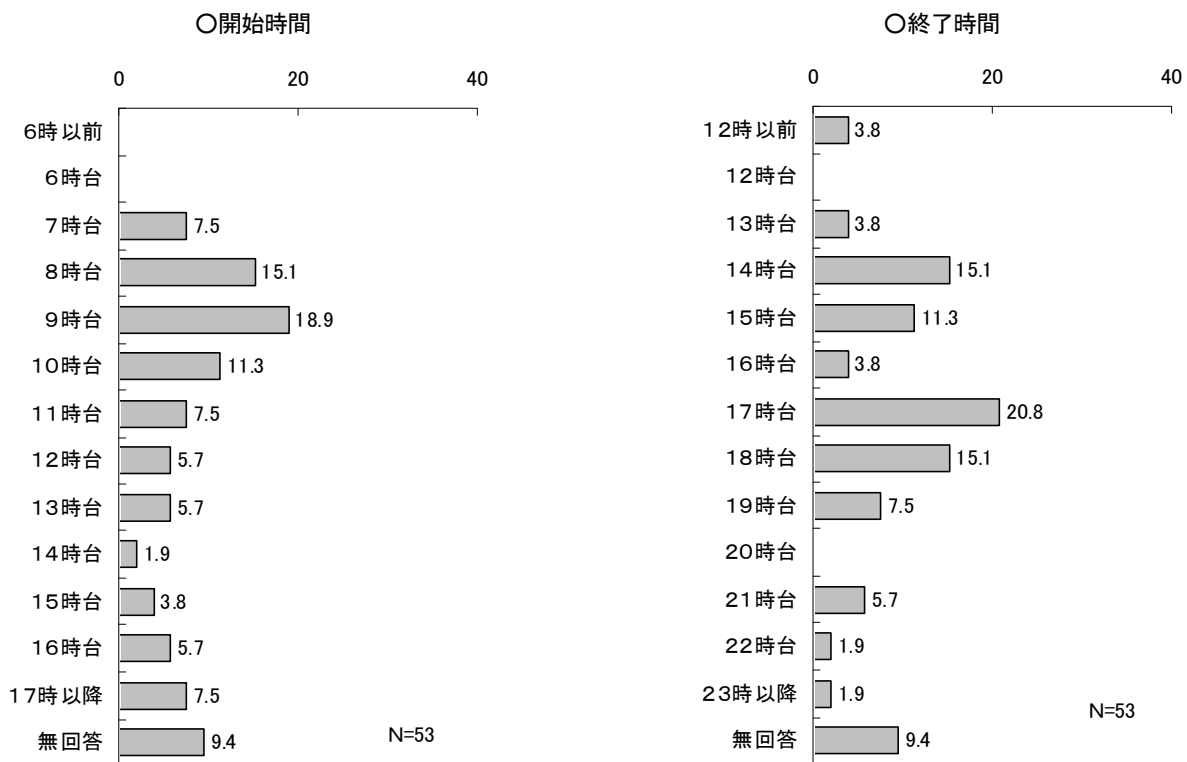
### [3]ー6 通常の平日にみてもらっている頻度と時間

通常の平日にみてもらっている頻度と時間について、「毎日見てもらっている」と回答した人の割合が49.6%、「時々みてもらっている」と回答した人の割合が44.5%となっている。時々みてもらっている人については、週3回までが6割以上となっている。



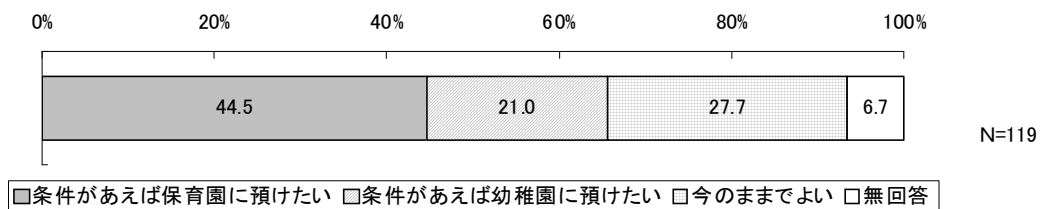
### <時々みてもらっている日数と時間>





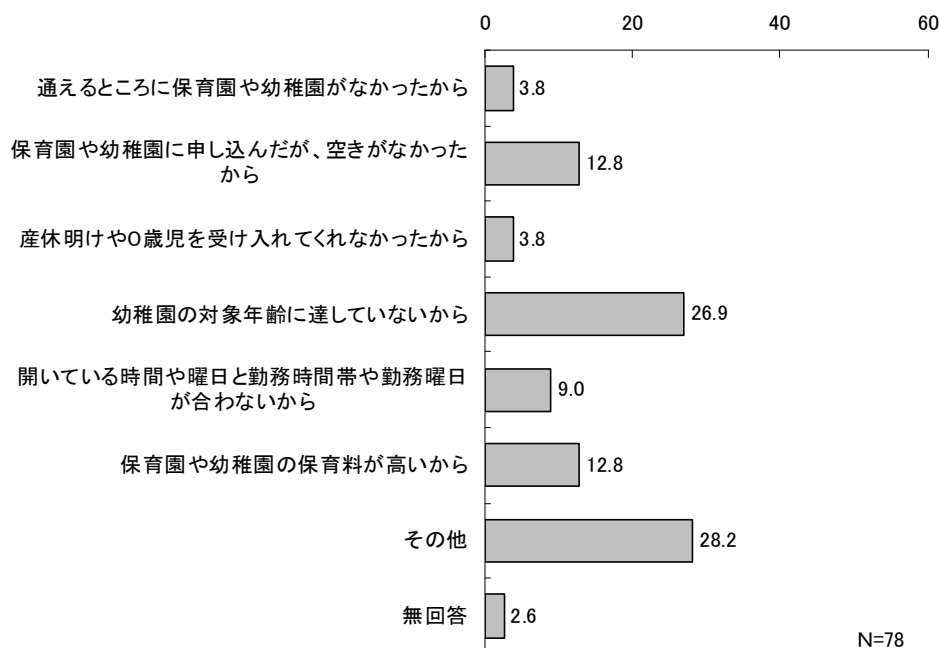
### [3]－7 今後、条件が合えば保育園や幼稚園に預けたい(通わせたい)か

今後、条件が合えば保育園や幼稚園に預けたい（通わせたい）かについて、「条件があれば保育園に預けたい」と回答した人の割合が 44.5%と最も高くなっている。次いで、「今のままでよい」（27.7%）、「条件があれば幼稚園に通わせたい」（21.0%）の順になっている。



### [3]－8 現在、保育園や幼稚園に預けていない(通わせていない)理由

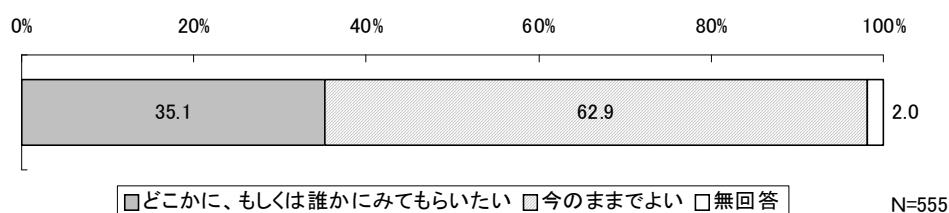
問 16 で「1 条件があれば保育園に預けたい」または「2 条件があれば幼稚園に通わせたい」と回答した人について、現在、保育園や幼稚園に預けていない(通わせていない)理由を問うた。「幼稚園の対象年齢に達していないから」と回答した人の割合が 26.9%と最も高くなっている。次いで、「保育園や幼稚園に申し込んだが、空きがなかったから」「保育園や幼稚園の保育料(授業料)が高いから」(ともに 12.8%)、「保育園や幼稚園が開いている時間や曜日と勤務時間帯や勤務曜日が合わないから」(9.0%)の順になっている。



### <現在、家庭等で保護者がお子さんをみている方>

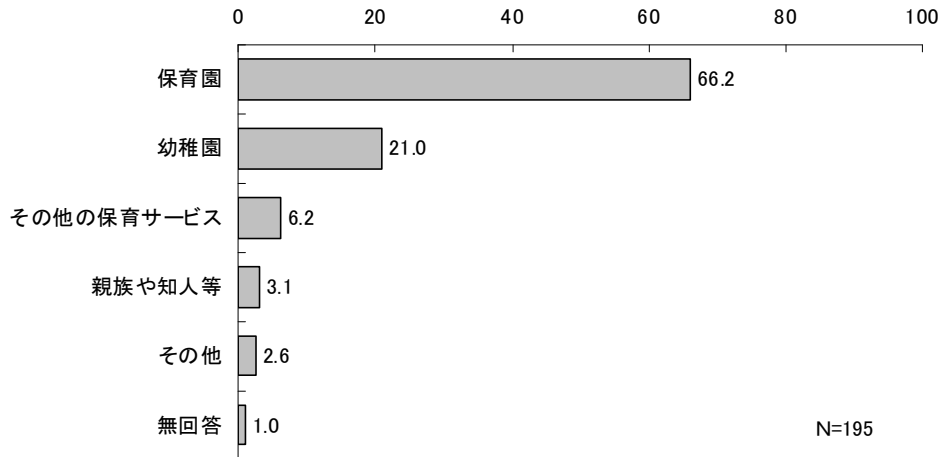
#### [3]－9 お子さんを、どこかに、誰かにみてもらいたい

家庭等で保護者がお子さんをみている方で、お子さんをどこかに、もしくは誰かにみてもらいたいかについて、「どこかに、もしくは誰かにみてもらいたい」と回答した人の割合が 35.1%、「今のままでよい」が 62.9%となっている。



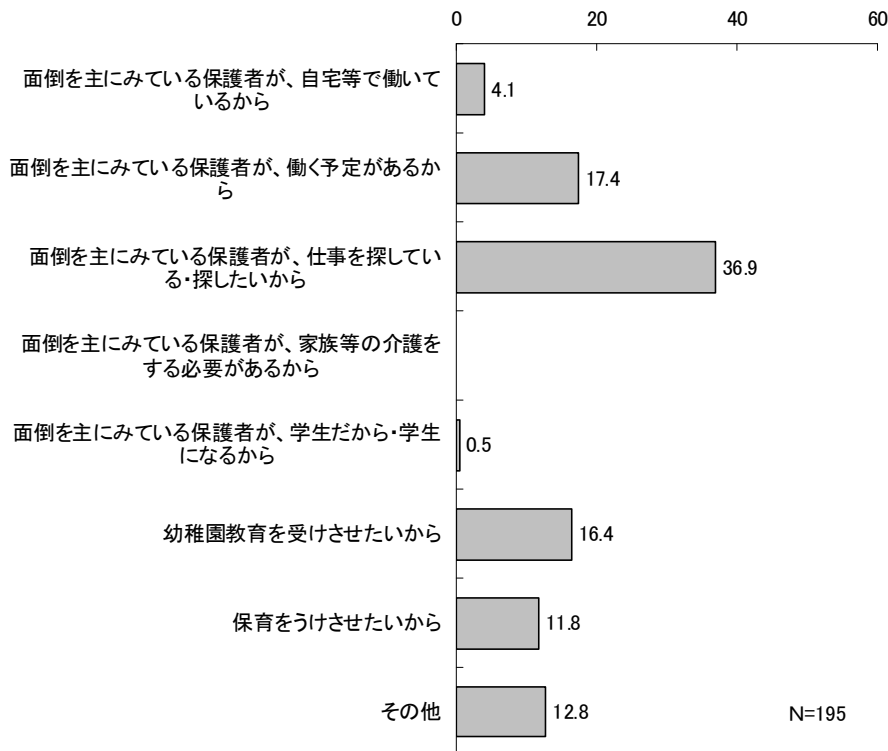
### [3]－10 みてもらいたいと希望するもの

問 17 で「1 どこかに、もしくは誰かにみてもらいたい」と回答した人について、希望するものを問うた。「保育園」と回答した人の割合が 66.2%と最も高くなっている。次いで、「幼稚園」(21.0%)、「その他の保育サービス」(6.2%)、「親族や知人等」(3.1%)、「その他」(2.6%)の順になっている。



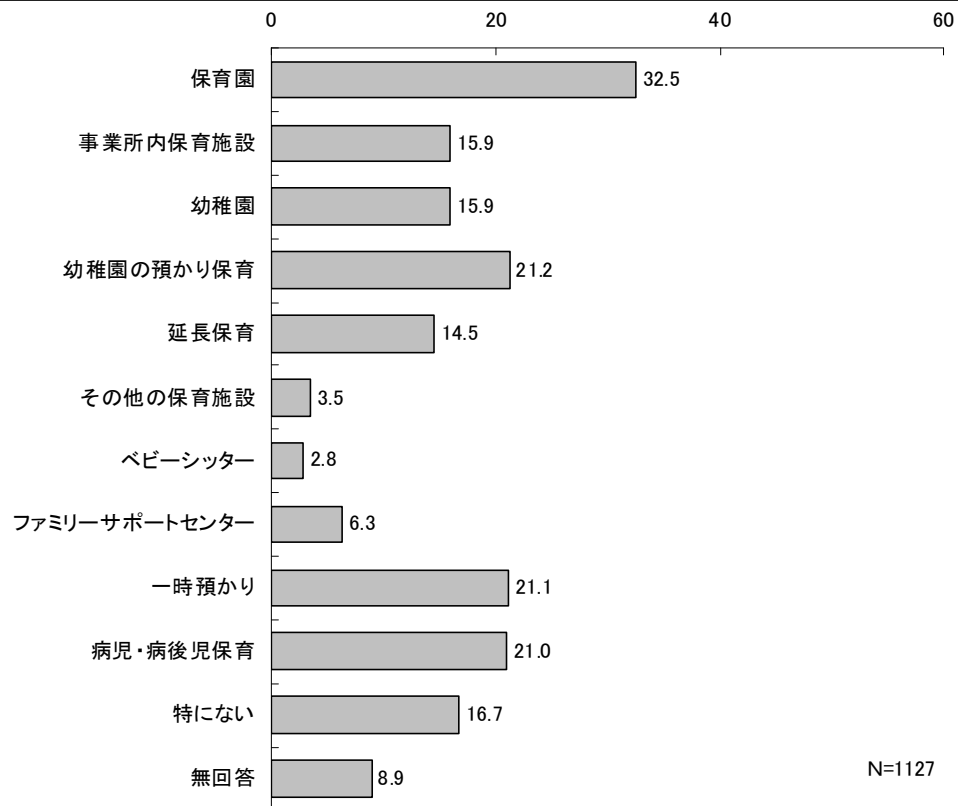
### [3]－11 お子さんをみてもらいたい理由

お子さんをみてもらいたい理由について、「お子さんの面倒を主にみている保護者が、仕事を探している・探したいから」と回答した人の割合が 36.9%と最も高くなっている。次いで、「お子さんの面倒を主にみている保護者が、働く予定があるから」(17.4%)、「幼稚園教育を受けさせたいから」(16.4%)の順になっている。



### [3]－12 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは足りていないと思う保育サービス

今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは足りていないと思う保育サービスについて、「保育園」と回答した人の割合が3割以上（32.5%）と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）」（21.2%）、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを預かるサービス）」（21.1%）、「病児・病後児保育（子どもの病気時の保育）」（21.0%）の順になっている。

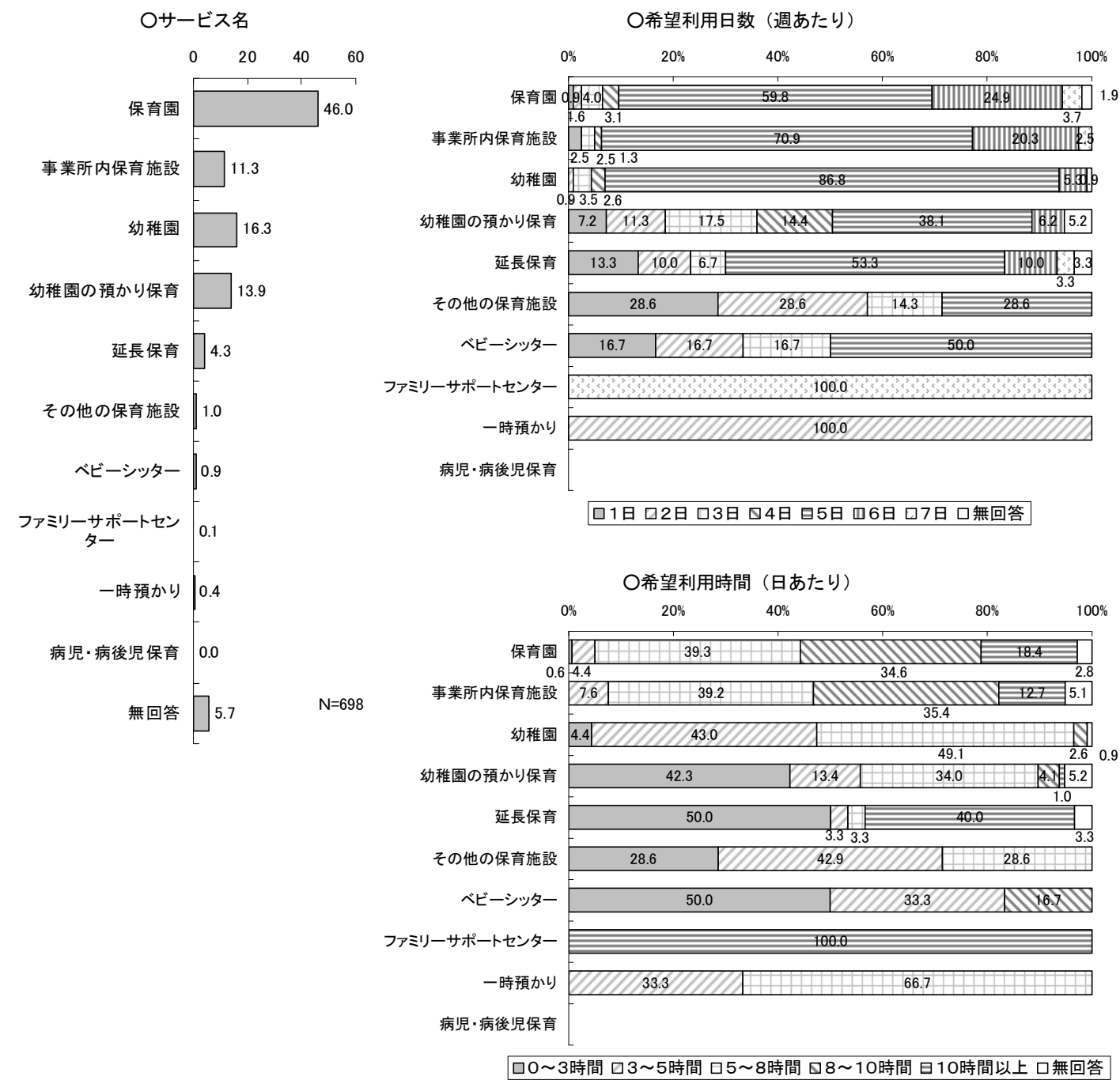


[3]－13 今後の利用希望(サービス、回数、時間)

今後の利用希望について、1 つめでは「保育園」と回答した人の割合が 5 割程度（46.0％）と最も高く、次いで「幼稚園」（16.3％）、「幼稚園の預かり保育」（13.9％）の順になっている。その際の利用日数について、事業所内保育施設・幼稚園では「5 日」と回答した人の割合が 6 割以上となっている。

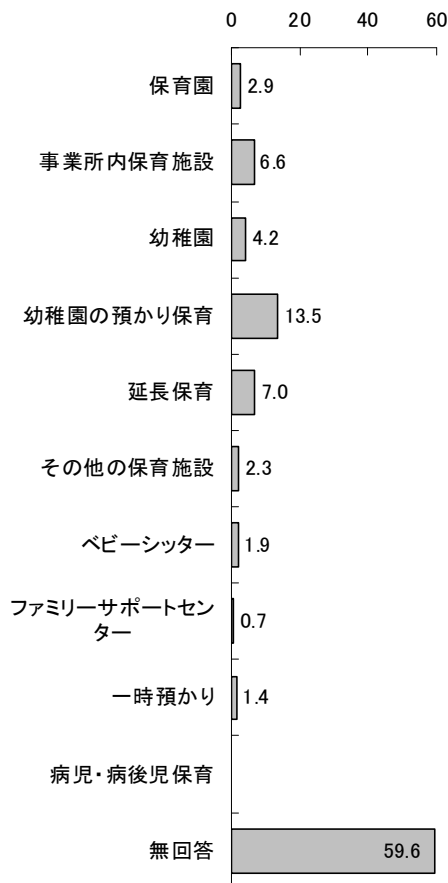
2 つめでは「幼稚園の預かり保育」と回答した人の割合が 1 割以上（13.5％）と最も高く、次いで「延長保育」（7.0％）、「事業所内保育施設」（6.6％）の順になっている。

< 1 つめ >



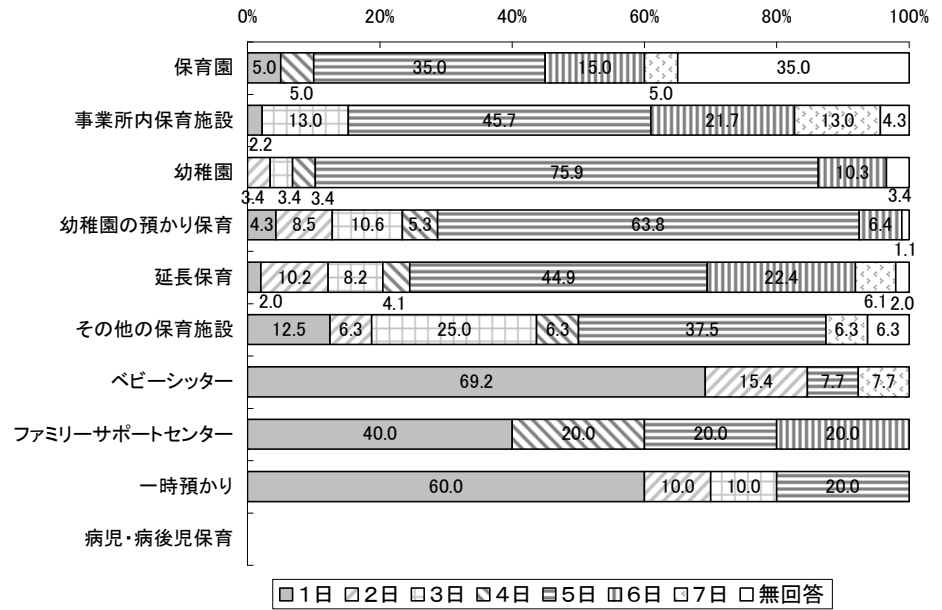
## < 2 つめ >

○サービス名

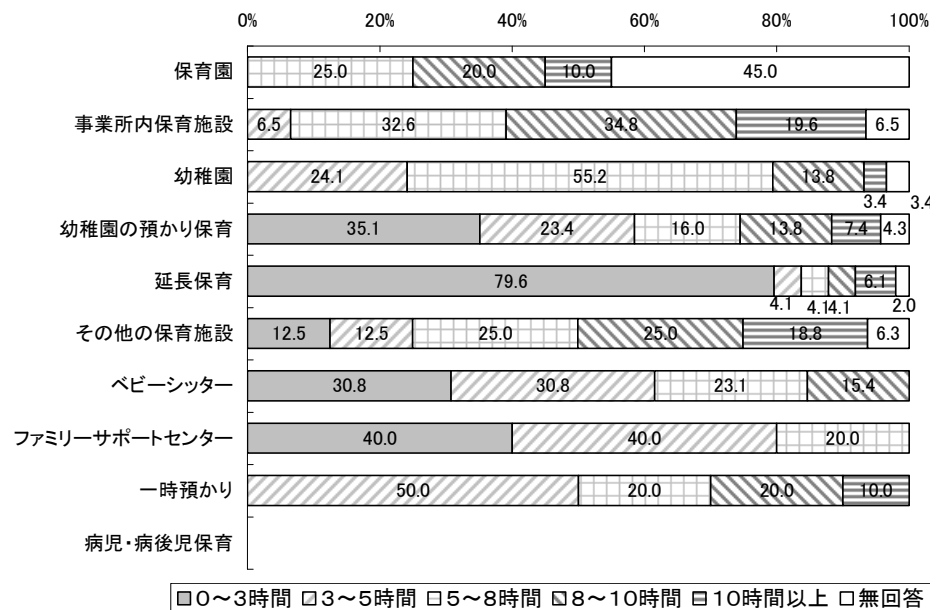


N=698

○希望利用日数（週あたり）



○希望利用時間（日あたり）

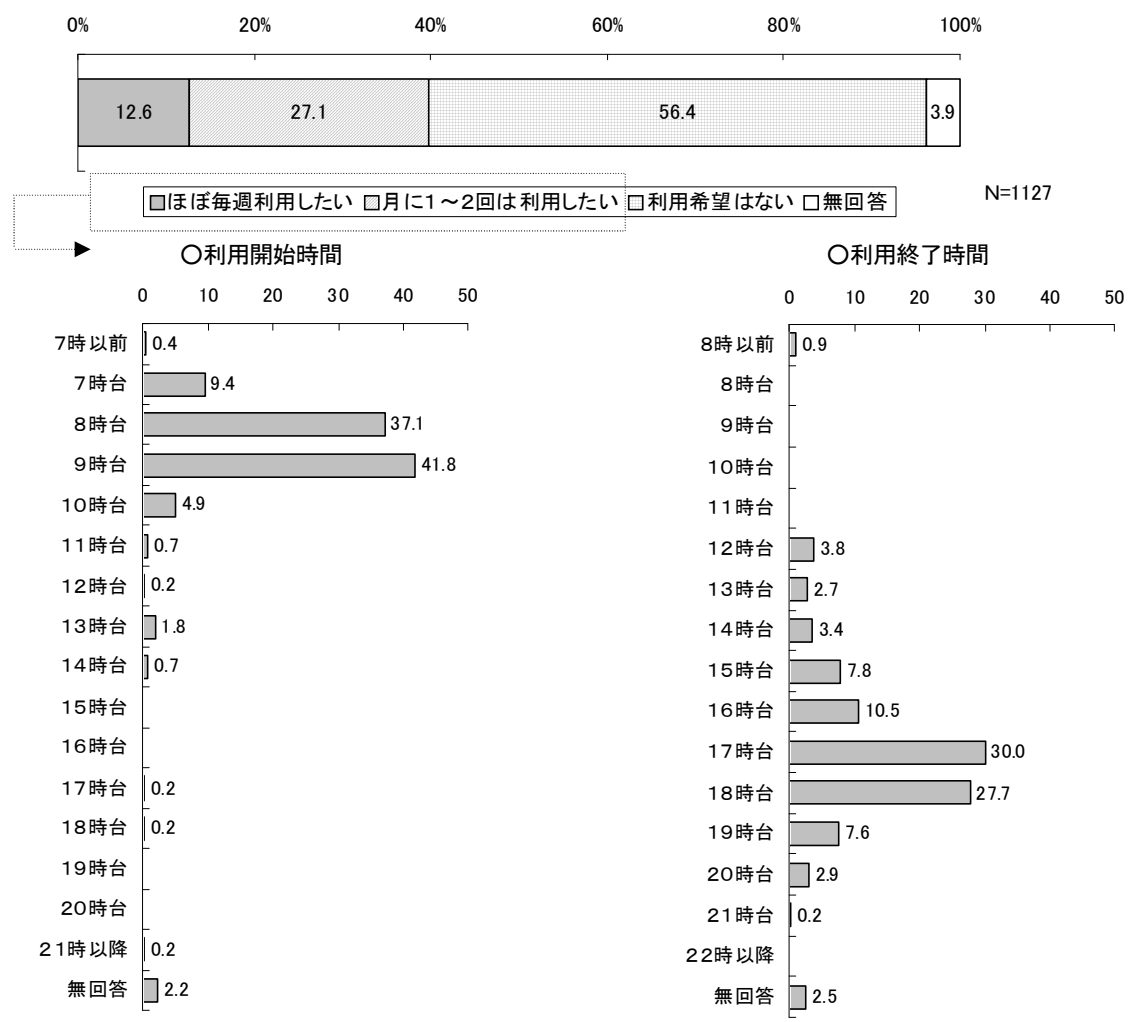


[3]ー14 土曜日の利用希望

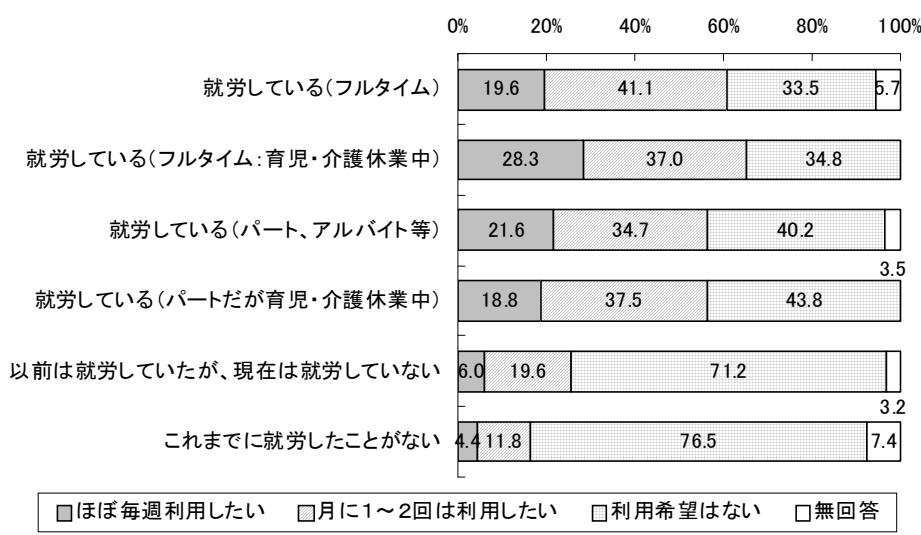
土曜日の保育サービスの利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」と回答した人の割合が12.6%、「月に1～2回は利用したい」が27.1%、「利用希望はない」が56.4%となっている。

また希望する利用開始時間は、「9 時台」が4 割以上（41.8%）と最も高く、次いで「8 時台」（37.1%）が高くなっている。希望する利用終了時間は、「17 時台」が30.0%と最も高く、次いで「18 時台」（27.7%）の順になっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中）では「ほぼ毎週利用したい」と回答した人の割合が3 割程度（28.3%）と高くなっている。



<母親の就労形態別>



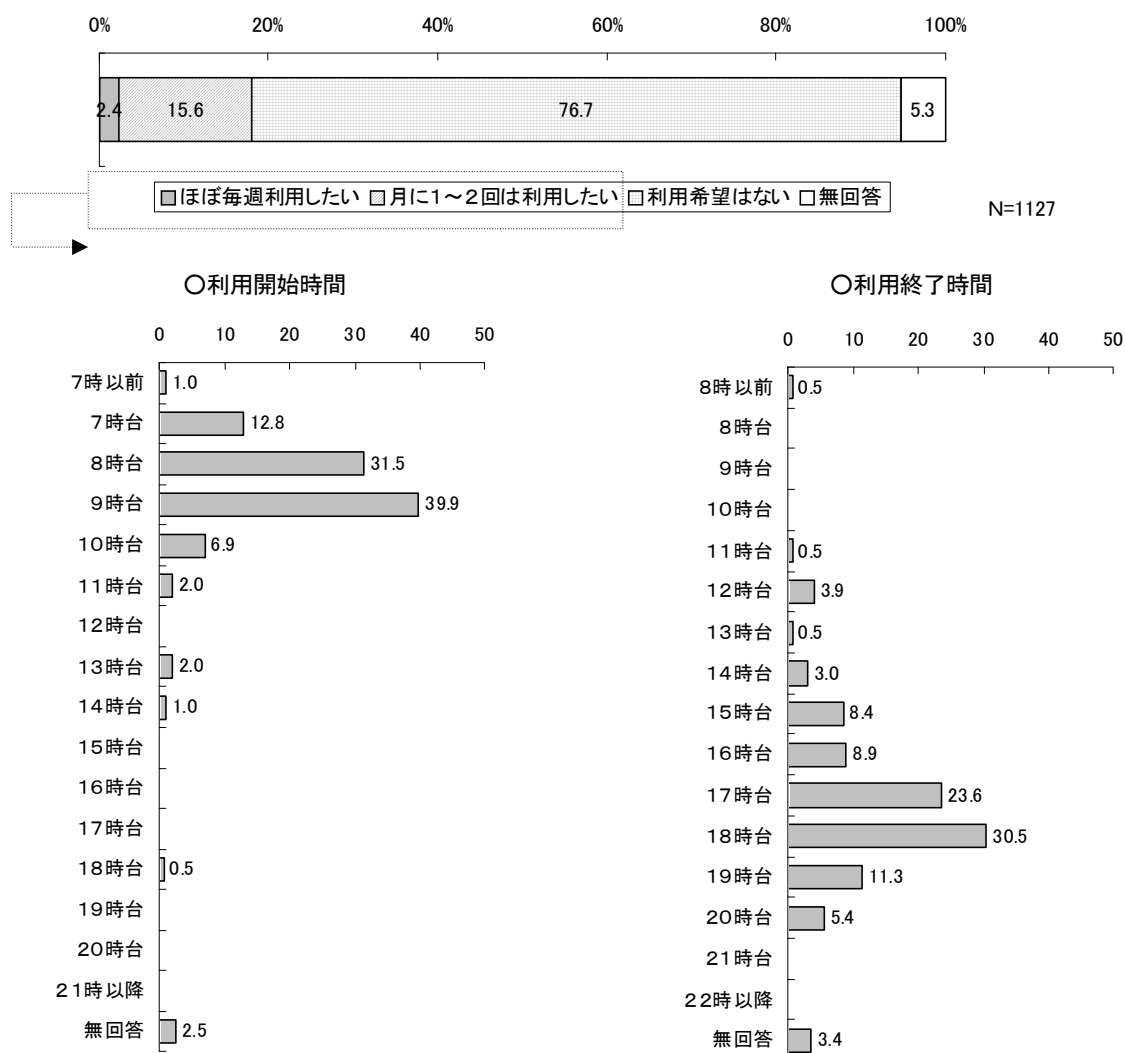


### [3]－15 日曜日の利用希望

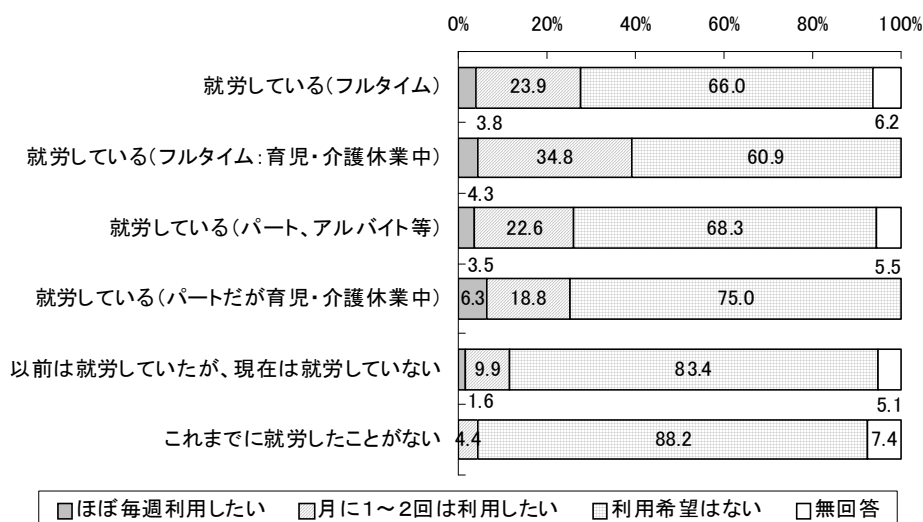
日曜日の保育サービスの利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」と回答した人の割合が 2.4%、「月に 1～2 回は利用したい」が 15.6%、「利用希望はない」が 76.7%となっている。

また希望する利用開始時間は、9 時台が 4 割程度（39.9%）と最も高く、次いで「8 時台」（31.5%）が高くなっている。希望する利用終了時間は、「18 時台」が 30.5%と最も高く、次いで「17 時台」（23.6%）の順になっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業中・介護休業中は含まない）では「ほぼ毎週利用したい」または「月に 1～2 回は利用したい」と回答した人の割合が 4 割程度となっている。



### <母親の就労形態別>

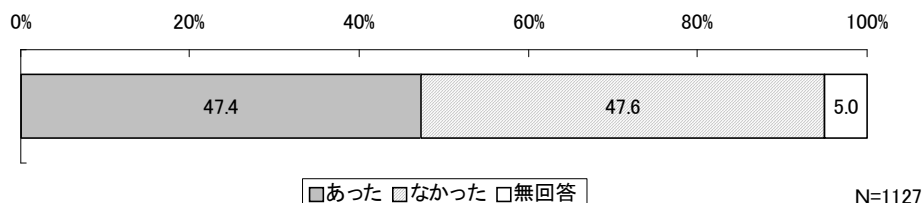


## 4. 子どもの病児・病後児保育について

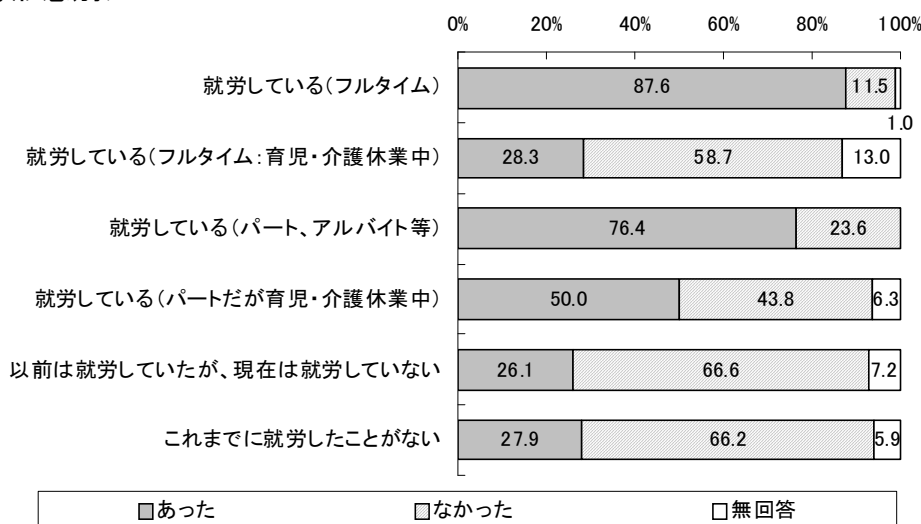
### [4]ー1 病気やケガで保育サービスが利用できなかったことはありますか

この1年間で病気やケガで保育園や幼稚園を休まなければならなかったことについて、「あった」が47.4%、「なかった」が47.6%となっている。

母親の就労形態別でみると、就労している（フルタイムフルタイム：育児休業中・介護休業中は含まない）では「あった」と回答した人の割合が87.6%と高くなっている。

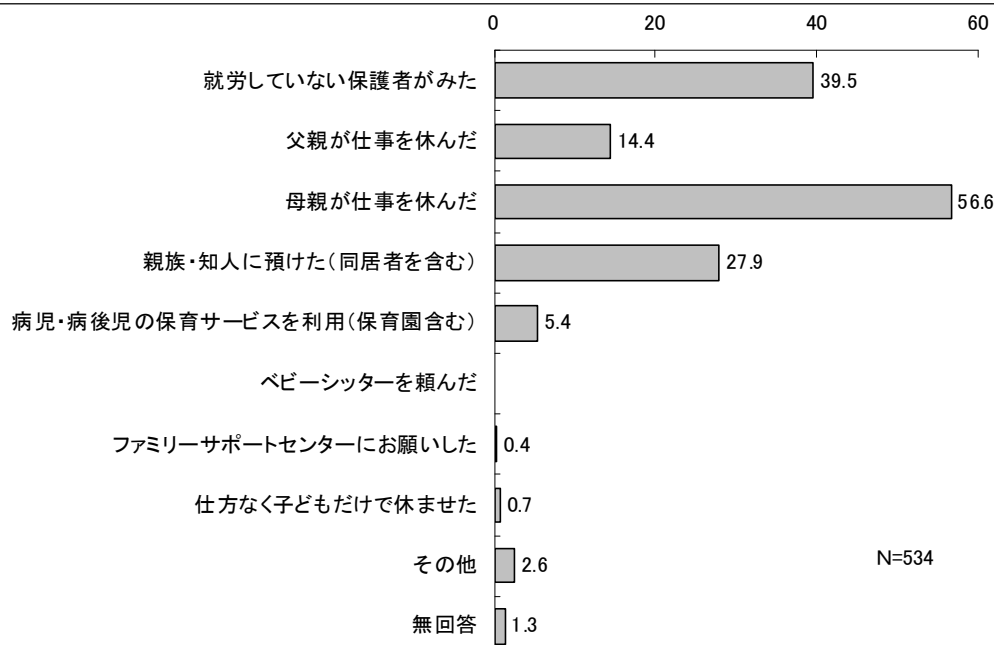


#### <母親の就労形態別>

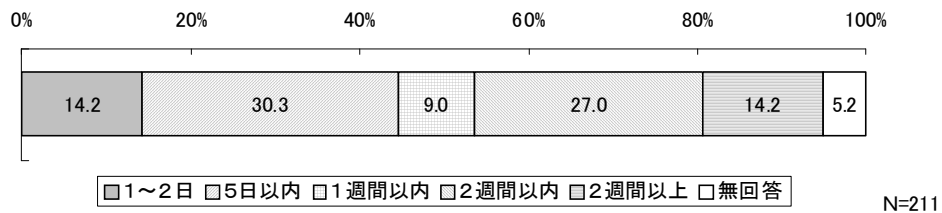


### [4]ー2 この1年間の対応方法と日数

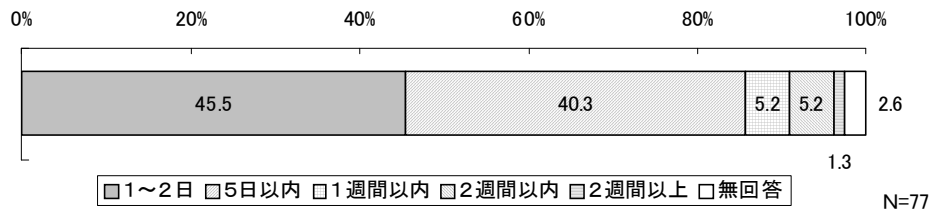
この1年間の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した人の割合が56.6%と最も高くなっている。次いで、「就労していない保護者がみた」(39.5%)、「親族・知人に預けた(同居者を含む)」(27.9%)の順になっている。



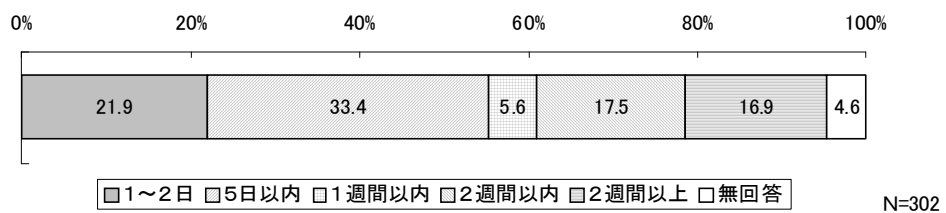
### <就労していない保護者がみた日数>



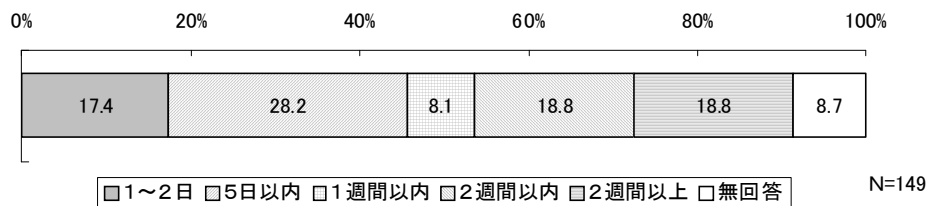
### <父親が仕事を休んだ日数>



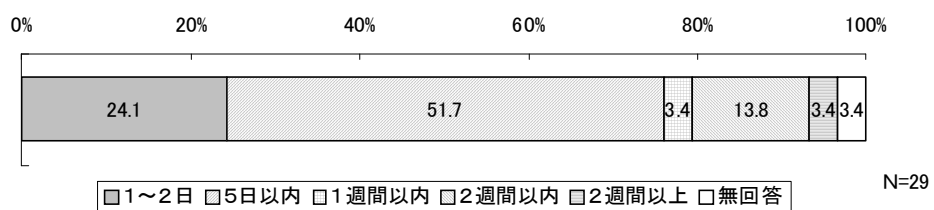
### <母親が仕事を休んだ日数>



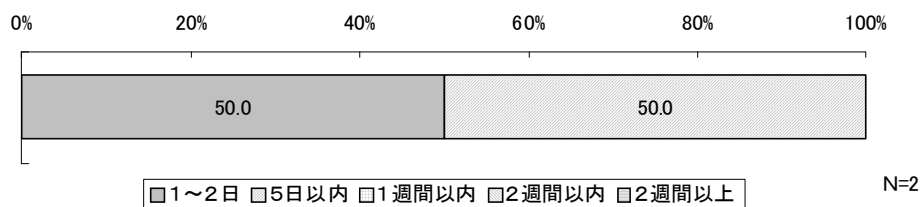
### <親族・知人に預けた（同居者を含む）日数>



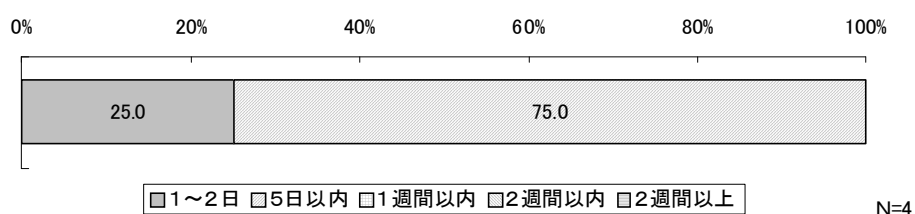
### <病児・病後児の保育サービスを利用（保育園含む）日数>



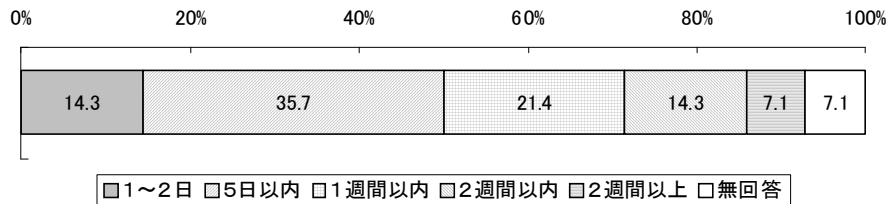
### <ファミリーサポートセンターにお願いした日数>



### <仕方なく子どもだけで休ませた日数>



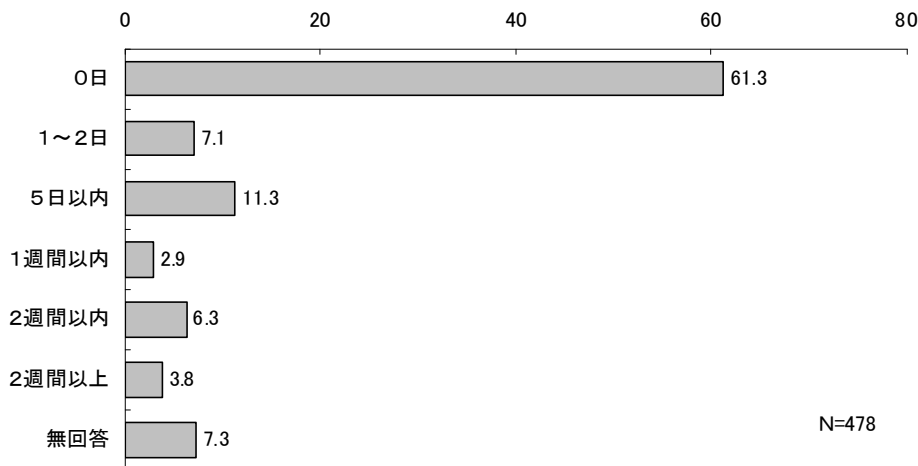
## <その他日数>



N=14

### [4]ー3 できれば施設に預けたいと思われた日数

できれば施設に預けたいと思われた日数について、「0日」と回答した人の割合が6割以上（61.3%）と最も高く、「5日以内」（11.3%）、「1～2日」（7.1%）の順になっている。

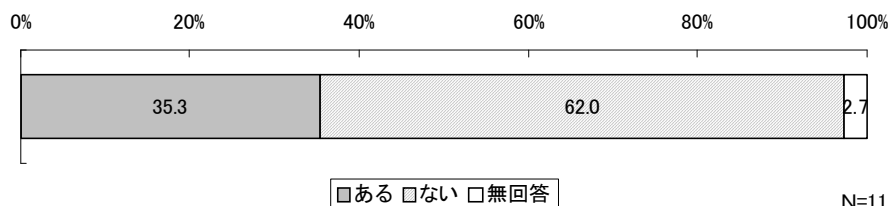


N=478

## 5. 子どもの一時預かりについて

### [5]ー1 子どもを家族以外に預けたことはありますか

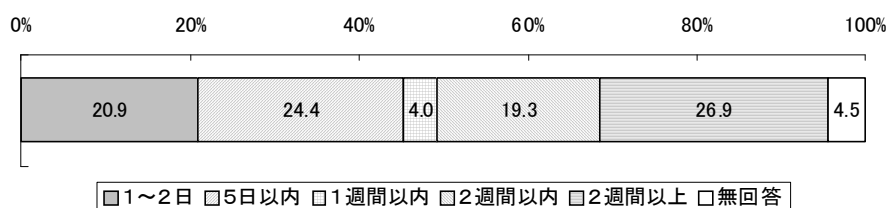
子どもを家族以外に預けたことについて、「ある」が35.3%、「ない」が62.0%となっている。



N=1127

### [5]ー2 子どもを家族以外に預けた日数

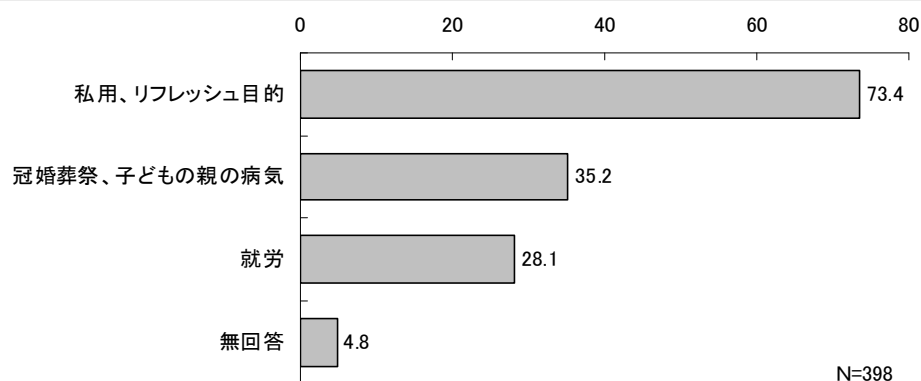
預けた日数について、「2週間以上」と回答した人の割合が26.9%と最も高く、次いで「5日以内」（24.4%）、「1～2日」（20.9%）の順になっている。



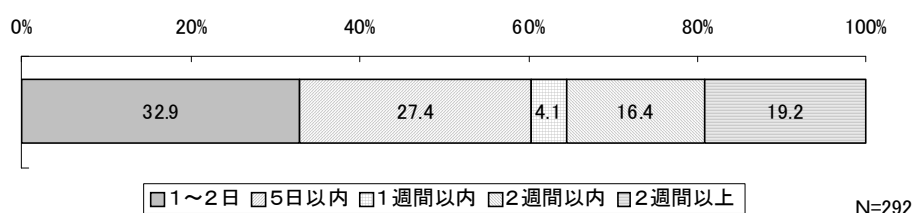
N=398

### [5]－3 理由別と預けた日数

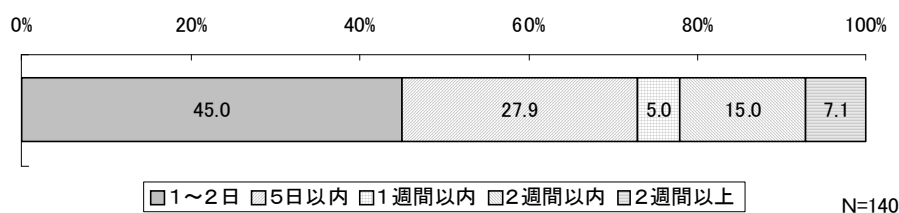
預けた理由について、「私用、リフレッシュ」と回答した人の割合が 73.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」(35.2%)、「就労」(28.1%)の順になっている。



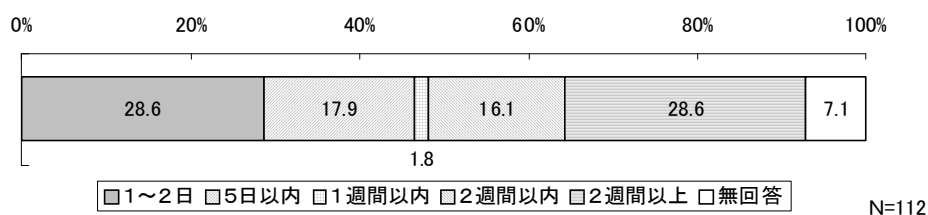
#### <私用、リフレッシュ目的 日数>



#### <冠婚葬祭、子どもの親の病気 日数>



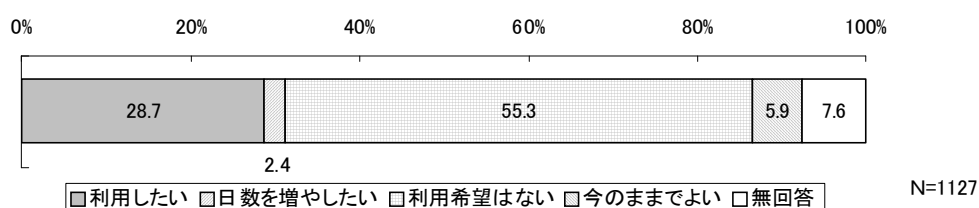
#### <就労 日数>



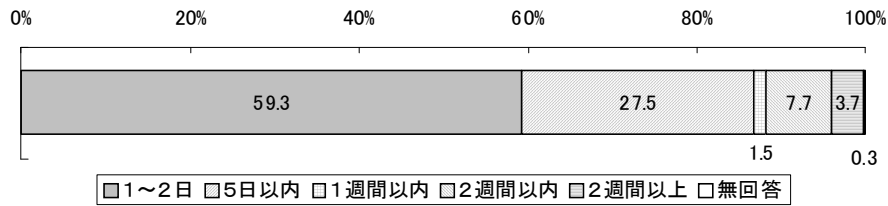
### [5]－4 新たな利用希望と利用希望日数

今は該当がないが、できれば一時預かりを利用したい、あるいは、利用されている方で、利用日数を増やしたいかについて、「利用したい」が 28.7%、「日数を増やしたい」が 2.4%、「利用希望はない」が 55.3%、「今のままでよい」が 5.9%となっている。

利用したい日数では、「1~2日」と回答した人の割合が 6割程度 (59.3%)、利用を増やしたい日数では「1~2日」「5日以内」(ともに 18.5%)と回答した人の割合が高くなっている。

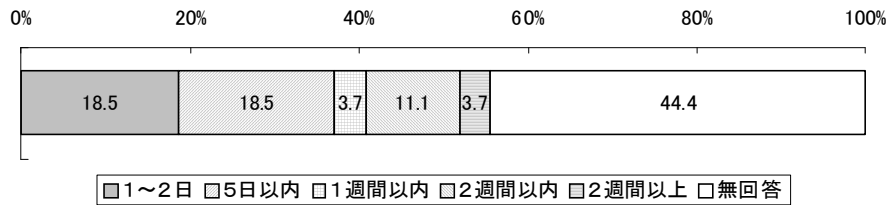


## <利用したい日数>



N=324

## <利用を増やしたい日数>



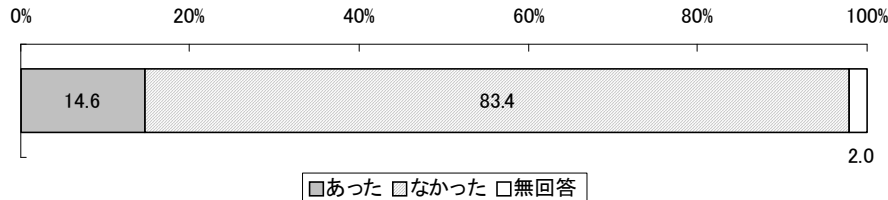
N=27

## 6. : 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて

### [6]ー1 泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありますか

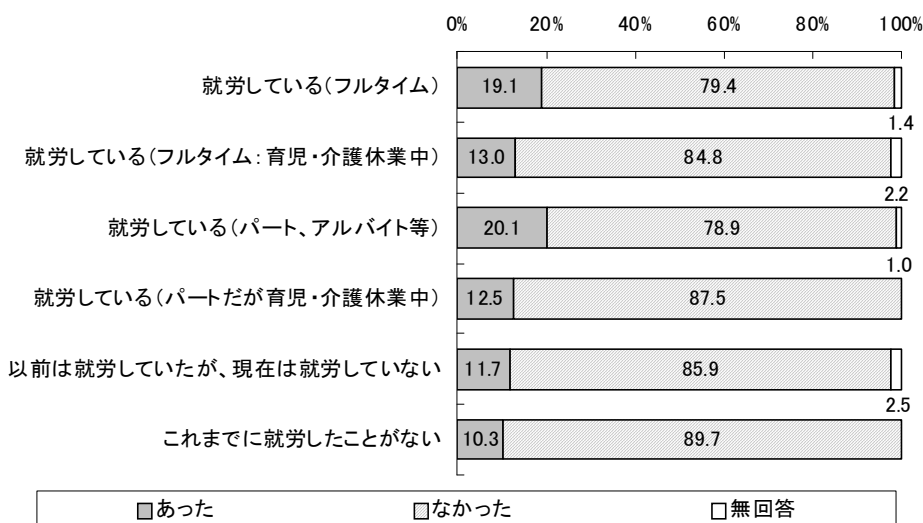
泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことについて、「あった」が 14.6%、「なかった」が 83.4%となっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中を含まない）・就労している（パートタイム、アルバイト等）では「あった」と回答した人の割合が2割程度と高くなっている。



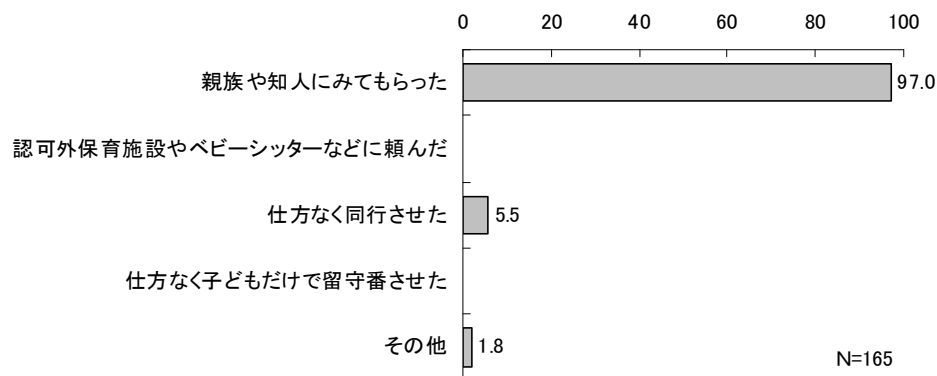
N=1127

## <母親の就労形態別>

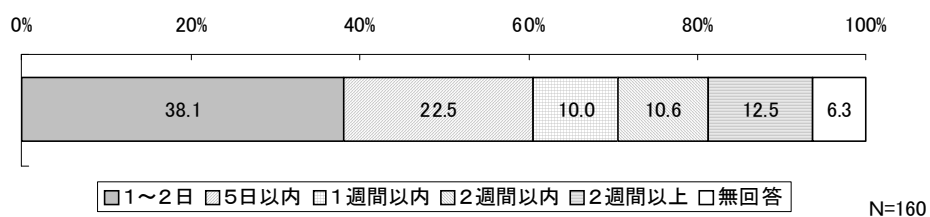


## [6]－2 この一年間の対応方法と日数

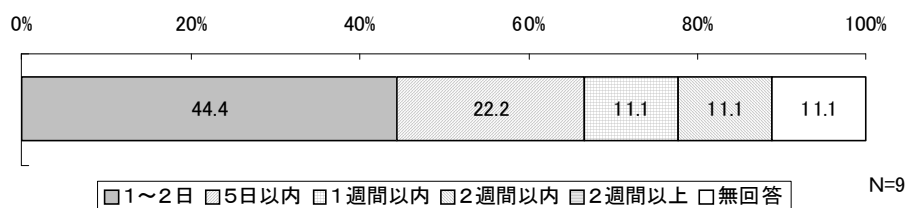
対応方法について、「親族や知人にみてもらった」と回答した人の割合が97.0%と最も高くなっている。



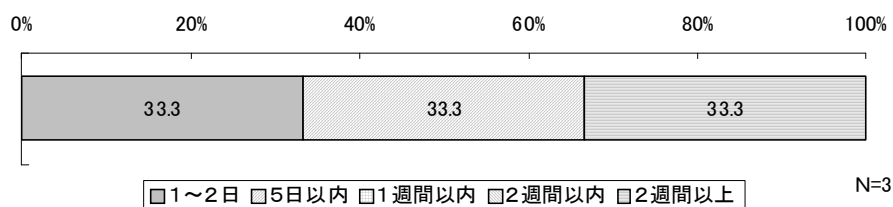
### <親族や知人にみてもらった日数>



### <仕方なく同行させた日数>

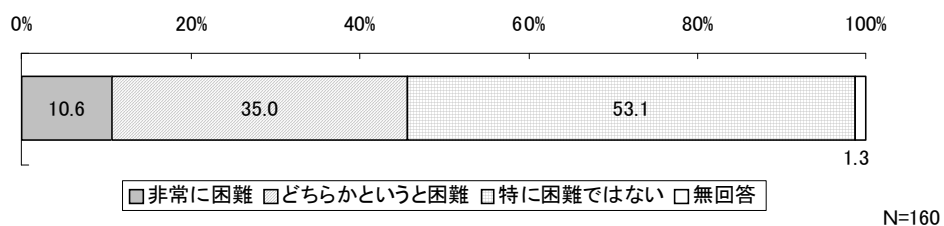


### <その他日数>



## [6]－3 親族・知人に預ける際の困難度はどの程度ですか

親族・知人に預ける際の困難度について、「非常に困難」と回答した人の割合が10.6%、「どちらかという困難」が35.0%、「特に困難ではない」が53.1%となっている。

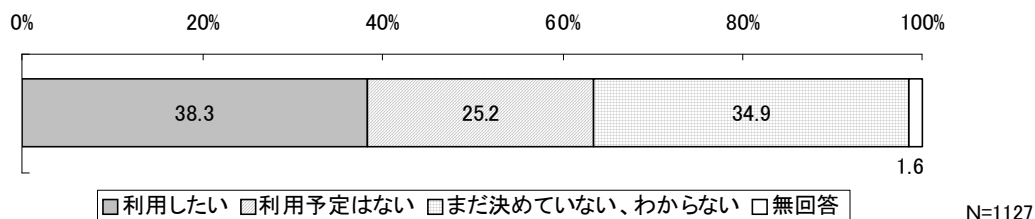


## 7. 放課後児童クラブの利用希望

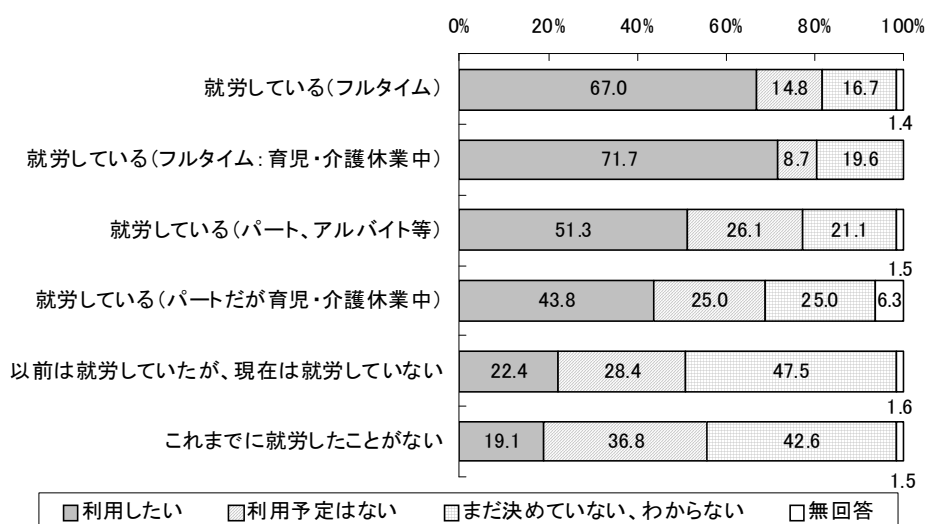
### [7]ー1 放課後児童クラブを利用したいと思いますか

放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」が38.3%、「利用予定はない」が25.2%、「まだ決めていない、わからない」が34.9%となっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業：介護休業中は含まない）・就労している（フルタイム：育児・介護休業中）では、「利用したい」と回答した人の割合が7割程度となっている。

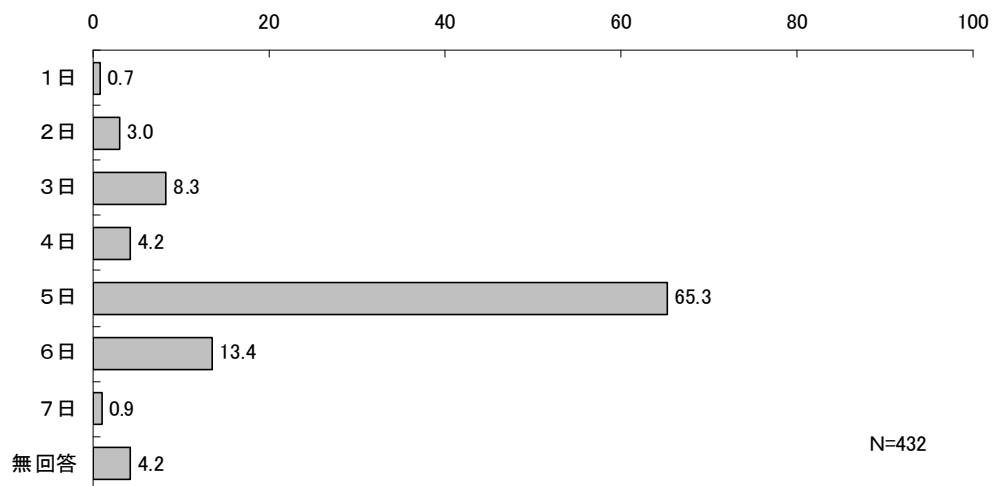


#### <母親の就労形態別>



### [7]ー2 放課後児童クラブの希望利用日数

放課後児童クラブの利用希望日数について、「5日」と回答した人の割合が7割程度（65.3%）と最も高くなっている。

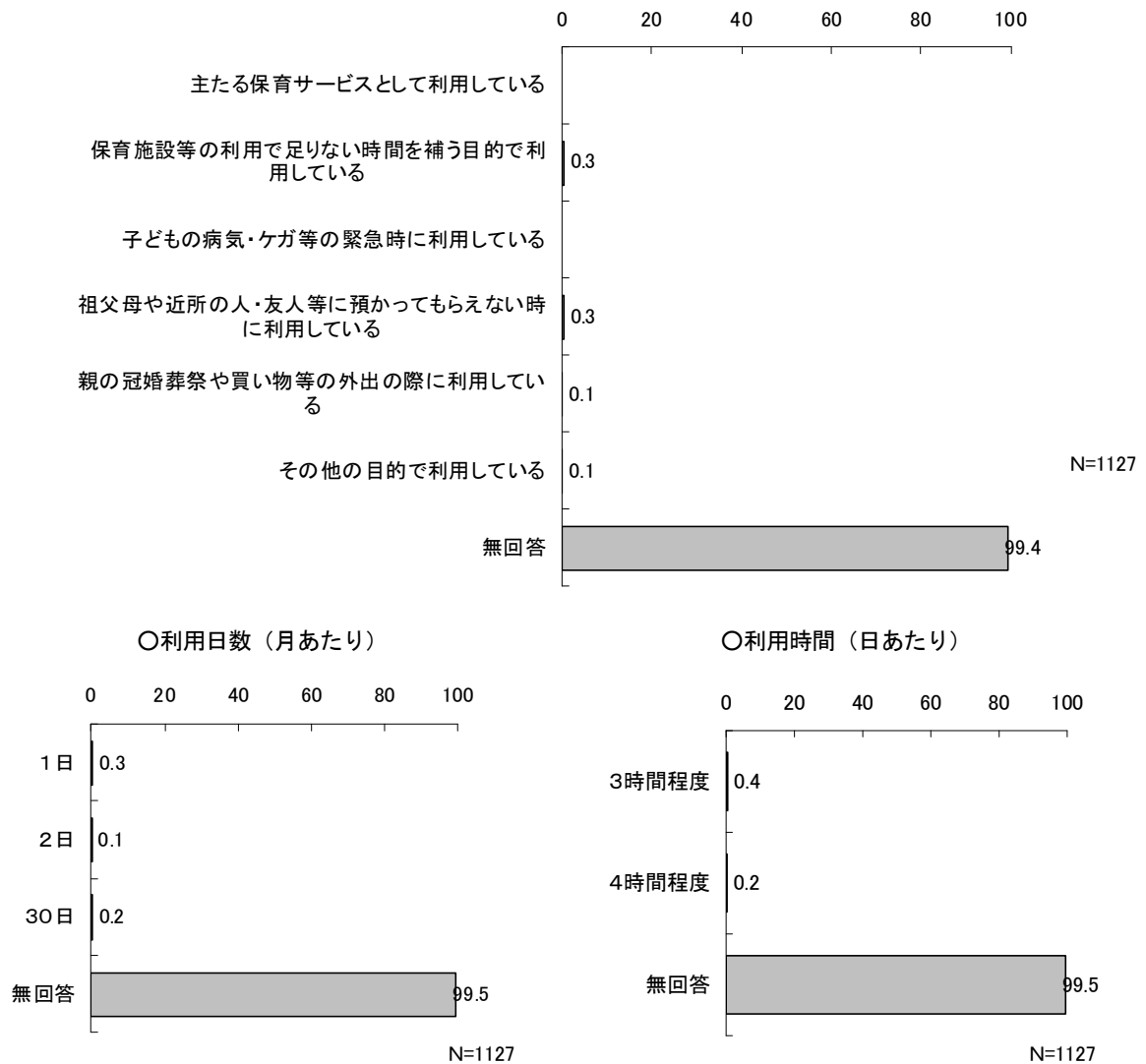




## 8. ベビーシッターの利用について

### [8]－1 ベビーシッターの利用

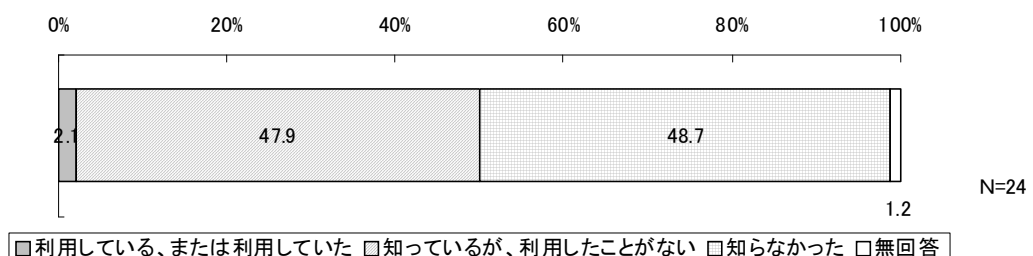
ベビーシッターの利用目的について、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」がともに0.3%となっている。また利用者については、すべての人が週1～3日の利用であり、1日あたりの利用時間は5時間以下となっている。



## 9. ファミリーサポートセンターの利用について

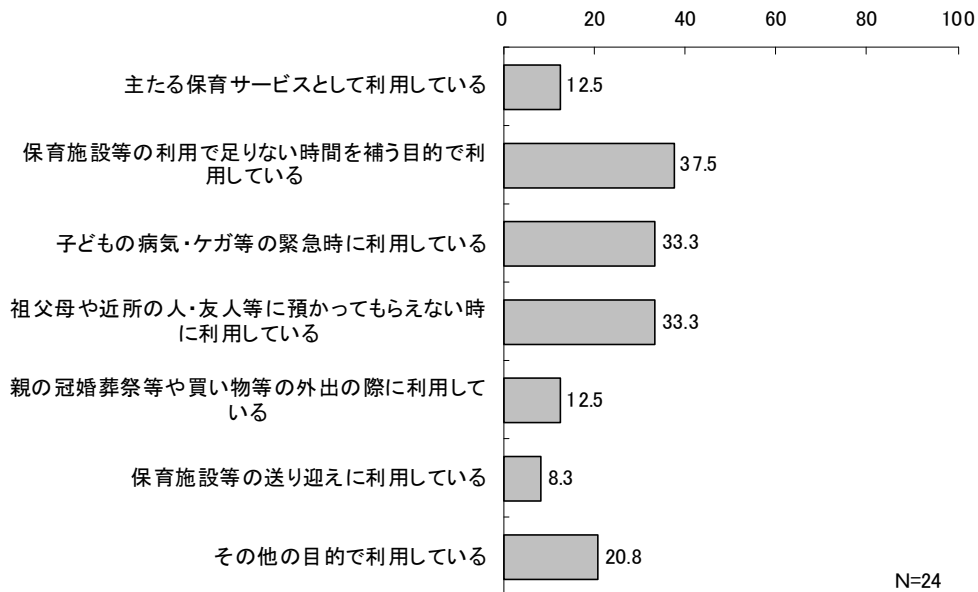
### [9]－1 ファミリーサポートセンターの利用有無

ファミリーサポートセンターの利用について、「利用している、または利用していた」と回答した人の割合が2.1%、「知っているが、利用したことがない」が47.9%、「知らなかった」が48.7%となっている。



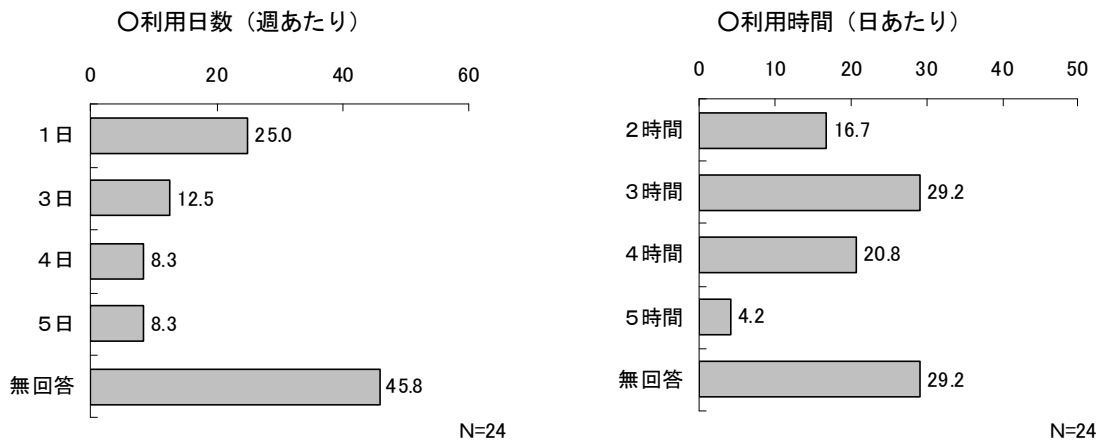
## [9]ー2 ファミリーサポートセンターの利用目的

ファミリーサポートセンターの利用目的について、「保育施設の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」と回答した人の割合が4割程度（37.5%）と最も高く、次いで「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」（ともに33.3%）の順になっている。



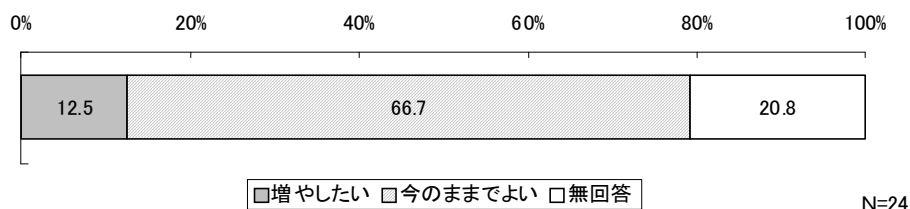
## [9]ー3 利用日数・回数

ファミリーサポートセンターの利用頻度について、「1日」と回答した人の割合が25.0%と最も高く、「3日」（12.5%）、「4日」「5日」（ともに8.3%）の順になっている。1回あたりの利用時間については、「3時間」と回答した人の割合が3割程度（29.2%）と最も高くなっている。

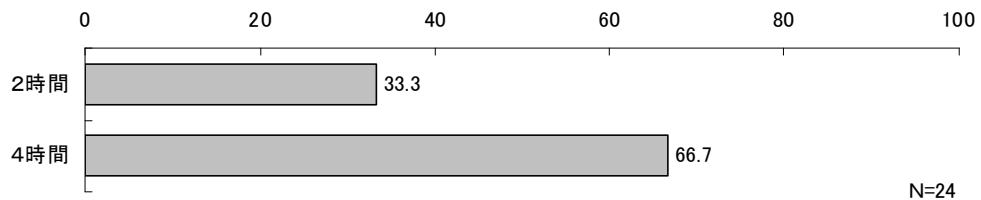


## [9]ー4 利用日数・回数の増加

利用者が利用日数を増やしたいかについて、「増やしたい」と回答した人の割合が12.5%、「今のままでよい」が66.7%となっている。また、増やしたい人については、月に「2時間」「4時間」増やしたいと回答している。

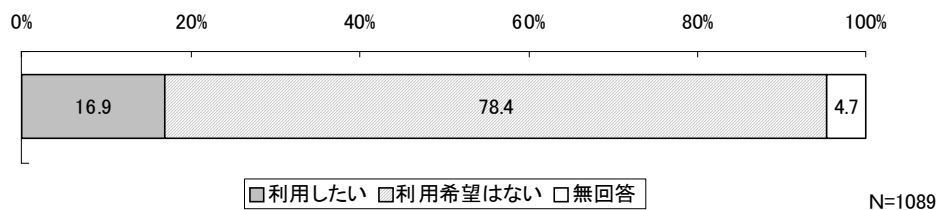


### <利用を増やしたい時間（月あたり）>

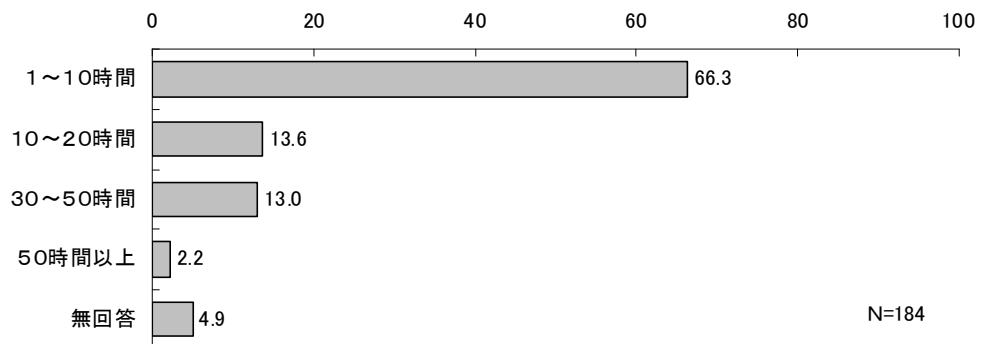


### [9]－5 今は利用していないが、できれば利用したいか

今は利用していないが、できれば利用したいかについて、「利用したい」と回答した人の割合が 16.9%、「利用希望はない」が 78.4%となっている。また、新たに利用したい人については、月に「1～10 時間」と回答した人の割合が 7 割程度（66.3%）となっている。



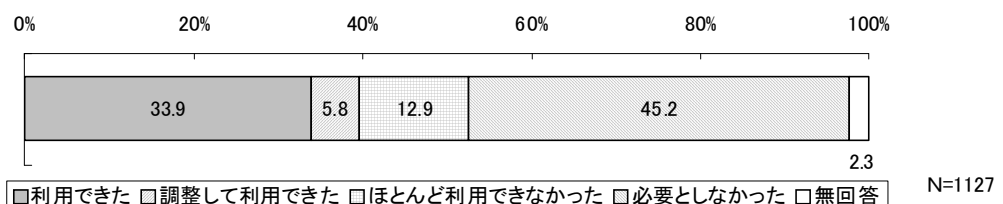
### <新たに利用したい時間>



## 10. すべての方におうかがいします

### [10]－1 必要な時期に希望した保育サービスを利用することができたか

今までに必要な時期に希望した保育サービスを利用することができたかについて、「利用できた」と回答した人の割合が 33.9%、「調整して利用できた」が 5.8%、「ほとんど利用できなかった」が 12.9%、「必要としなかった」が 45.2%となっている。

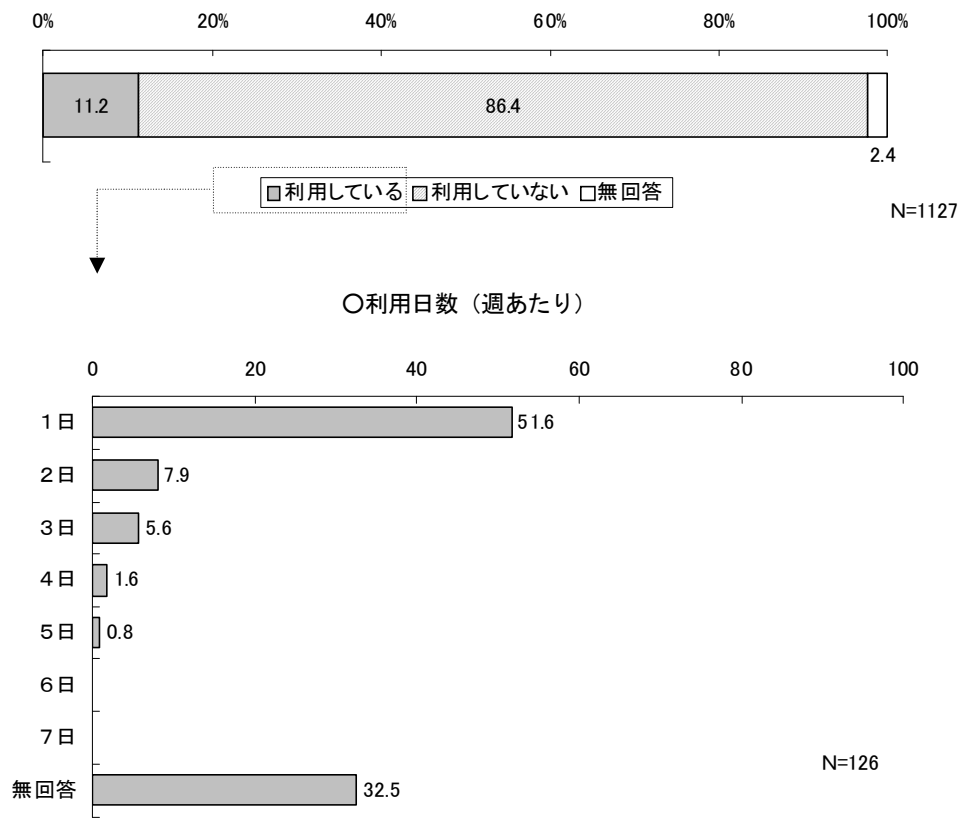


[10]ー2 地域子育て支援センターの利用有無と利用回数

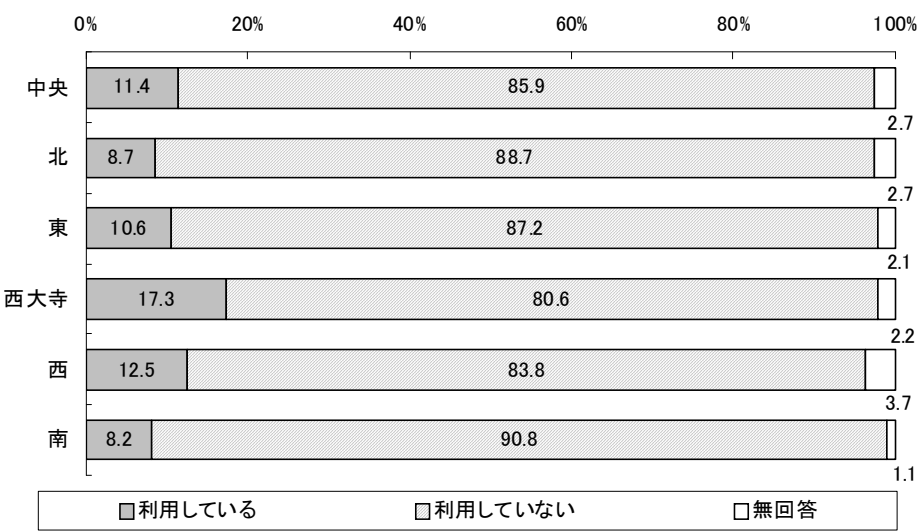
地域子育て支援センターの利用について、「利用している」と回答した人の割合が11.2%、「利用していない」が86.4%となっている。利用日数については、「1日」と回答した人の割合が5割以上（51.6%）となっている。

地区別にみると、西大寺では「利用している」と回答した人の割合が17.3%と高くなっている。

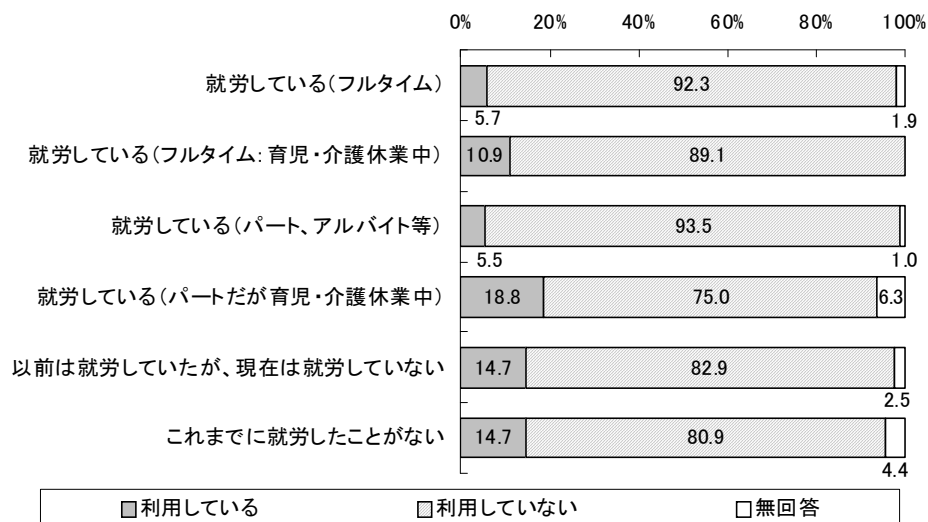
母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中を含まない）、就労している（パートタイム、アルバイト等）では「利用している」と回答した人の割合が5%程度と低くなっている。



<地区別>

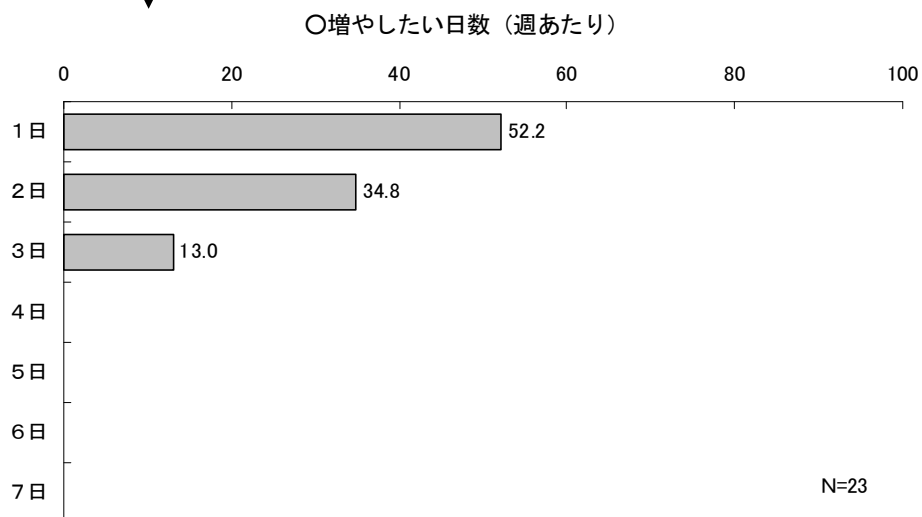
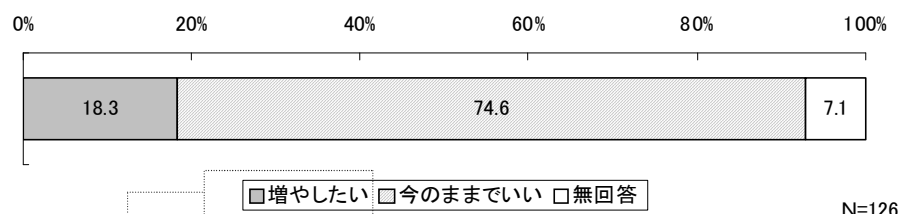


## <母親の就労形態別>



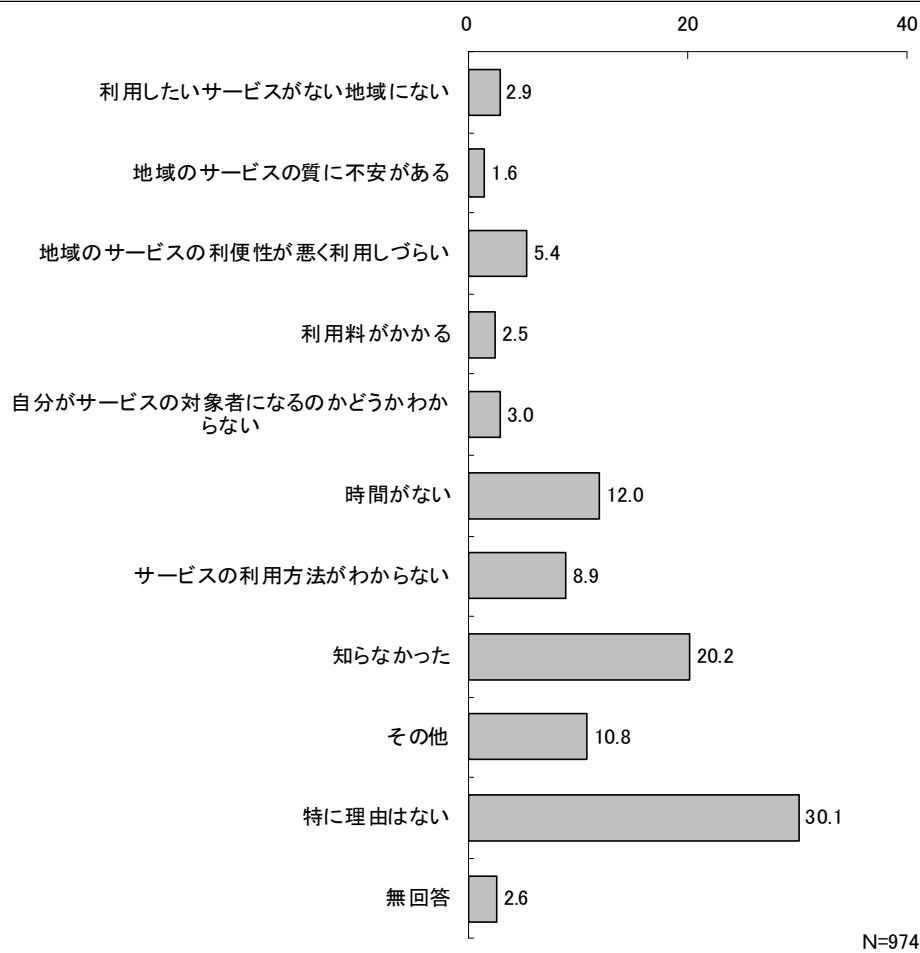
### [10]－3 地域子育て支援センターの利用を増やしたいか

地域子育て支援センターの利用を増やしたいかについて、「増やしたい」と回答した人の割合が 18.3%、「今のままでいい」が 74.6%となっている。増やしたい日数については、「1 日」と回答した人の割合が 5割以上 (52.2%) となっている。



[10]－4 地域子育て支援センターを利用していない理由

地域子育て支援センターを利用しない理由について、「特に理由はない」と回答した人の割合が 3 割程度（30.1%）と最も高く、次いで「知らなかった」（20.2%）、「時間がない」（12.0%）、「その他」（10.8%）の順になっている。



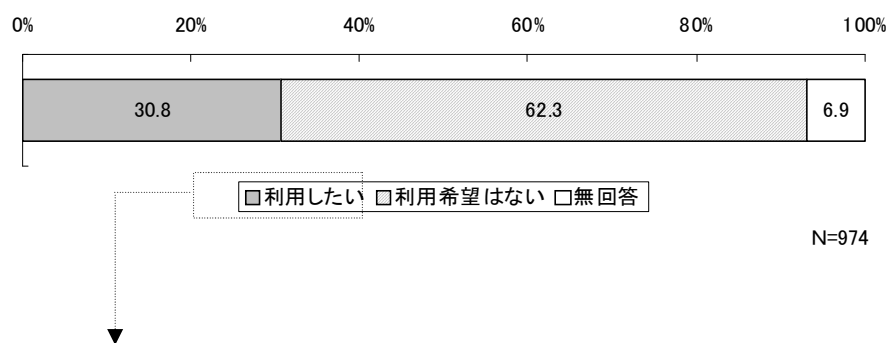
[10]－5 今は利用していないが、地域子育て支援センターを利用したいか

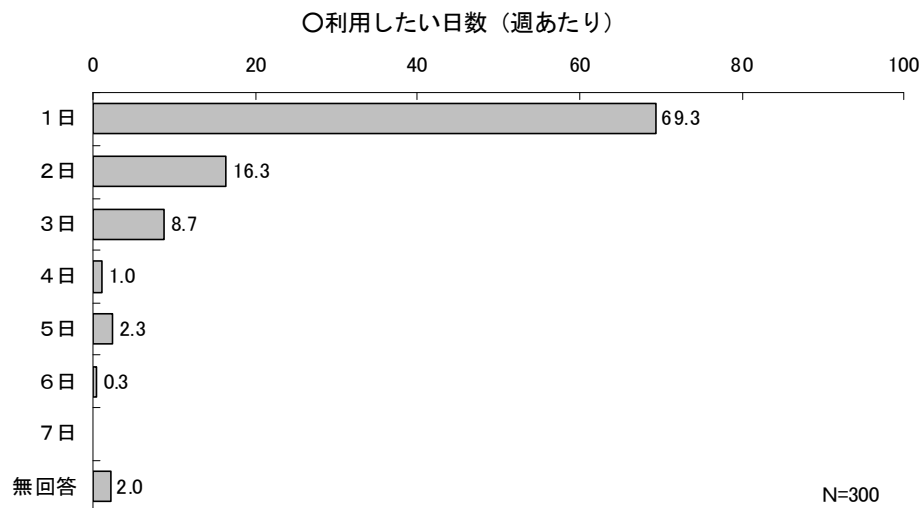
今は利用していないが、地域子育て支援センターを利用したいかについて、「利用したい」と回答した人の割合が 30.8%、「利用希望はない」が 62.3%となっている。

また、利用したい人の利用日数については「1 日」と回答した人の割合が 7 割程度（69.3%）となっている。

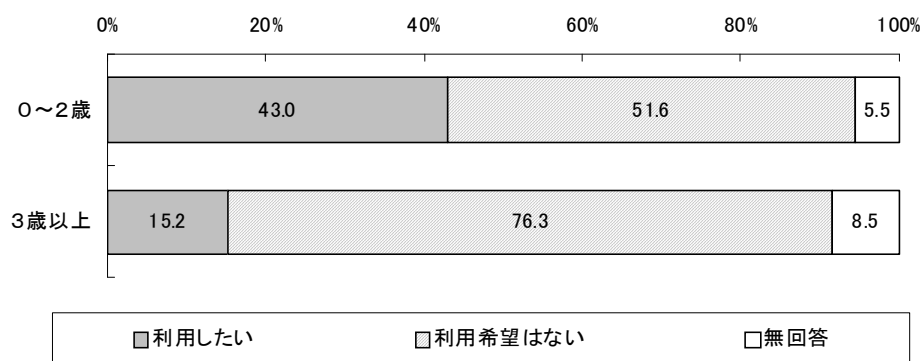
年齢別にみると、0～2 歳では「利用したい」と回答した人の割合は 43.0%であるのに対し、3 歳以上では 15.2%と低くなっている。

地区別にみると、西大寺では「利用したい」と回答した人の割合は 17.9%と低くなっている。

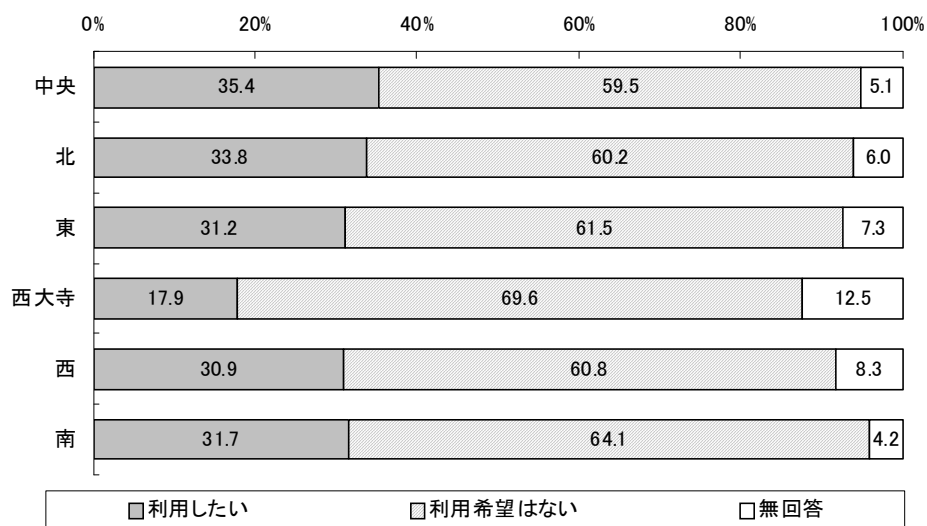




### <年齢別>



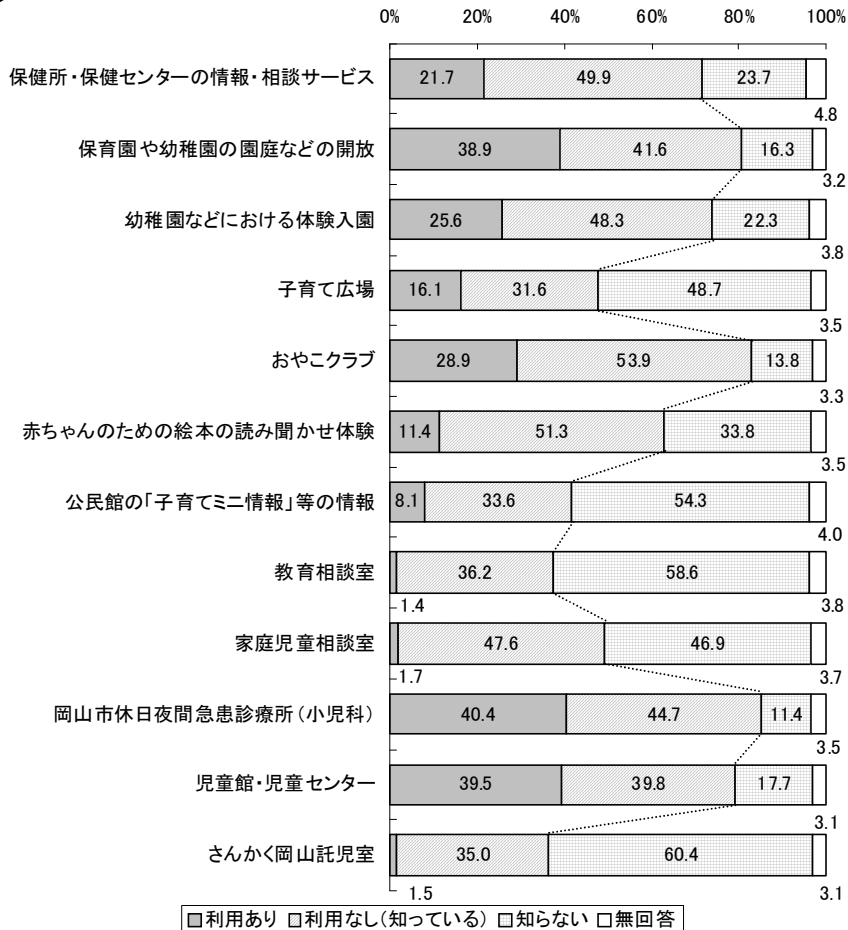
### <地区別>



## [10]－6 子育て支援サービスの認知度・利用度

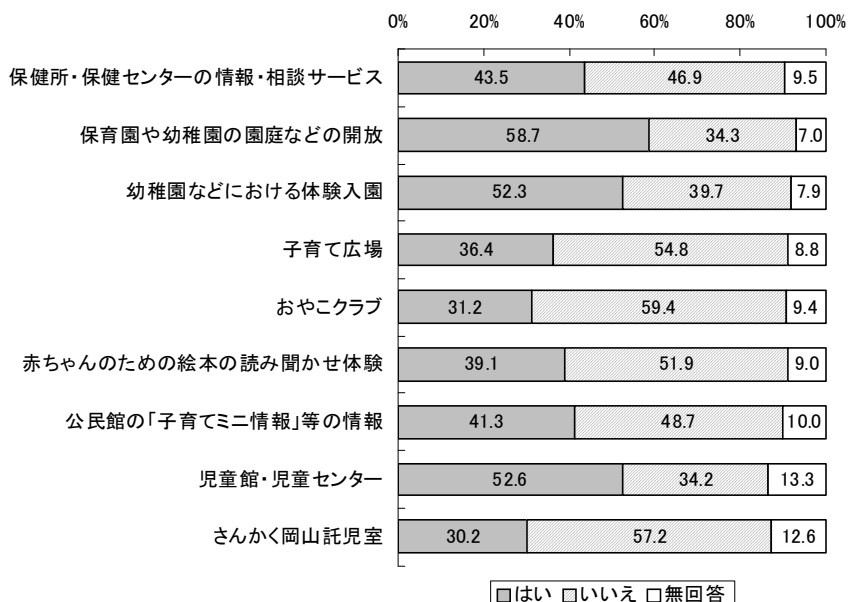
子育て支援サービスの利用度について、「岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」「児童館・児童センター」「保育園や幼稚園の園庭等の開放」では「利用あり」と回答した人の割合が4割程度と高くなっている。  
それに対して、「さんかく岡山託児室」「教育相談室」「公民館の「子育てミニ情報」等の情報」「子育て広場」「家庭児童相談室」では知らないと回答した人の割合が4割以上と高くなっている。

### <利用の有無>



### <今後の利用希望>

子育て支援サービスの利用希望について、今後利用したいかについては「保育園や幼稚園の園庭等の開放」「児童館・児童センター」「幼稚園等における体験入園」では「はい」と回答した人の割合が5割以上と高くなっている。

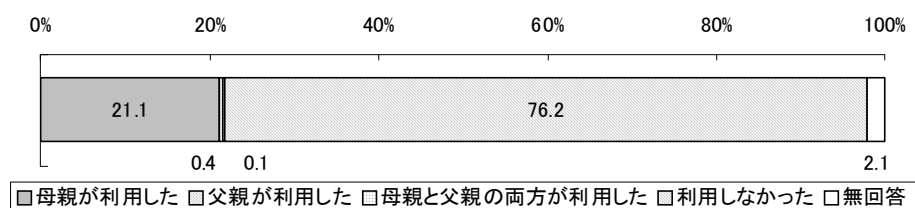




## 11. 育児休業制度の利用について

### [11]－1 父親または母親が育児休業制度を利用したか

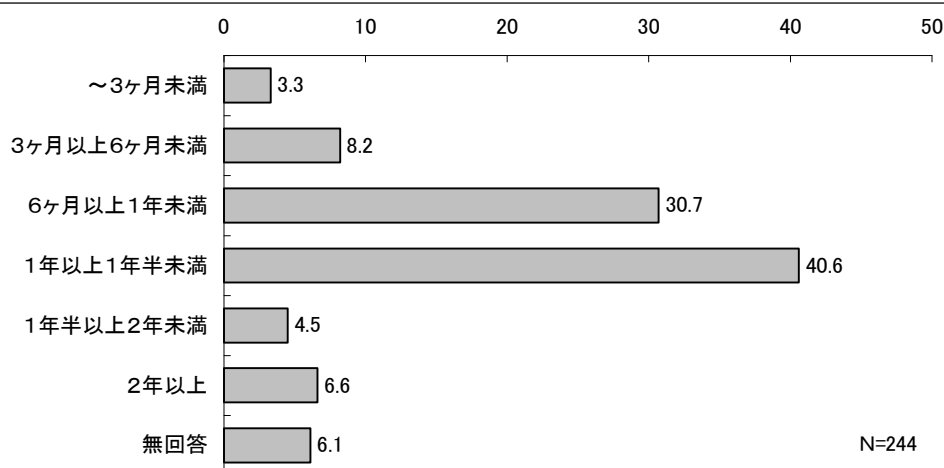
父親または母親が育児休業制度を利用したかについて、「母親が利用した」と回答した人の割合が 21.1%、「父親が利用した」が 0.4%、「母親と父親の両方が利用した」が 0.1%、「利用しなかった」が 76.2%となっている。



N=1127

### [11]－2 育児休業から復帰した時の子どもの月齢

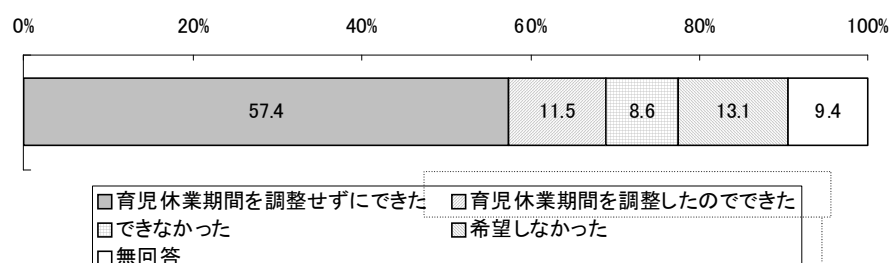
育児休業から復帰した時の子どもの月齢について、「1年以上1年半未満」と回答した人の割合が4割程度(40.6%)と最も高く、次いで「6ヶ月以上1年未満」(30.7%)の順になっている。



N=244

### [11]－3 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたか。

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについて、「育児休業期間を調整せずにできた」と回答した人の割合が6割程度(57.4%)と最も高く、次いで「希望しなかった」(13.1%)、「育児休業期間を調整したのでできた」(11.5%)、「できなかった」(8.6%)の順になっている。

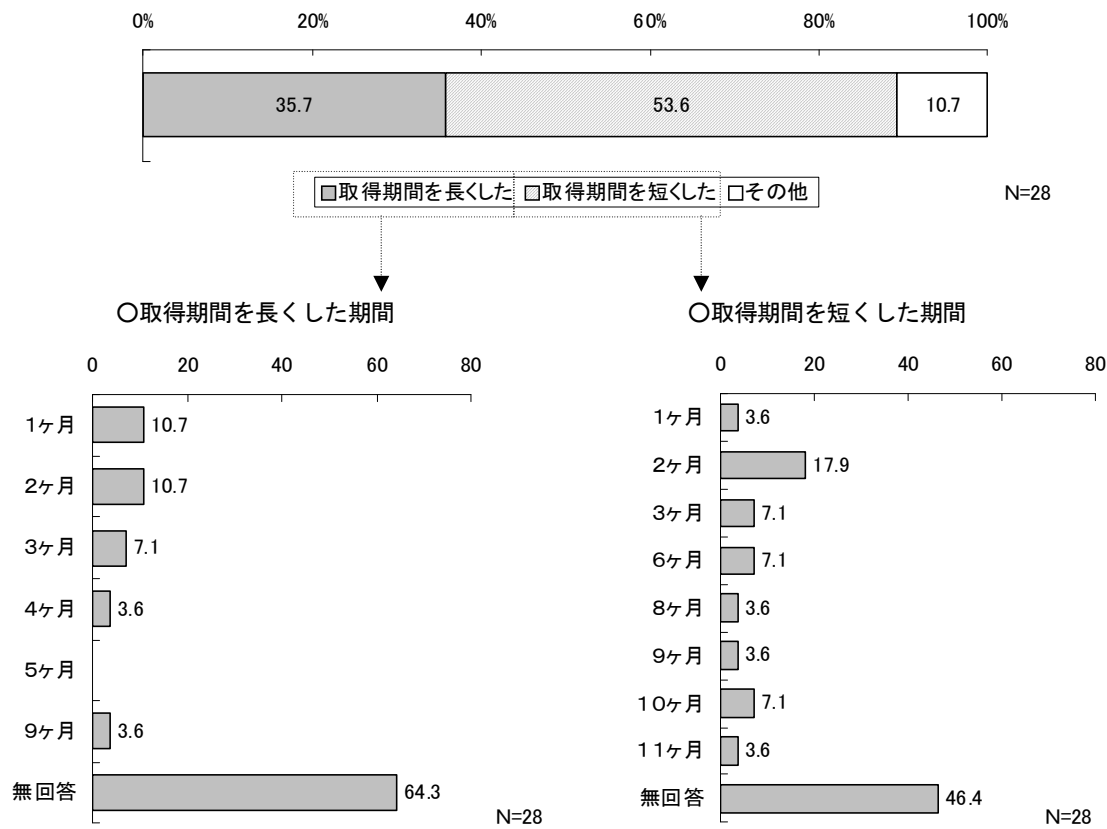


N=244

[11]－4 へ

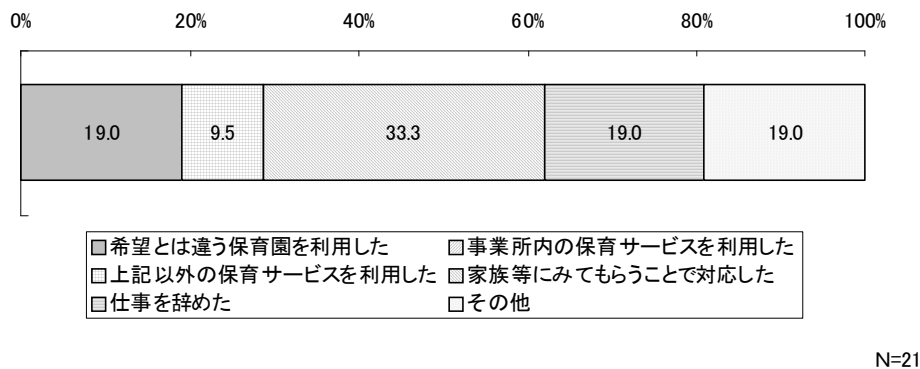
[11]ー4 どのように調整されたか

どのように調整されたかについて、「**取得**期間を長くした」と回答した人の割合が 35.7%、「取得期間を短くした」が 53.6%、「その他」が 10.7%となっている。  
取得期間を長くした期間については、「1 カ月」「2 ヶ月」と回答した人の割合が、それぞれ 1 割程度（ともに 10.7%）、取得期間を短くした期間については「2 ヶ月」が 2 割程度（17.9%）と最も高くなっている。



[11]ー5 希望する保育サービスが利用できなかった時、どのように対応したか

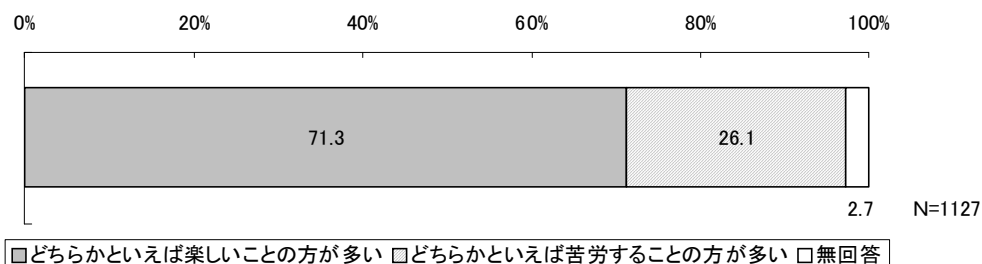
育児休業明けに、希望する保育サービスの対応について、「家族等にみてもらうことで対応した」と回答した人の割合が 3 割以上（33.3%）と最も高く、次いで「希望とは違う保育園を利用した」「仕事を辞めた」（ともに 19.0%）の順になっている。



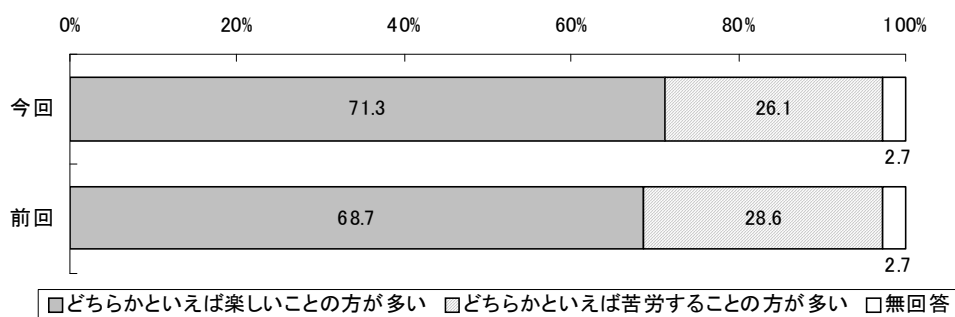
## 12. 家族すべてのお子さんについて

### [12]－1 子育ては楽しいか

子育ては楽しいかについて、「どちらかといえば楽しいことの方が多い」と回答した人の割合が 71.3%、「どちらかといえば苦勞することの方が多い」が 26.1%となっている。  
前回調査と比較すると、あまり違いはみられない。



#### <前回比較>



### [12]－2 子育てをしていて楽しいと思うとき・楽しくないと思うとき

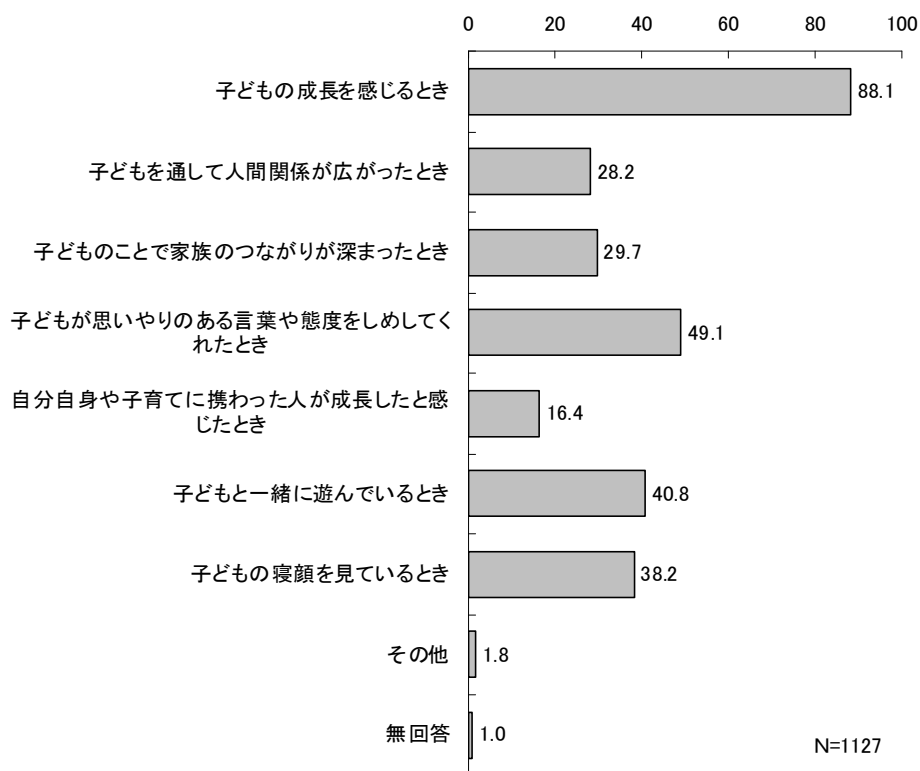
#### <楽しいと思うとき>

子育てをしていての楽しいと思うときについて、「子どもの成長を感じる時」と回答した人の割合が 9 割程度 (88.1%) と最も高く、次いで「子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき」(49.1%)、「子どもと一緒に遊んでいるとき」(40.8%) の順になっている。

前回調査と比較すると、「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき」と回答した人の割合が高くなっている。

年齢別にみると、3 歳以上では「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき」と回答した人の割合が高くなっている。

母親の就労形態別にみると、すべての就労形態において「子どもの成長を感じる時」と回答した人の割合が最も高くなっている。



#### <前回比較・年齢別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		子どもの成長を感じるとき (88.1)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (49.1)	子どもと一緒に遊んでいるとき (40.8)
前回調査		子どもの成長を感じるとき (86.9)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (54.6)	子どもの寝顔を見ているとき (47.0)
年齢別	0～2歳	子どもの成長を感じるとき (90.8)	子どもと一緒に遊んでいるとき (46.4)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (40.7)
	3歳以上	子どもの成長を感じるとき (84.2)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (61.1)	子どもの寝顔を見ているとき (35.9)
母親の就労別	就労（フルタイム）	子どもの成長を感じるとき (88.5)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (56.9)	子どもと一緒に遊んでいるとき (37.8)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	子どもの成長を感じるとき (89.1)	子どもと一緒に遊んでいるとき (56.5)	子どもの寝顔を見ているとき (37.0)
	就労（パート・アルバイト）	子どもの成長を感じるとき (89.4)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (55.3)	子どもの寝顔を見ているとき (42.7)
	就労（パート・アルバイト／育児・介護休業中）	子どもの成長を感じるとき (81.3)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (56.3)	子どもと一緒に遊んでいるとき (37.5)
	以前は就労／現在は就労せず	子どもの成長を感じるとき (87.8)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (44.7)	子どもと一緒に遊んでいるとき (43.6)
	これまで就労したことがない	子どもの成長を感じるとき (86.8)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (54.4)	子どもの寝顔を見ているとき (41.2)

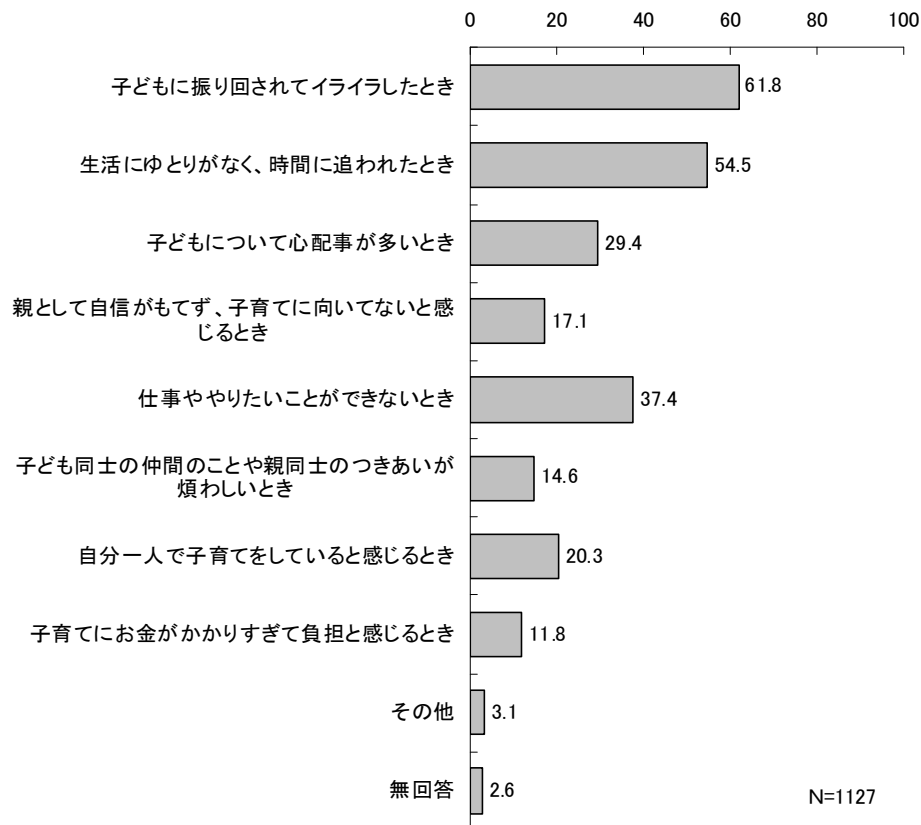
## <楽しくないと思うとき>

子育てをしているの楽しくないと思うときについて、「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した人の割合が6割以上(61.8%)と最も高く、次いで「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」(54.5%)、「仕事ややりたいことができないとき」(37.4%)の順になっている。

前回調査と比較すると、「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した人の割合は低くなっている。

年齢別にみると、0～2歳では「仕事ややりたいことができないとき」と回答した人の割合が高くなっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中を含まない）では「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」と回答した人の割合が7割以上と高くなっている。



## <前回比較・年齢別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		子どもに振り回されてイライラしたとき (61.8)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (54.5)	仕事ややりたいことができないとき (37.4)
前回調査		子どもに振り回されてイライラしたとき (68.6)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (54.8)	仕事ややりたいことができないとき (37.8)
年齢別	0～2歳	子どもに振り回されてイライラしたとき (62.3)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (55.0)	仕事ややりたいことができないとき (43.3)
	3歳以上	子どもに振り回されてイライラしたとき (60.7)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (53.4)	子どもについて心配事が多いとき (34.0)
母親の就労別	就労（フルタイム）	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (73.7)	子どもに振り回されてイライラしたとき (57.9)	仕事ややりたいことができないとき (37.3)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	子どもに振り回されてイライラしたとき (58.7)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (56.5)	仕事ややりたいことができないとき (41.3)
	就労（パート・アルバイト）	子どもに振り回されてイライラしたとき (60.8)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (53.8)	仕事ややりたいことができないとき (36.2)
	就労（パート・アルバイト／育児・介護休業中）	子どもに振り回されてイライラしたとき (62.5)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (50.0)	子どもについて心配事が多いとき (43.8)
	以前は就労／現在は就労せず	子どもに振り回されてイライラしたとき (63.8)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (47.3)	仕事ややりたいことができないとき (37.1)
	これまで就労したことがない	子どもに振り回されてイライラしたとき (61.8)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (54.4)	仕事ややりたいことができないとき (39.7)

### [12]－3 子育てに関する情報の入手方法

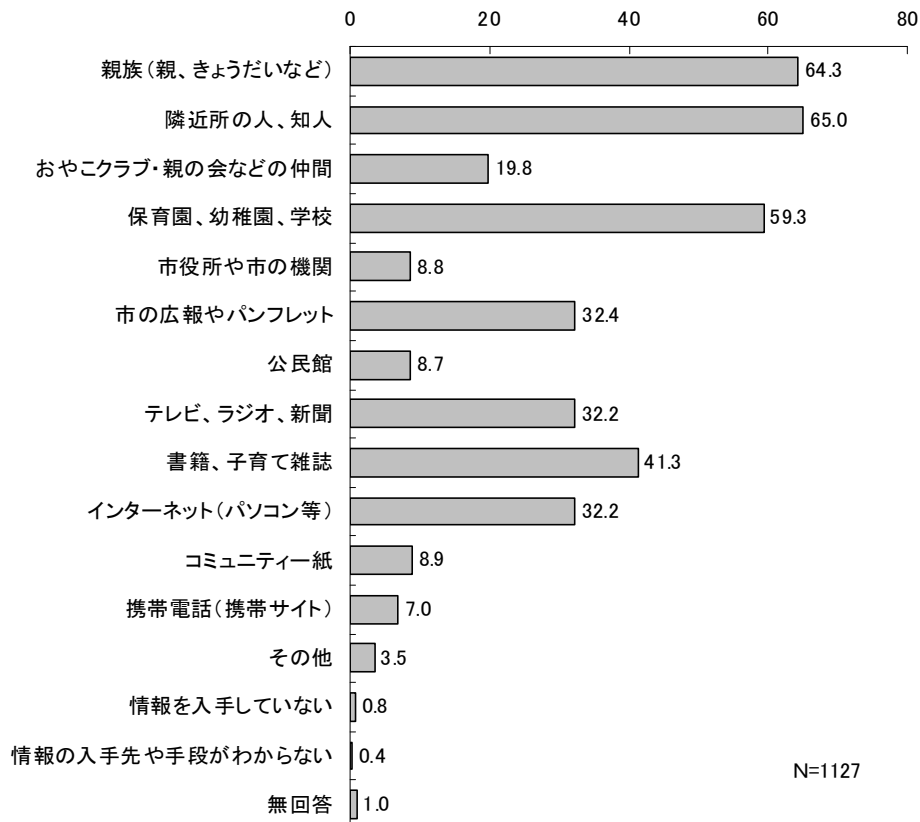
子育てに関する情報の入手方法について「隣近所の人、知人」と回答した人の割合が65.0%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」（64.3%）、「保育園、幼稚園、学校」（59.3%）の順になっている。

前回調査と比較すると、「隣近所の人、知人」と回答した人の割合は減少し、「保育園、幼稚園、学校」と回答した人の割合が高くなっている。

年齢別にみると、0～2歳では「親族（親、きょうだいなど）」、3歳以上では「保育園、幼稚園、学校」と回答した人の割合が最も高くなっている。

地区別にみると、北では「親族（親、きょうだいなど）」と回答した人の割合が7割以上と高くなっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）・就労している（パートタイム・アルバイト等）では「保育園、幼稚園、学校」と回答した人の割合が最も高くなっている。



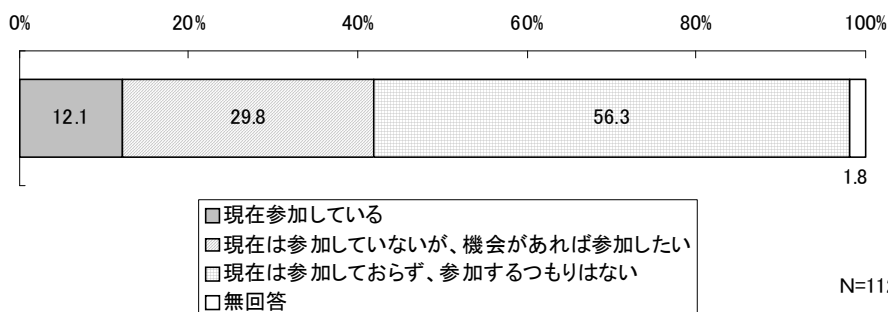
＜前回比較・年齢別・地区別・母親の就労形態別＞

		第1位	第2位	第3位
今回調査		隣近所の人、知人 (65.0)	親族(親、きょうだいなど) (64.3)	保育園、幼稚園、学校 (59.3)
前回調査		隣近所の人、知人 (75.9)	親族(親、きょうだいなど) (66.0)	保育園、幼稚園、学校 (47.6)
年齢別	0～2歳	親族(親、きょうだいなど) (65.7)	隣近所の人、知人 (63.6)	書籍・子育て雑誌 (45.5)
	3歳以上	保育園、幼稚園、学校 (83.8)	隣近所の人、知人 (67.1)	親族(親、きょうだいなど) (62.2)
地区別	中央	親族(親、きょうだいなど) (61.4)	隣近所の人、知人 (60.9)	保育園、幼稚園、学校 (53.3)
	北	親族(親、きょうだいなど) (71.3)	隣近所の人、知人 (69.3)	保育園、幼稚園、学校 (68.0)
	東	隣近所の人、知人 (64.7)	親族(親、きょうだいなど) (64.3)	保育園、幼稚園、学校 (60.4)
	西大寺	隣近所の人、知人 (69.1)	保育園、幼稚園、学校 (68.3)	親族(親、きょうだいなど) (66.9)
	西	親族(親、きょうだいなど) (61.6)	隣近所の人、知人 (60.6)	保育園、幼稚園、学校 (53.7)
	南	隣近所の人、知人 (67.4)	親族(親、きょうだいなど) (62.0)	保育園、幼稚園、学校 (59.2)
母親の就労別	就労(フルタイム)	保育園、幼稚園、学校 (80.4)	親族(親、きょうだいなど) (65.1)	隣近所の人、知人 (58.9)
	就労(フルタイム：育児・介護休業中)	隣近所の人、知人 (65.2)	親族(親、きょうだいなど) (63.0)	書籍・子育て雑誌 (47.8)
	就労(パート・アルバイト)	保育園、幼稚園、学校 (78.4)	親族(親、きょうだいなど)／隣近所の人、知人 (66.3)	
	就労(パート・アルバイト／育児・介護休業中)	親族(親、きょうだいなど) (62.5)	保育園、幼稚園、学校 (56.3)	隣近所の人、知人 (50.0)
	以前は就労／現在は就労せず	隣近所の人、知人 (66.1)	親族(親、きょうだいなど) (64.5)	書籍・子育て雑誌 (48.1)
	これまで就労したことがない	隣近所の人、知人 (79.4)	保育園、幼稚園、学校 (58.8)	親族(親、きょうだいなど) (52.9)

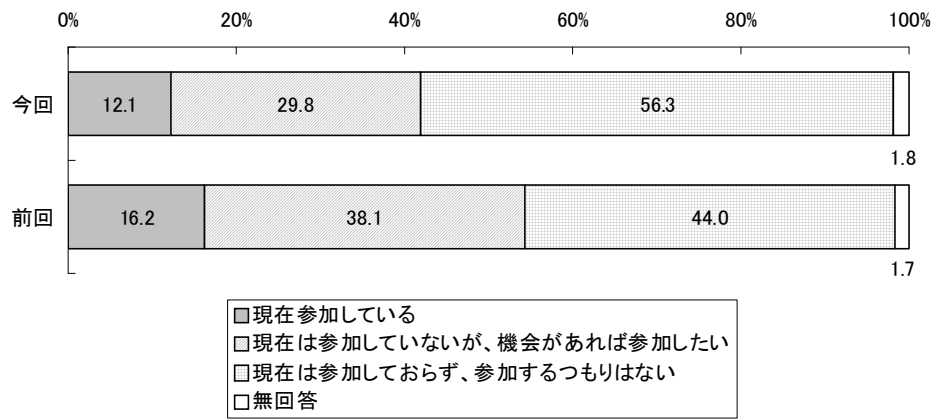
[12]ー4 子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加しているか

子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加しているかについて、「現在参加している」と回答した人の割合が12.1%、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が29.8%、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が56.3%となっている。

前回調査と比較すると、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した人の割合が減少し、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と回答した人の割合が高くなっている。

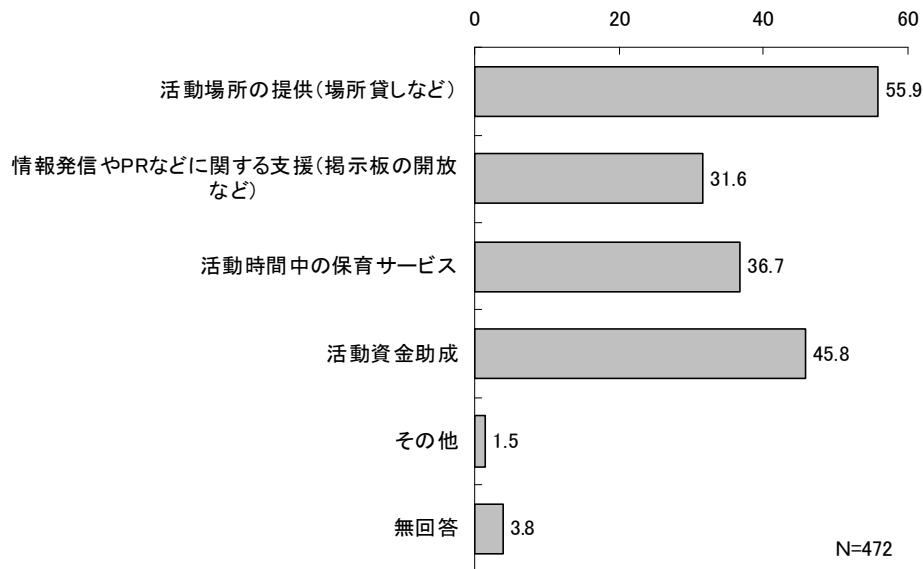


## <前回比較>



## [12]ー5 自主的な活動をしていくにあたって行政に行って欲しい支援

自主的な活動をしていくにあたって行政に行って欲しい支援について、「活動場所の提供(場所貸しなど)」と回答した人の割合が5割以上(55.9%)と最も高く、次いで「活動資金助成」(45.8%)、「活動時間中の保育サービス」(36.7%)の順になっている。





## [12]－6 家の近くの子どもの遊び場について、日頃不満に感じていること

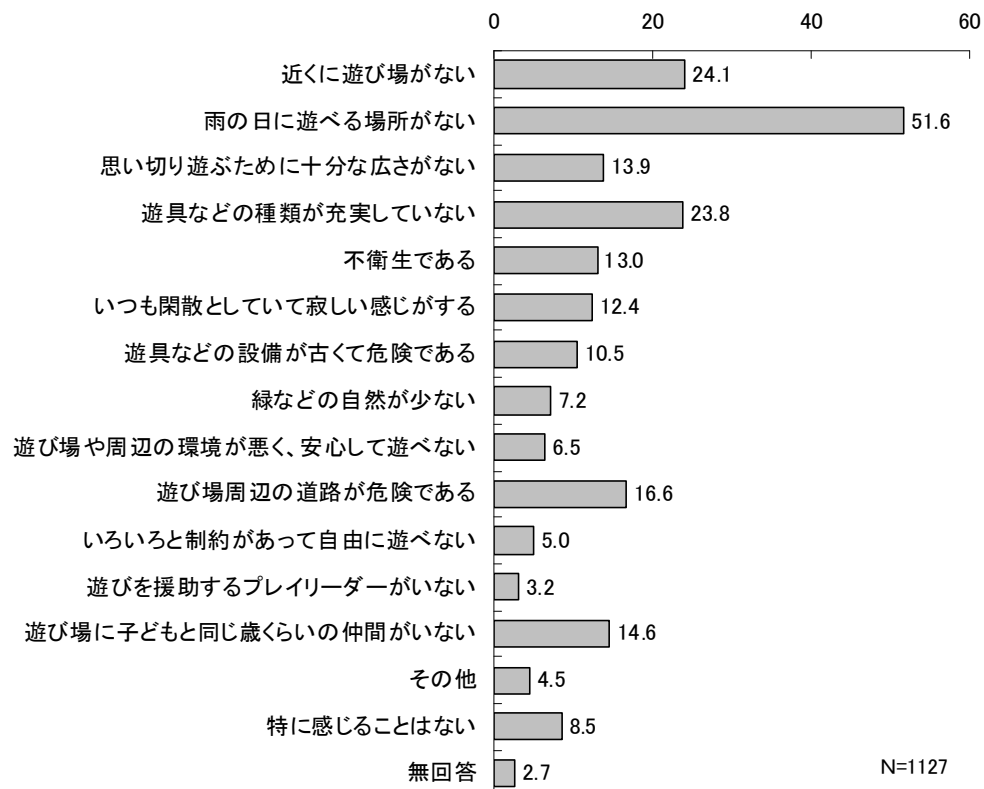
家の近くの子どもの遊び場に対する不満について、「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合が5割以上(51.6%)と最も高く、次いで「近くに遊び場がない」(24.1%)、「遊具などの種類が充実していない」(23.8%)の順になっている。

前回調査と比較すると、前回調査では「遊び場周辺の道路が危険である」と回答した人の割合が2番目に高く、今回調査では「近くに遊び場がない」と回答した人の割合が2番目に高くなっている。

年齢別にみると、0～2歳では「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合がやや高くなっている。

地区別にみると、中央では「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合が6割以上と高くなっている。

母親の就労形態別にみると、就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中を含まない）・これまでに就労したことがないでは「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合が5割未満と低くなっている。



<前回比較・年齢別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		雨の日に遊べる場所がない (51.6)	近くに遊び場がない (24.1)	遊具などの種類が充実していない (23.8)
前回調査		雨の日に遊べる場所がない (57.1)	遊び場周辺の道路が危険である (28.1)	遊具などの種類が充実していない (23.8)
年齢別	0～2歳	雨の日に遊べる場所がない (53.4)	遊具などの種類が充実していない (25.9)	近くに遊び場がない (25.6)
	3歳以上	雨の日に遊べる場所がない (48.9)	近くに遊び場がない (22.4)	遊具などの種類が充実していない (20.9)
地区別	中央	雨の日に遊べる場所がない (60.9)	遊具などの種類が充実していない (26.1)	近くに遊び場がない (19.0)
	北	雨の日に遊べる場所がない (49.3)	近くに遊び場がない (30.0)	遊具などの種類が充実していない (21.3)
	東	雨の日に遊べる場所がない (53.6)	近くに遊び場がない (28.1)	遊具などの種類が充実していない (23.4)
	西大寺	雨の日に遊べる場所がない (55.4)	遊具などの種類が充実していない (25.9)	近くに遊び場がない (23.7)
	西	雨の日に遊べる場所がない (46.8)	近くに遊び場がない (28.2)	遊具などの種類が充実していない (26.9)
	南	雨の日に遊べる場所がない (44.6)	遊び場周辺の道路が危険である (21.2)	遊具などの種類が充実していない (19.6)
母親の就労別	就労（フルタイム）	雨の日に遊べる場所がない (46.4)	近くに遊び場がない (26.3)	遊具などの種類が充実していない (24.4)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	雨の日に遊べる場所がない (37.0)	近くに遊び場がない (30.4)	遊具などの種類が充実していない (23.9)
	就労（パート・アルバイト）	雨の日に遊べる場所がない (53.8)	遊具などの種類が充実していない (25.6)	近くに遊び場がない (23.1)
	就労（パート・アルバイト／育児・介護休業中）	雨の日に遊べる場所がない (62.5)	遊び場周辺の道路が危険である (31.3)	近くに遊び場がない (18.8)
	以前は就労／現在は就労せず	雨の日に遊べる場所がない (53.9)	近くに遊び場がない (23.5)	遊具などの種類が充実していない (23.3)
	これまで就労したことがない	雨の日に遊べる場所がない (45.6)	遊具などの種類が充実していない (27.9)	遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの仲間がいない (23.5)

## [12]ー7 子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

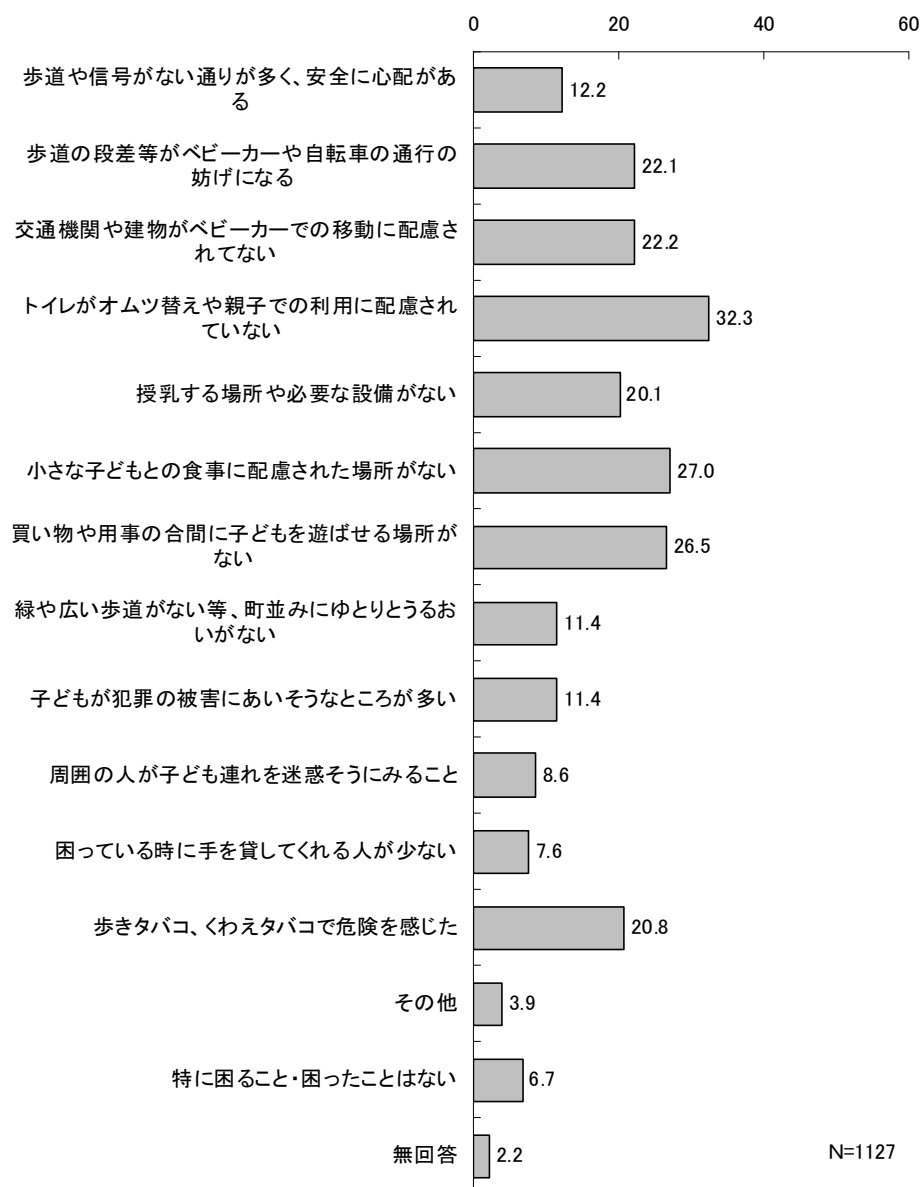
子どもとの外出の際、困ること・困ったことについて「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」と回答した人の割合が3割以上（32.3%）と最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」（27.0%）、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」（26.5%）の順になっている。

前回調査と比較すると、ともに「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が上位となっている。

年齢別にみると、0～2歳では「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」、3歳以上では「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」と回答した人の割合が最も高くなっている。

地域別にみると、北では「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」と回答した人の割合が最も高くなっている。

母親の就労形態別にみると、すべての就労形態において「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」と回答した人の割合が1番目または2番目に高くなっている。



<前回比較・年齢別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (32.3)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (27.0)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (26.5)
前回調査		トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (33.2)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (32.1)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (30.1)
年齢別	0～2歳	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (42.6)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (33.5)	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと (27.7)
	3歳以上	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (31.0)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (26.5)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (17.9)
地区別	中央	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (32.1)	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと (31.0)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (29.3)
	北	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (28.7)	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (28.0)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (26.0)
	東	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (33.2)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (29.4)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (25.5)
	西大寺	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (34.5)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (27.3)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (25.9)
	西	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (31.5)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (29.2)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (26.9)
	南	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (34.8)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (26.6)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (25.5)
母親の就労別	就労（フルタイム）	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (32.1)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (29.7)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (27.3)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	授乳する場所や必要な設備がないこと (52.2)	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと／小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (41.3)	
	就労（パート・アルバイト）	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (29.6)	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (28.1)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (27.1)
	就労（パート・アルバイト／育児・介護休業中）	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (37.5)	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと／トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと／買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (31.3)	
	以前は就労／現在は就労せず	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (33.6)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (27.6)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (26.1)
	これまで就労したことがない	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと (27.9)	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと (26.5)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (25.0)

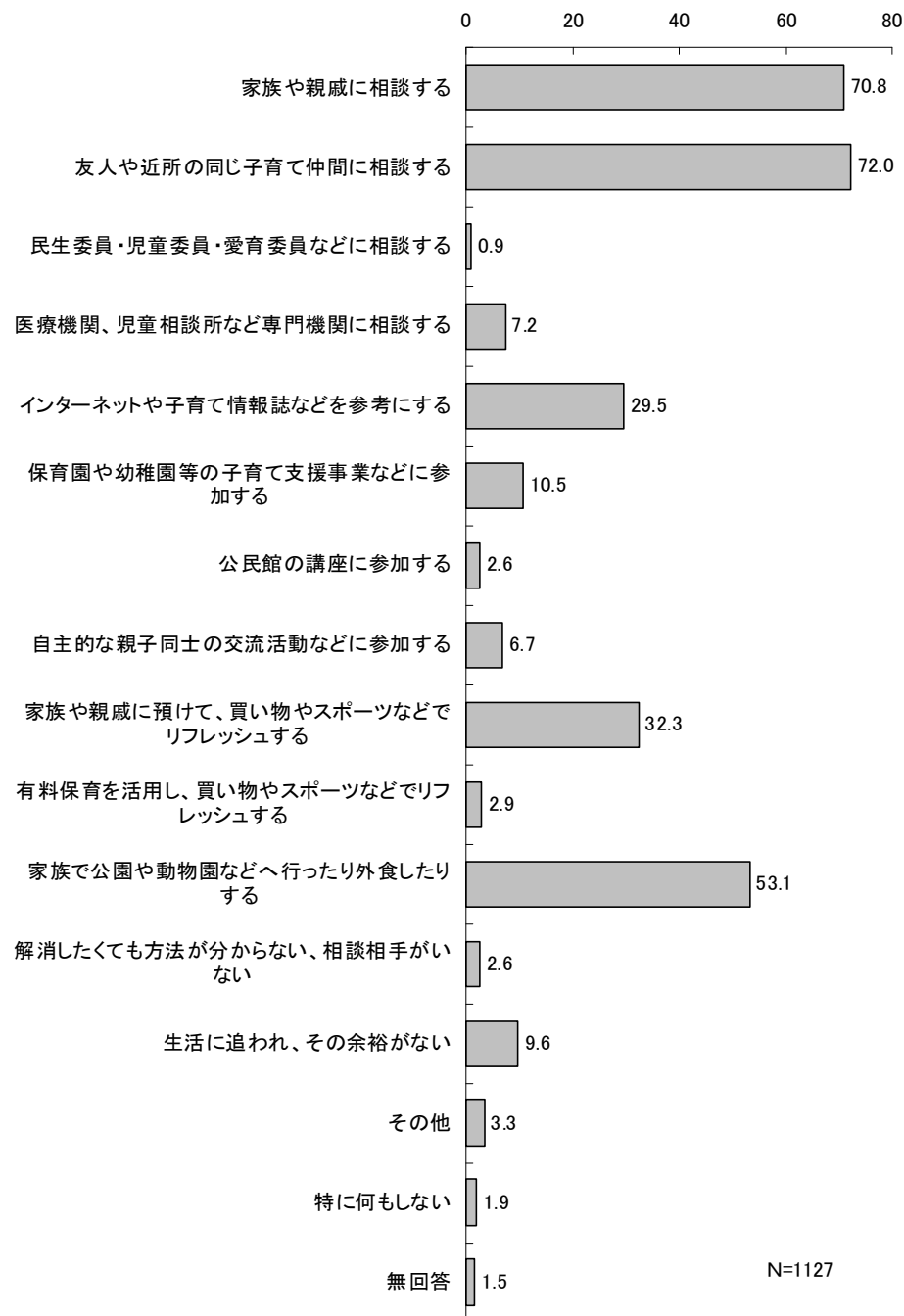
## [12]－8 子育てに関する不安や悩み・ストレスの解消方法

子育てに関する不安や悩み・ストレスの解消方法について「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」と回答した人の割合が7割以上（72.0%）と最も高く、次いで「家族や親戚に相談する」（70.8%）、「子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、外食したりする」（53.1%）の順になっている。

前回調査と比較すると、ともに「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」「家族や親戚に相談する」と回答した人の割合が高くなっている。

年齢別にみると、0～2歳では「家族や親戚に相談する」、3歳以上では「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」と回答した人の割合が最も高くなっている。

地区別・母親の就労形態別にみると、「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」「家族や親戚に相談する」と回答した人の割合が高くなっている。



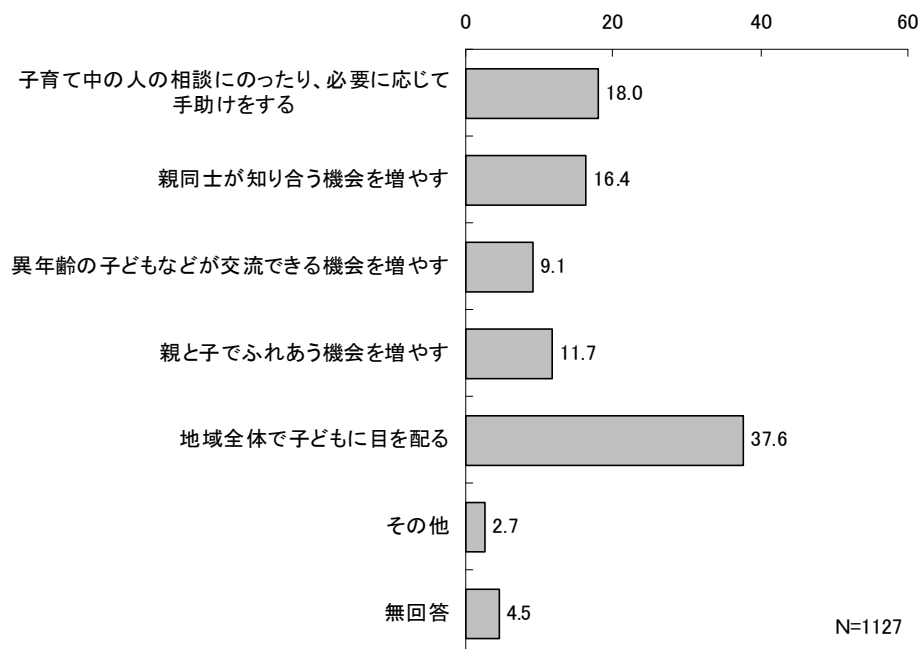
<前回比較・年齢別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (72.0)	家族や親戚に相談する (70.8)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (53.1)
前回調査		友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (76.1)	家族や親戚に相談する (75.7)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (62.9)
年齢別	0～2歳	家族や親戚に相談する (73.0)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (70.0)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (52.5)
	3歳以上	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (74.6)	家族や親戚に相談する (67.5)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (53.6)
地区別	中央	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (71.2)	家族や親戚に相談する (69.0)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (57.1)
	北	家族や親戚に相談する (76.0)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (74.7)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (54.0)
	東	家族や親戚に相談する／友人や近所の同じ子育て仲間に 相談する (70.2)		子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (49.8)
	西大寺	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (79.1)	家族や親戚に相談する (74.8)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (52.5)
	西	家族や親戚に相談する (70.4)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (69.4)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (55.6)
	南	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (70.7)	家族や親戚に相談する (65.8)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (51.6)
母親の 就労別	就労（フルタイム）	家族や親戚に相談する／友人や近所の同じ子育て仲間に 相談する (67.9)		子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (49.8)
	就労（フルタイム： 育児・介護休業中）	家族や親戚に相談する (78.3)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (76.1)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (56.5)
	就労（パート・アルバイト）	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (72.9)	家族や親戚に相談する (66.3)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (53.3)
	就労（パート・アルバイト／ 育児・介護休業中）	家族や親戚に相談する (68.8)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (62.5)	家族や親戚に子どもを預けて、 買い物や趣味・スポーツなどでリフレッシュする (50.0)
	以前は就労／現在は 就労せず	家族や親戚に相談する (73.5)	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (72.4)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (54.8)
	これまで就労したことが ない	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (79.4)	家族や親戚に相談する (70.6)	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、 外食したりする (45.6)

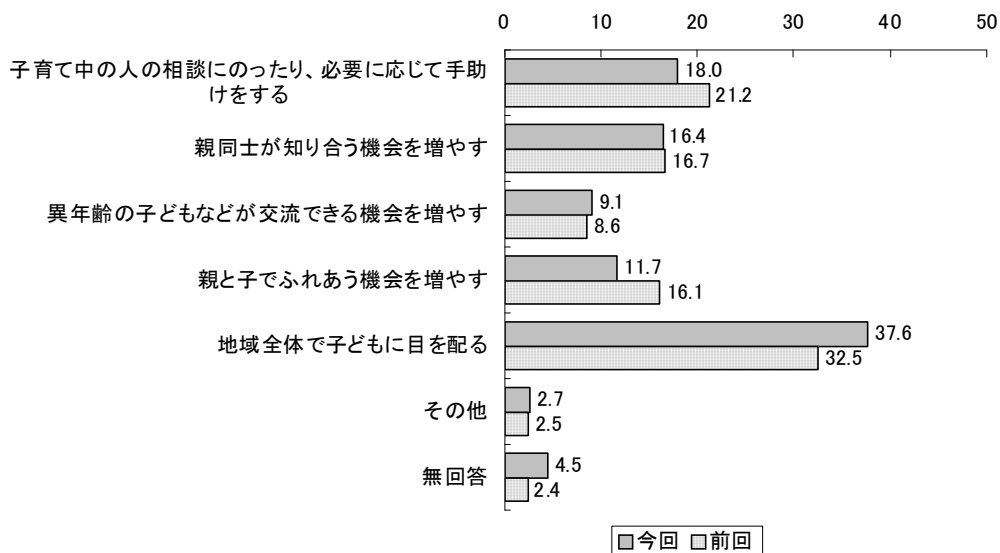
## [12]－9 地域社会に望む支援

地域社会に望む支援について、「地域全体で子どもに目を配る」と回答した人の割合が4割程度（37.6%）ともっとも高く、次いで「子育て中の人の相談にのったり、必要に応じて手助けをする」（18.0%）、「親同士が知り合う機会を増やす」（16.4%）の順になっている。

前回調査と比較すると、今回調査については「地域全体で子どもに目を配る」と回答した人の割合がやや高く、「親と子でふれあう機会を増やす」と回答した人の割合がやや低くなっている。



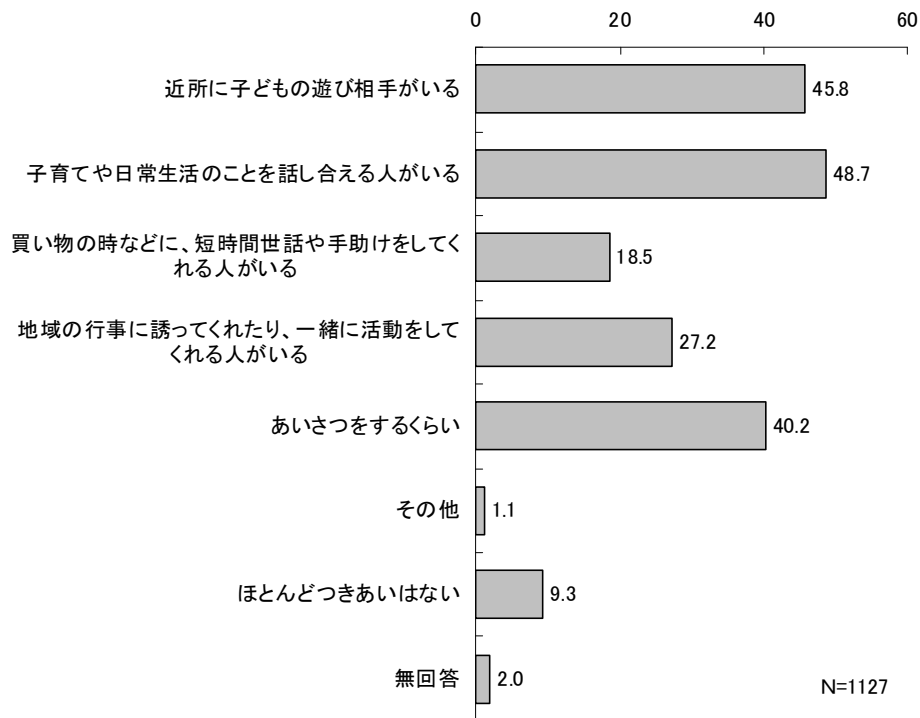
### <前回比較>



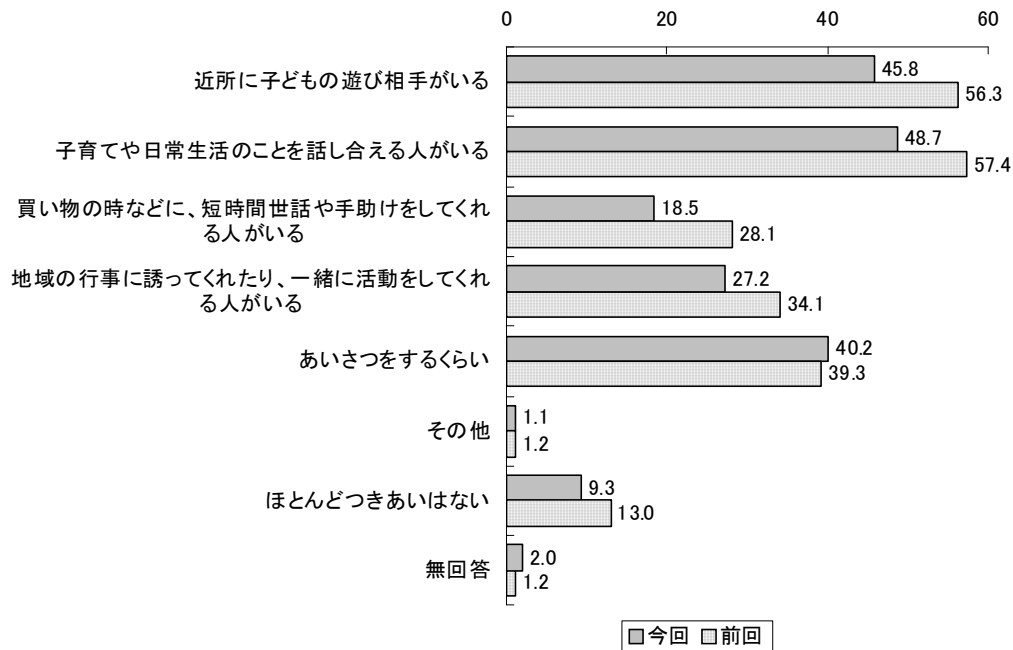
## [12]－10 隣近所とお付き合いについて

隣近所とお付き合いについて、「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」と回答した人の割合が5割程度（48.7%）と最も高く、次いで「近所に子どもの遊び相手がある」（45.8%）、「あいさつをするくらい」（40.2%）の順になっている。

前回調査と比較すると、「近所に子どもの遊び相手がある」「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」「買い物やちょっとした用事の時に、短時間子どもの世話や留守番をしてくれるなど手助けをしてくれる人がある」「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がある」（保育園の園庭開放やおやこクラブの集まりなども含む）と回答した人の割合は低くなっている。



### <前回比較>





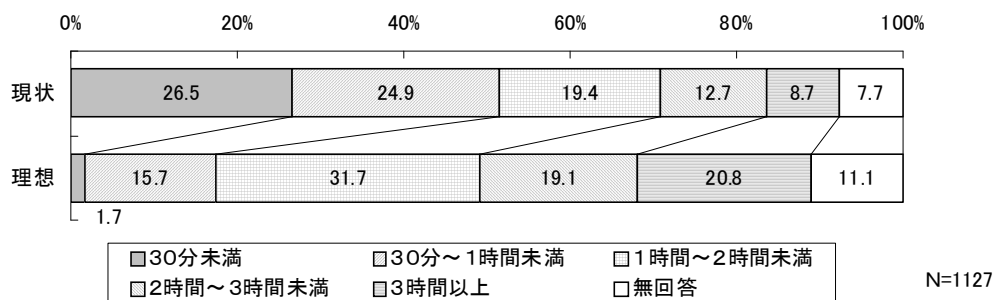
## [12]－11 家事や子どもと関わる時間

父親の家事や子どもと関わる時間について、家事等の時間については、平日・休日とも現状では「30分未満」と回答した人の割合が高くなっている。

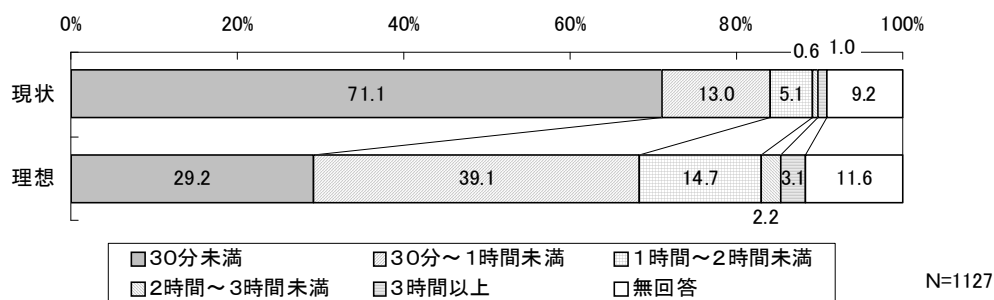
優先度については、現状では「仕事を優先」と回答した人の割合が65.0%と高くなっているのに対し、理想では「子どもと関わる時間を優先」が5割以上（52.6%）と高くなっている。

前回調査と比較すると、平日と休日に父親が子どもと関わる時間については、あまり違いがみられない。

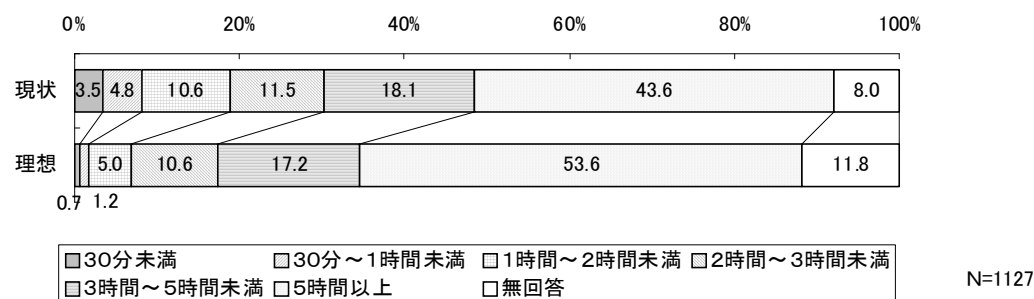
### <平日 子どもと関わる時間 父親>



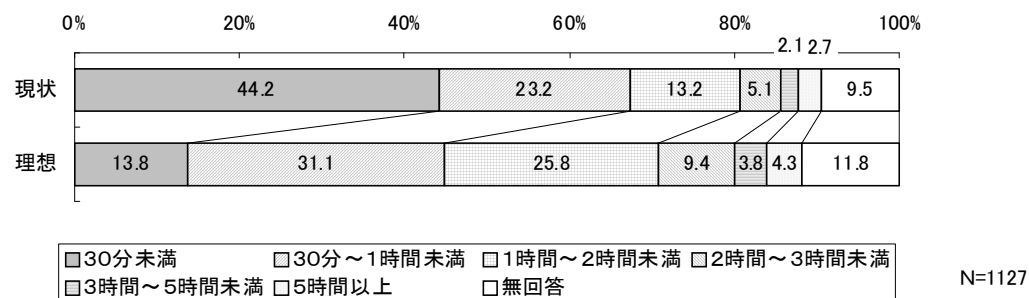
### <平日 家事等の時間 父親>



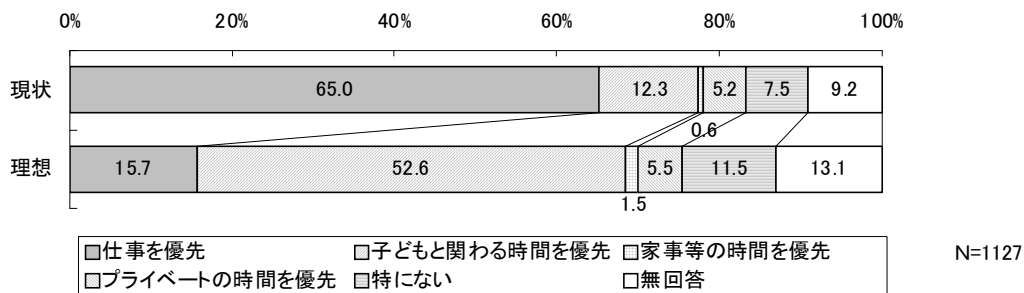
### <休日 子どもと関わる時間 父親>



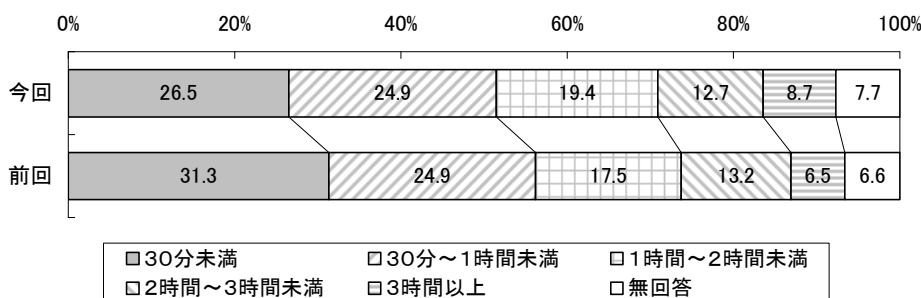
### <休日 家事等の時間 父親>



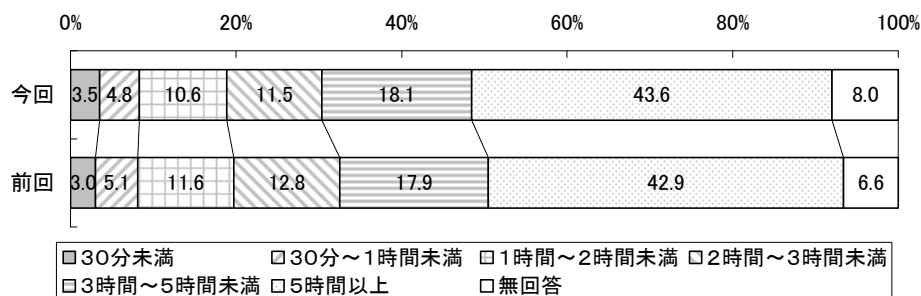
## <優先度>



## <前回比較：平日 子どもと関わる時間 父親>



## <前回比較：休日 子どもと関わる時間 父親>

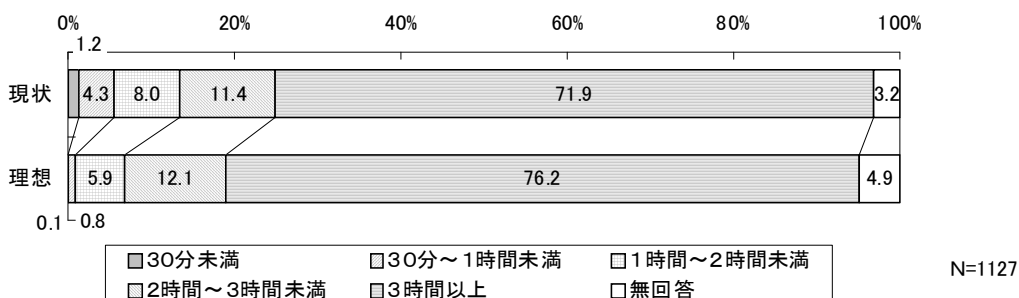


母親の家事や子どもと関わる時間について、平日の家事等の時間については、現状では「3 時間以上」と回答した人の割合が 5 割程度 (48.9%) であるのに対し、理想では「3 時間以上」と回答した人の割合は 3 割程度 (27.8%) となっている。

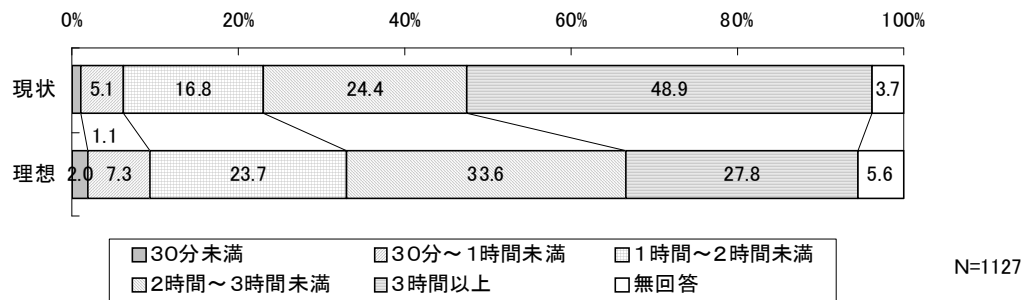
優先度については、現状では「子どもと関わる時間を優先」と回答した人の割合が 5 割程度 (52.7%) となっているのに対し、その割合は理想では 7 割程度 (69.3%) と高くなっている。

前回調査と比較すると、平日と休日に母親が子どもと関わる時間については、今回調査では平日では「3 時間以上」、休日では「5 時間以上」と回答した人の割合が低くなっている。

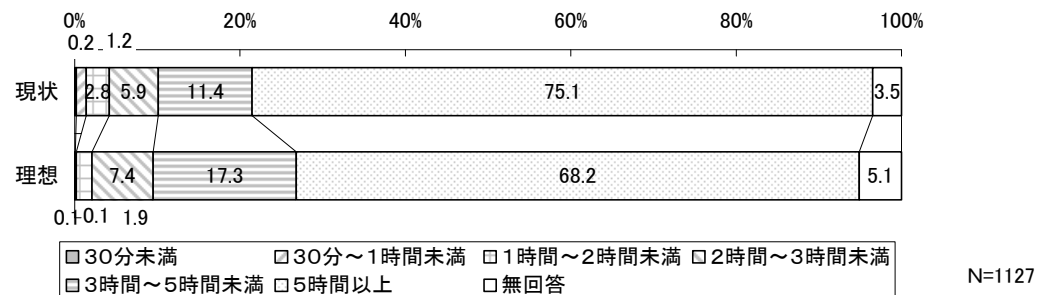
## <平日 子どもと関わる時間 母親>



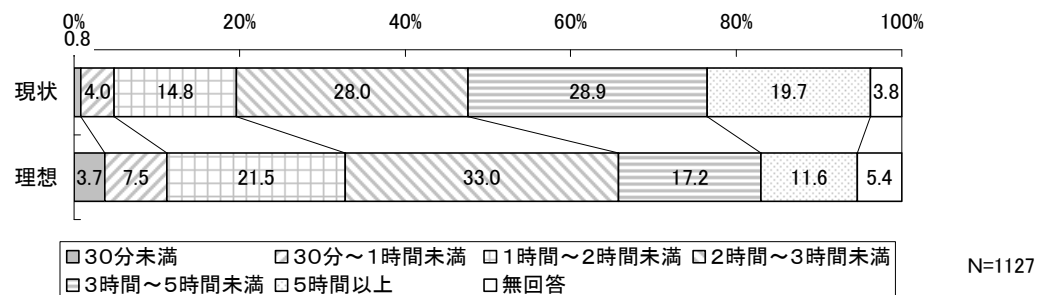
### <平日 家事等の時間 母親>



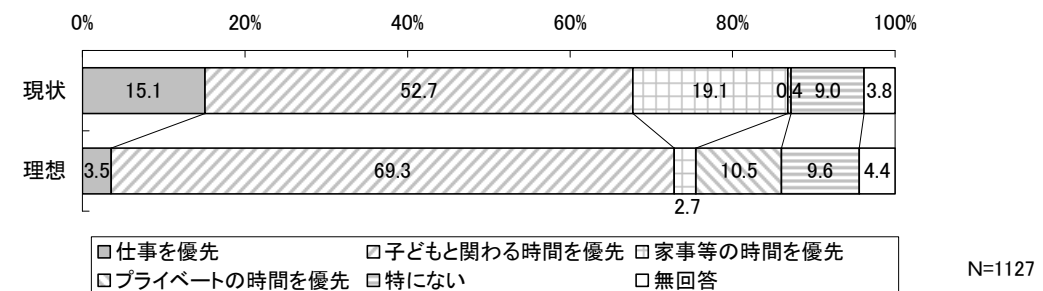
### <休日 子どもと関わる時間 母親>



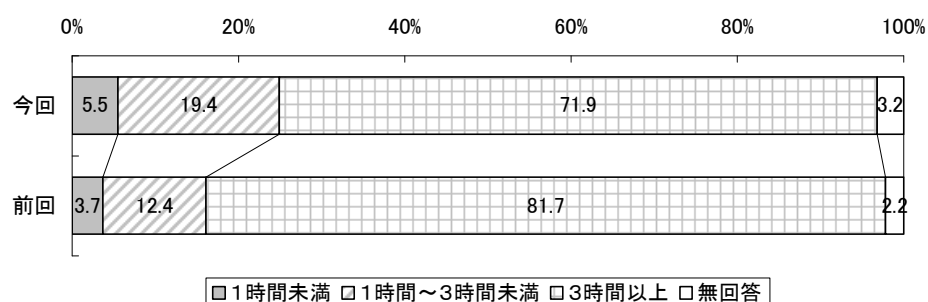
### <休日 家事等の時間 母親>



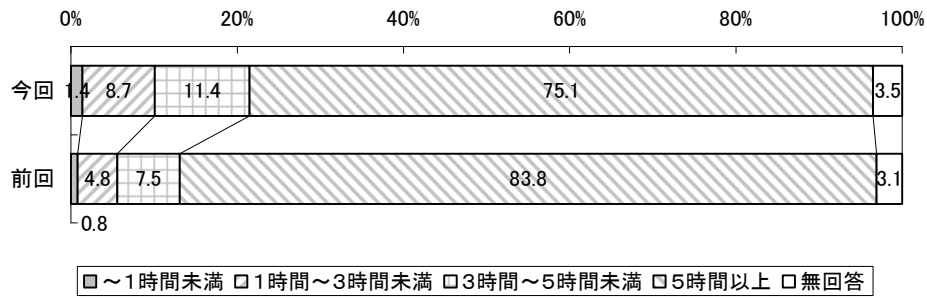
### <優先度>



### <前回比較：平日 子どもと関わる時間 母親>

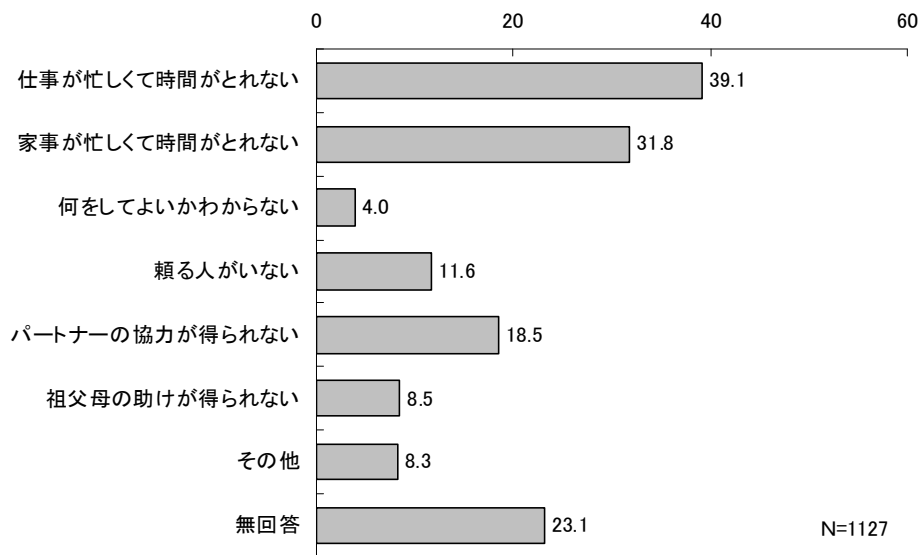


<前回比較：休日 子どもと関わる時間 母親>



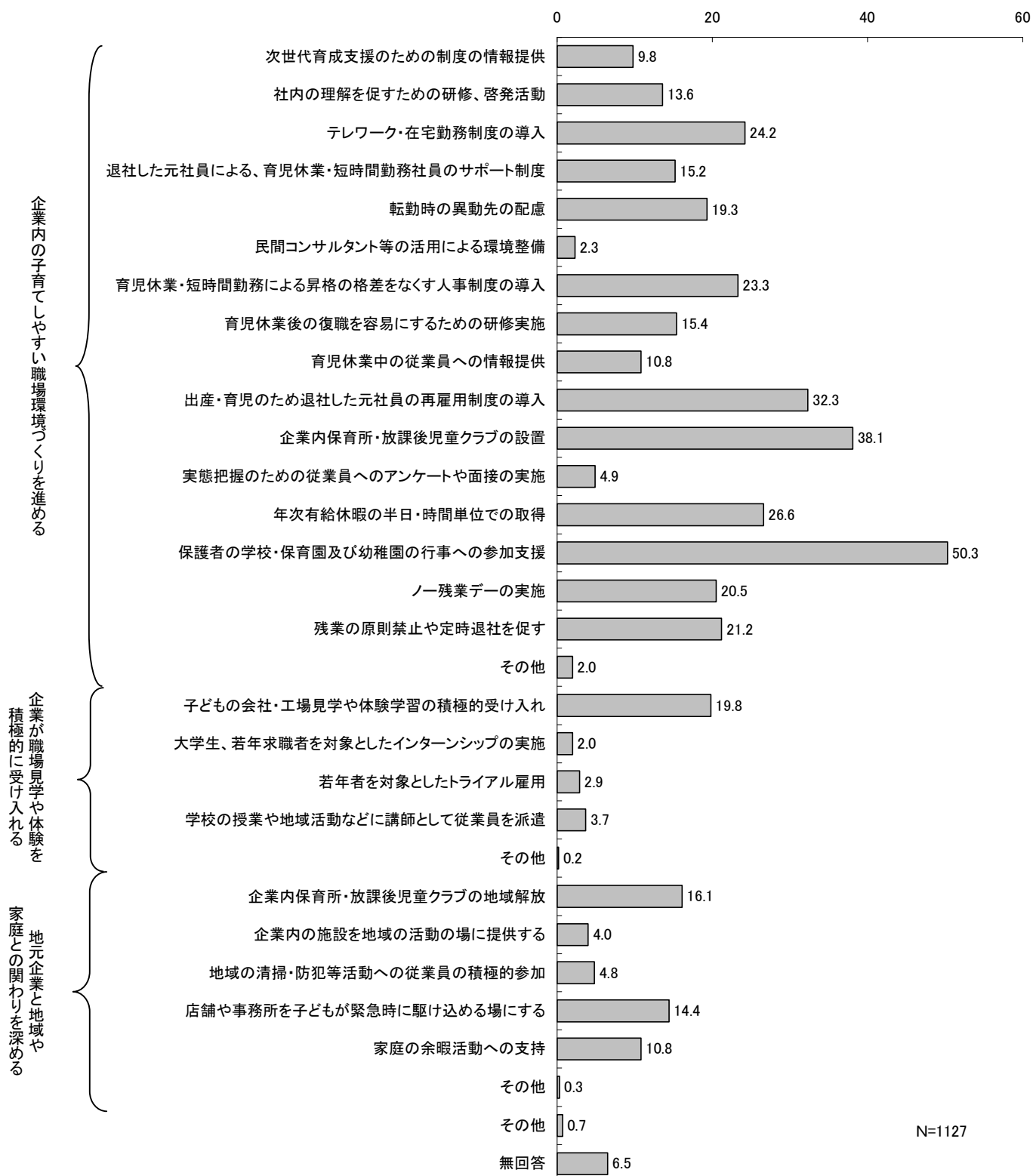
[12]－12 現状と理想の時間が異なる理由

現状と理想の時間が異なる理由について、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した人の割合が4割程度（39.1%）と最も高く、次いで「家事が忙しくて時間がとれない」（31.8%）、「パートナーの協力が得られない」（18.5%）、「頼る人がいない」（11.6%）の順になっている。



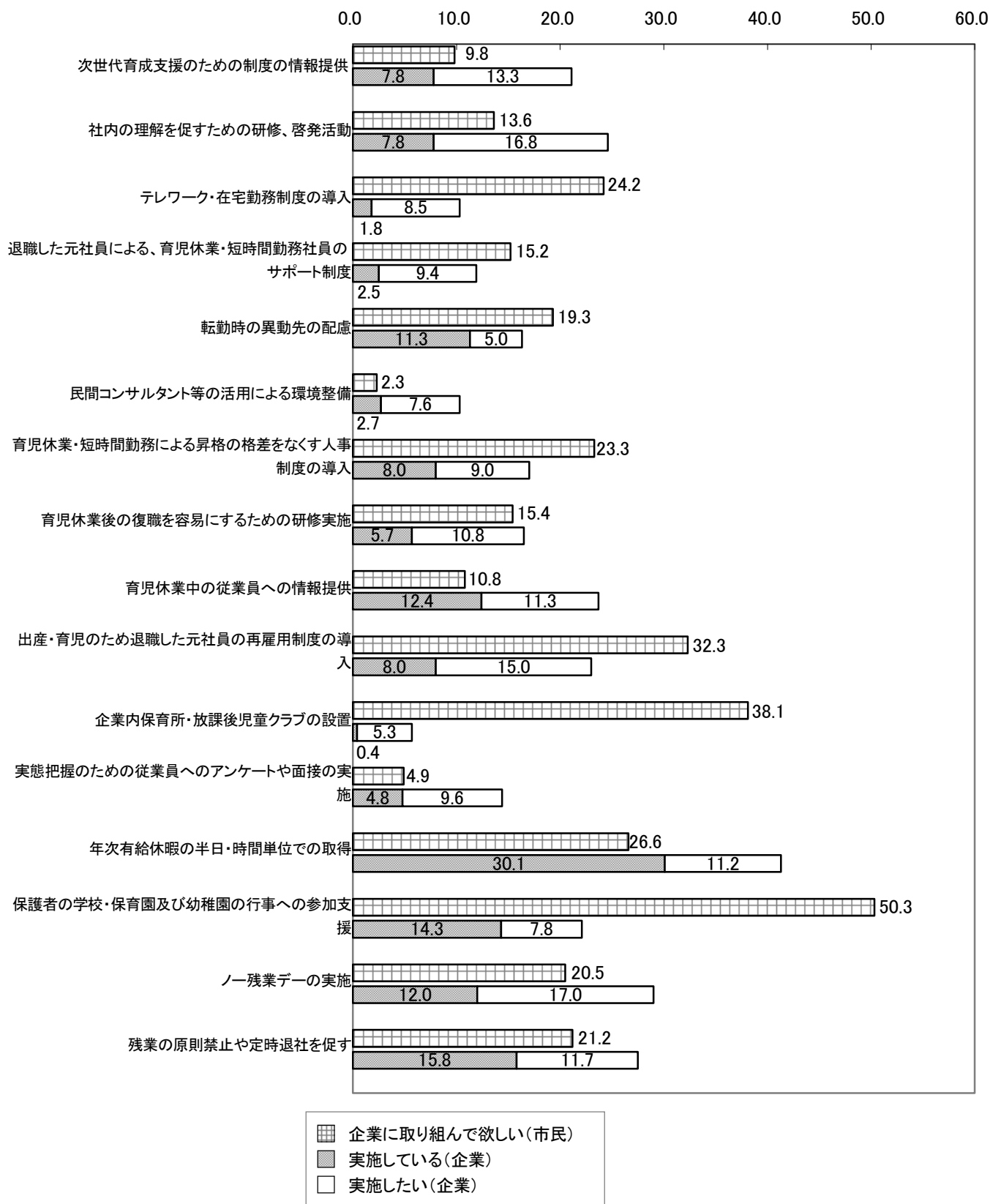
## [12]－13 企業に取り組んで欲しい制度や支援策

企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、「保護者の学校・保育園及び幼稚園の行事への参加支援」と回答した人の割合が5割以上（50.3%）と最も高く、次いで「企業内保育所・放課後児童クラブ（学童保育所）の設置」（38.1%）、「出産・育児のため退社した元社員の再雇用制度の導入」（32.3%）の順になっている。



## <市 ・ 企業比較：企業内の子育てしやすい職場環境づくりを進める>

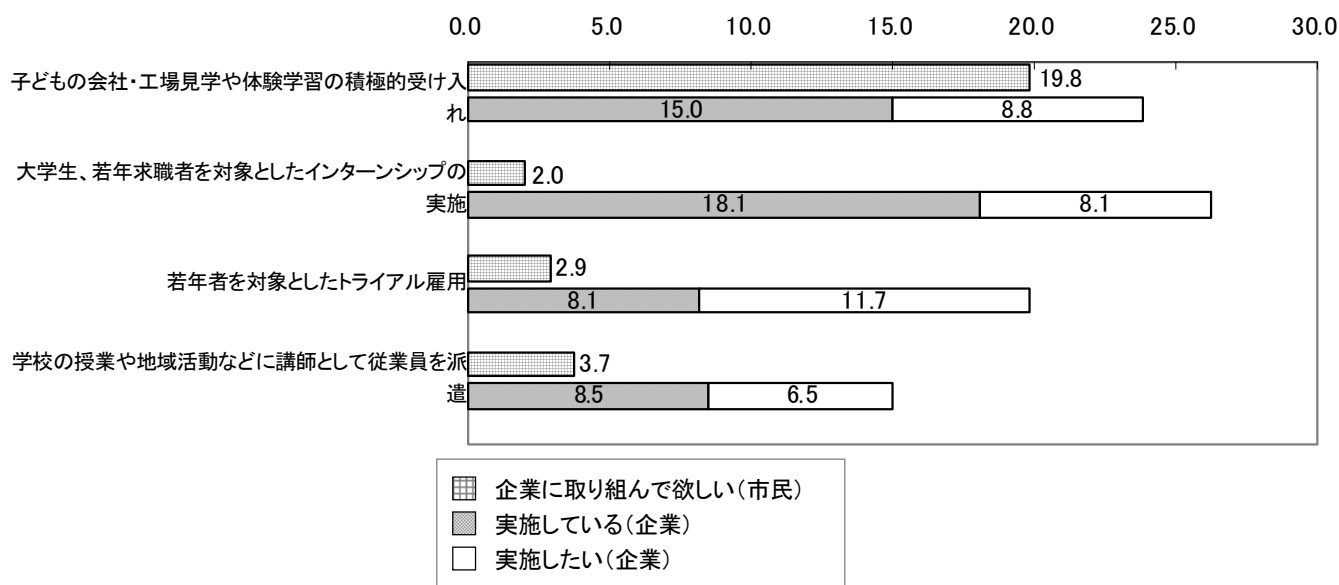
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、市民の要望と企業の取り組み姿勢（実施していると実施したいとの合計）とで差があるものとして、「企業内保育所・放課後児童クラブの設置」（-32.4%）、「保護者の学校・保育園及び幼稚園の行事への参加支援」（-28.2%）、「テレワーク・在宅勤務制度の導入」（-13.9%）の順になっている。



注：企業調査については、平成20年9月～11月に市内事業者に行ったアンケートに基づく

## ＜市 ・ 企業比較：企業が職場見学や体験を積極的に受け入れる＞

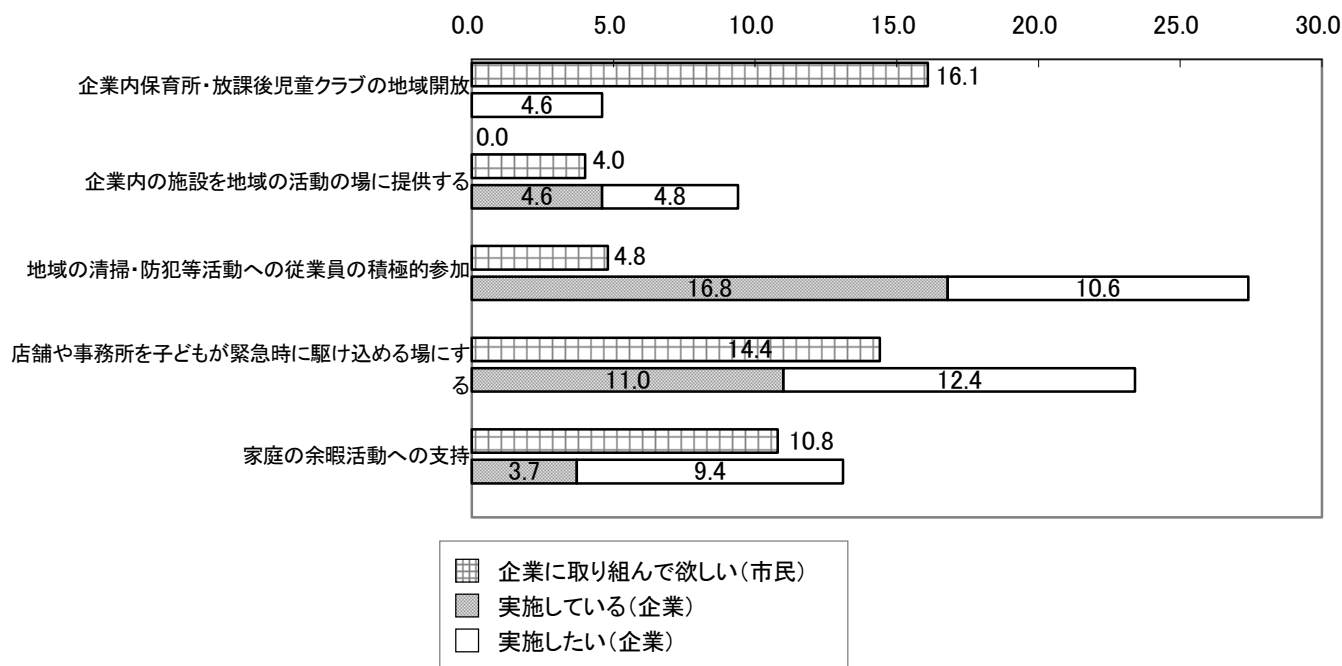
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、「子どもの会社・工場見学や体験学習の積極的受け入れ」以外の項目については、企業の取り組み姿勢に対して、市民の要望は低くなっている。



注：企業調査については、平成 20 年 9 月～11 月に市内事業者に行ったアンケートに基づく

## ＜市 ・ 企業比較：地元企業と地域や家庭との関わりを深める＞

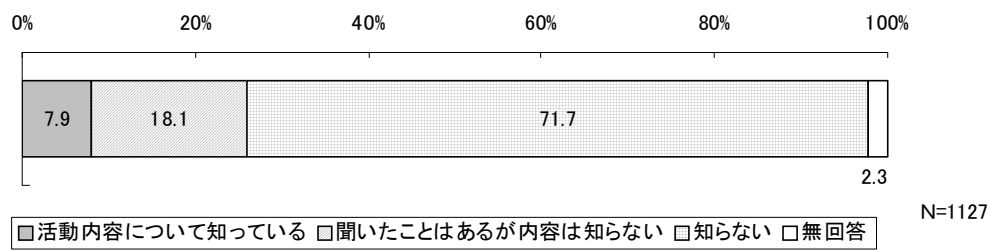
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、「企業内保育所・放課後児童クラブの地域開放」については、企業の取り組み姿勢に対して、市民の要望は高くなっている。



注：企業調査については、平成 20 年 9 月～11 月に市内事業者に行ったアンケートに基づく

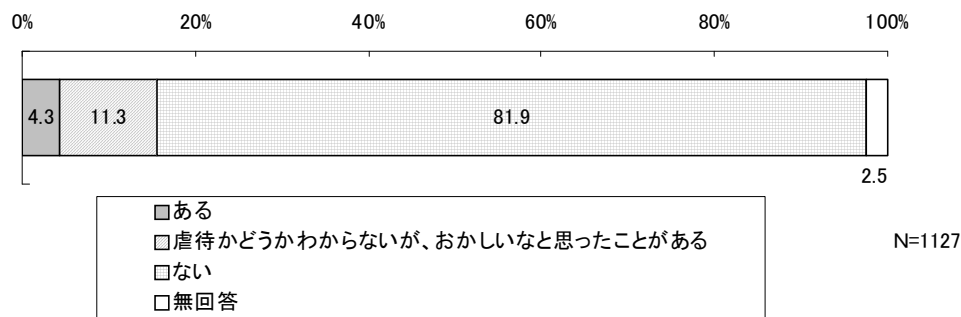
[12]－14 心豊かな岡山っ子応援団の認知度

心豊かな岡山っ子応援団の認知度について「活動内容について知っている」と回答した人の割合が 7.9%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が 18.1%、「知らない」が 71.7%となっている。

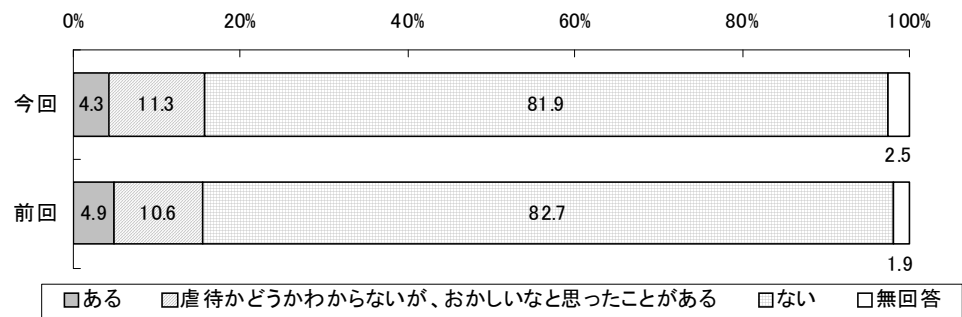


[12]－15 子どもへの虐待を見たり聞いたりしたこと

子どもへの虐待を見たり聞いたりしたことについて、「ある」と回答した人の割合が 4.3%、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」が 11.3%、「ない」が 81.9%となっている。  
前回調査と比較すると、あまり違いはありません。



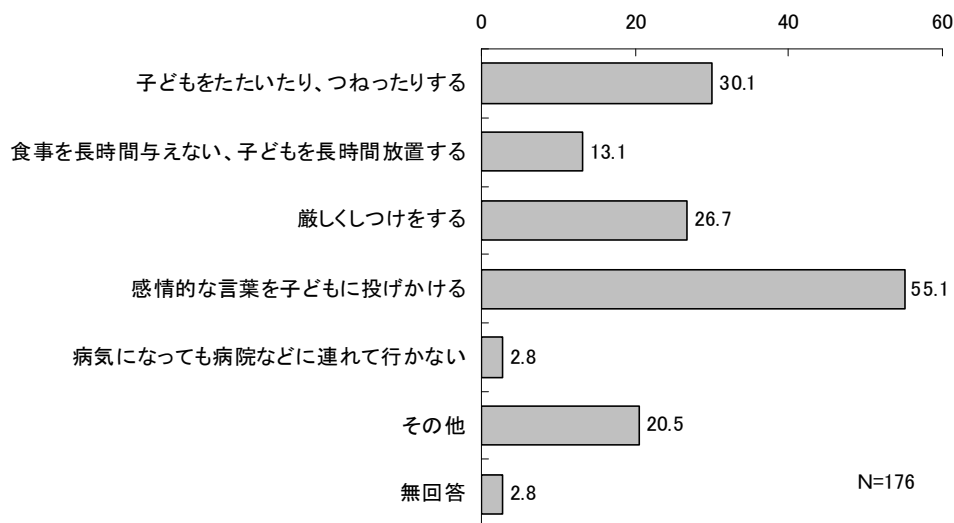
<前回比較>





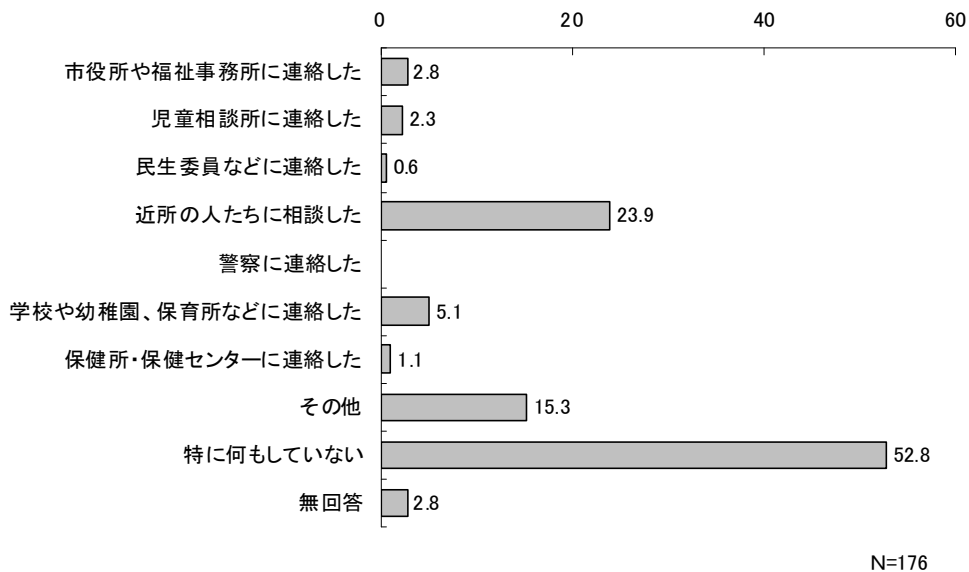
## [12]－16 どのような状況だったか

その時の状況について「感情的な言葉を子どもに投げかける」と回答した人の割合が5割以上（55.1%）と最も高く、次いで「子どもをたたいたり、つねったりする」（30.1%）、「厳しくしつけをする」（26.7%）の順になっている。



## [12]－17 その時の対応

その時の対応について、「特に何もしていない」と回答した人の割合が5割以上（52.8%）と最も高く、次いで「近所の人たちに相談した」が23.9%となっている。





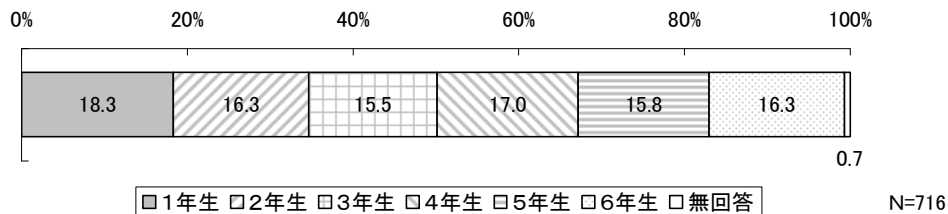
### Ⅲ 調 査 結 果(小学校)



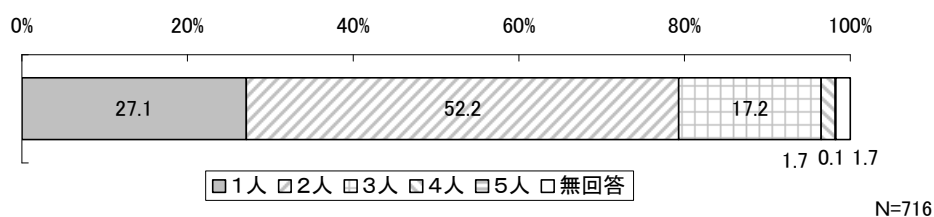
### Ⅲ. 調査結果（小学校）

#### 1. 回答者の属性

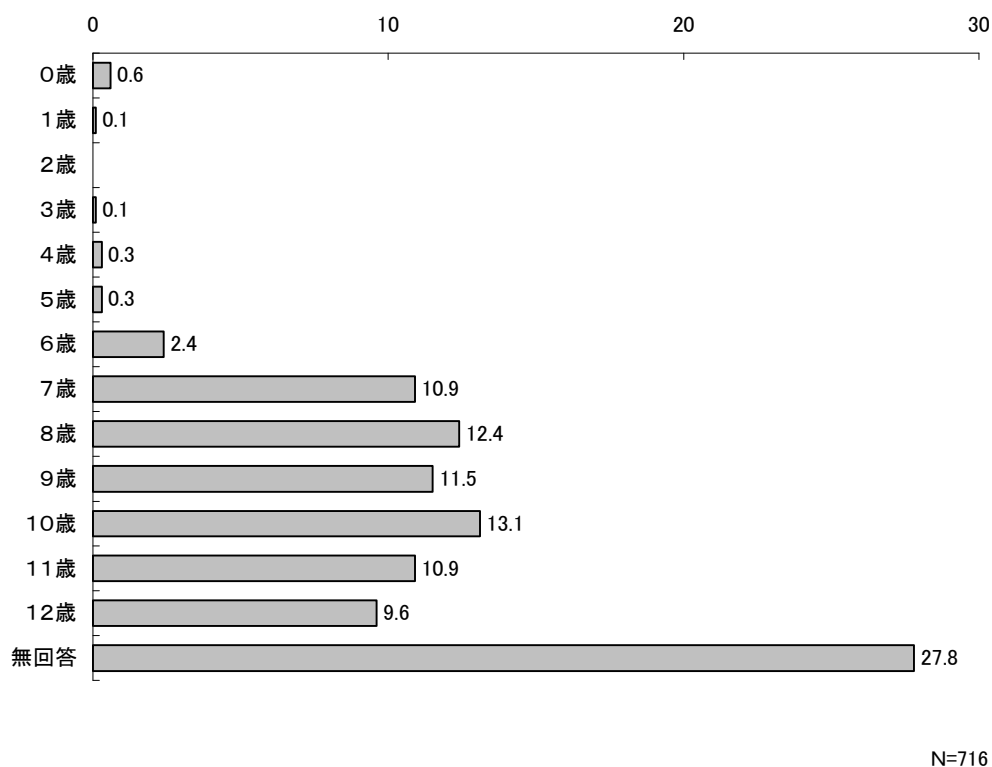
##### [1]－1 子どもの学年



##### [1]－2 子どもの人数

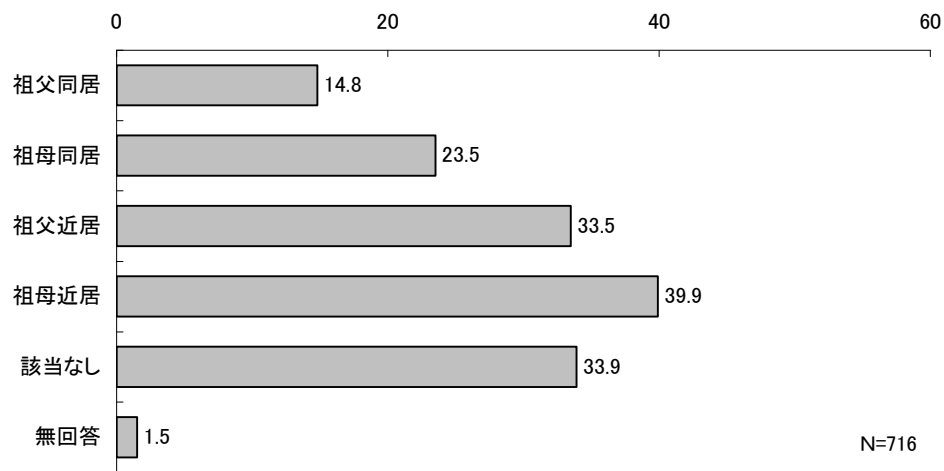


##### [1]－3 末子の年齢

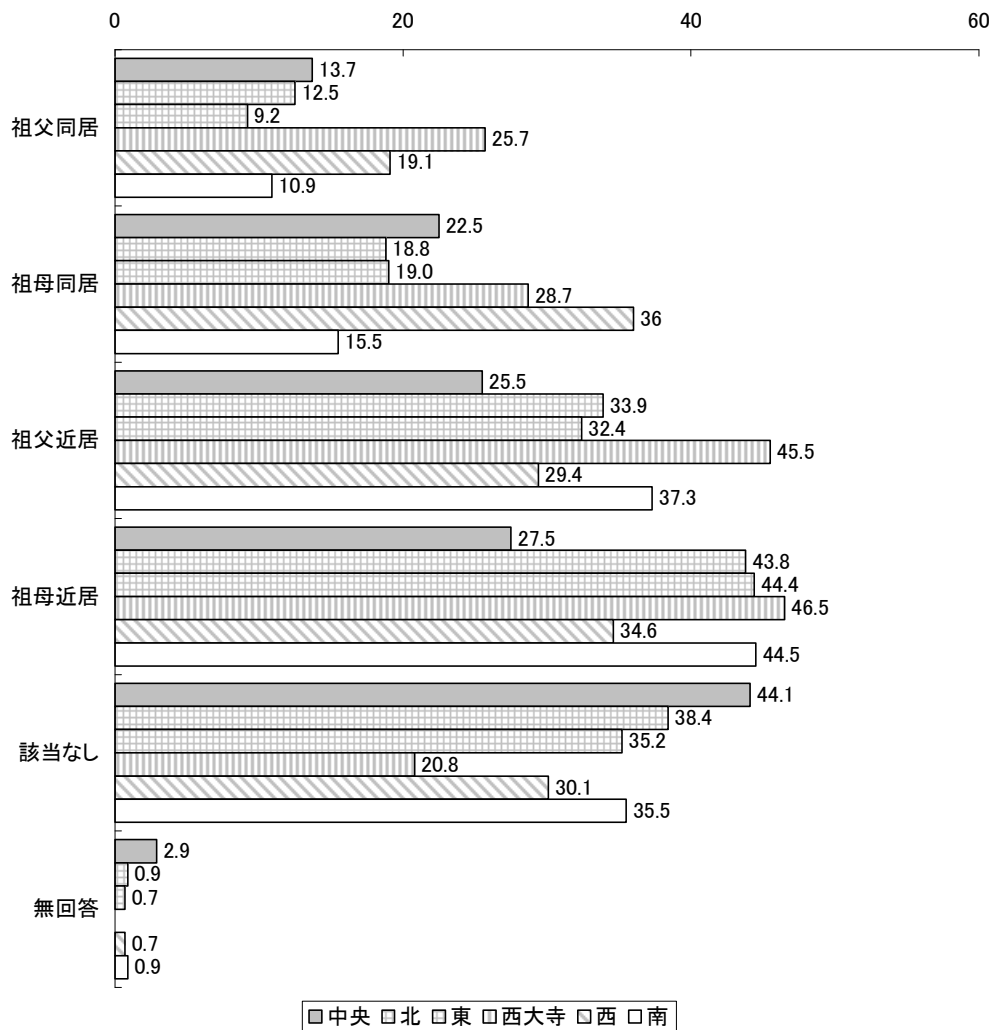


[1]－4 同居・近居の状況

両親以外の同居・近居の状況については、「祖母近居」(39.9%)、「該当なし」(33.9%)、「祖父近居」(33.5%)、「祖母同居」(23.5%)、「祖父同居」(14.8%)の順になっている。  
地区別にみると、西大寺では「祖父同居」「祖母同居」と回答した人の割合が高くなっている。

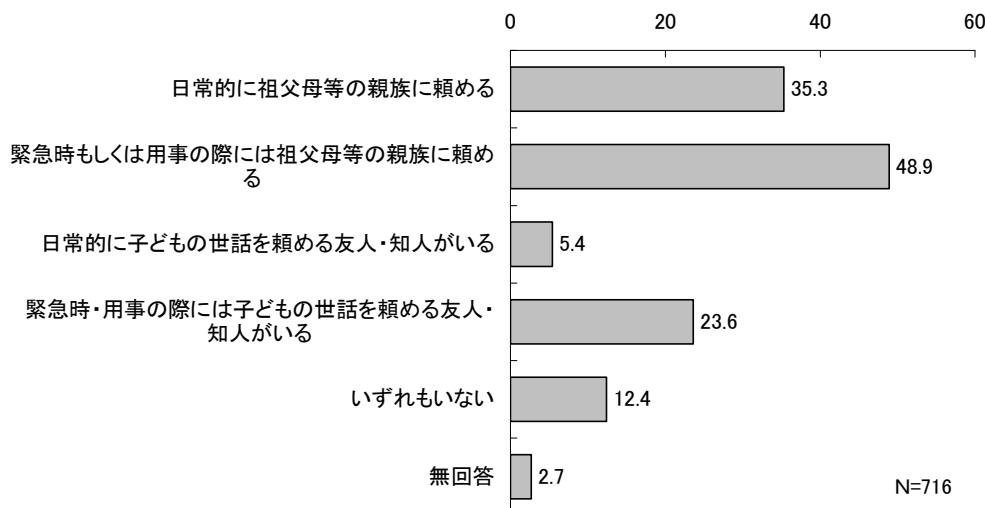


<地区別>



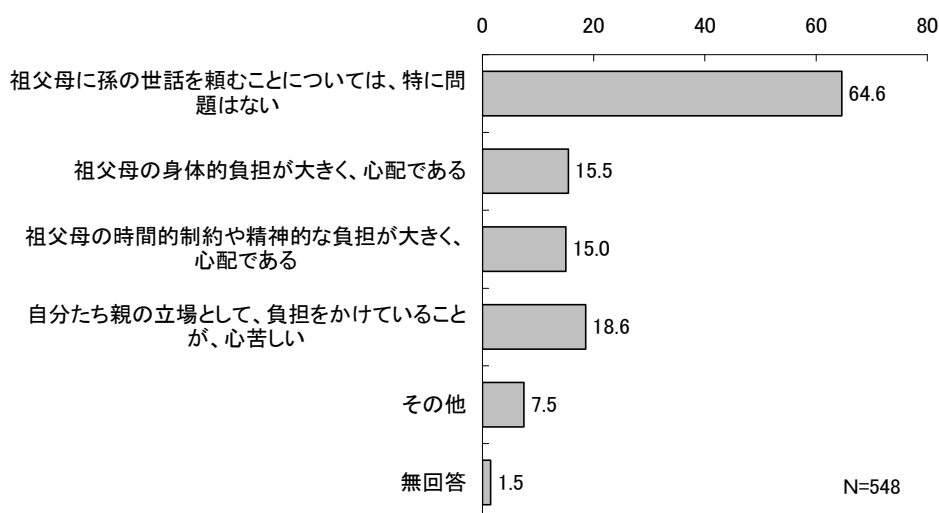
## [1]－5 日頃、お子さんの世話を頼める人

日頃、お子さんを預かってもらえる人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に頼める」と回答した人の割合が 5 割程度 (48.9%) と最も高くなっている。次いで、「日常的に祖父母等の親族に頼める」(35.3%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもの世話を頼める友人・知人がいる」(23.6%)、「日常的に子どもの世話を頼める友人・知人がいる」(5.4%) となっている。また、「いずれもない」と回答した人の割合が 1 割程度 (12.4%) となっている。



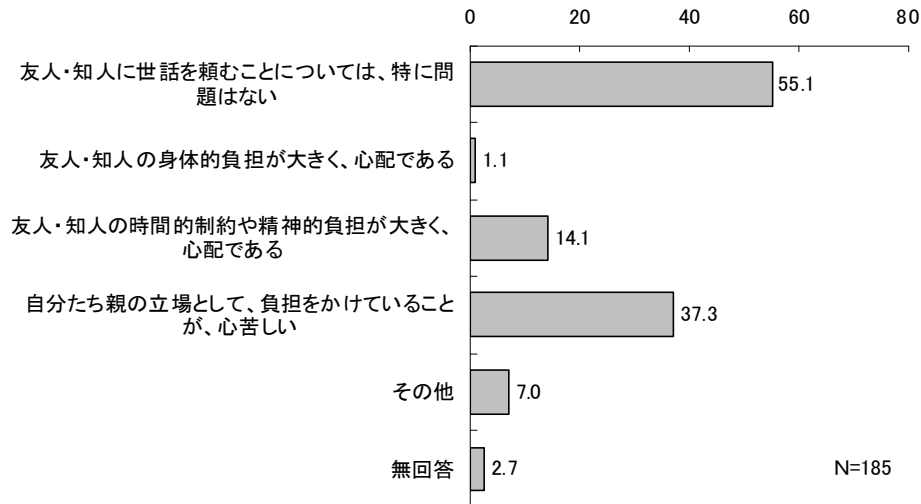
## [1]－6 祖父母に世話を頼んでいる状況

問4で「1 日常的に祖父母等の親戚に頼める」または「2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親戚に頼める」と回答した人について、祖父母に頼んでいる状況を問うた。「祖父母に孫の世話を頼むことについては、特に問題はない」と回答した人の割合が 64.6% と最も高くなっている。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが、心苦しい」(18.6%)、「祖父母の身体的負担が大きく、心配である」(15.5%) の順になっている。



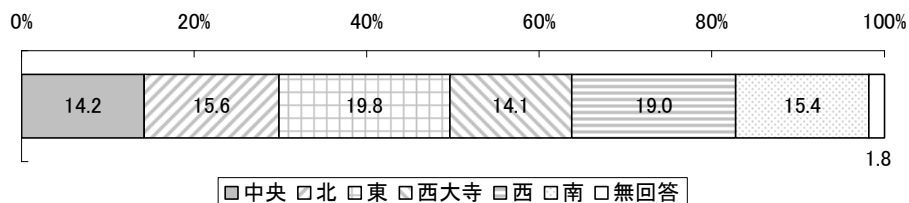
## [1]－7 友人・知人に世話を頼んでいる状況

問4で「3 日常的に子どもの世話を頼める友人・知人がいる」または「4 緊急時もしくは用事の際には子どもの世話を頼める友人・知人がいる」と回答した人について、友人・知人に頼んでいる状況を問うた。「友人・知人に世話を頼むことについては、特に問題はない」と回答した人の割合が55.1%と最も高くなっている。次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが、心苦しい」(37.3%)、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく、心配である」(14.1%)の順になっている。



## [1]－8 住まいの地区

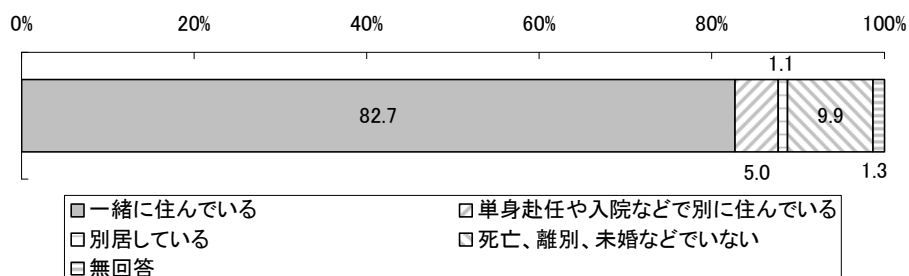
住まいの地区について、「東」と回答した人の割合が19.8%と最も高くなっている。次いで、「西」(19.0%)、「北」(15.6%)、「南」(15.4%)、「中央」(14.2%)、「西大寺」(14.1%)の順になっている。



## 2. 両親の就労状況について

### [2]－1 両親のお子さんとの同別居状況(父親)

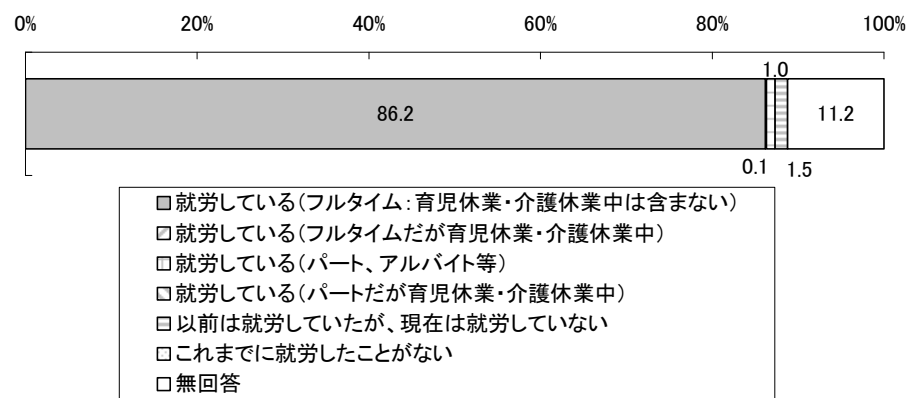
父親のお子さんとの同別居状況について、「一緒に住んでいる」と回答した人の割合が8割以上(82.7%)となっている。





[2]ー2 就労状況(父親)

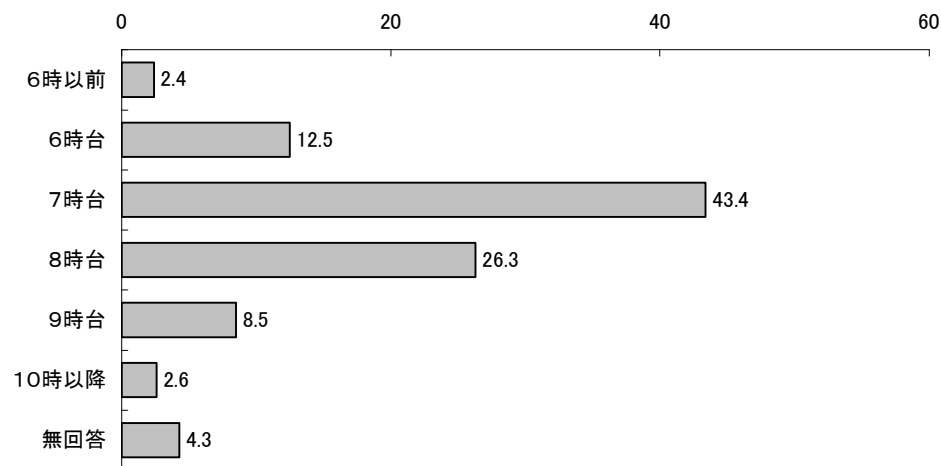
父親の就労状況について、「就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）」と回答した人の割合が8割以上（86.2%）となっている。



[2]ー3 出勤時間(父親)(就労している方のみ 育児休業・介護休業中を除く)

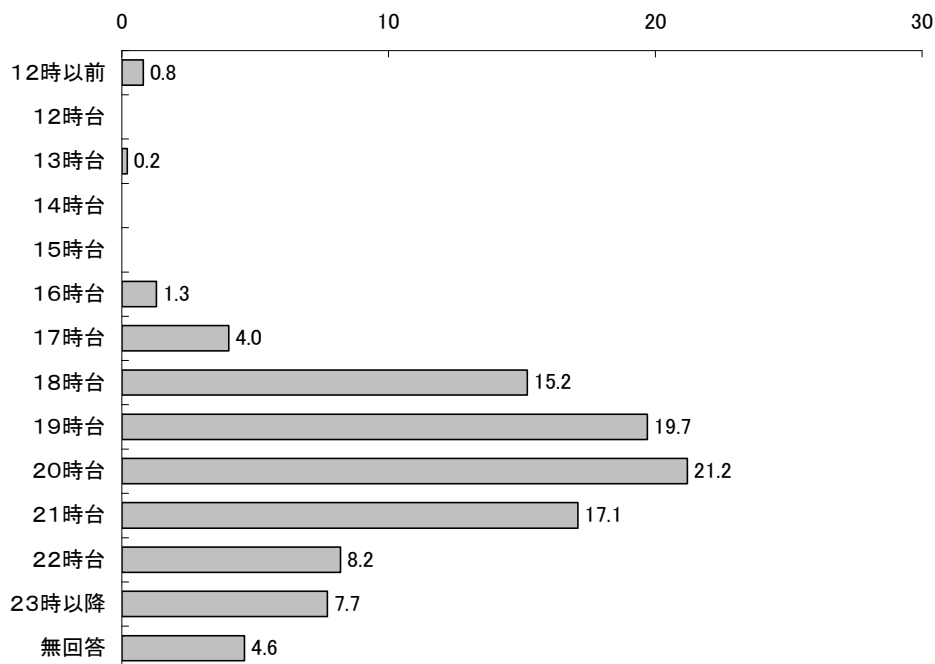
○ 出勤時刻

父親の出勤時間について、「7 時台」と回答した人の割合が4割以上（43.4%）と最も高くなっている。次いで、「8 時台」（26.3%）、「6 時台」（12.5%）の順になっている。



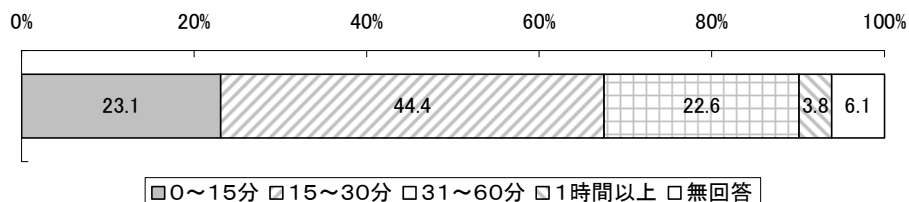
## ○ 帰宅時刻

父親の帰宅時間について、「20 時台」と回答した人の割合が 2 割程度（21.2%）と最も高くなっている。次いで、「19 時台」（19.7%）、「21 時台」（17.1%）の順になっている。



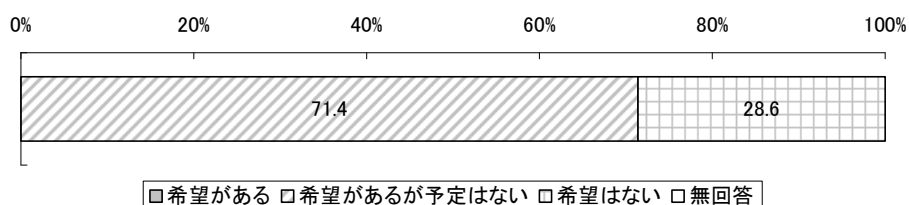
## ○ 通勤に要する時間

父親の通勤時間について、「15～30 分」と回答した人の割合が 4 割程度（44.4%）と最も高くなっている。次いで、「0～15 分」（23.1%）、「31～60 分」（22.6%）の順になっている。



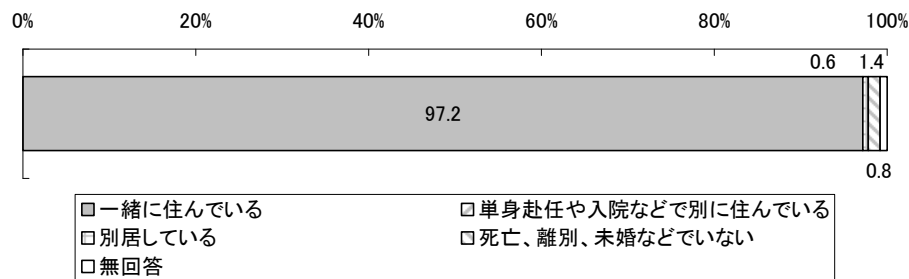
## [2]－4 パートの方でフルタイムへの転換希望(父親)

問6（1）就労状況で「3 就労している（パートタイム、アルバイト等）」または「4 就労している（パートタイム、アルバイトだが育児休業・介護休業中）」と回答した人について、フルタイムへの転換希望を問うた。「希望があるが予定はない」と回答した人の割合が 71.4%と最も高くなっている。次いで「希望はない」が 28.6%となっている。



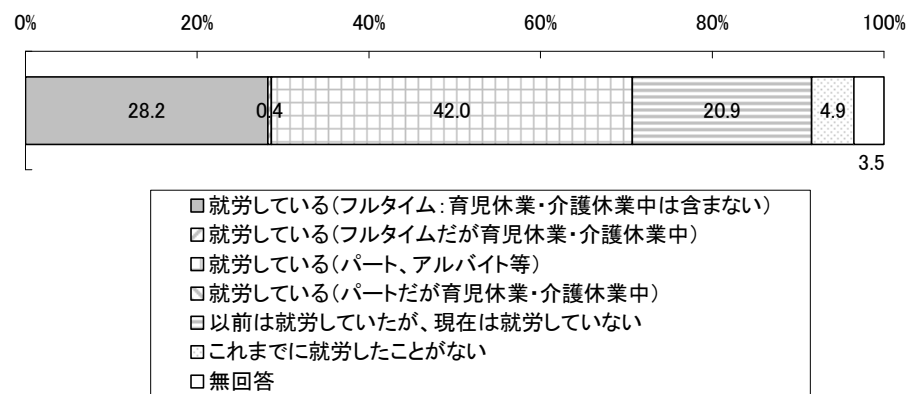
[2]－5 両親のお子さんとの同別居状況(母親)

母親のお子さんとの同別居状況について、「一緒に住んでいる」と回答した人の割合が9割以上（97.2%）となっている。

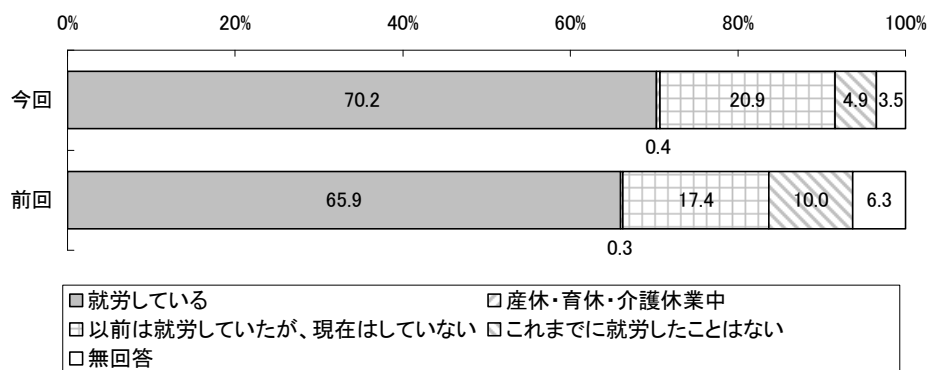


[2]－6 就労状況(母親)

母親の就労状況について、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した人の割合が4割以上（42.0%）と最も高く、次いで「就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）」（28.2%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（20.9%）の順になっている。



<前回比較>

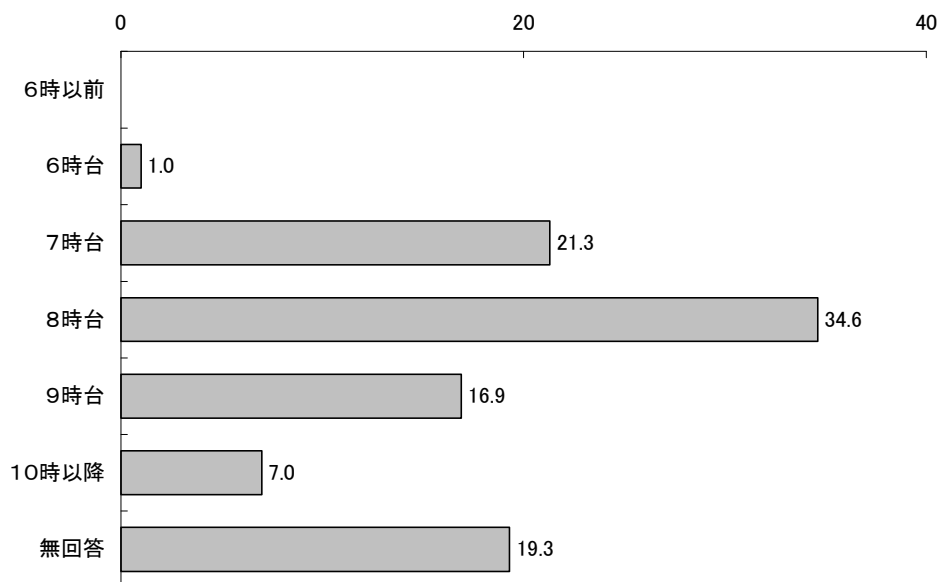


注：今回調査の「就労している（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）」「就労している（パート・アルバイト等）」は【就労している】に、「就労している（フルタイムだが育児休業・介護休業中）」「就労している（パートだが育児休業・介護休業中）」は【産休・育休・介護休業中】とした。また、前回調査については、子どもの身の回りの世話を主にしている保護者の就労状況の数値を採用した。

## [2]－7 通勤状況(母親)(就労している方のみ 育児休業・介護休業中を除く)

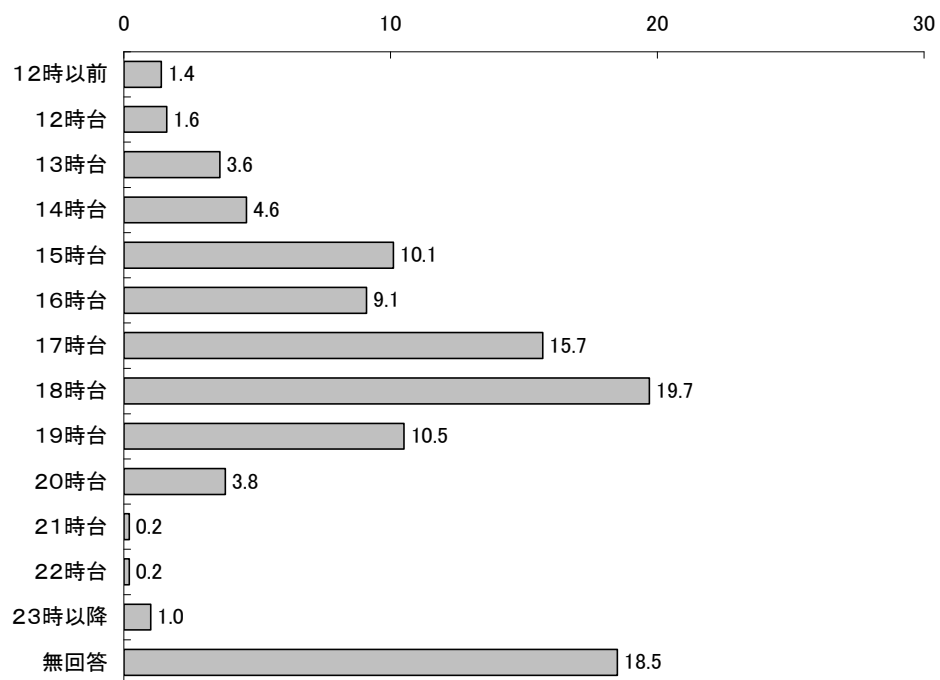
### ○ 出勤時刻

母親の出勤時間について、「8 時台」と回答した人の割合が 3 割以上（34.6%）と最も高くなっている。次いで、「7 時台」（21.3%）、「9 時台」（16.9%）の順になっている。



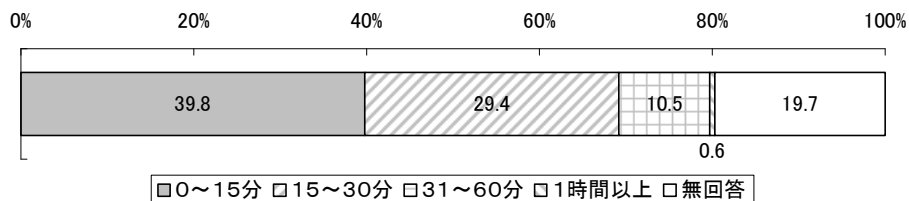
### ○ 帰宅時刻

母親の帰宅時間について、「18 時台」と回答した人の割合が 2 割程度（19.7%）と最も高くなっている。次いで、「17 時台」（15.7%）、「19 時台」（10.5%）の順になっている。



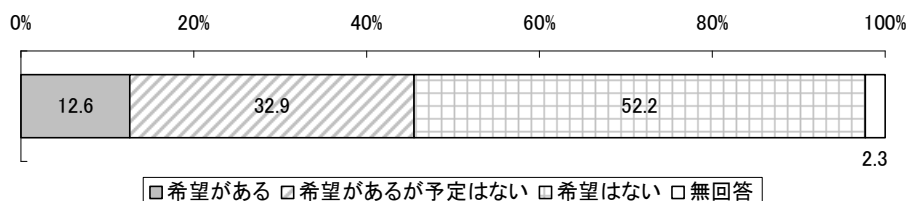
## ○ 通勤に要する時間

母親の通勤時間について、「0～15分」と回答した人の割合が4割程度（39.8%）と最も高くなっている。次いで、「15～30分」（29.4%）、「31～60分」（10.5%）の順になっている。



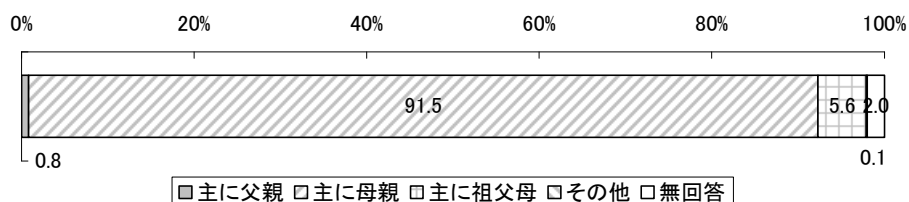
## [2]－8 パートの方でフルタイムへの転換希望(母親)

問6（2）就労状況で「3 就労している（パートタイム、アルバイト等）」または「4 就労している（パートタイムだが育児休業・介護休業中）」と回答した人について、フルタイムへの転換希望を問うた。「希望はない」と回答した人の割合が5割程度（52.2%）と最も高くなっている。次いで「希望があるが予定はない」（32.9%）、「希望がある」（12.6%）の順になっている。



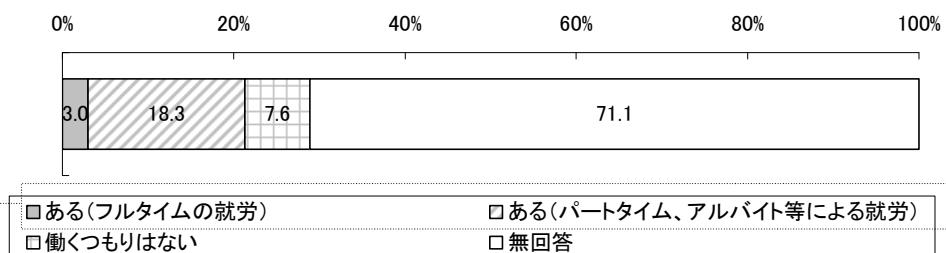
## [2]－9 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方

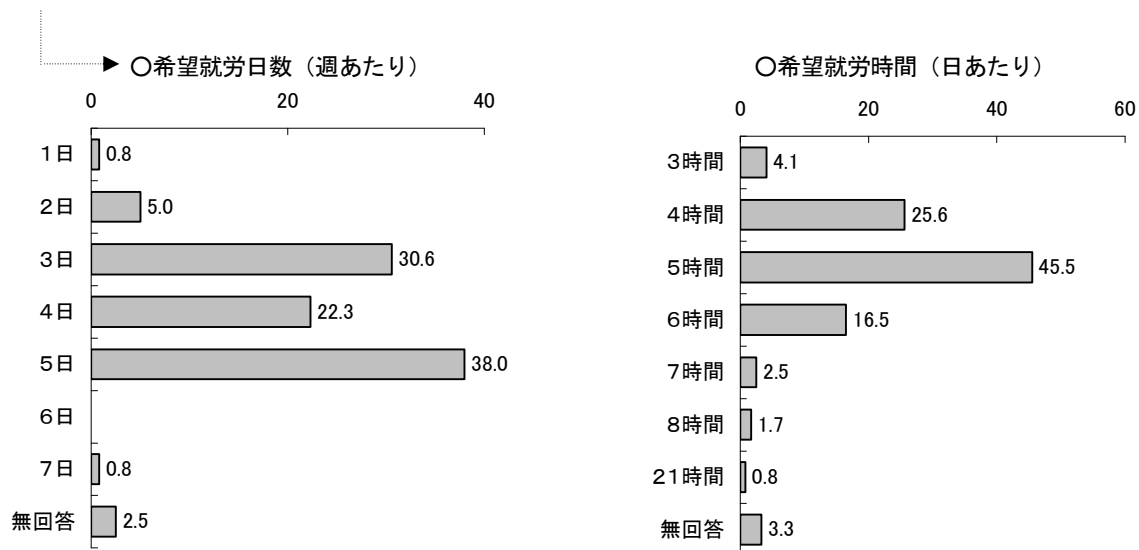
お子さんの身の回りの世話などを主にしている方について、「主に母親」と回答した人の割合が9割以上（91.5%）と最も高くなっている。



## [2]－10 お子さんの身の回りの世話などをしている方の就労希望

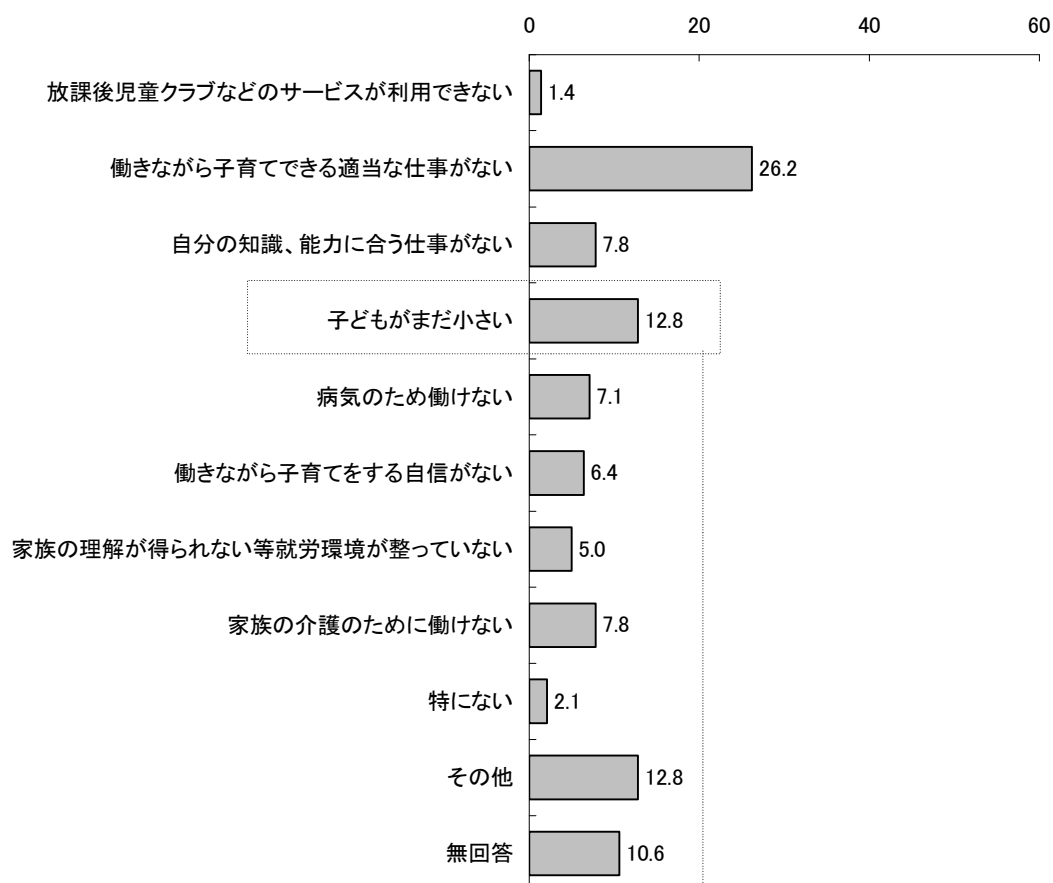
お子さんの身の回りの世話などを主にしている方の就労希望について、「ある（パートタイム、アルバイト等による就労）」と回答した人の割合が2割程度（18.3%）と最も高くなっている。次いで、「働くつもりはない」（7.6%）、「ある（フルタイムの就労）」（3.0%）の順になっている。





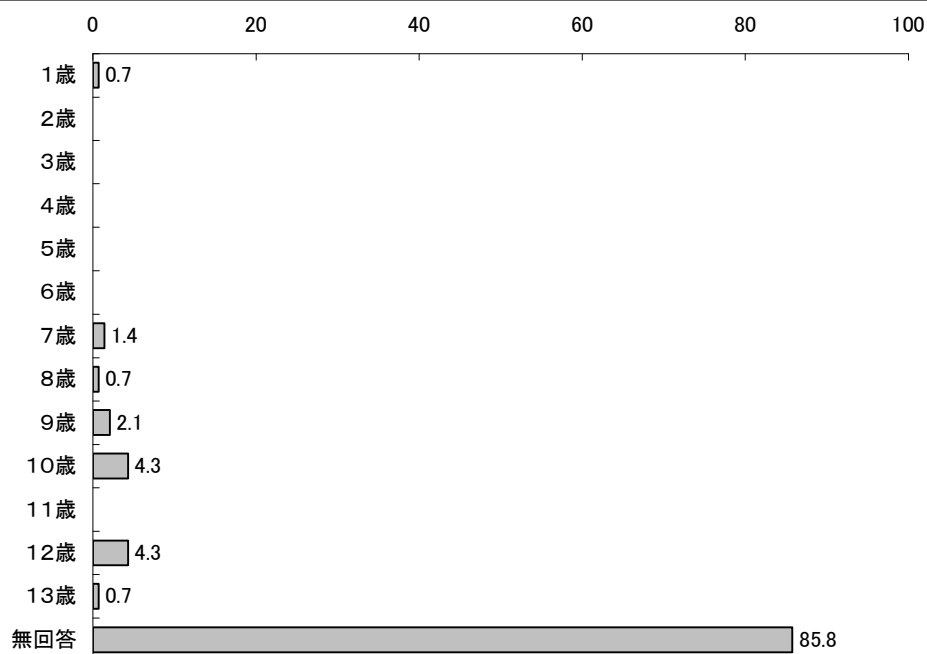
## [2]－11 働く希望がありながら就労していない理由

働く希望がありながら就労していない理由について、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」と回答した人の割合が3割程度（26.2%）と最も高くなっている。次いで、「子どもがまだ小さい」「その他」（ともに12.8%）、「自分の知識、能力に合う仕事がない」「家族の介護のため働けない」（ともに7.8%）の順になっている。



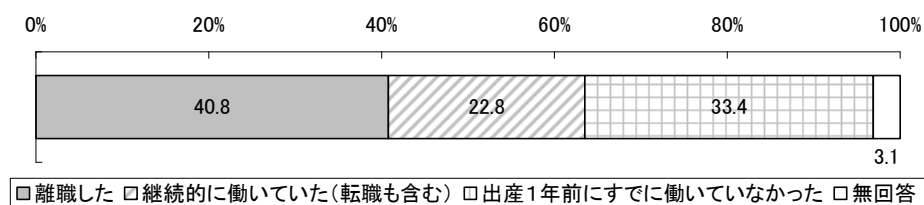
## ＜一番小さな子どもが何歳くらいになったら就労したいか＞

子どもがまだ小さいと回答した人は、一番小さな子どもが何歳くらいになったら就労したいかについて、「10 歳」「12 歳」と回答した人の割合がともに 4.3%と最も高くなっている。



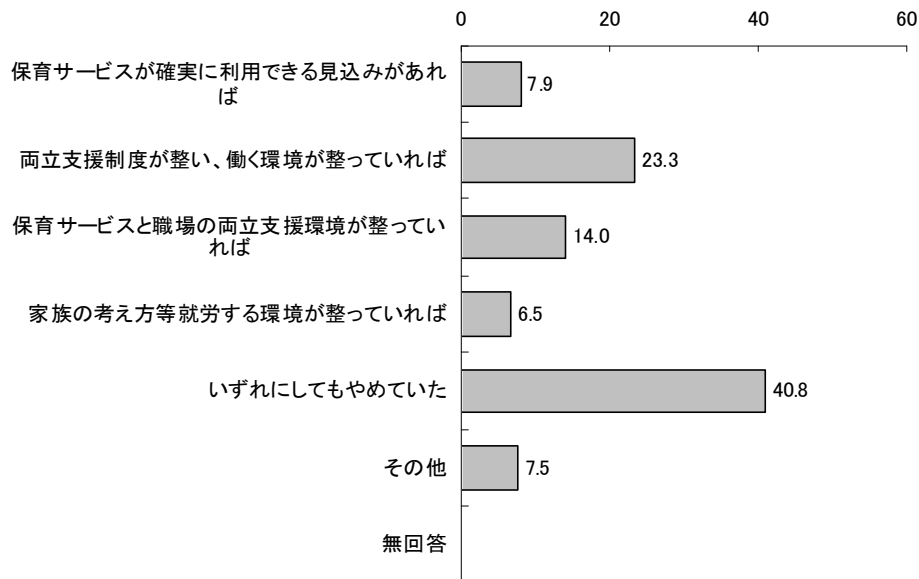
## [2]－12 出産前後の離職の有無

出産前後の離職の有無について、「離職した」と回答した人の割合が 4 割以上（40.8%）と最も高くなっている。次いで、「出産 1 年前にすでに働いていなかった」（33.4%）、「継続的に働いていた」（22.8%）の順になっている。



[2]－13 保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続していたか

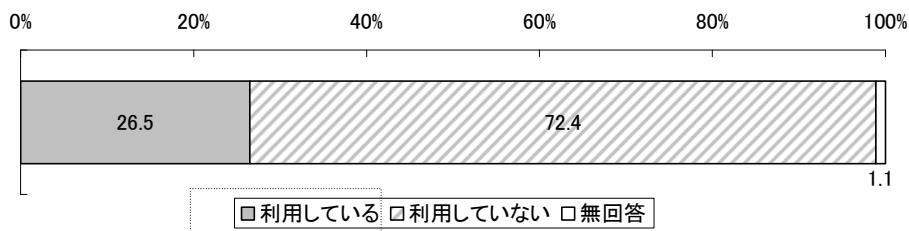
問9で「1 離職した」と回答した人について、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続していたかについて、「いずれにしてもやめていた」と回答した人の割合が4割以上（40.8%）と最も高くなっている。次いで、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」（23.3%）、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちら整っていれば、継続して就労していた」（14.0%）の順になっている。



3. 放課後児童クラブの利用について

[3]－1 放課後児童クラブの利用有無

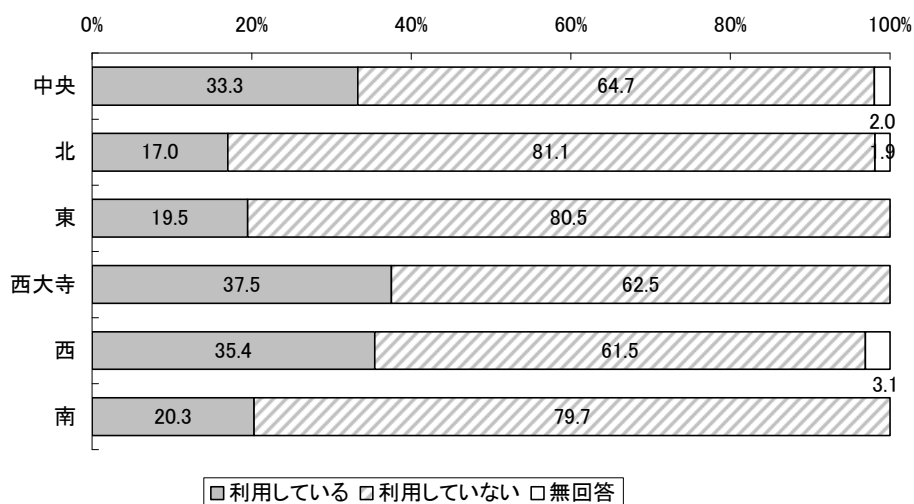
放課後児童クラブの利用実績について、「利用している」と回答した人の割合が26.5%、「利用していない」が72.4%となっている。  
地区別にみると、中央・西大寺・西では「利用している」と回答した人の割合が3割以上と高くなっている。



[3]－2 へ

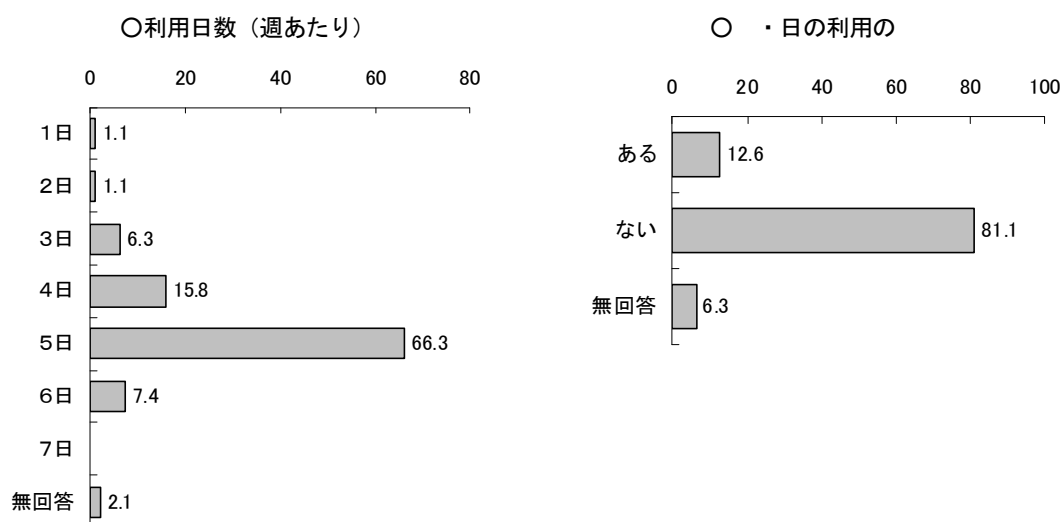


## <地区別>

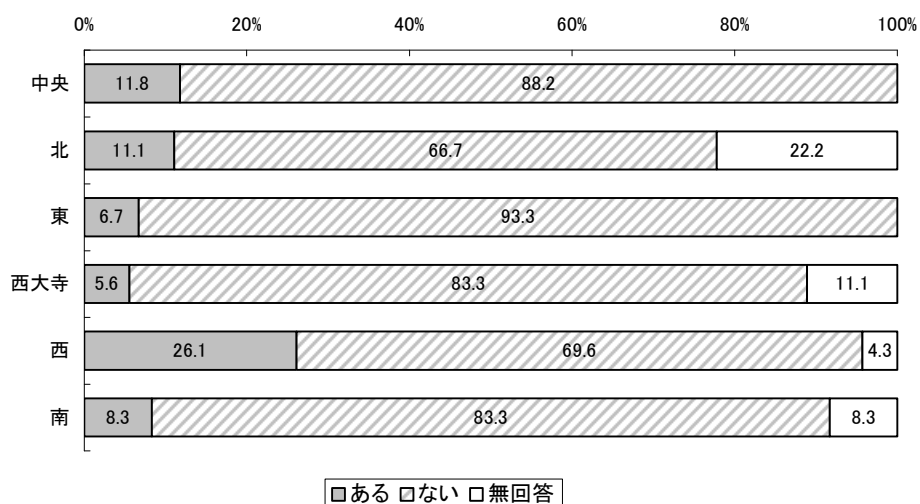


## [3]ー2 放課後児童クラブの利用日数

放課後児童クラブの利用日数について、「5日」と回答した人の割合が6割以上（66.3%）と最も高くなっている。また、土・日曜日の利用については「ある」が12.6%、「ない」が81.1%となっている。

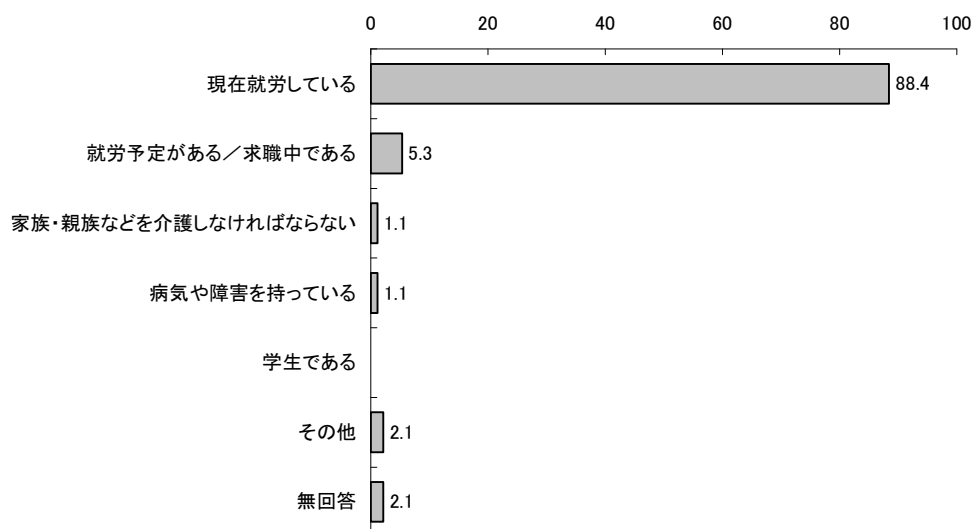


## <土・日曜日の利用の有無 地区別>



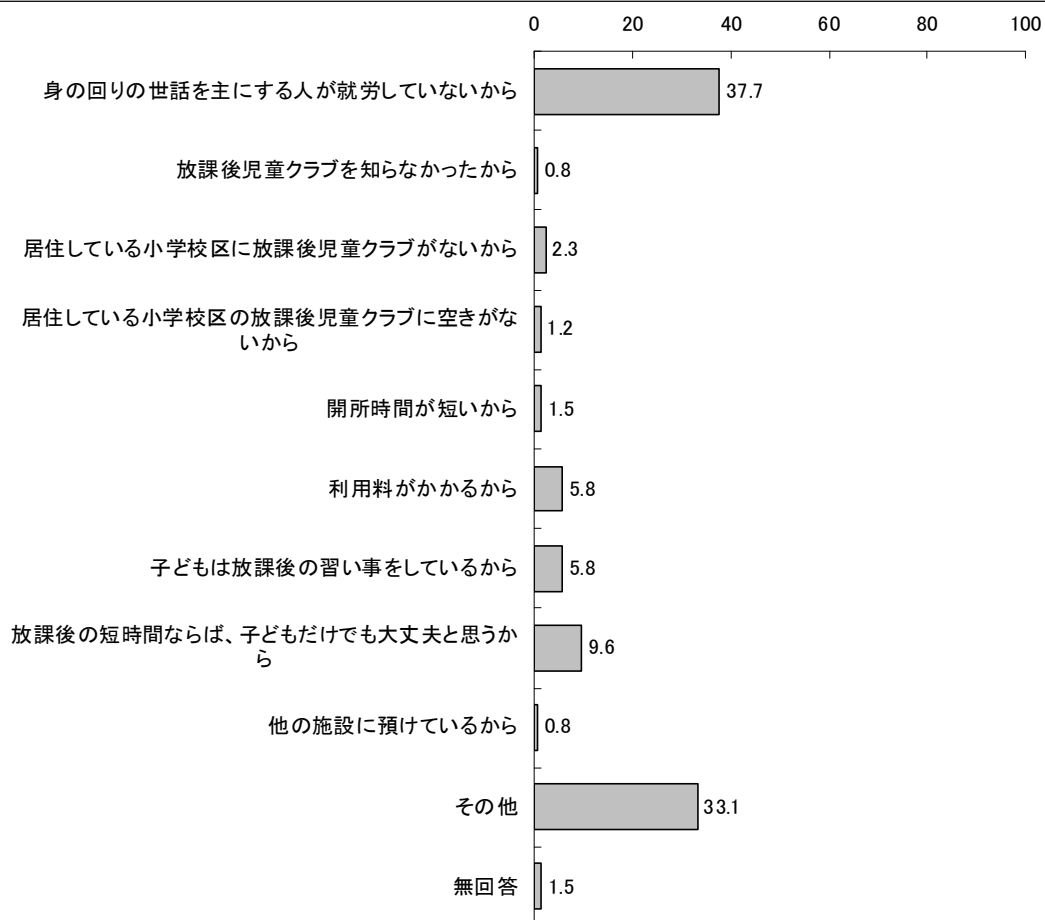
### [3]－3 放課後児童クラブを利用している理由

放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」と回答した人の割合が 9 割程度（88.4%）が最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」（5.3%）の順になっている。



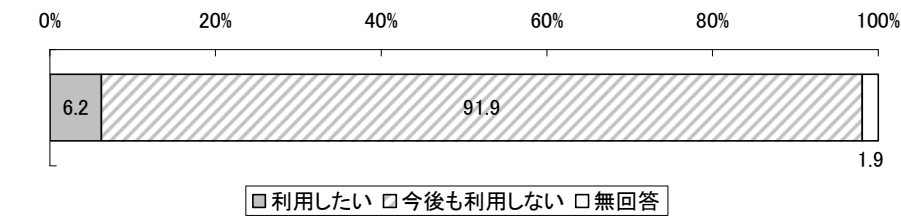
### [3]－4 放課後児童クラブを利用していない理由

放課後児童クラブを利用していない理由について、「お子さんの身の回りの世話を主にしている方が現在就労していないから」と回答した人の割合が 4 割程度（37.7%）と最も高く、次いで「その他」（33.1%）、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」（9.6%）の順になっている。

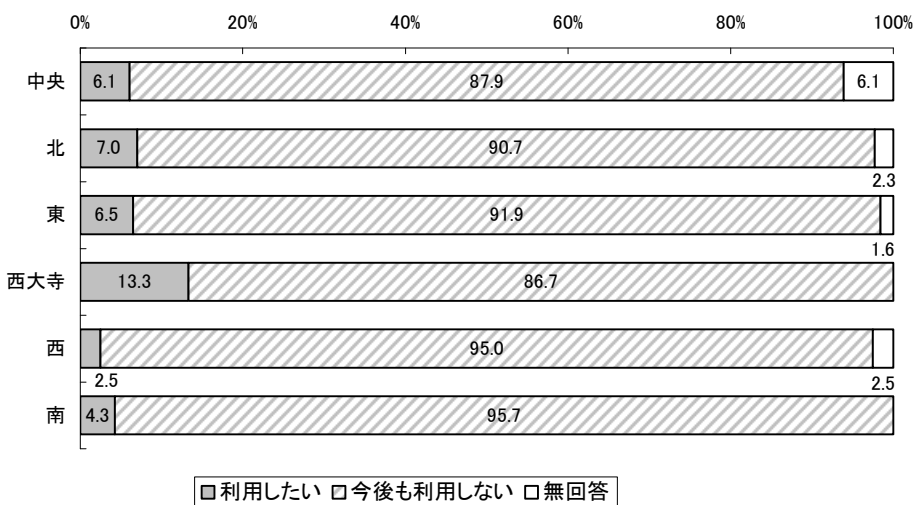


[3]ー5 今後、放課後児童クラブを利用したいか

今後、放課後児童クラブを利用したいかについて、「利用したい」と回答した人の割合が 6.2%、「今後も利用しない」が 91.9%となっている。  
地区別にみると、西大寺では「利用したい」と回答した人の割合が 13.3%と高くなっている。

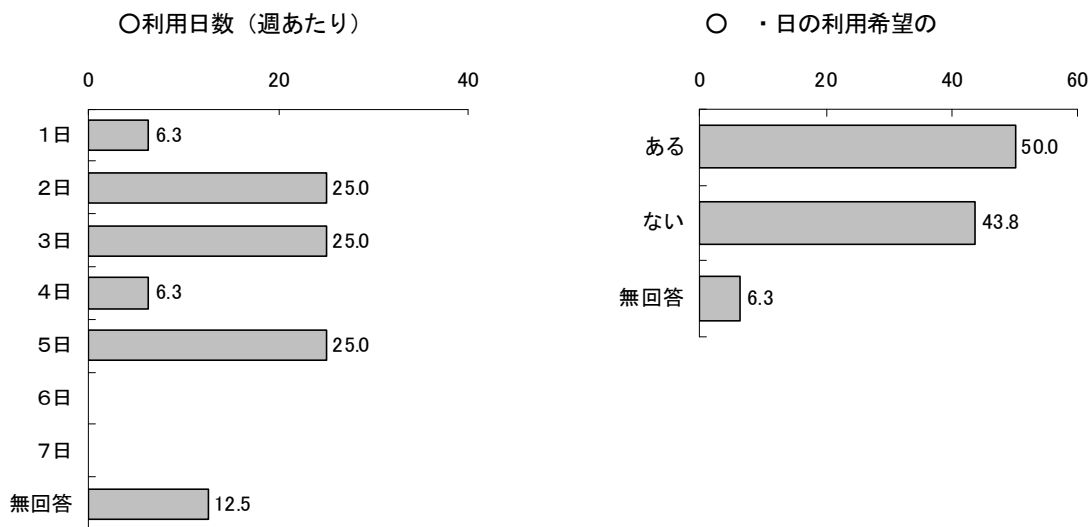


<地区別>



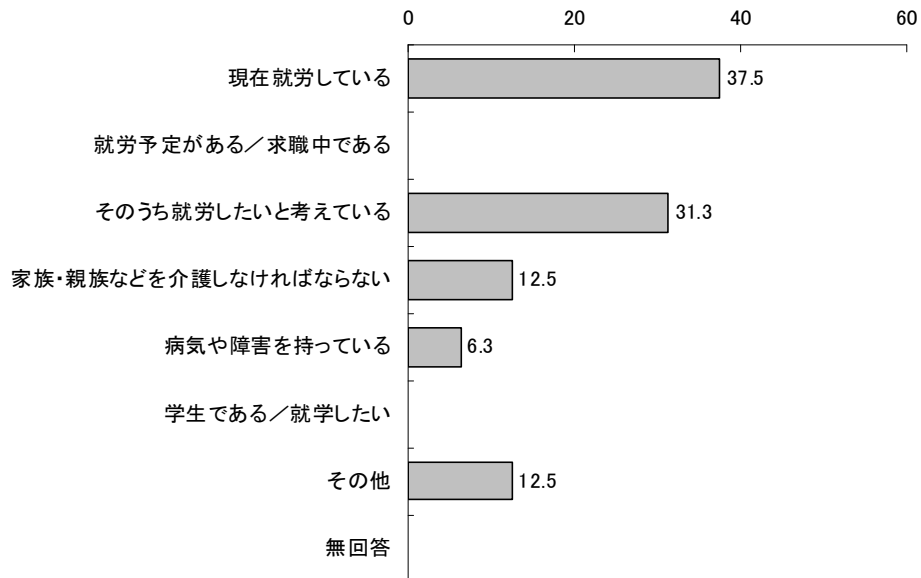
[3]ー6 今後、放課後児童クラブを利用したい日数

今後、放課後児童クラブを利用したい日数について、「2日」「3日」「5日」がともに 25.0%と最も高くなっている。  
また、土・日曜日の利用希望については、「ある」と回答した人の割合が 50.0%、「ない」が 43.8%となっている。



### [3]－7 今後、放課後児童クラブを利用したい理由

今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、「現在就労している」と回答した人の割合が 37.5%と最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えている」(31.3%)、「家族・親族などを介護しなければならない」「その他」(ともに 12.5%) の順になっている。



### [3]－8 放課後子ども教室の利用希望

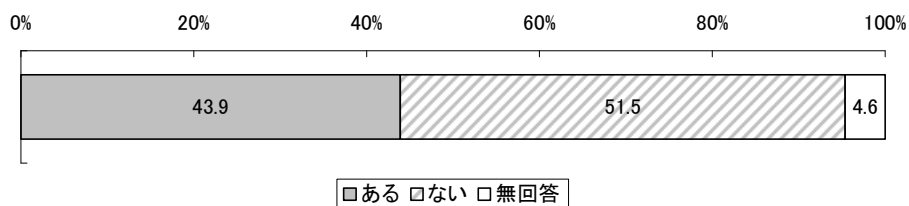
放課後子ども教室の利用希望について、お住まいの地区に放課後子ども教室が「ある」と回答し 43.9%、「ない」が 51.5%となっている。

お住まいの地区に放課後子ども教室がある人について、「利用している」が 9.9%、「利用していないが今後利用したい」が 13.1%、「利用希望がない」が 75.5%となっている。また、今後利用したい人については、「1日」と回答した人が 6.4%と最も高くなっている。

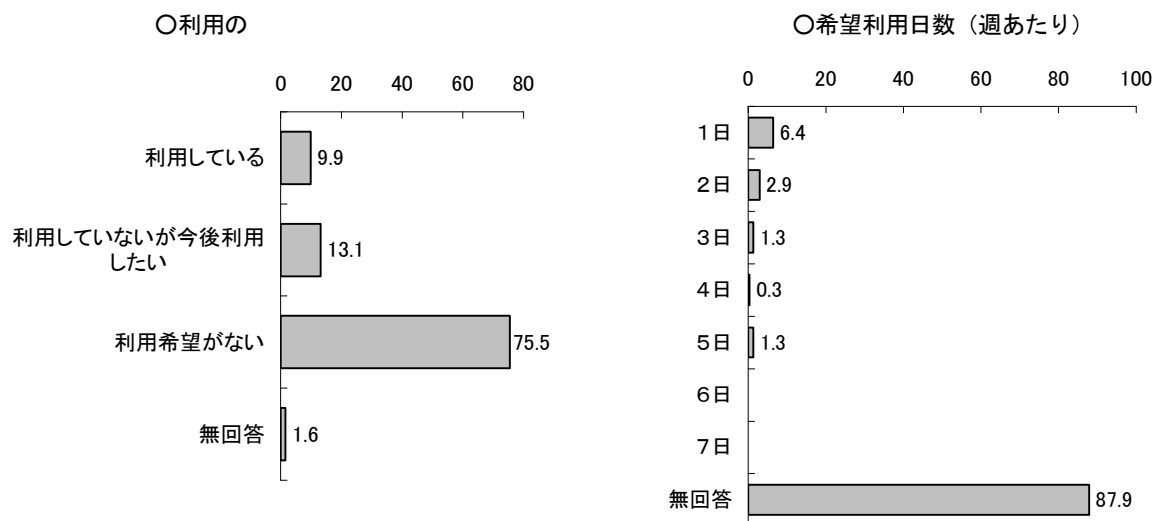
お住まいの地区に放課後子ども教室がない人について、「利用したい」が 31.4%、「利用したくない」が 59.3%となっている。また、今後利用したい人については、「1日」と回答した人がそれぞれ 8.4%と最も高くなっている。

お住まいの地区に放課後子ども教室がない人について、地区別にみると、西大寺では「利用したい」と回答した人の割合が 4割以上となっている。

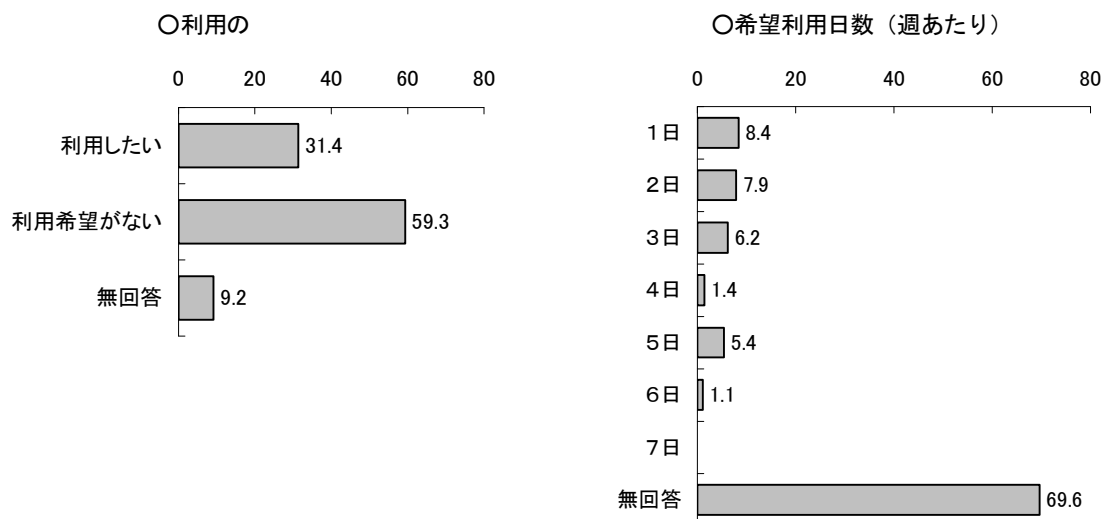
#### <住まいの地区に放課後子ども教室があるか>



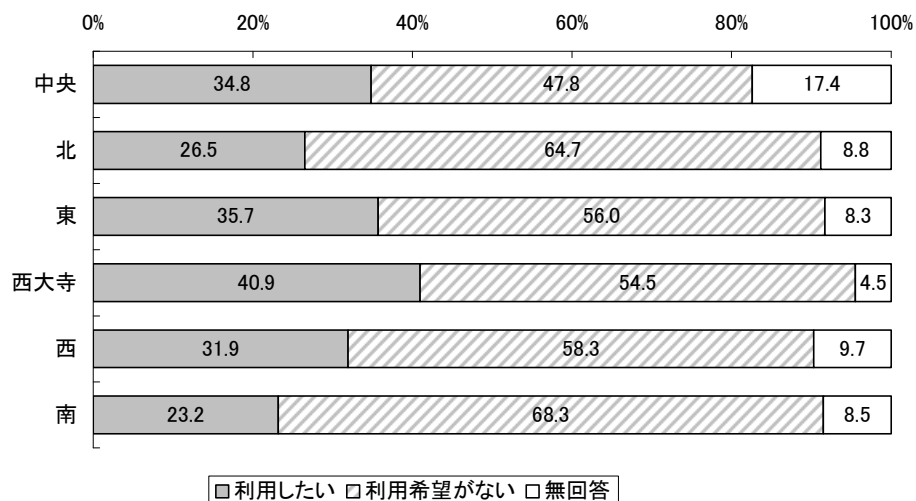
### <住まいの地域に放課後子ども教室がある方>



### <住まいの地域に放課後子ども教室がない方>

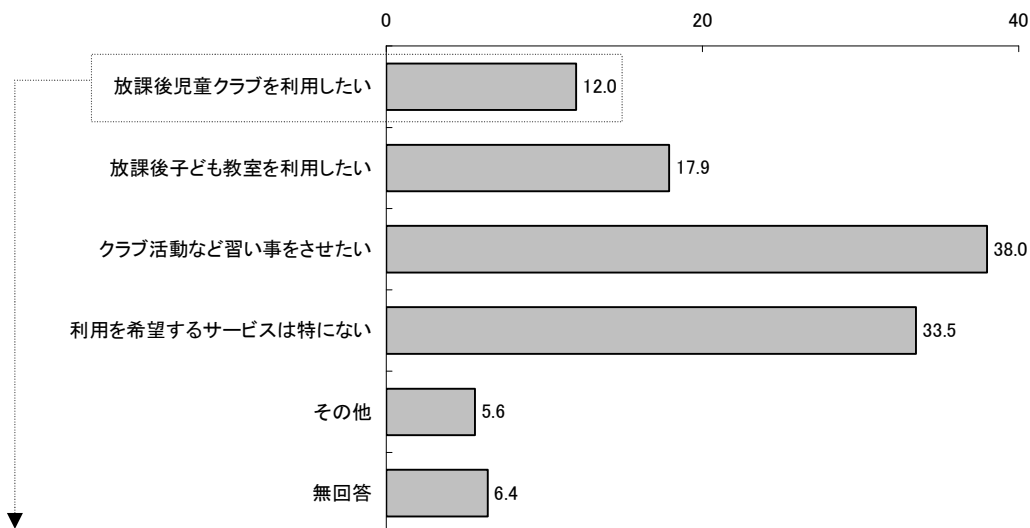


### <住まいの地域に放課後子ども教室がない方（地区別）>

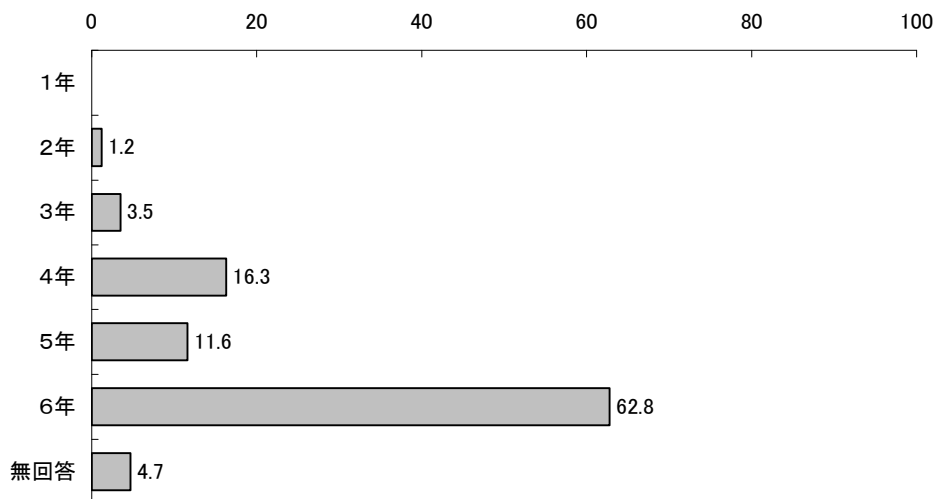


### [3]－9 小学校4年生以降の放課後の過ごし方で望むこと

小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方で望むことについて、「クラブ活動など習い事をさせたい」と回答した人の割合が 4 割程度（38.0%）と最も高く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」（33.5%）、「放課後子ども教室を利用したい」（17.9%）の順になっている。



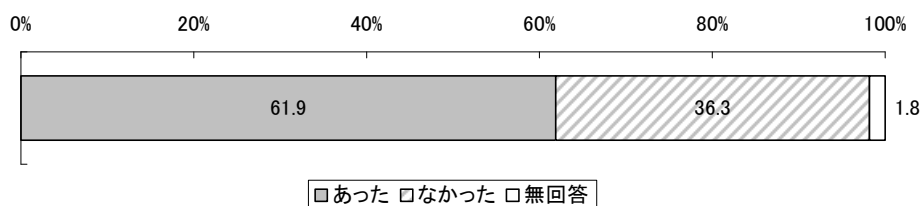
放課後児童クラブを利用したい人については、「6 年生まで利用したい」と回答した人の割合が 6 割以上（62.8%）と最も高くなっている。



## 4. 子どもの病児・病後児保育について

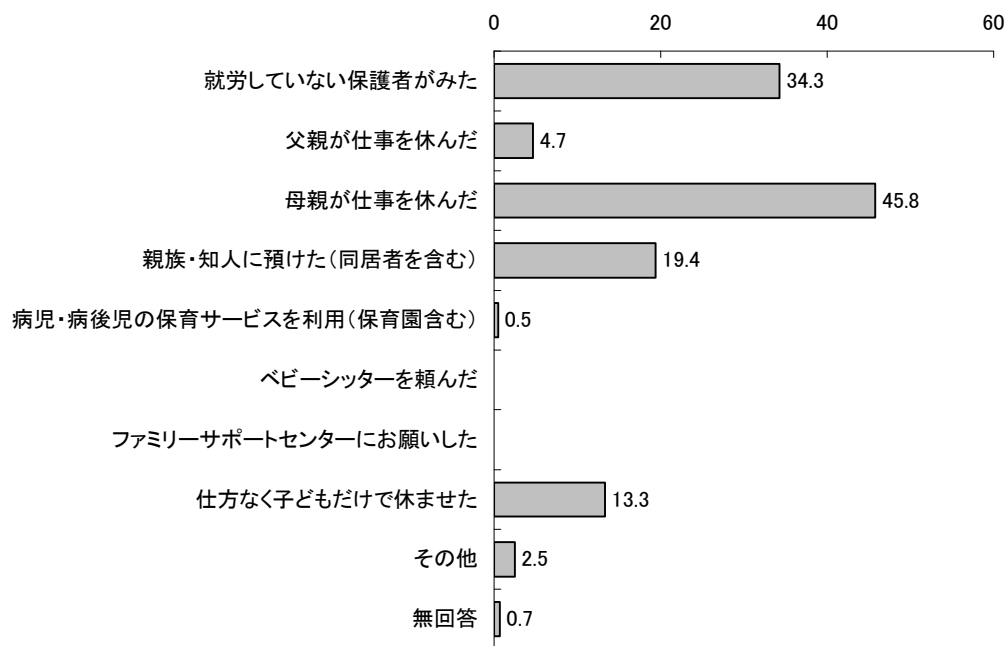
### [4]－1 病気やケガで保育サービスが利用できなかったことはありますか

病気やケガで学校を休まなければならなかったことについて、「あった」が 61.9%、「なかった」が 36.3% となっている。

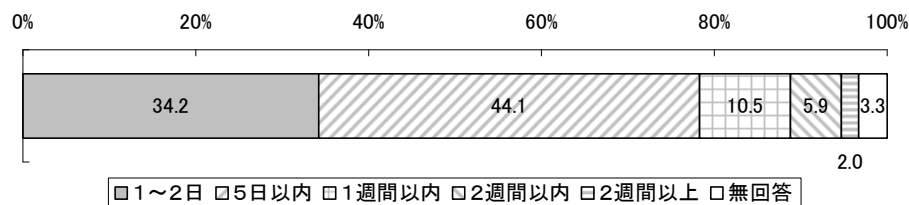


[4]ー2 この1年間の対応方法と日数

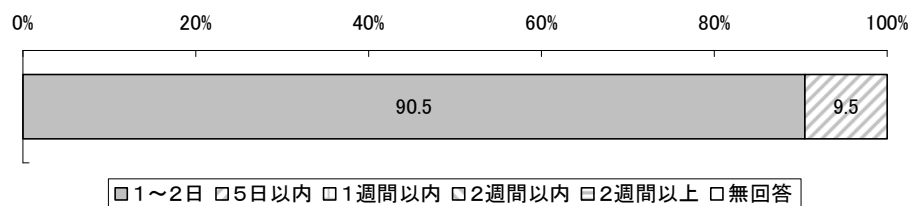
この1年間の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した人の割合が45.8%と最も高くなっている。次いで、「就労していない保護者がみた」（34.3%）、「親族・知人に預けた（同居者を含む）」（19.4%）の順になっている。



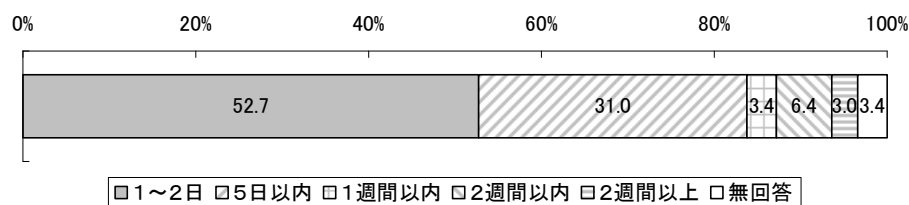
＜就労していない保護者がみた日数＞



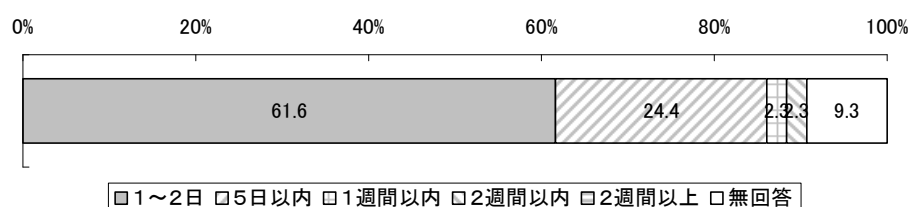
＜父親が仕事を休んだ日数＞



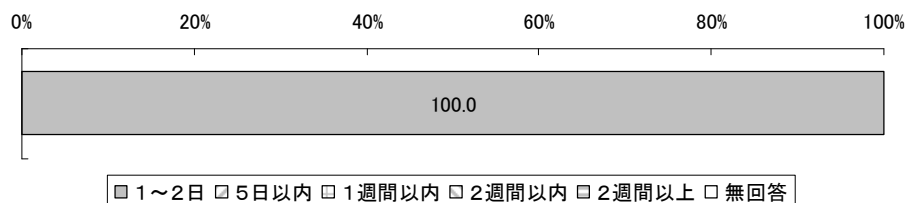
＜母親が仕事を休んだ日数＞



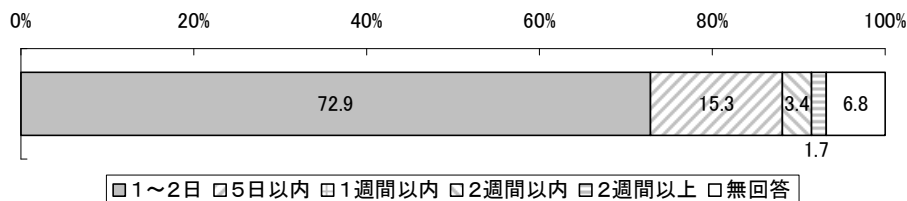
＜親族・知人に預けた（同居者を含む）日数＞



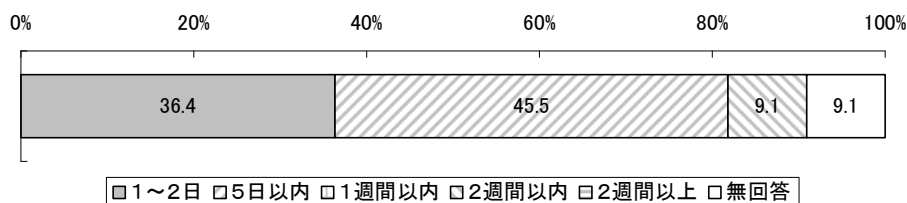
### ＜病児・病後児の保育サービスを利用（保育園含む）日数＞



### ＜仕方なく子どもだけで休ませた日数＞

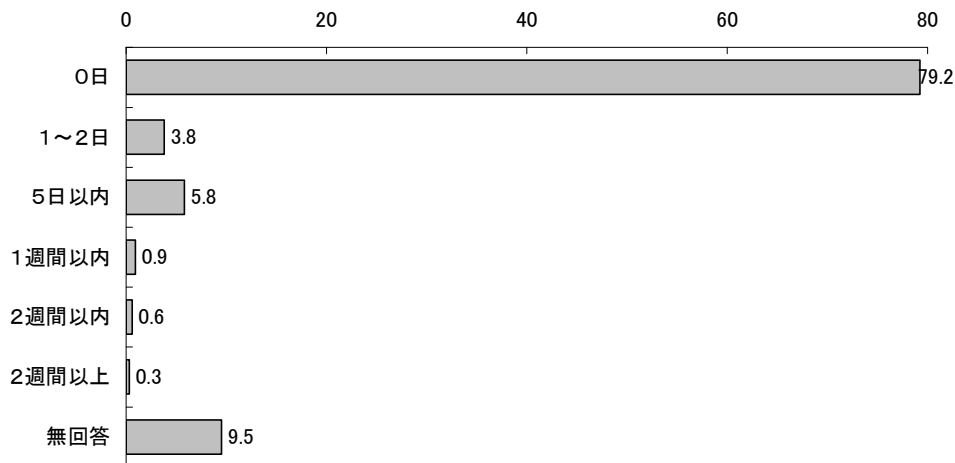


### ＜その他日数＞



### [4]－3 できれば施設に預けたいと思われた日数

できれば施設に預けたいと思われた日数について、「0日」と回答した人の割合が8割程度（79.2%）と最も高く、「5日以内」（5.8%）、「1～2日」（3.8%）の順になっている。

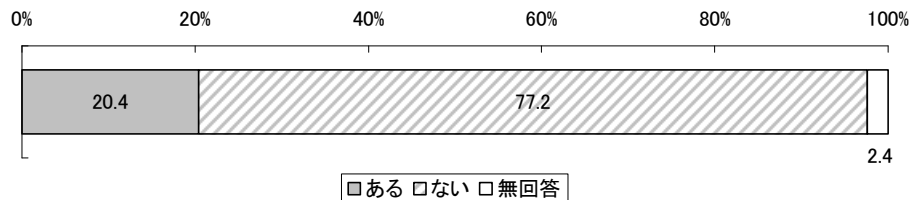




## 5. 子どもの一時預かりについて

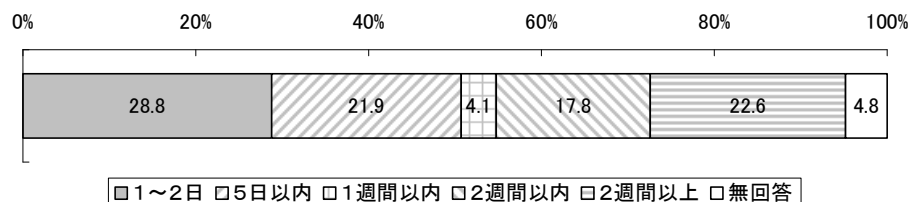
### [5]ー1 子どもを家族以外に預けたことはありますか

子どもを家族以外に預けたことについて、「ある」が20.4%、「ない」が77.2%となっている。



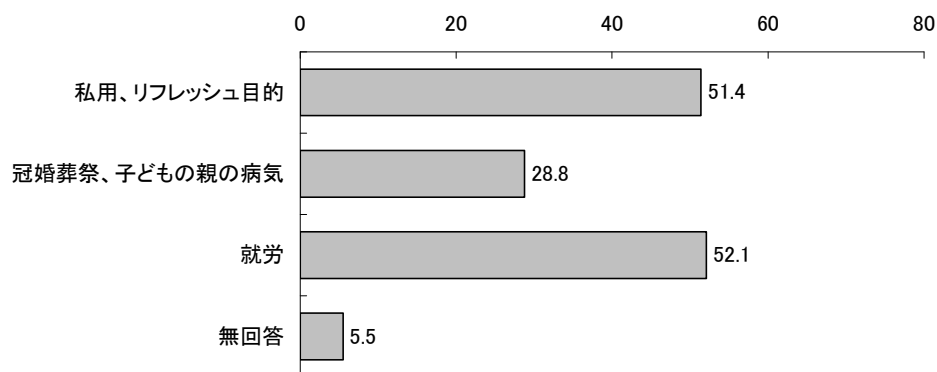
### [5]ー2 子どもを家族以外に預けた日数

預けた日数について、「1～2日」と回答した人の割合が28.8%と最も高く、次いで「2週間以上」(22.6%)、「5日以内」(21.9%)の順になっている。

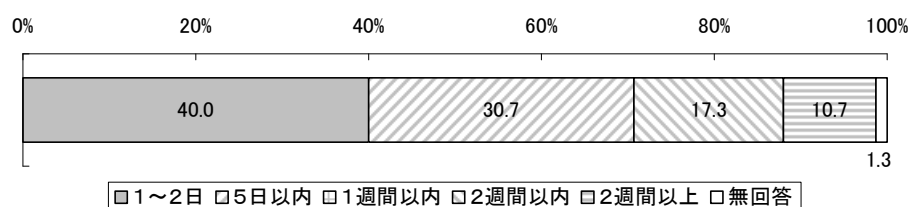


### [5]ー3 理由別と預けた日数

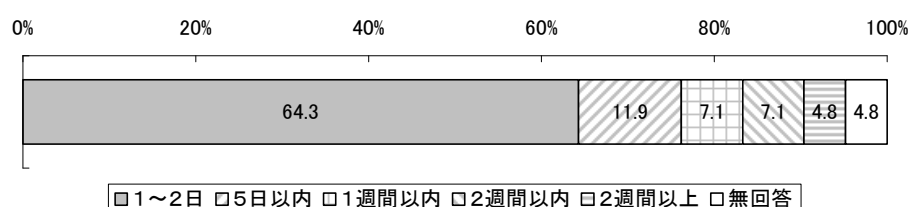
預けた理由について、「私用、リフレッシュ」「就労」と回答した人の割合がともに5割程度と高く、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」は3割程度(28.8%)となっている。



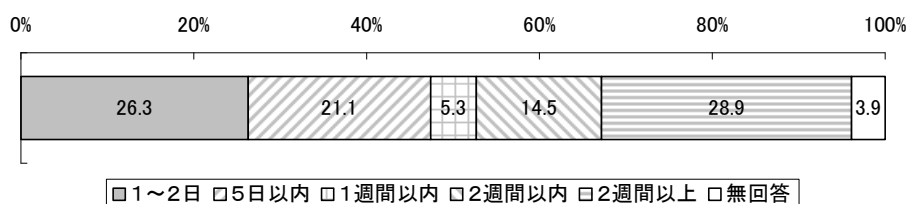
#### <私用、リフレッシュ目的 日数>



#### <冠婚葬祭、子どもの親の病気 日数>



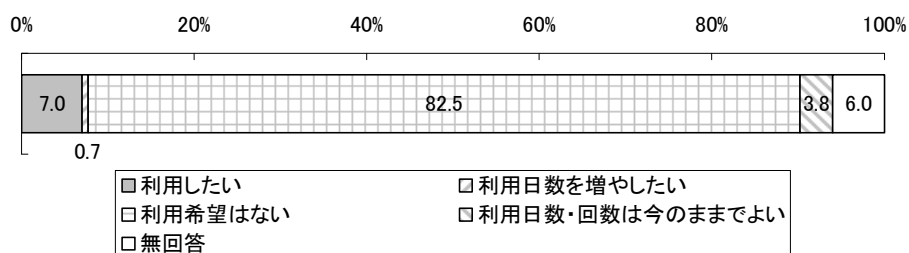
## <就労 日数>



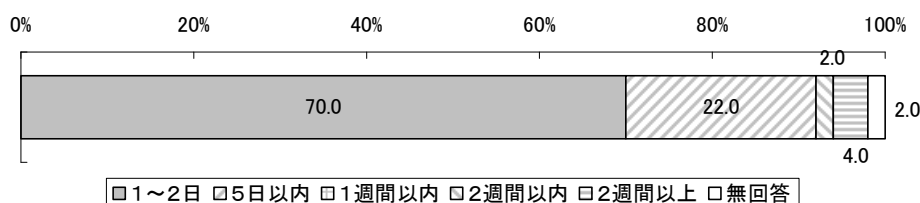
## [5]ー4 新たな利用希望と利用希望日数

今は該当がないが、できれば一時預かりを利用したい、あるいは、利用されている方で、利用日数を増やしたいかについて、「利用したい」が7.0%、「日数を増やしたい」が0.7%、「利用希望はない」が82.5%、「今のままでよい」が3.8%となっている。

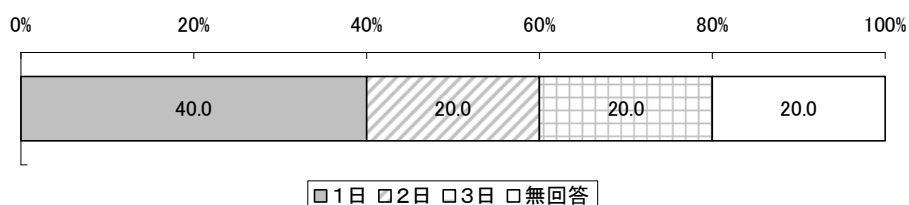
利用したい日数では、「1~2日」と回答した人の割合が7割（70.0%）、利用を増やしたい日数では「1日」（40.0%）と回答した人の割合が高くなっている。



## <利用したい日数>



## <利用を増やしたい日数>

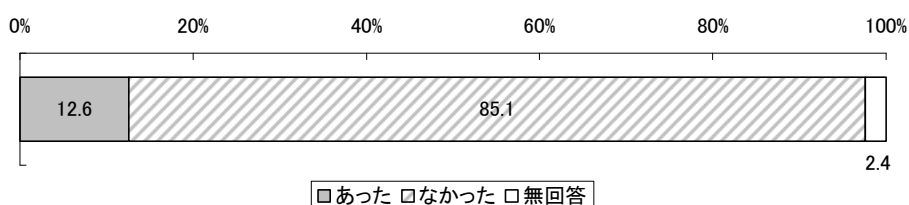


## 6. 子どもの宿泊を伴う一時預かりについて

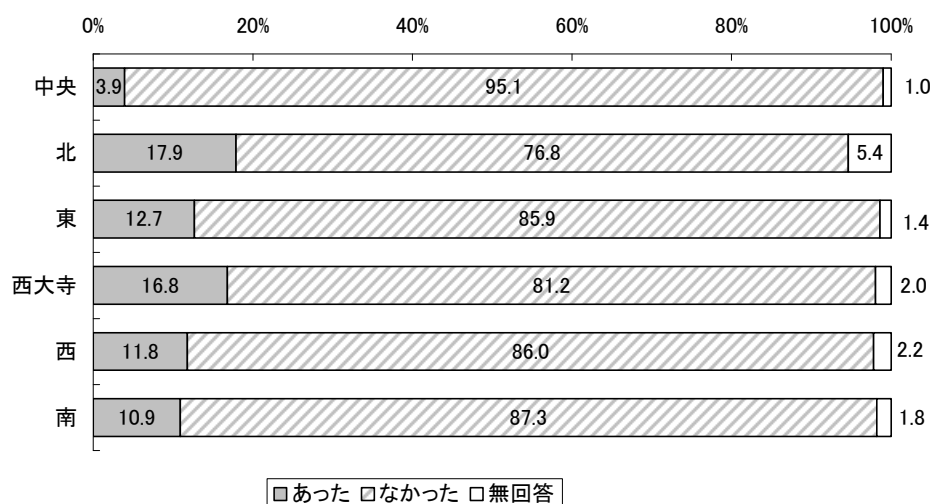
### [6]ー1 泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありますか

泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことについて、「あった」が12.6%、「なかった」が85.1%となっている。

地区別にみると、北・西大寺では「あった」と回答した人の割合が2割程度と高くなっている。

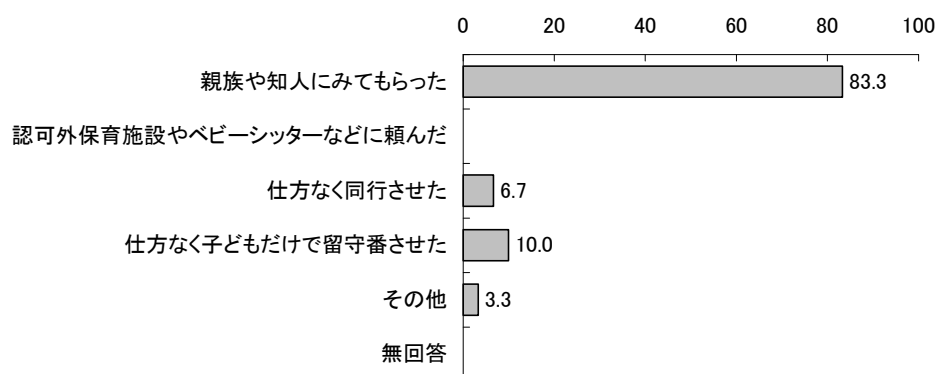


## <地区別>

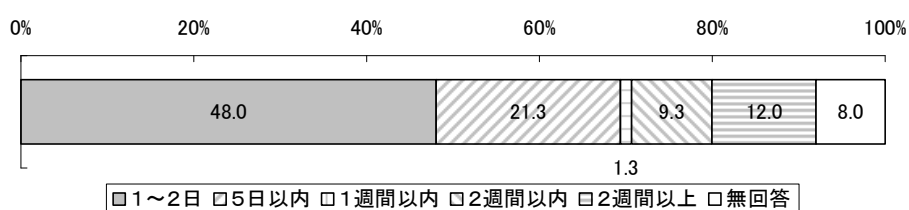


## [6]ー2 この一年間の対応方法と日数

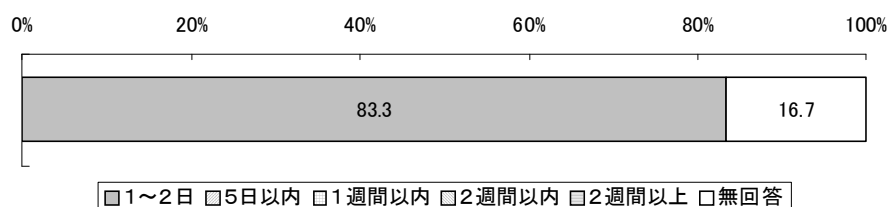
対応方法について、「親族や知人にみてもらった（同居の祖父母を含む）」と回答した人の割合が83.3%と最も高くなっている。



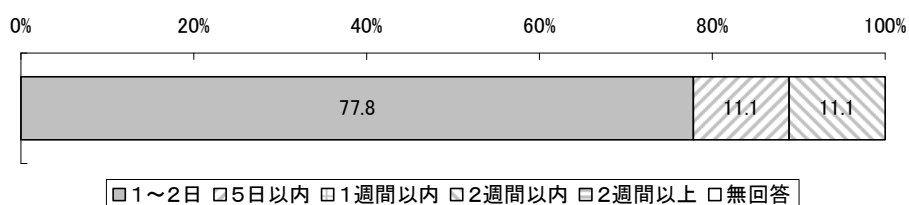
## <親族や知人にみてもらった日数>



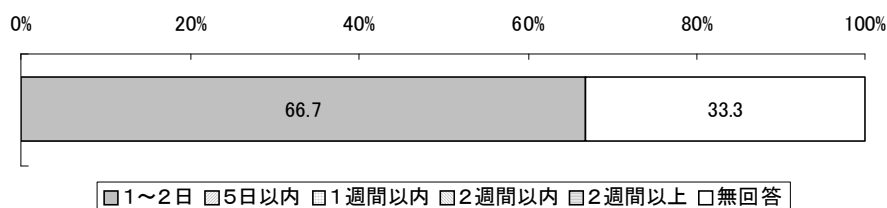
## <仕方なく同行させた日数>



## <仕方なく子どもだけで 番させた日数>

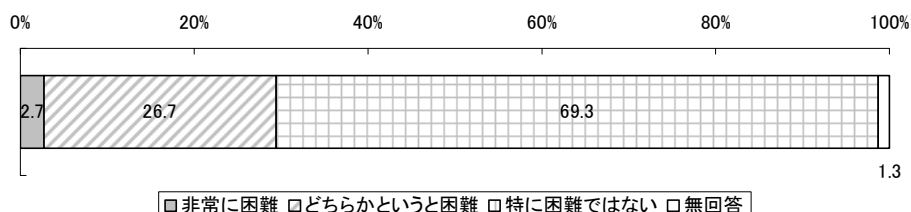


## <その他日数>



### [6]－3 親族・知人に預ける際の困難度はどの程度ですか

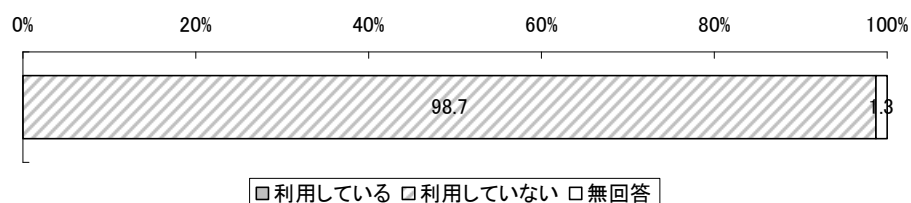
親族・知人にみてもらった場合の困難度について「非常に困難」と回答した人の割合が2.7%、「どちらかというと困難」が26.7%、「特に困難ではない」が69.3%となっている。



## 7. ベビーシッターの利用について

### [7]－1 ベビーシッターの利用有無

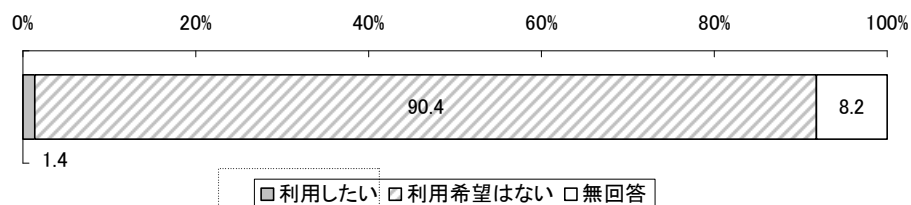
ベビーシッターの利用有無について、「利用していない」と回答した人の割合が98.7%となっている。



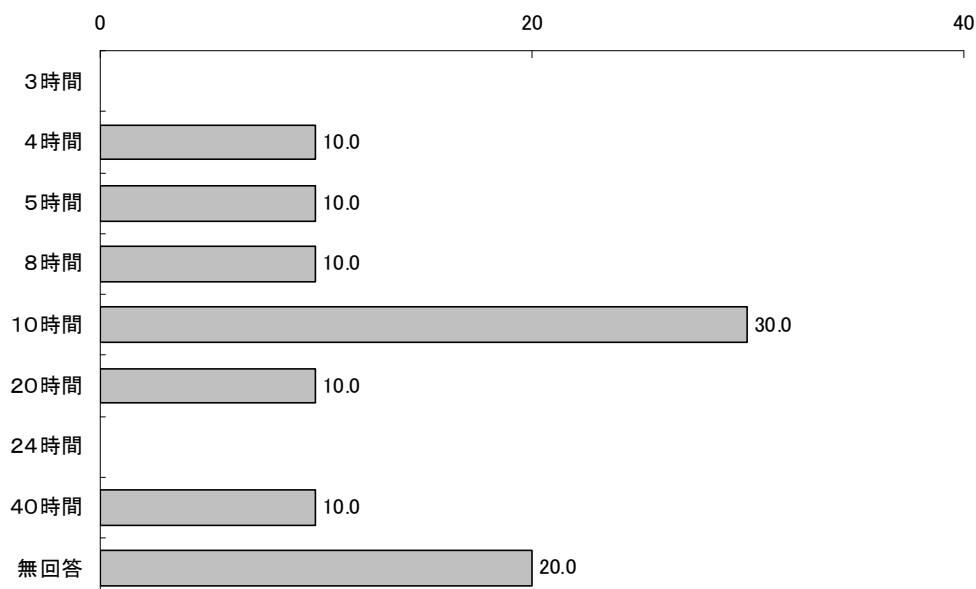
### [7]－2 今は利用していないが、できれば利用したいか

今は利用していないが、今後は利用したいかについて、「利用したい」と回答した人の割合が1.4%、「利用希望はない」が90.4%となっている。

利用希望時間については、「月に10時間」と回答した人の割合が30.0%と最も高くなっている。



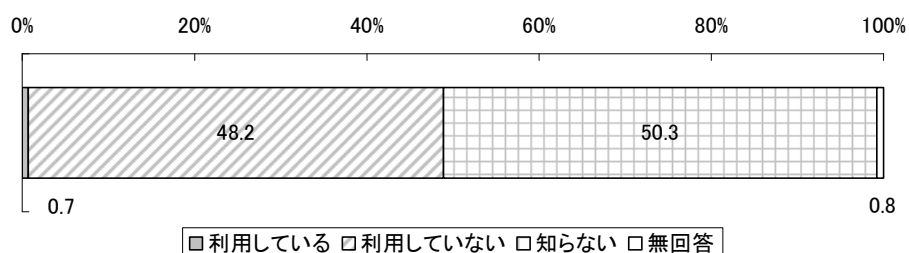
## ＜利用したい場合の利用時間＞



## 8. ファミリーサポートセンターの利用について

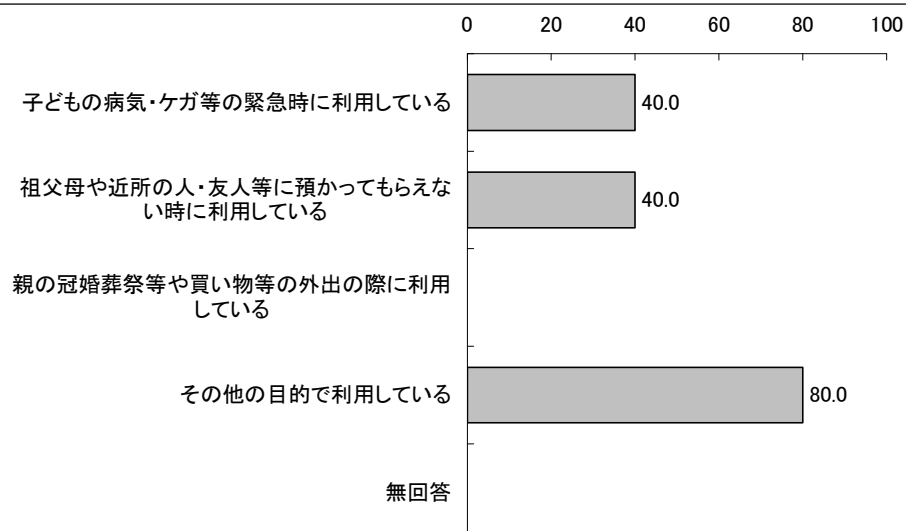
### [8]ー1 ファミリーサポートセンターの利用有無

ファミリーサポートセンターの利用について、「利用している」と回答した人の割合が 0.7%、「知っているが、利用したことがない」が 48.2%、「知らなかった」が 50.3%となっている。



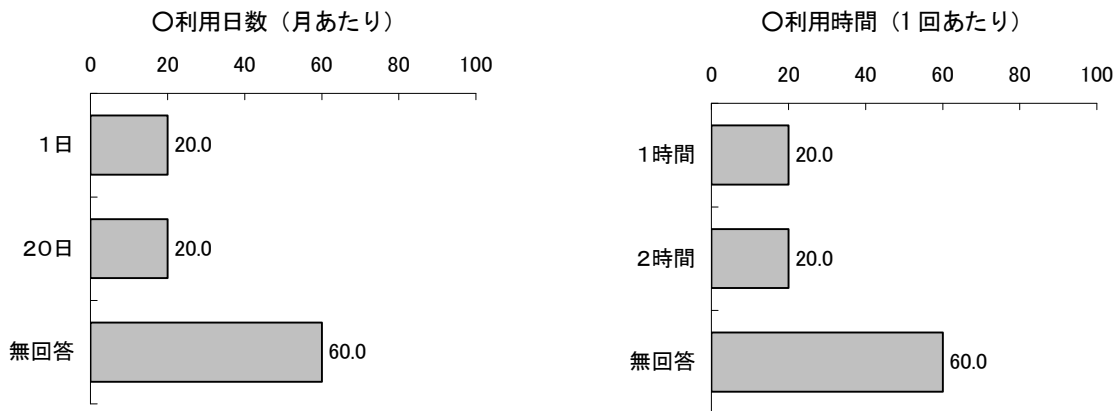
### [8]ー2 ファミリーサポートセンターの利用目的

ファミリーサポートセンターの利用目的について、「その他の目的で利用している」と回答した人の割合が 8割 (80.0%) と最も高く、次いで「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」(ともに 40.0%) の順になっている。



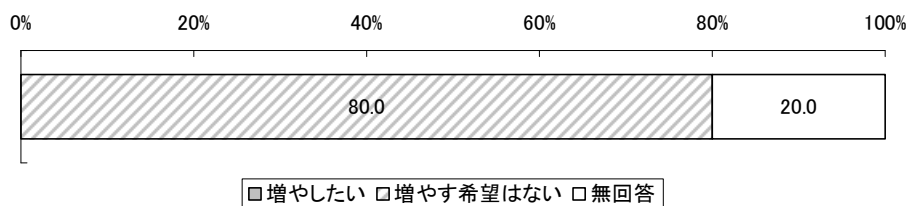
[8]ー3 ファミリーサポートセンターの利用頻度(回数、時間)

ファミリーサポートセンターの利用頻度について、「1 日」または「20 日」、利用時間については「1 時間」または「2 時間」と回答している人が 1 人ずついる。



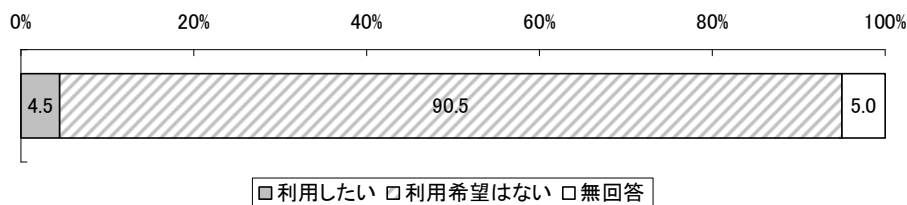
[8]ー4 利用日数・回数の増加

利用者が利用日数を増やしたいかについて、「増やす希望はない」と回答した人の割合が 80.0%となっている。

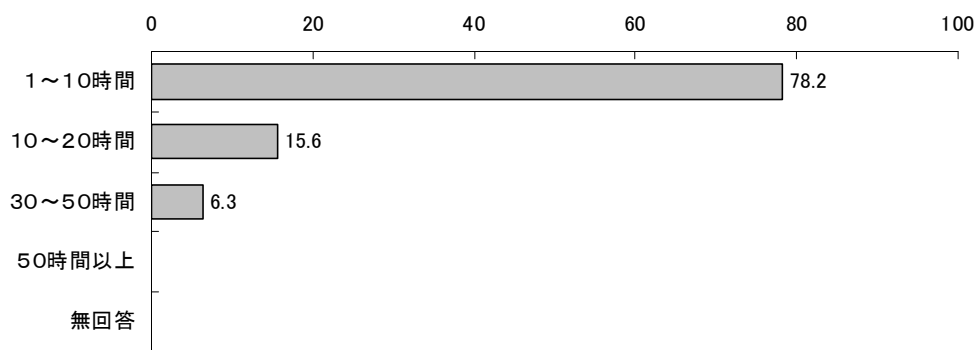


[8]ー5 今は利用していないが、できれば利用したいか

今は利用していないが、できれば利用したいかについて、「利用したい」と回答した人の割合が 4.5%、「利用希望はない」が 90.5%となっている。また、新たに利用したい人については、月に「1～10 時間」と回答した人の割合が 8 割程度 (78.2%) となっている。



<利用したい場合の利用時間>



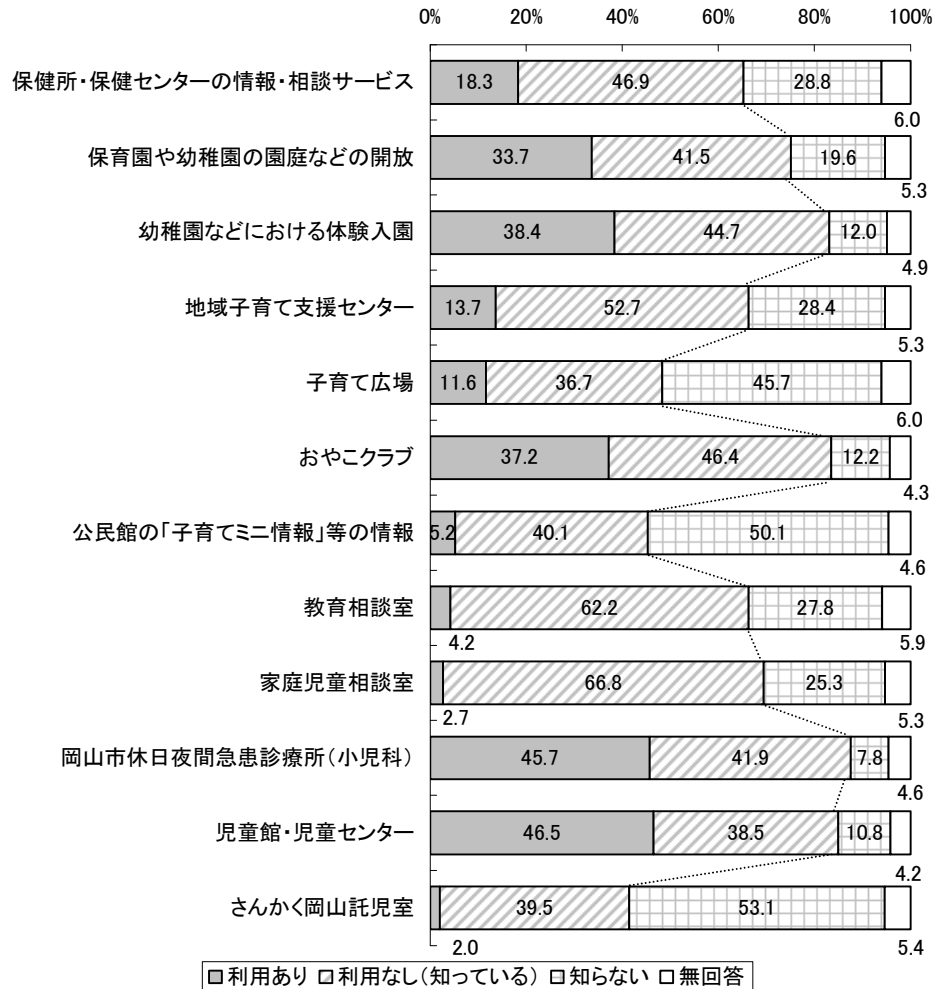
## 9. すべての方におうかがいします

### [9]ー1 子育て支援サービスの認知度・利用度

子育て支援サービスの利用度について、「岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」「児童館・児童センター」では「利用あり」と回答した人の割合が4割以上と高くなっている。

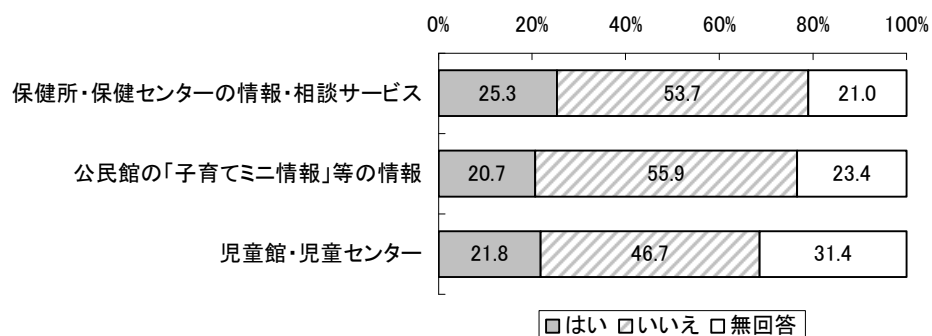
それに対して、「さんかく岡山託児室」「公民館の「子育てミニ情報」等の情報」「子育て広場」では知らないと回答した人の割合が4割以上と高くなっている。

#### <利用の有無>



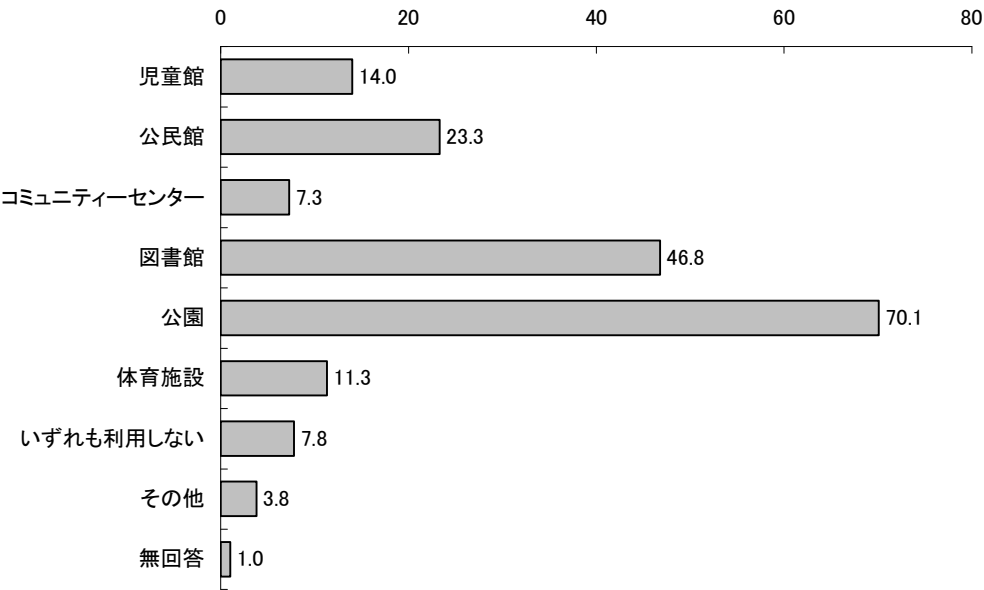
#### <今後の利用希望>

子育て支援サービスの利用度について、今後利用したいかについては「保健所・保健センターの情報・相談サービス」「公民館の「子育てミニ情報」等の情報」「児童館・児童センター」のすべてにおいて「はい」と回答した人の割合が2割程度となっている。



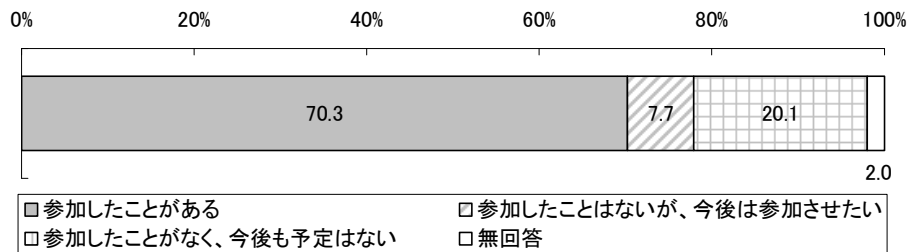
[9]ー2 お子さんがよく利用する公共施設

よく利用する公共施設については、「公園」と回答した人の割合が 70.1%と最も高く、次いで「図書館」(46.8%)、「公民館」(23.3%) の順になっている。

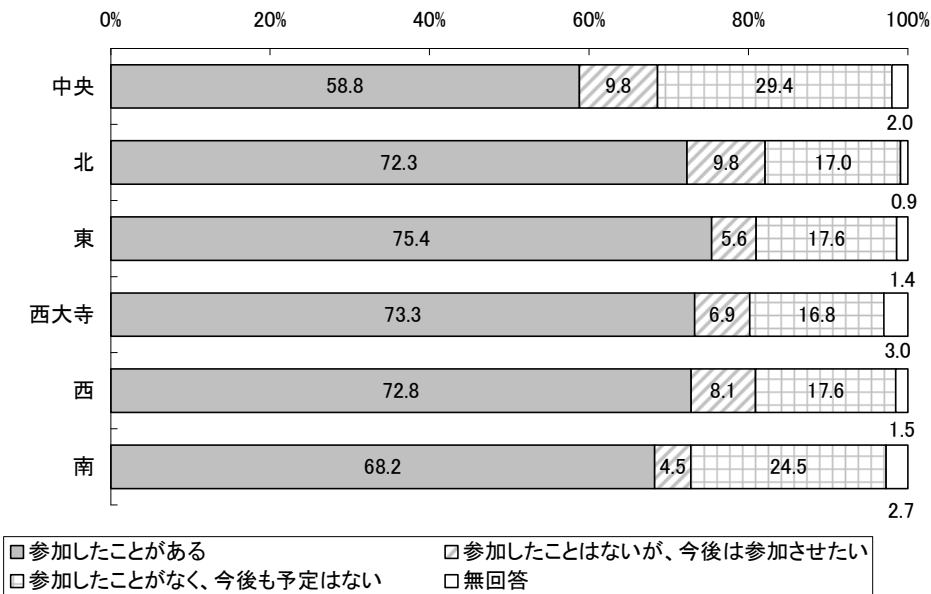


[9]ー3 お子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがあるか

子どもは地域活動やグループ活動などに参加したことがあるかについて、「参加したことがある」と回答した人の割合が 7 割程度 (70.3%) と最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も予定はない」(20.1%)、「参加したことはないが、今後は参加させたい」と思っている (7.7%) となっている。  
地区別にみると、中央では「参加したことがある」と回答した人の割合が 6 割未満と低くなっている。



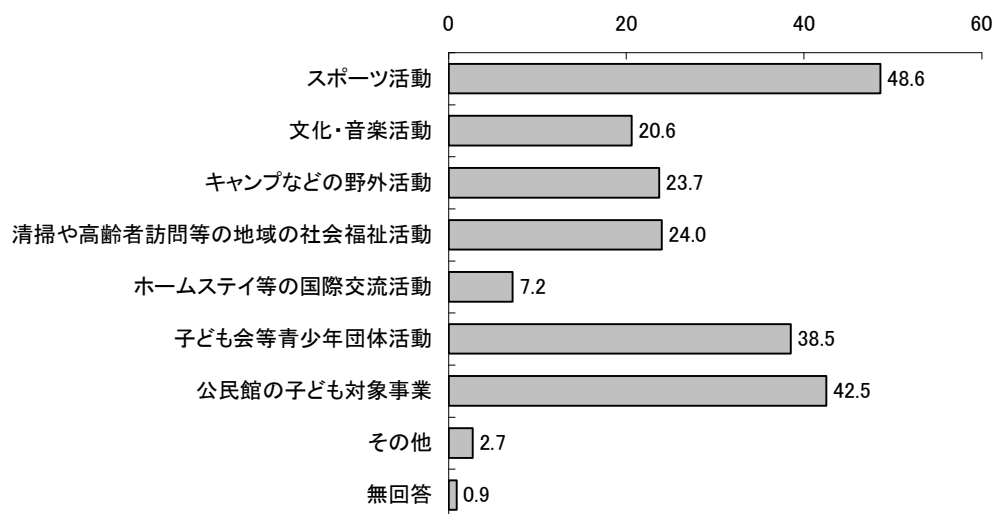
<地区別>





#### [9]－4 お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動

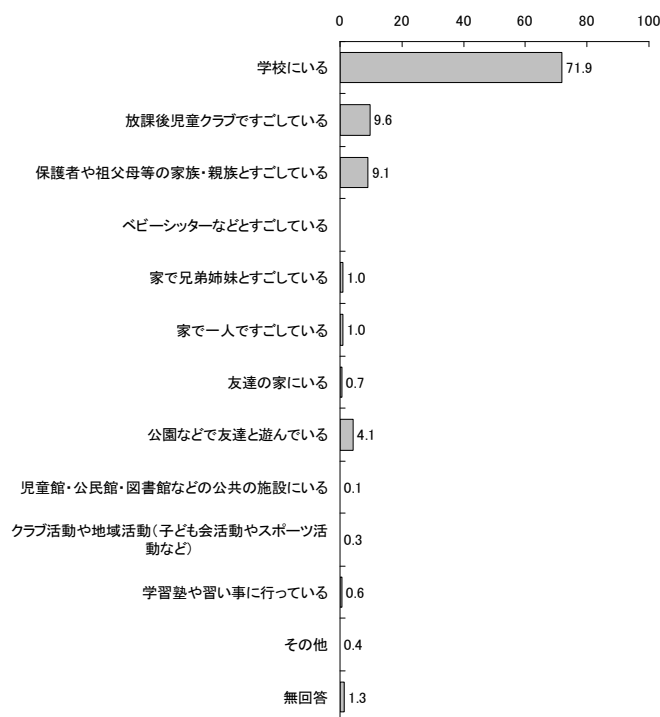
子どもが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動について、「スポーツ活動」と回答した人の割合が5割程度（48.6%）と最も高く、次いで「公民館の子ども対象事業」（42.5%）、「こども会等青少年団体活動」（38.5%）の順になっている。



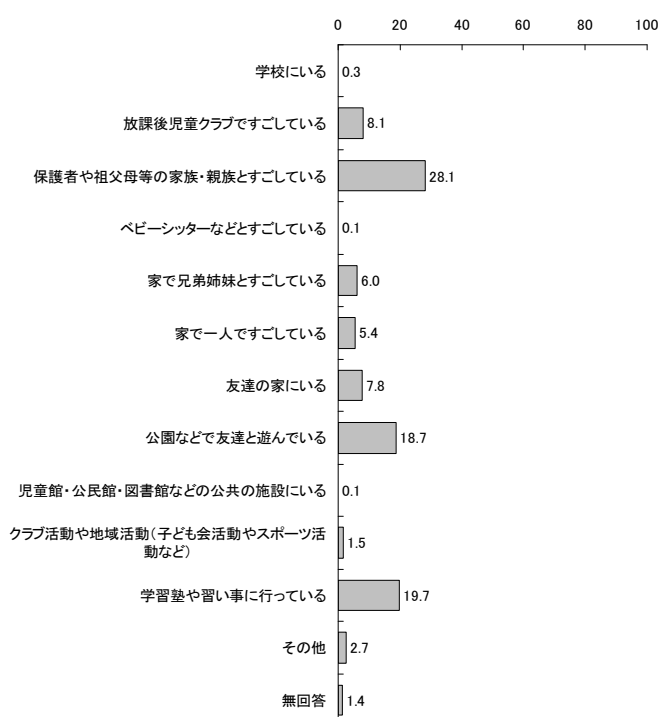
## [9]－5 平日の放課後のお子さんの過ごし方

平日放課後のお子さんの過ごし方として、14～16 時までは「学校にいる」、18～20 時、20 時以降は「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）とすごしている」と回答した人の割合が高くなっている。16～18 時については、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）とすごしている」と回答した人の割合が 28.1%と最も高く、次いで「学習塾や習い事に行っている」（19.7%）、「公園などで友達と遊んでいる」（18.7%）の順になっている。

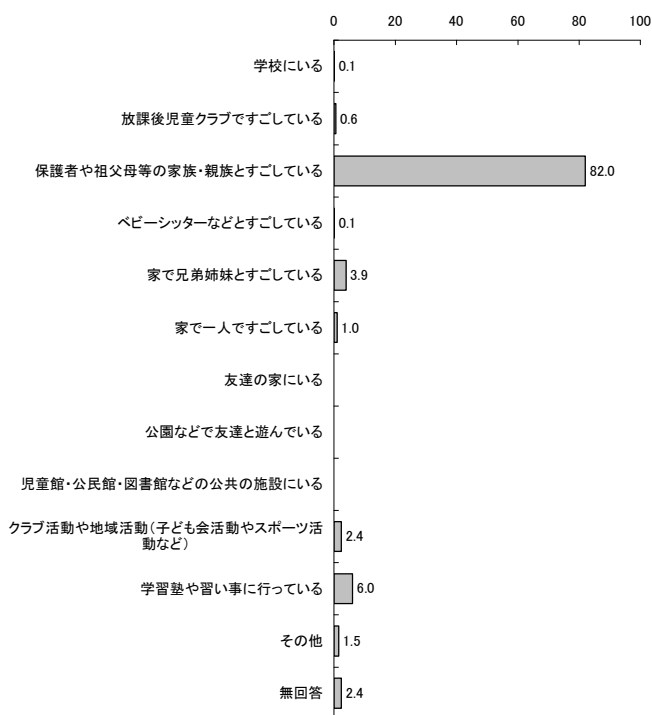
○14～16 時



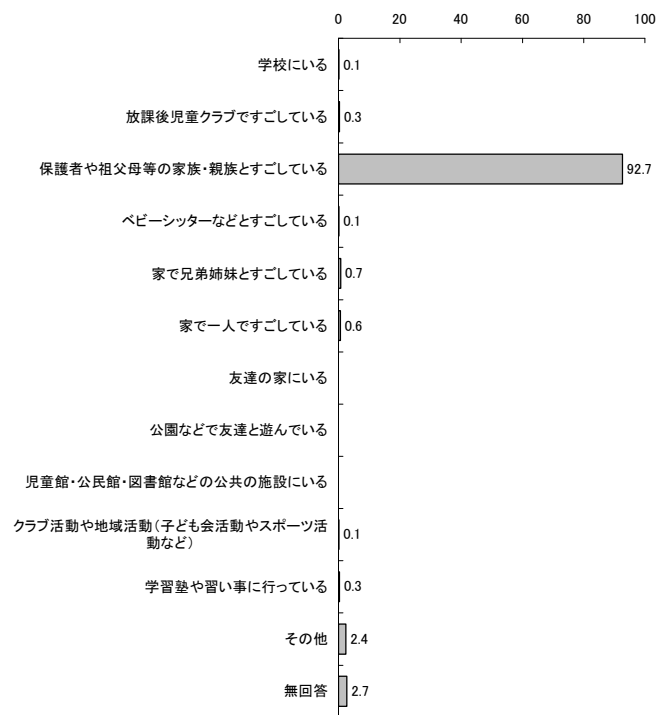
○16～18 時



○18～20 時



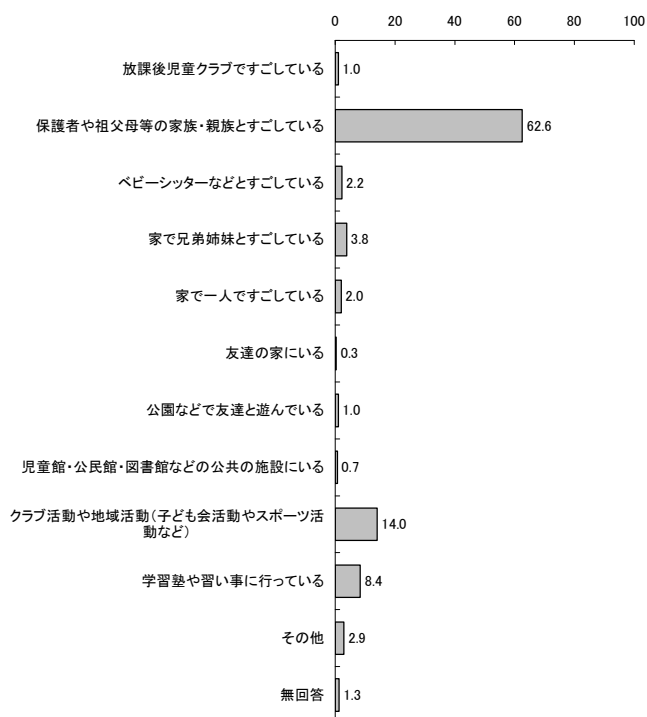
○20 時以



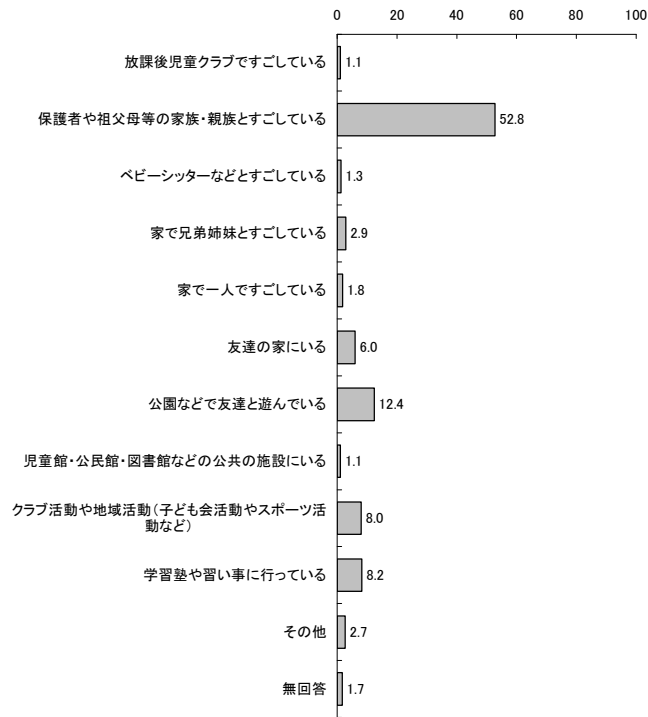
## [9]ー6 土曜日のお子さんの過ごし方

土曜日のお子さんの過ごし方として、すべての時間帯において「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）とすごしている」と回答した人の割合が最も高くなっている。

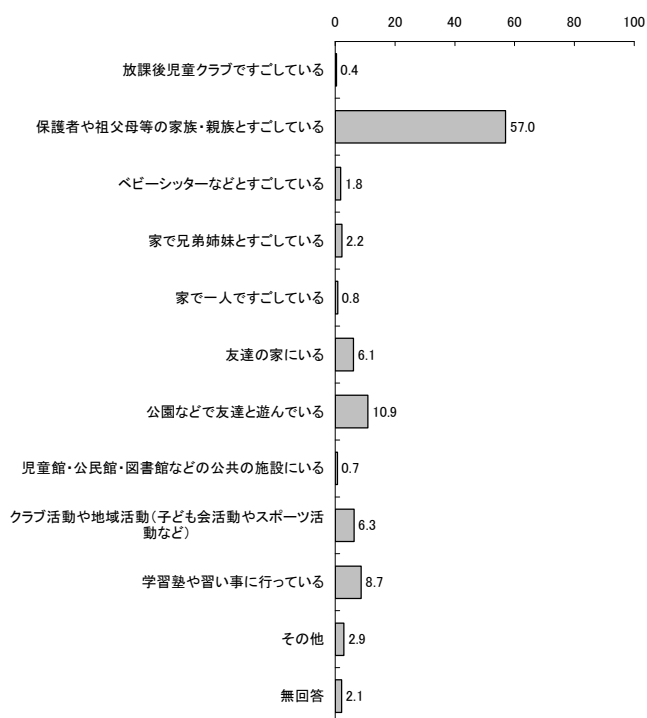
〇8～12 時



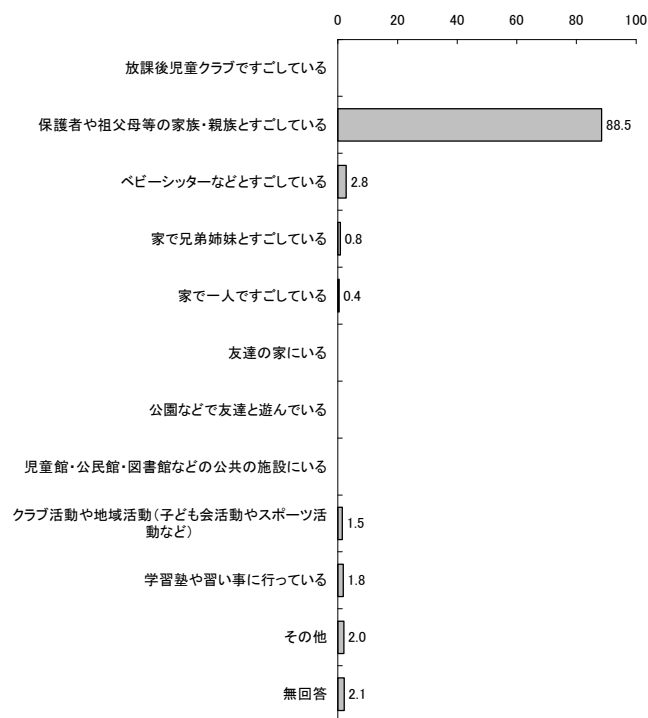
〇12～15 時



〇15～18 時

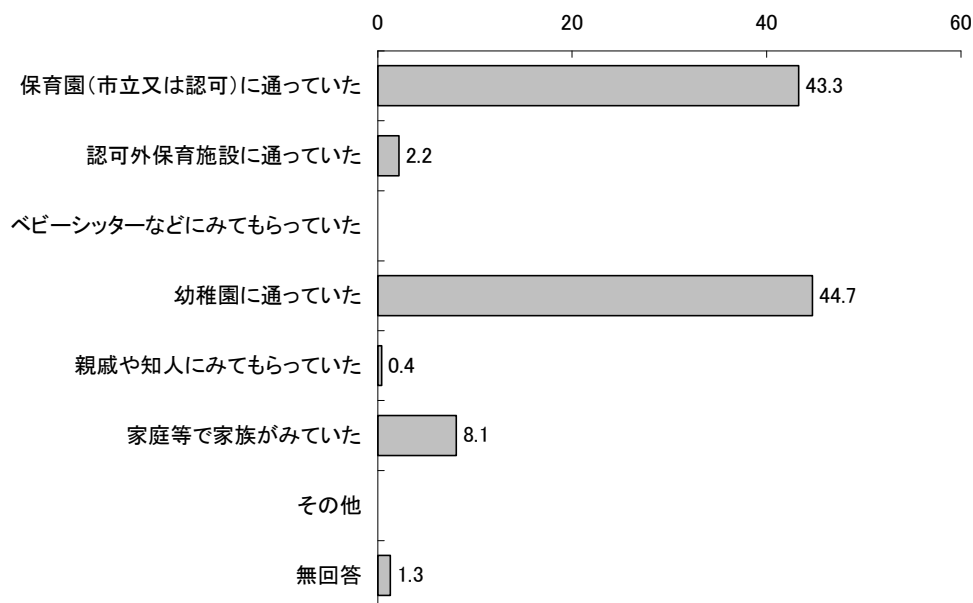


〇18 時以



## [9]ー7 就学直前のお子さんの主な保育方法

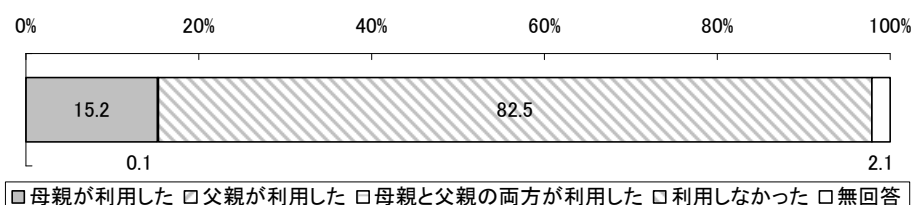
就学直前のお子さんの主な保育方法について、「幼稚園（市立幼稚園又は私立幼稚園）に通っていた」と回答した人の割合が 44.7%と最も高く、次いで「保育園（市立保育園又は認可保育園）に通っていた」（43.3%）、「家庭内で家族がみていた」（8.1%）の順になっている。



## 10. 育児休業制度の利用について

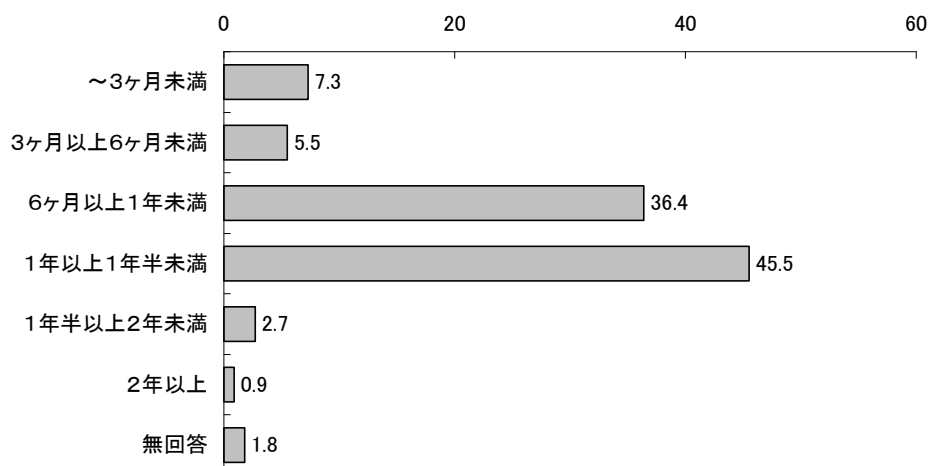
### [10]ー1 父親または母親が育児休業制度を利用したか

父親または母親が育児休業制度を利用したかについて、「母親が利用した」と回答した人の割合が 15.2%、「父親が利用した」が 0.1%、「利用しなかった」が 82.5%となっている。



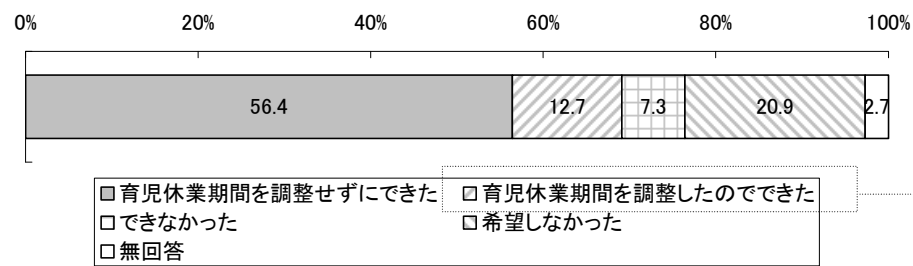
### [10]ー2 育児休業から復帰した時の子どもの月齢

育児休業から復帰した時の子どもの月齢について、「1年以上1年半未満」と回答した人の割合が 5割程度 (45.5%)と最も高く、次いで「6ヶ月以上1年未満」(36.4%)の順になっている。



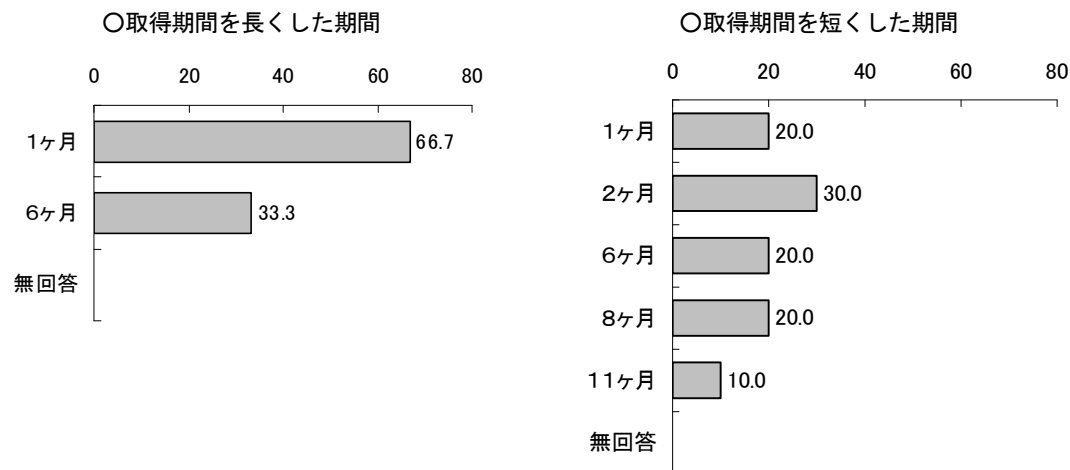
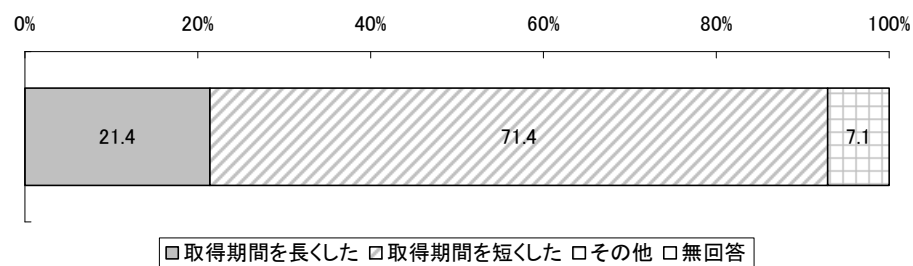
[10]ー3 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたか

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについて、「育児休業期間を調整せずにできた」と回答した人の割合が 6 割程度（56.4%）と最も高く、次いで「希望しなかった」（20.9%）、「育児休業期間を調整したのでできた」（12.7%）、「できなかった」（7.3%）の順になっている。



[10]ー4 どのように調整されたか

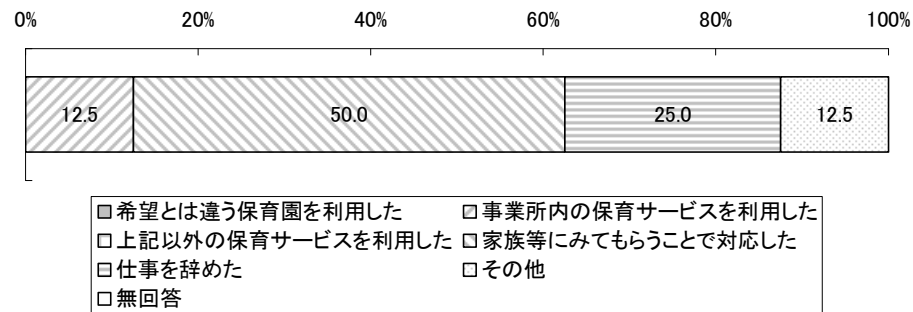
どのように調整されたかについて、「取得期間を長くした」と回答した人の割合が 21.4%、「取得期間を短くした」が 71.4%、「その他」が 7.1%となっている。  
取得期間を長くした期間については、「1 カ月」と回答した人の割合が 66.7%、「6 ヶ月」が 33.3%となっている。取得期間を短くした期間については「2 ヶ月」が 3 割（30.0%）と最も高くなっている。



[10]ー5 希望する保育サービスが利用できなかった時、どのように対応したか

育児休業明けに、希望する保育サービスの対応について、「家族等にみてもらうことで対応した」と回答した人の割合が5割（50.0%）と最も高く、次いで「上記（希望とは違う保育園・事業所内の保育サービス）以外の保育サービスを利用した」（25.0%）、「事業所内の保育サービスを利用した」「その他」ともに12.5%）の順になっている。

取得期間を長くした期間については、「1 カ月」「2 ヶ月」と回答した人の割合が、それぞれ1割程度（10.7%）、取得期間を短くした期間については「2 ヶ月」が2割程度（17.9%）と最も高くなっている。

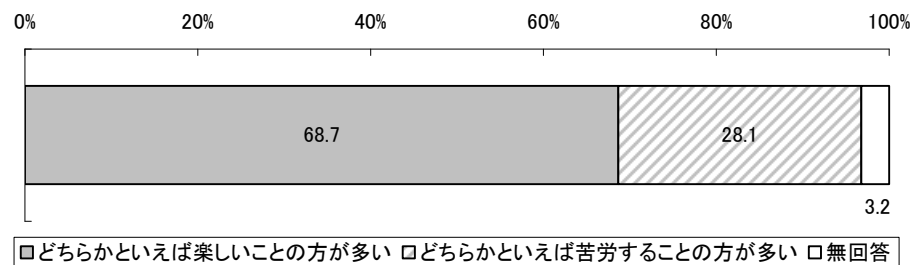


11. 家族すべてのお子さんについて

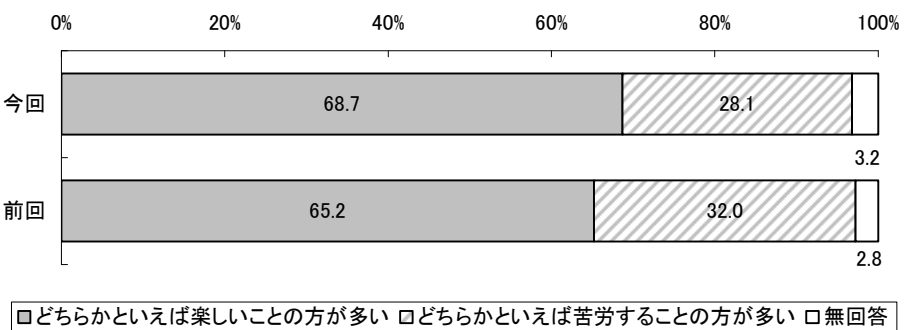
[11]ー1 子育ては楽しいか

子育ては楽しいかについて、「どちらかといえば楽しいことの方が多い」と回答した人の割合が68.7%、「どちらかといえば苦勞することの方が多い」が28.1%となっている。

前回調査と比較すると、あまり違いはみられない。



<前回比較>



## [11]ー2 子育てをしていて楽しいと思うとき・楽しくないと思うとき

### ＜楽しいと思うとき＞

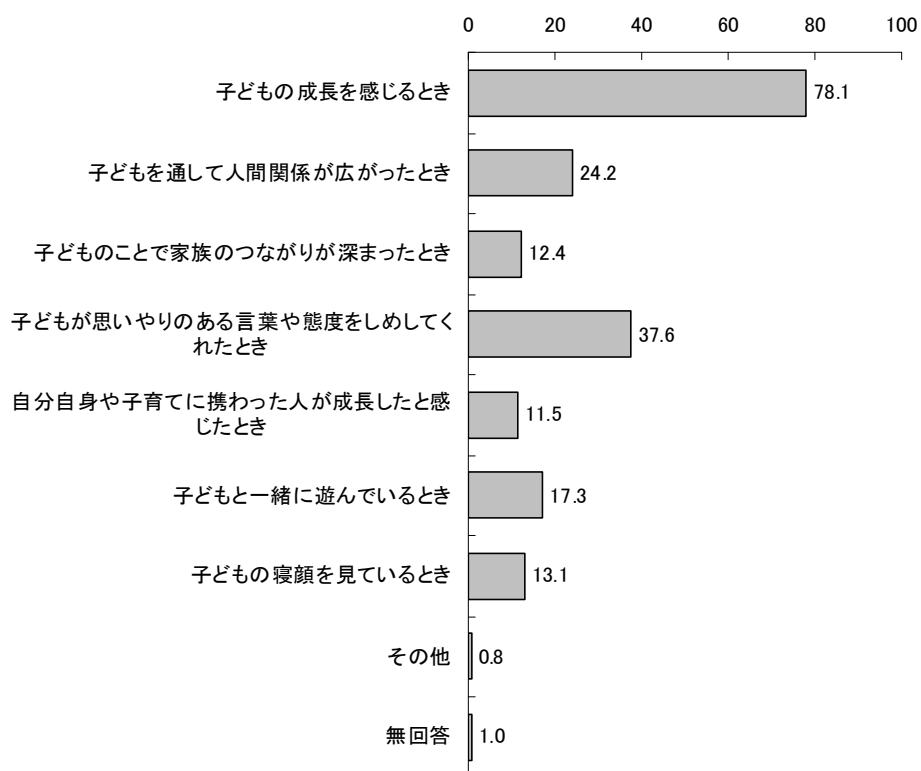
子育てをしていての楽しいと思うときについて、「子どもの成長を感じるとき」と回答した人の割合が 8 割程度 (78.1%) と最も高く、次いで「子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき」(37.6%)、「子どもを通して人間関係が広がったとき」(24.2%) の順になっている。

前回調査と比較すると、「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき」「子どもを通して人間関係が広がったとき」と回答した人の割合は低くなっている。

学年別にみると、4～6 年生では「子どもを通して人間関係が広がったとき」と回答した人の割合が高くなっている。

地区別にみると、西大寺では「子どもの成長を感じるとき」と回答した人の割合が 7 割程度とやや低くなっている。

母親の就労形態別にみると、これまでに就労したことがないでは「子どもの成長を感じるとき」と回答した人の割合が 82.9% と高くなっている。



<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		子どもの成長を感じるとき (78.1)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (37.6)	子どもを通して人間関ががったとき (24.2)
前回調査		子どもの成長を感じるとき (84.1)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (71.3)	子どもを通して人間関ががったとき (40.1)
学年別	1～3年	子どもの成長を感じるとき (80.5)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (37.6)	子どもを通して人間関ががったとき (19.5)
	4～6年	子どもの成長を感じるとき (75.6)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (37.2)	子どもを通して人間関ががったとき (28.4)
地区別	中央	子どもの成長を感じるとき (77.5)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (35.3)	子どもを通して人間関ががったとき (23.5)
	北	子どもの成長を感じるとき (80.4)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき／子どもを通して人間関ががったとき (29.5)	
	東	子どもの成長を感じるとき (81.0)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (38.0)	子どもを通して人間関ががったとき (24.6)
	西大寺	子どもの成長を感じるとき (72.3)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (39.6)	子どもを通して人間関ががったとき (23.8)
	西	子どもの成長を感じるとき (80.1)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (37.5)	子どもを通して人間関ががったとき (23.5)
	南	子どもの成長を感じるとき (75.5)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (41.8)	子どもと一緒に遊んでいるとき (20.0)
母親の就労別	就労（フルタイム）	子どもの成長を感じるとき (78.7)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (38.6)	子どもと一緒に遊んでいるとき (20.3)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	子どもの成長を感じるとき／子どもと一緒に遊んでいるとき (66.7)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき	
	就労（パート・アルバイト）	子どもの成長を感じるとき (78.1)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (38.9)	子どもを通して人間関ががったとき (26.2)
	以前は就労／現在は就労せず	子どもの成長を感じるとき (76.7)	子どもが思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (31.3)	子どもを通して人間関ががったとき (26.0)
	これまで就労したことがない	子どもの成長を感じるとき (82.9)	子が思いやりのある言葉や態度をしめしてくれたとき (48.6)	子どもを通して人間関ががったとき (25.7)



## <楽しくないと思うとき>

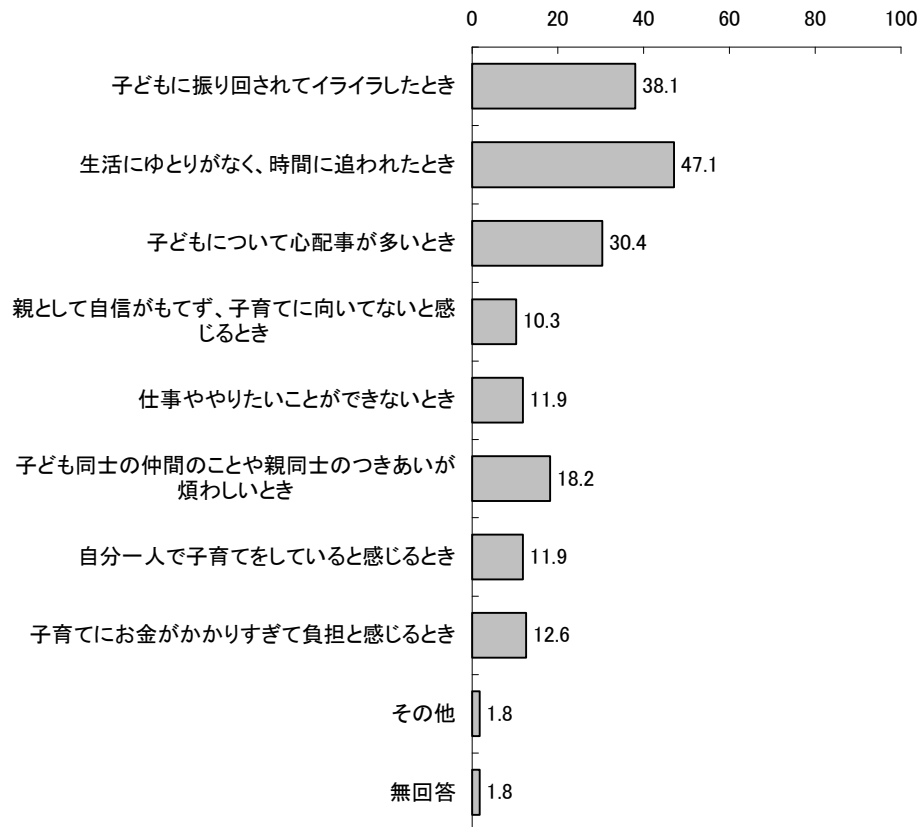
子育てをしているの楽しくないと思うときについて、「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」と回答した人の割合が 5 割程度（47.1%）と最も高く、次いで「子どもに振り回されてイライラしたとき」（38.1%）、「子どもについて心配事が多いとき」（30.4%）の順になっている。

前回調査と比較すると、前回調査では「子どもに振り回されてイライラしたとき」、今回調査では「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」と回答した人の割合が最も高くなっている。

学年別にみると、1～3年生では「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した人の割合が高くなっている。

地区別にみると、北では「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した人の割合が最も高くなっている。

母親の就労形態別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していない・これまでに就労したことがないでは「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した人の割合が最も高くなっている。



<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (47.1)	子どもに振り回されてイライラしたとき (38.1)	子どもについて心配事が多いとき (30.4)
前回調査		子どもに振り回されてイライラしたとき (52.1)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (49.0)	子どもについて心配事が多いとき (47.3)
学年別	1～3年	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (47.9)	子どもに振り回されてイライラしたとき (42.6)	子どもについて心配事が多いとき (27.6)
	4～6年	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (46.0)	子どもに振り回されてイライラしたとき (33.8)	子どもについて心配事が多いとき (33.2)
地区別	中央	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (44.1)	子どもに振り回されてイライラしたとき (34.3)	子どもについて心配事が多いとき (31.4)
	北	子どもに振り回されてイライラしたとき (43.8)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (37.5)	子どもについて心配事が多いとき (33.0)
	東	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (50.7)	子どもに振り回されてイライラしたとき (35.2)	子どもについて心配事が多いとき (32.4)
	西大寺	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (48.5)	子どもに振り回されてイライラしたとき (40.6)	子どもについて心配事が多いとき (23.8)
	西	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (55.1)	子どもに振り回されてイライラしたとき (37.5)	子どもについて心配事が多いとき (33.1)
	南	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (43.6)	子どもに振り回されてイライラしたとき (38.2)	子どもについて心配事が多いとき (25.5)
母親の就労別	就労（フルタイム）	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (59.9)	子どもに振り回されてイライラしたとき (41.1)	子どもについて心配事が多いとき (22.3)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (66.7)	子どもに振り回されてイライラしたとき／子どもについて心配事が多いとき／子ども同士の仲間のことや親同士のつきあいがわしいと感じるとき／子育てにおかかかすてと感じるとき (33.3)	
	就労（パート・アルバイト）	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (48.8)	子どもに振り回されてイライラしたとき (34.6)	子どもについて心配事が多いとき (33.9)
	以前は就労／現在は就労せず	子どもに振り回されてイライラしたとき (38.0)	子どもについて心配事が多いとき (36.0)	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき (34.7)
	これまで就労したことがない	子どもに振り回されてイライラしたとき (54.3)	子どもについて心配事が多いとき (28.6)	家族の支えがなく、自分一人で子育てをしていると感じるとき (20.0)

### [11]ー3 子育てに関する情報の入手方法

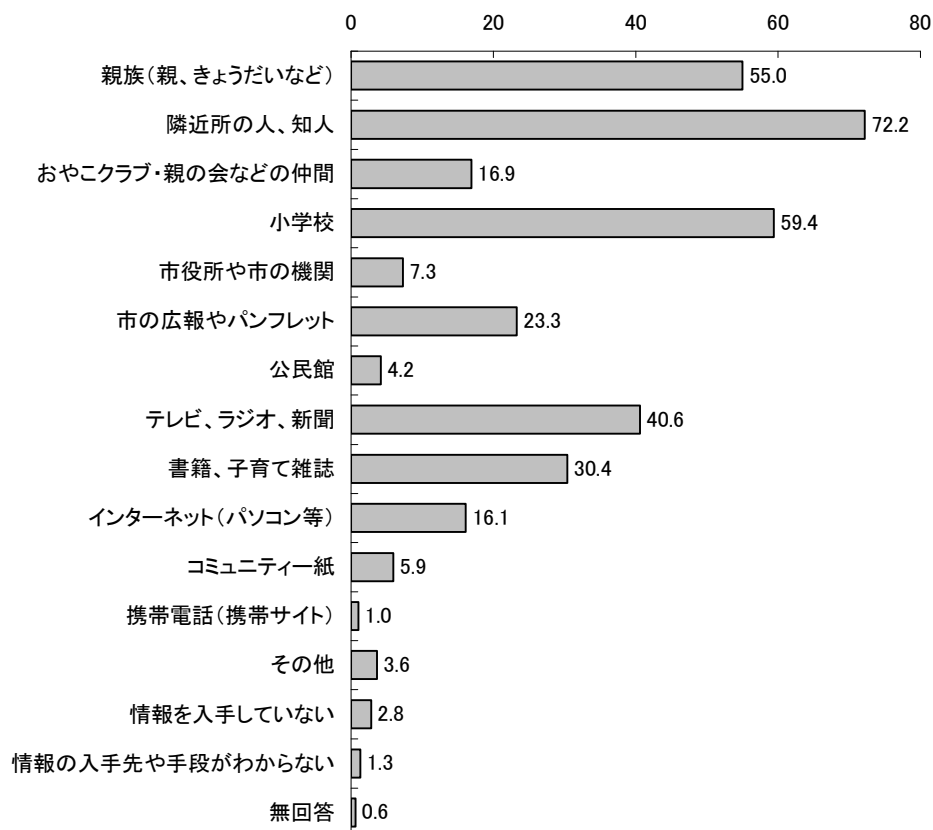
子育てに関する情報の入手方法について「隣近所の人、知人」と回答した人の割合が7割以上（72.2%）と最も高く、次いで「小学校」（59.4%）、「親族（親、きょうだいなど）」（55.0%）の順になっている。

前回調査と比較すると、今回調査では「隣近所の人、知人」「小学校（前回調査では保育園、幼稚園、学校）」と回答した人の割合がやや減少している。

学年別にみると、あまり違いはみられない。

地区別にみると、西・南では「親族（親、きょうだいなど）」と回答した人の割合が2番目に高くなっている。

母親の就労形態別にみると、就労（フルタイム：育児休業・介護休業中は含まない）・就労（フルタイム：育児休業・介護休業中）では「隣近所の人、知人」と回答した人の割合が7割未満と低くなっている。



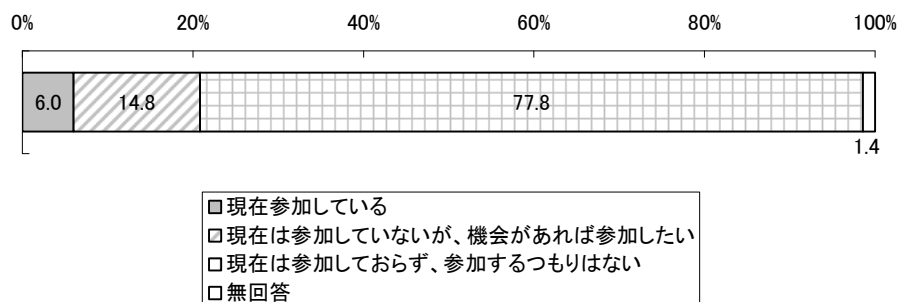
<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		隣近所の人、知人 (72.2)	小学校 (59.4)	親族(親、きょうだいなど) (55.0)
前回調査		隣近所の人、知人 (79.8)	保育園、幼稚園、学校 (64.9)	親族(親、きょうだいなど) (57.3)
学年別	1～3年	隣近所の人、知人 (71.9)	小学校 (57.4)	親族(親、きょうだいなど) (54.9)
	4～6年	隣近所の人、知人 (73.6)	小学校 (60.8)	親族(親、きょうだいなど) (55.1)
地区別	中央	隣近所の人、知人 (73.5)	小学校 (68.6)	親族(親、きょうだいなど) (49.0)
	北	隣近所の人、知人 (74.3)	小学校 (59.4)	親族(親、きょうだいなど) (58.4)
	東	隣近所の人、知人 (69.7)	小学校 (54.2)	親族(親、きょうだいなど) (51.4)
	西大寺	隣近所の人、知人 (74.0)	小学校 (59.0)	親族(親、きょうだいなど) (58.0)
	西	隣近所の人、知人 (69.9)	親族(親、きょうだいなど) (61.8)	小学校 (60.3)
	南	隣近所の人、知人 (78.2)	親族(親、きょうだいなど) (55.5)	小学校 (54.5)
母親の就労別	就労(フルタイム)	隣近所の人、知人 (67.8)	親族(親、きょうだいなど) (56.4)	小学校 (52.0)
	就労(フルタイム：育児・介護休業中)	親族(親、きょうだいなど)／隣近所の人、知人 (66.7)		小学校／市の報やパンフレット／レビ、ラオ、新／書籍・子育て雑誌／報の入先や入段がわからない (33.3)
	就労(パート・アルバイト)	隣近所の人、知人 (74.4)	小学校 (63.5)	親族(親、きょうだいなど) (54.2)
	就労(パート・アルバイト／育児・介護休業中)	隣近所の人、知人 (75.3)	小学校 (58.7)	親族(親、きょうだいなど) (54.7)
	これまで就労したことがない	隣近所の人、知人 (77.1)	小学校 (60.0)	親族(親、きょうだいなど) (57.1)

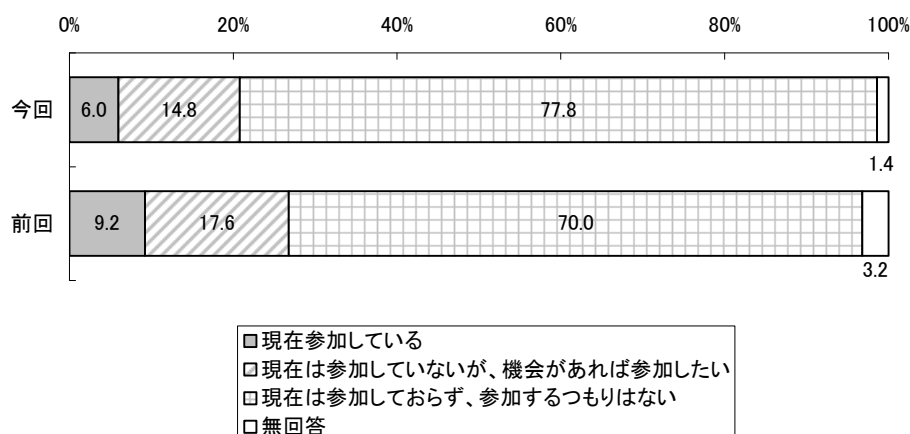
[11]ー4 子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加しているか

子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加しているかについて、「現在参加している」と回答した人の割合が6.0%、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が14.8%、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が77.8%となっている。

前回調査と比較すると、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と回答した人の割合が高くなっている。

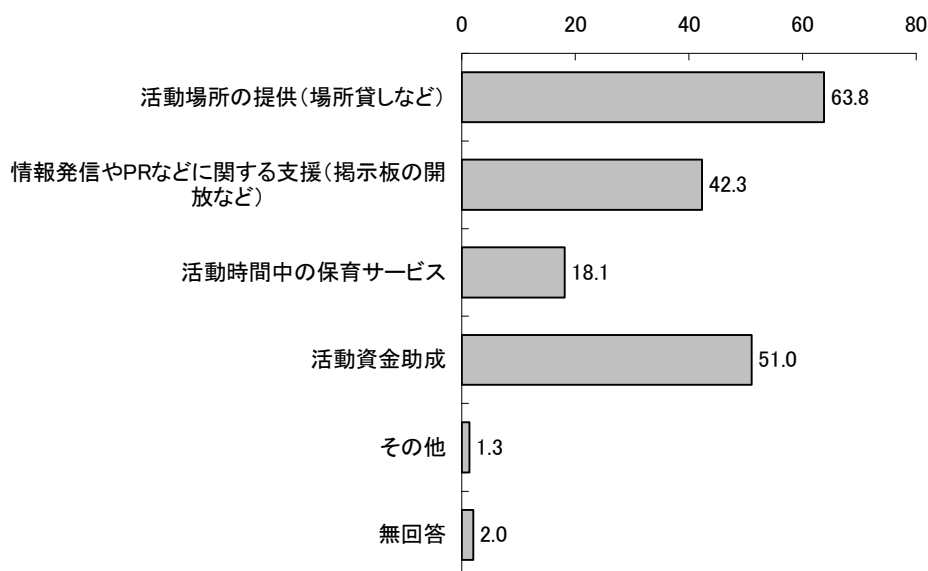


## ＜前回比較＞



## [11]ー5 自主的な活動をしていくにあたって行政に行って欲しい支援

自主的な活動をしていくにあたって行政に行って欲しい支援について、「活動場所の提供(場所貸しなど)」と回答した人の割合が6割以上(63.8%)と最も高く、次いで「活動資金助成」(51.0%)、「情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など)」(42.3%)の順になっている。



## [11]ー6 家の近くの子どもの遊び場について、日頃不満に感じていること

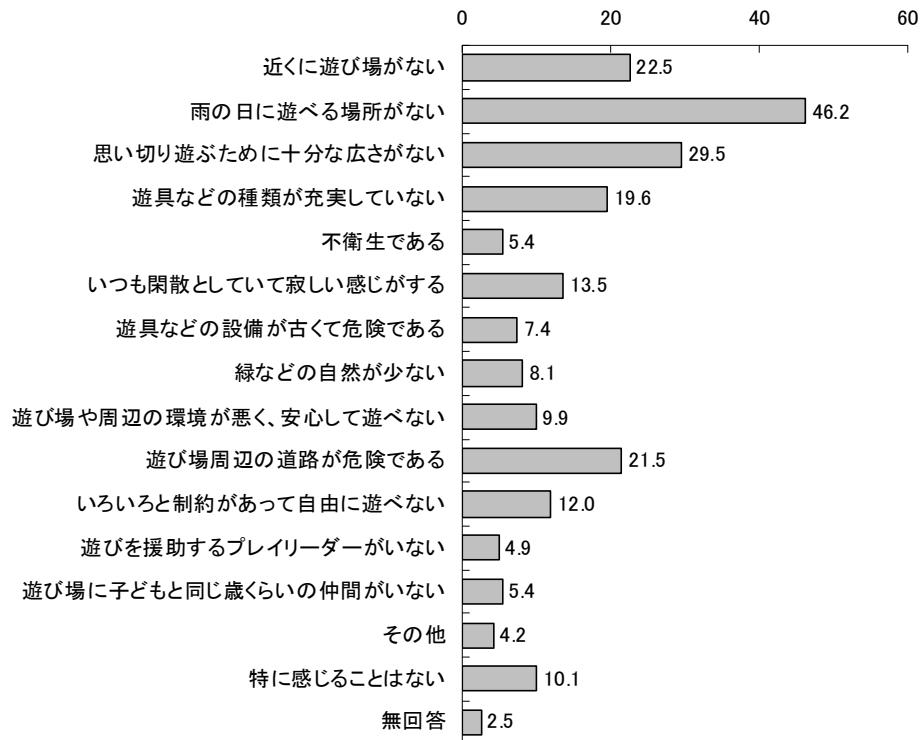
家の近くの子どもの遊び場に対する不満について、「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合が5割程度(46.2%)と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(29.5%)、「近くに遊び場がない」(22.5%)の順になっている。

前回調査と比較すると、あまり違いはみられない。

学年別にみると、あまり違いはみられない。

地区別にみると、南では「雨の日に遊べる場所がない」と回答した人の割合が5割以上となっている。

母親の就労形態別にみると、就労(フルタイム：育児・介護休業中)では「近くに遊び場がない」と回答した人の割合が最も高くなっている。



<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		雨の日に遊べる場所がない (46.2)	思いり遊ために分なさがない (29.5)	近くに遊び場がない (22.5)
前回調査		雨の日に遊べる場所がない (48.4)	思いり遊ために分なさがない (30.8)	遊び場周辺の道路が危険である (23.9)
学年別	1～3年	雨の日に遊べる場所がない (49.3)	思いり遊ために分なさがない (27.9)	遊び場周辺の道路が危険である (25.3)
	4～6年	雨の日に遊べる場所がない (43.2)	思いり遊ために分なさがない (31.3)	近くに遊び場がない (21.6)
地区別	中央	雨の日に遊べる場所がない (46.1)	遊び場周辺の道路が危険である (24.5)	近くに遊び場がない (20.6)
	北	雨の日に遊べる場所がない (42.0)	思いり遊ために分なさがない (33.9)	近くに遊び場がない／遊具などの種類が充実していない／遊び場周辺の道路が危険である (20.5)
	東	雨の日に遊べる場所がない (44.4)	思いり遊ために分なさがない (39.4)	近くに遊び場がない (26.8)
	西大寺	雨の日に遊べる場所がない (46.5)	思いり遊ために分なさがない (27.7)	遊具などの種類が充実していない／いつもとしていて寂しい感じがする (21.8)
	西	雨の日に遊べる場所がない (47.8)	思いり遊ために分なさがない (27.9)	近くに遊び場がない (25.7)
	南	雨の日に遊べる場所がない (50.9)	思いり遊ために分なさがない (27.3)	遊び場周辺の道路が危険である (26.4)
母親の就労別	就労（フルタイム）	雨の日に遊べる場所がない (50.0)	思いり遊ために分なさがない (29.2)	近くに遊び場がない (26.4)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	近くに遊び場がない (66.7)	雨の日に遊べる場所がない／思いり遊ために分なさがない／遊具などの種類が充実していない／などの自がない／遊び場周辺の道路が危険である／遊びをするレイリーーがいない (33.3)	
	就労（パート・アルバイト）	雨の日に遊べる場所がない (42.5)	思いり遊ために分なさがない (34.6)	遊び場周辺の道路が危険である (22.6)
	以前は就労／現在は就労せず	雨の日に遊べる場所がない (47.3)	遊具などの種類が充実していない (26.7)	思いり遊ために分なさがない (26.0)
	これまで就労したことがない	雨の日に遊べる場所がない (54.3)	遊具などの種類が充実していない／遊び場周辺の道路が危険である (25.7)	

## [11]ー7 子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

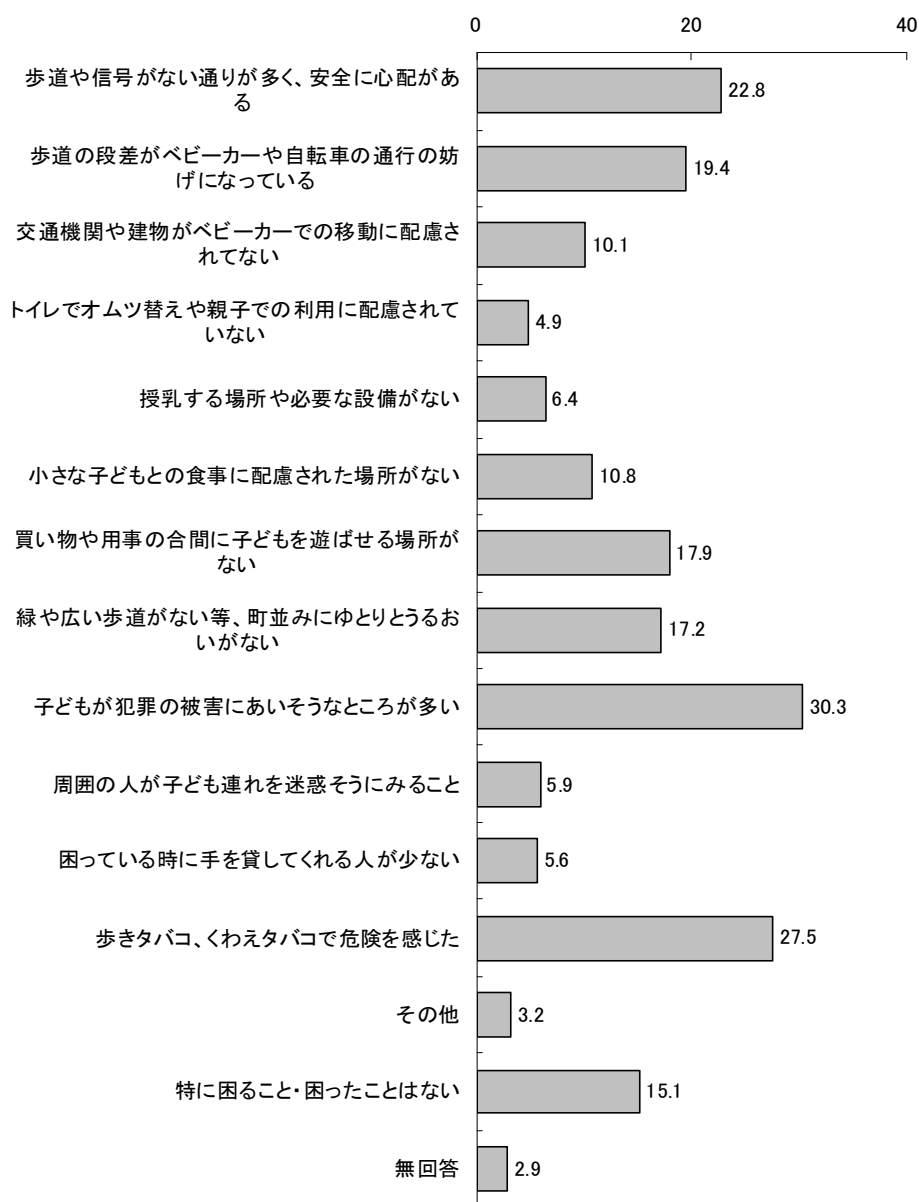
子どもとの外出の際、困ること・困ったことについて「子どもが犯罪の被害にあいそうな暗い通りや見通しのきかないところが多い」と回答した人の割合が3割以上（30.3%）と最も高く、次いで「歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと」（27.5%）、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」（22.8%）の順になっている。

前回調査と比較すると、前回調査では「特に困ること・困ったことはない」と回答した人の割合は2番目に高かったが、今回調査では7番目となっている。

学年別にみると、1～3年生・4～6年生とも「子どもが犯罪の被害にあいそうな暗い通りや見通しのきかないところが多い」「歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと」と回答した人の割合が高くなっている。

地域別にみると、西大寺では「歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと」、南では「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」と回答した人の割合が高くなっている。

母親の就労形態別にみると、これまでに就労したことがないでは「歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと」と回答した人の割合が高くなっている。



<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

		第1位	第2位	第3位
今回調査		子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (30.3)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (27.5)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (22.8)
前回調査		子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (26.3)	に ること・ ったことではない (23.4)	や い歩道が ない等、ま なみにゆとりとうるおいがないこと (23.1)
学年別	1～3年	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (27.6)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (26.7)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (24.0)
	4～6年	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (33.0)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (28.4)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (21.6)
地区別	中央	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (31.4)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (29.4)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (26.5)
	北	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (30.4)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (25.9)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (24.1)
	東	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (31.0)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (28.2)	や い歩道がない等、ま なみにゆとりとうるおいがないこと (19.7)
	西大寺	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (29.7)	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (25.7)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (24.8)
	西	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (30.9)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (27.2)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (24.3)
	南	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (34.5)	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (32.7)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (29.1)
母親の就労別	就労（フルタイム）	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (27.7)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (27.2)	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと (23.8)
	就労（フルタイム：育児・介護休業中）	歩道や がない通りが多く、 に心配があること／子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (66.7)		授乳する場所や必要な設備がないこと／小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと／買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと／や い歩道がない等、ま なみにゆとりとうるおいがないこと／歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (25.0)
	就労（パート・アルバイト）	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (35.5)	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (29.6)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (22.3)
	以前は就労／現在は就労せず	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (28.0)	子どもが の にあいそうない通りや見通しのきかないところが多いこと (26.7)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (25.3)
	これまで就労したことがない	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと (37.1)	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること (25.7)	歩道や がない通りが多く、 に心配があること (22.9)



## [11]ー8 子育てに関する不安や悩み・ストレスの解消方法

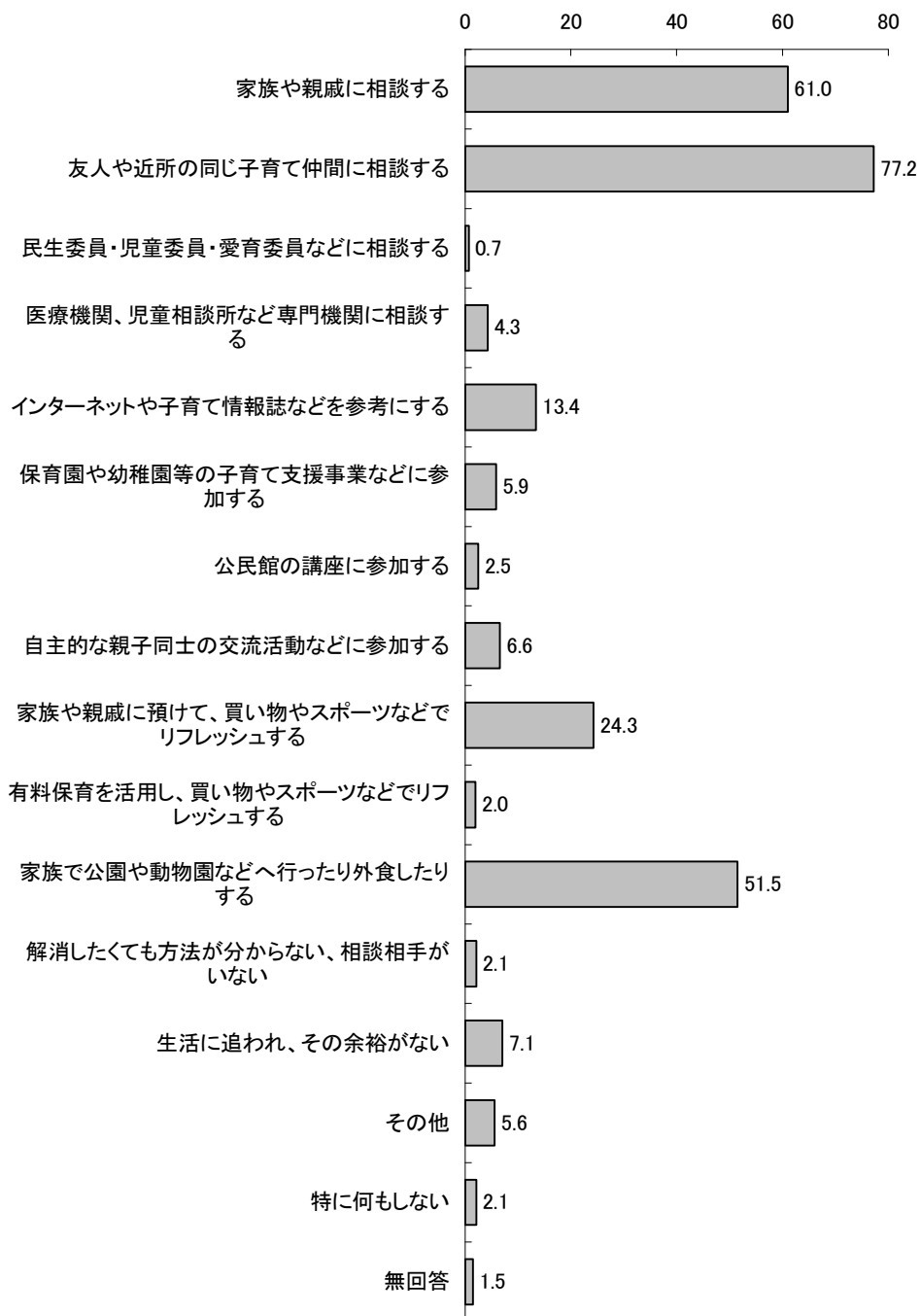
子育てに関する不安や悩み・ストレスの解消方法について「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」と回答した人の割合が8割程度（77.2%）と最も高く、次いで「家族や親戚に相談する」（61.0%）、「子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり外食したりする」（51.5%）の順になっている。

前回調査と比較すると、今回調査では「家族や親戚に相談する」「子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり外食したりする」と回答した人の割合が低くなっている。

学年別にみると、あまり違いはみられない。

地区別にみると「家族や親戚に相談する」と回答した人の割合は、東・西大寺では7割程度であるのに対し、中央・北・西・南では6割未満となっている。

母親の就労形態別にみると、これまでに就労したことがないでは、「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」「家族や親戚に相談する」と回答した人の割合が8割以上と高くなっている。

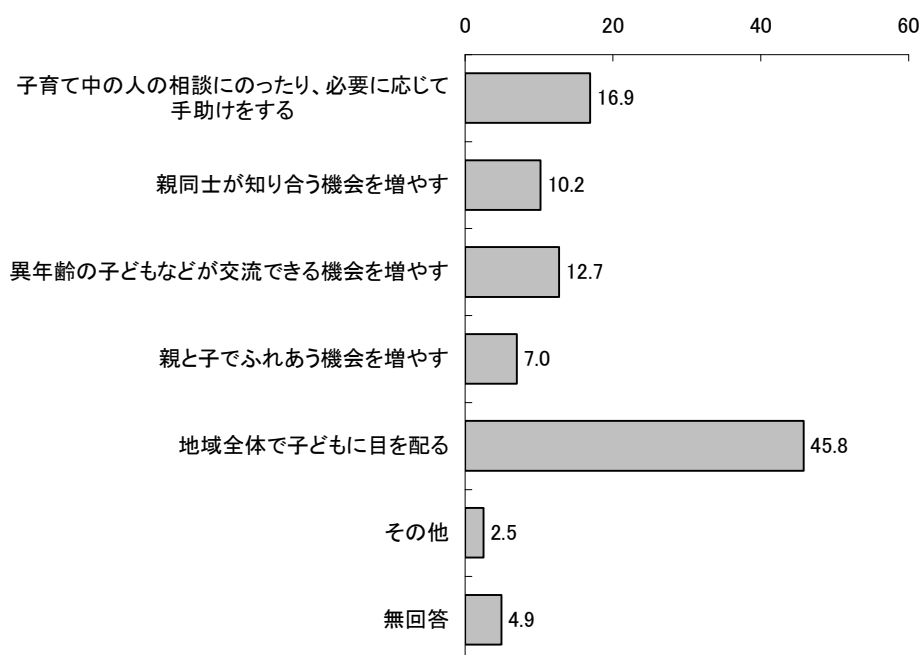


<前回比較・学年別・地区別・母親の就労形態別>

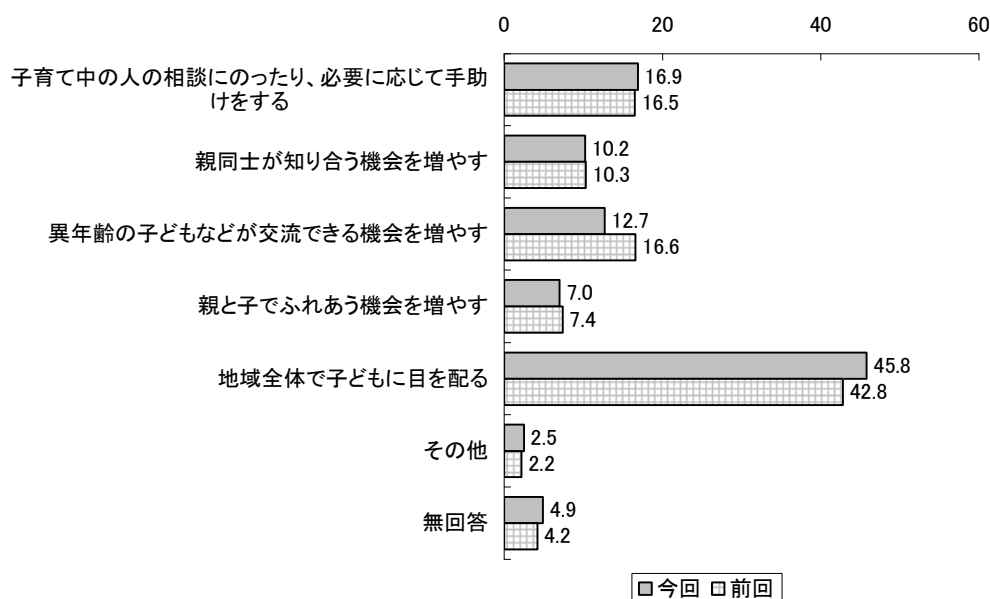
		第1位	第2位	第3位
今回調査		友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (77.2)	家族や親戚に相談する (61.0)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (51.5)
前回調査		友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (75.7)	家族や親戚に相談する (70.7)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (59.9)
学年別	1～3年	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (77.4)	家族や親戚に相談する (62.1)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (52.9)
	4～6年	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (76.7)	家族や親戚に相談する (59.9)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (49.7)
地区別	中央	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (78.4)	家族や親戚に相談する (55.9)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (47.1)
	北	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (75.9)	家族や親戚に相談する (58.0)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (50.9)
	東	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (77.5)	家族や親戚に相談する (69.0)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (49.3)
	西大寺	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (75.2)	家族や親戚に相談する (68.3)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (53.5)
	西	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (76.5)	家族や親戚に相談する (58.8)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (54.4)
	南	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (78.2)	家族や親戚に相談する (56.4)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (52.7)
母親の 就労別	就労（フルタイム）	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (74.8)	家族や親戚に相談する (57.9)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (54.0)
	就労（フルタイム： 育児・介護休業中）	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (100.0)	友人や近所の同じ子育て仲間に相談する／家族や親戚に 相談する (66.7)	
	就労（パート・アル バイト）	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (80.1)	家族や親戚に相談する (61.1)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (48.5)
	以前は就労／現在は 就労せず	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (78.7)	家族や親戚に相談する (61.3)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (52.7)
	これまで就労したこ とがない	友人や近所の同じ子育て 仲間に相談する (85.7)	家族や親戚に相談する (82.9)	子どもや家族と一緒に、公 園や動物園、植物園、遊園 地などへ遊びに行ったり 外食したりする (54.3)

## [11]－9 地域社会に望む支援

地域社会に望む支援について、「地域全体で子どもに目を配る」と回答した人の割合が4割以上（45.8%）と最も高く、次いで「子育て中の人の相談にのったり、必要に応じて手助けをする」（16.9%）、「異年齢の子どもなどが交流できる機会を増やす」（12.7%）の順になっている。  
前回調査と比較すると、あまり違いはみられない。



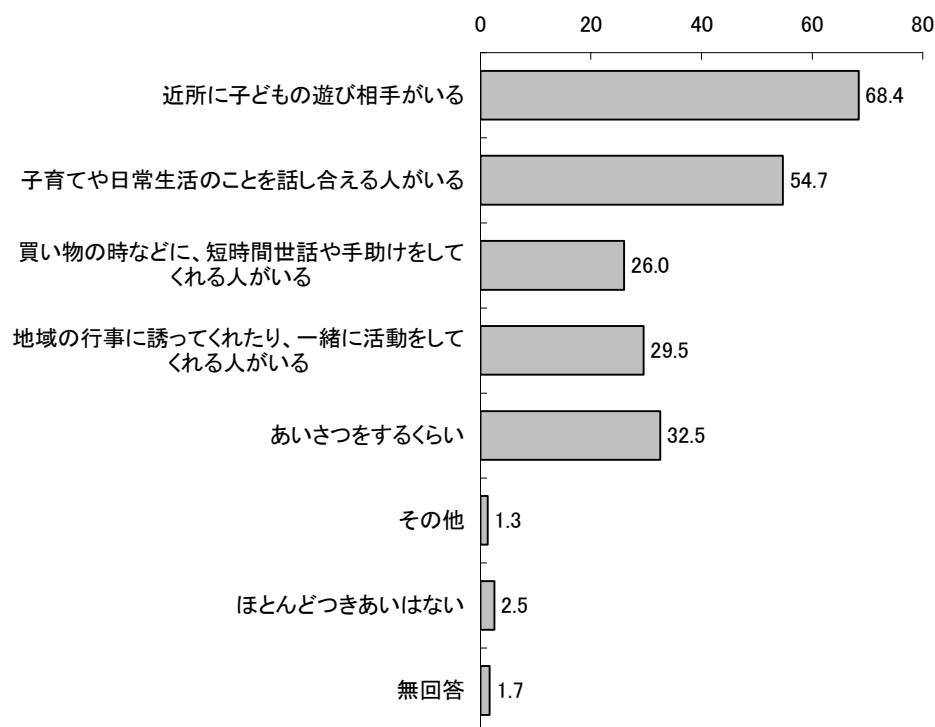
### <前回比較>



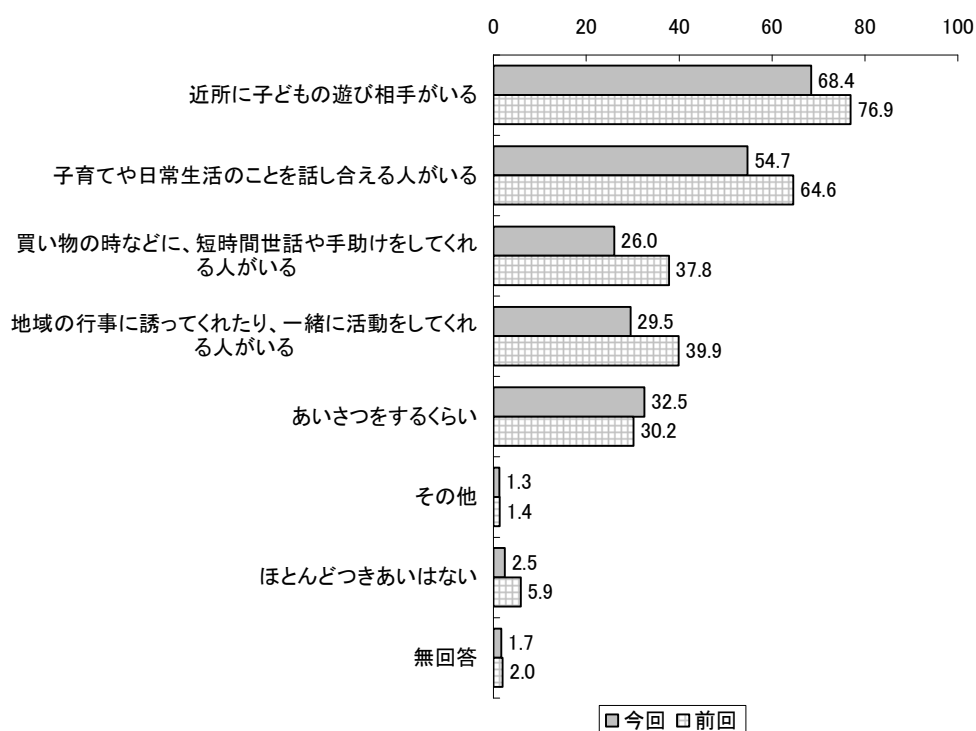
## [11]－10 隣近所とお付き合いについて

隣近所とお付き合いについて、「近所に子どもの遊び相手がいる」と回答した人の割合が 7 割程度（68.4%）と最も高く、次いで「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」（54.7%）、「あいさつをするくらい」（32.5%）の順になっている。

前回調査と比較すると、「近所に子どもの遊び相手がいる」「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」「買い物やちょっとした用事の時に、短時間子どもの世話や留守番をしてくれるなど手助けをしてくれる人がある」「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がある（保育園の園庭開放やおやこクラブの集まりなども含む）」と回答した人の割合が低くなっている。



### <前回比較>



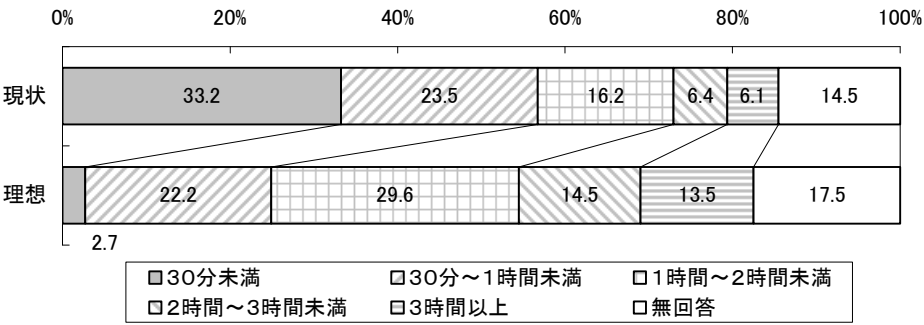
[11]ー11 家事や子どもと関わる時間

父親の家事や子どもと関わる時間について、子どもと関わる時間については、平日では、現状では「30分未満」と回答した人の割合が高く、家事等の時間についても平日・休日とも「30分未満」と回答した人の割合が高くなっている。

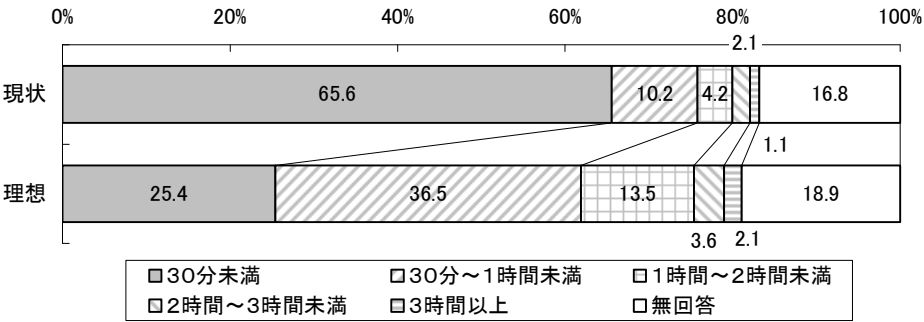
優先度については、現状では「仕事を優先」と回答した人の割合が6割程度（64.1%）と高くなっているのに対し、理想では「子どもと関わる時間を優先」が4割以上（43.7%）と高くなっている。

前回調査と比較すると、休日に父親が子どもと関わる時間については、今回調査では「5時間以上」と回答した人の割合がやや低くなっている。

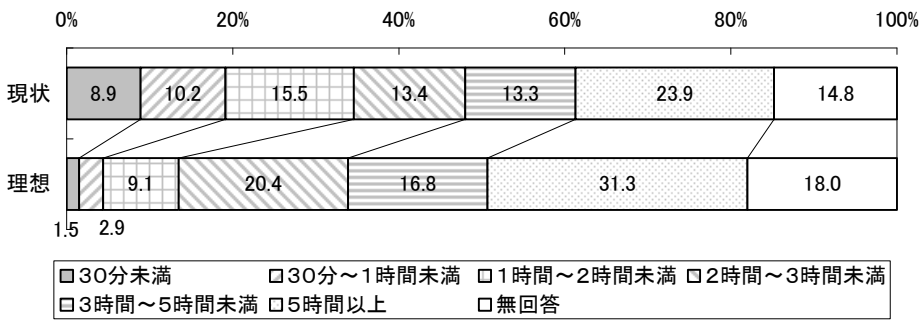
＜平日 子どもと関わる時間 父親＞



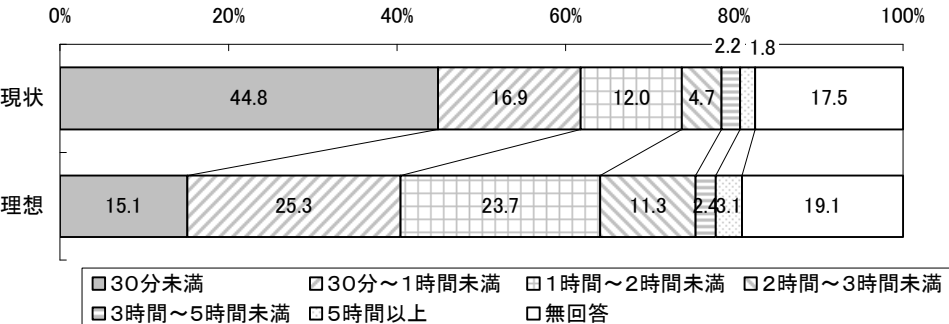
＜平日 家事等の時間 父親＞



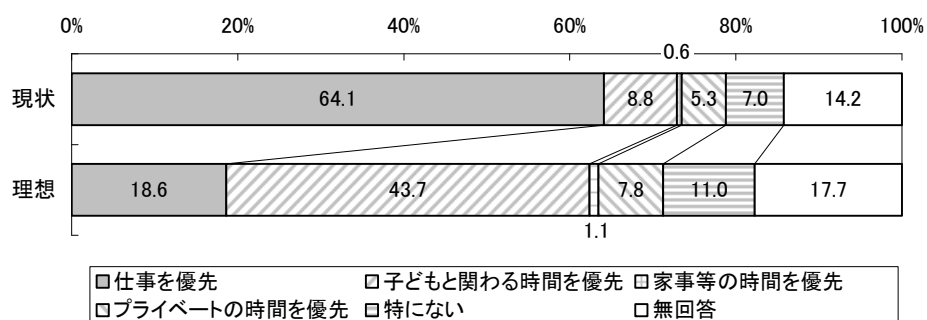
＜休日 子どもと関わる時間 父親＞



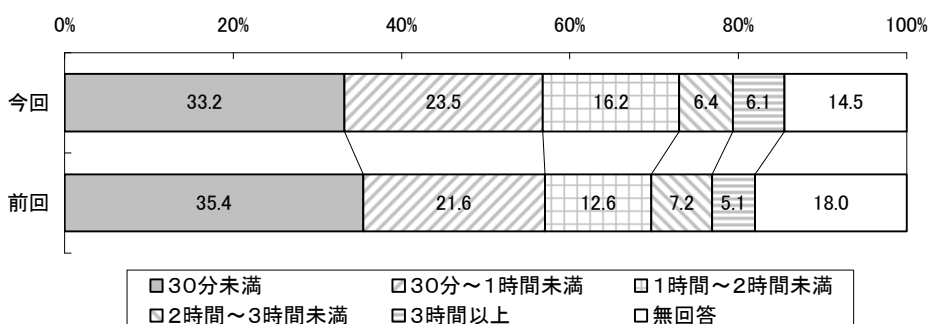
＜休日 家事等の時間 父親＞



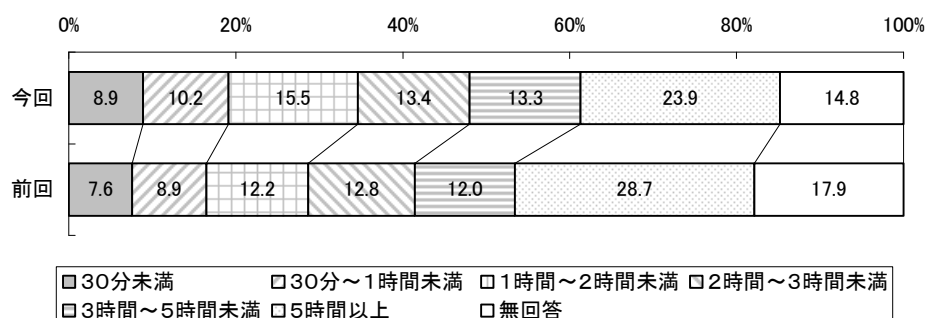
## <優先度>



## <前回比較：平日 子どもと関わる時間 父親>



## <前回比較：休日 子どもと関わる時間 父親>

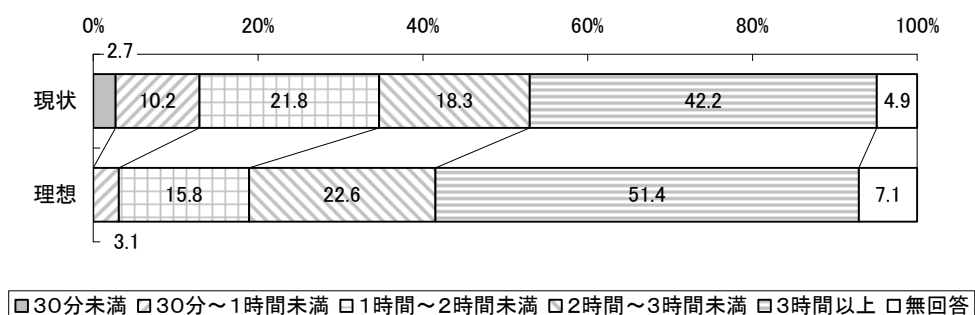


母親の家事や子どもと関わる時間について、平日の子どもと関わる時間については、現状では「3 時間以上」と回答した人の割合が 4 割程度（42.2%）であるのに対し、理想では「3 時間以上」と回答した人の割合は 5 割程度（51.4%）となっている。

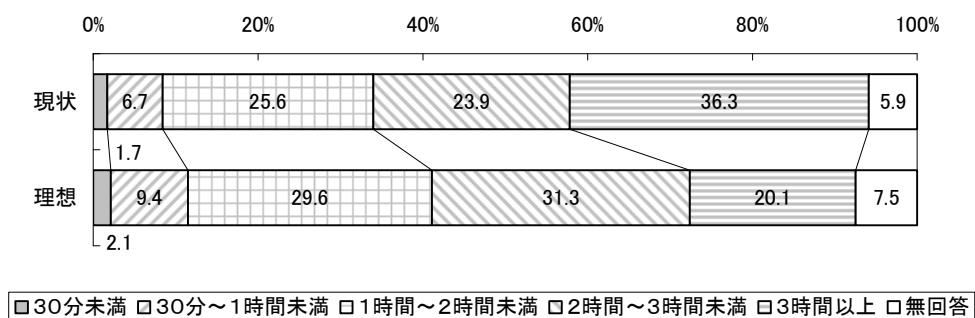
優先度については、現状では「仕事を優先」と回答した人の割合が 3 割程度（27.7%）と高くなっているのに対し、理想では「子どもと関わる時間を優先」が 6 割程度（61.6%）と高くなっている。

前回調査と比較すると、平日・休日に母親が子どもと関わる時間については、あまり違いはみられない。

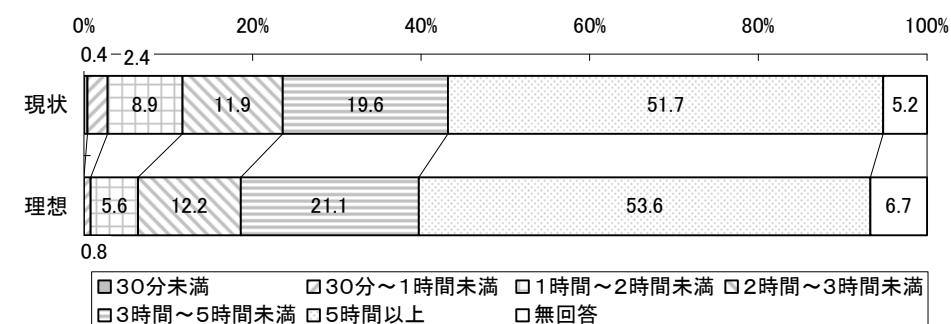
## <平日 子どもと関わる時間 母親>



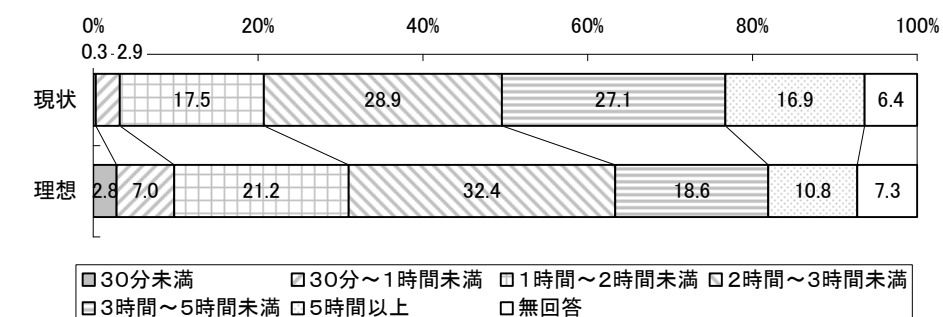
# <平日 家事等の時間 母親>



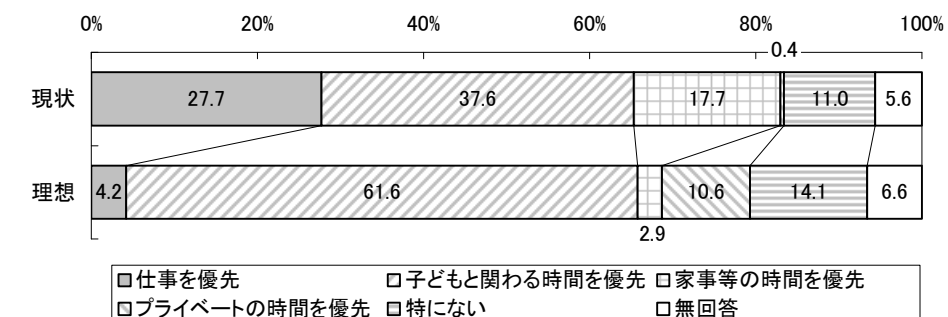
# <休日 子どもと関わる時間 母親>



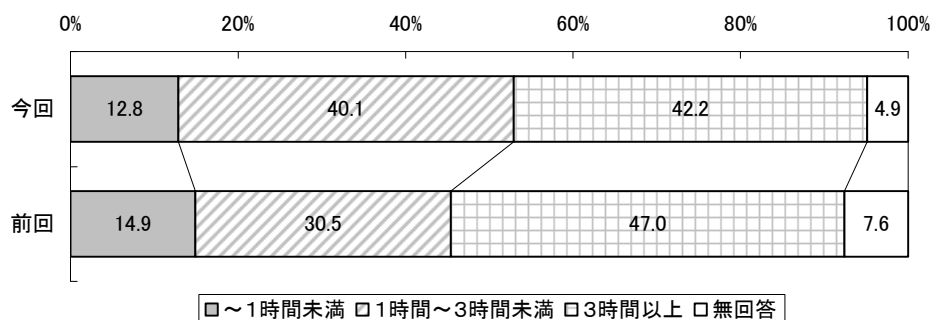
# <休日 家事等の時間 母親>



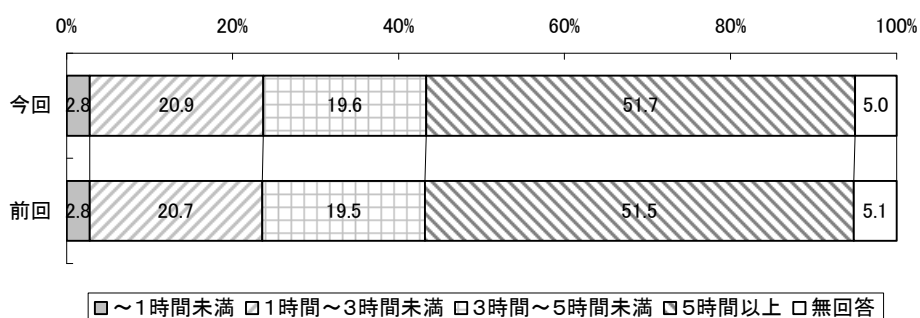
# <優先度>



### ＜前回比較：平日 子どもと関わる時間 母親＞

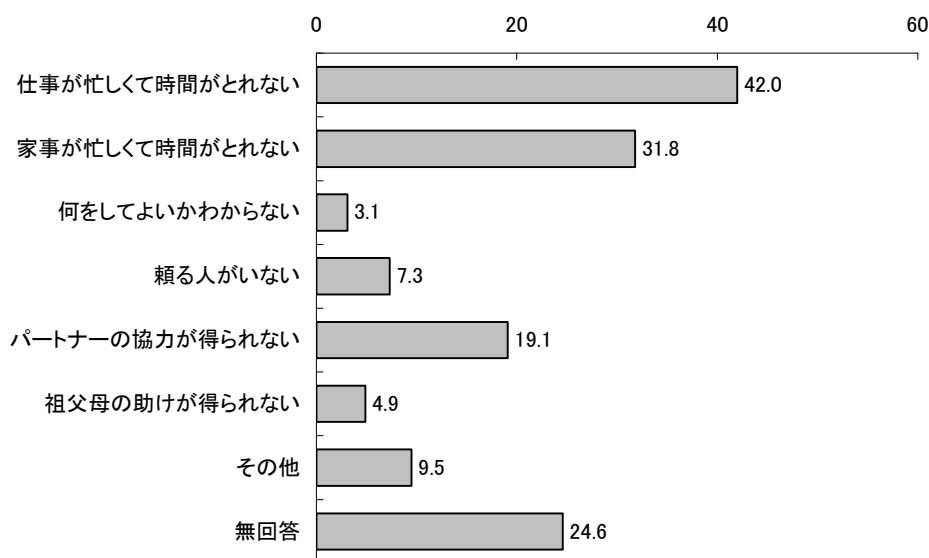


### ＜前回比較：休日 子どもと関わる時間 母親＞



## [11]－12 現状と理想の時間が異なる理由

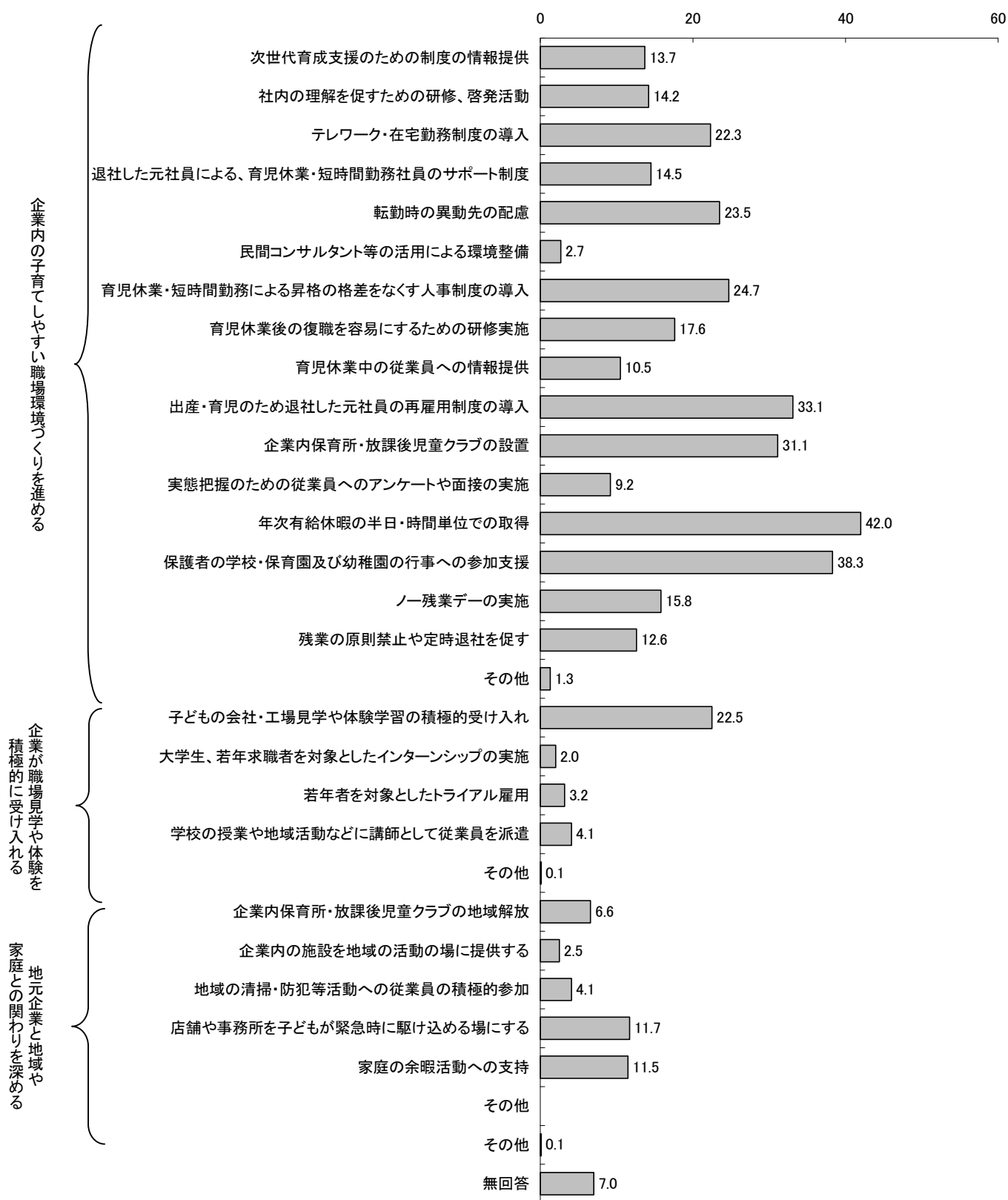
現状と理想の時間が異なる理由について、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した人の割合が4割以上（42.0%）と最も高く、次いで「家事が忙しくて時間がとれない」（31.8%）、「パートナーの協力が得られない」（19.1%）、「頼る人がいない」（7.3%）の順になっている。





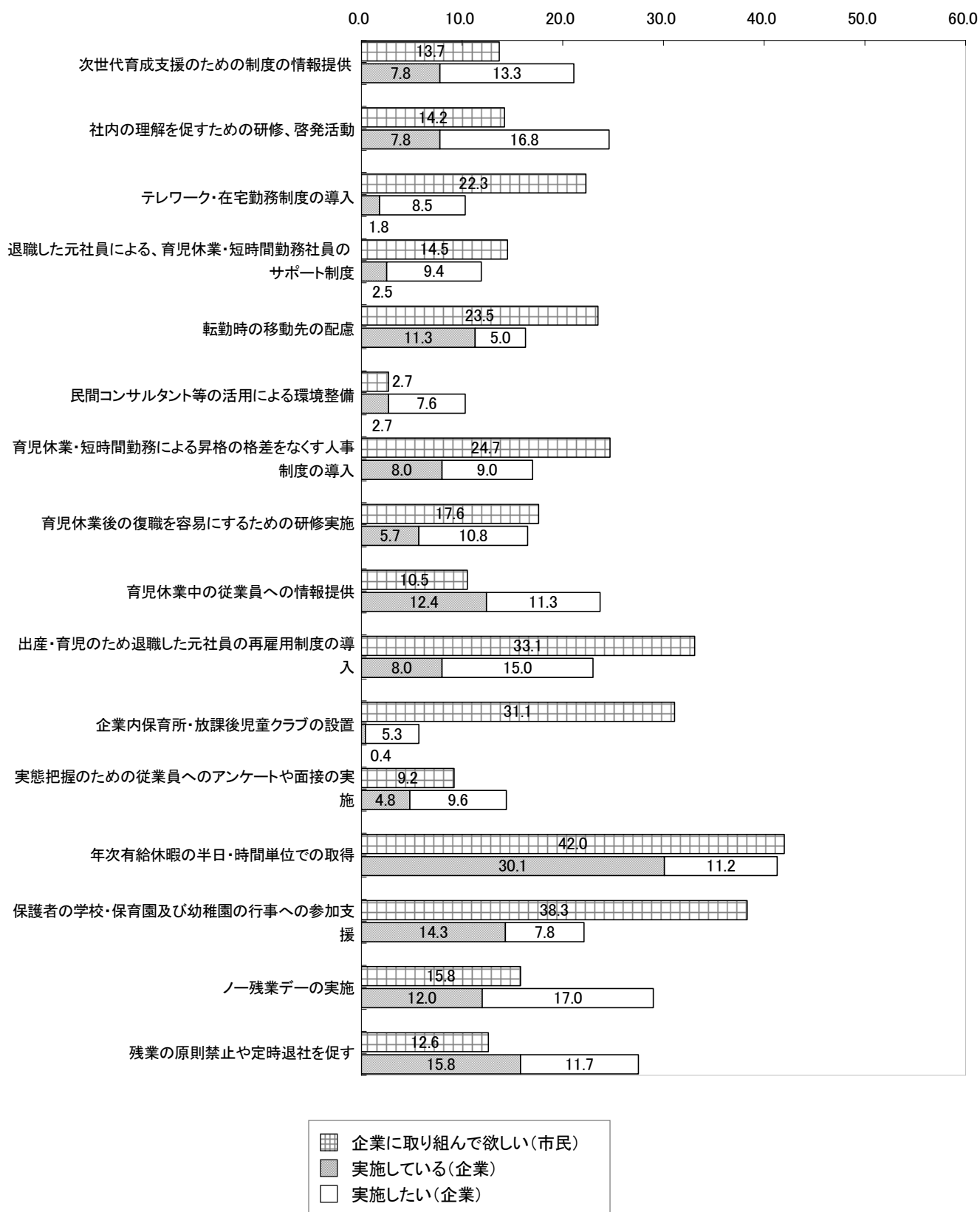
## [11]－13 企業に取り組んで欲しい制度や支援策

企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、「年次有給休暇の半日・時間単位での取得」と回答した人の割合が4割以上（42.0%）と最も高く、次いで「保護者の学校・保育園及び幼稚園の行事への参加支援」（38.3%）、「出産・育児のため退社した元社員の再雇用制度の導入」（33.1%）の順になっている。



## ＜市 ・ 企業比較：企業内の子育てしやすい職場環境づくりを進める＞

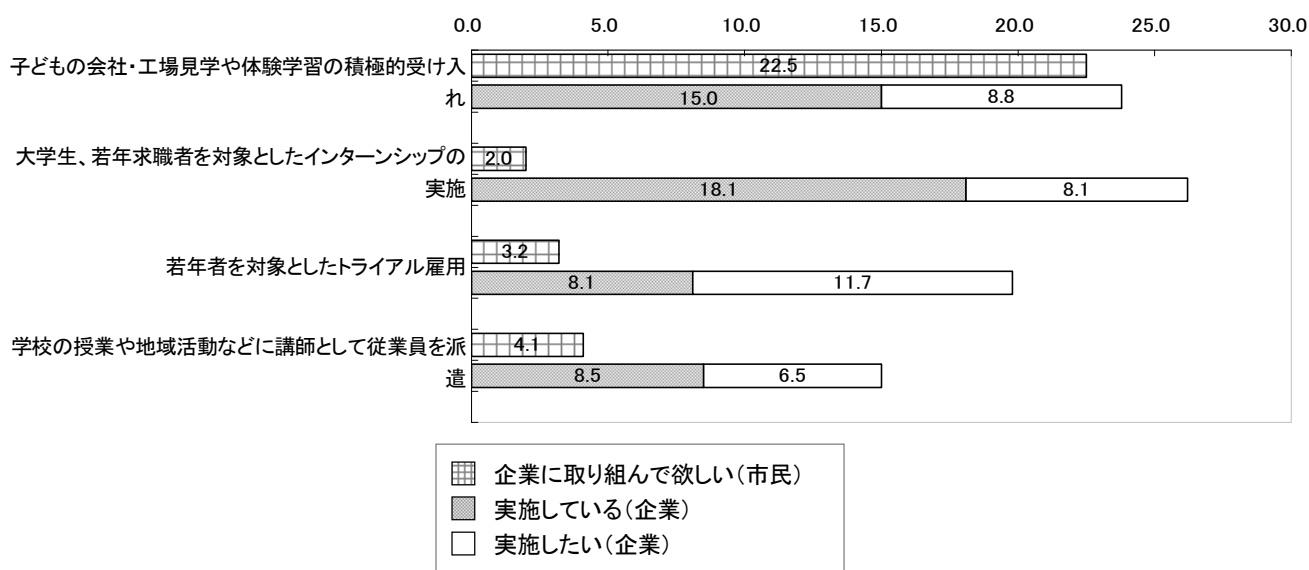
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、市民の要望と企業の取り組み姿勢（実施していると実施したいとの合計）とで差があるものとして、「企業内保育所・放課後児童クラブの設置」（-25.4%）、「保護者の学校・保育園及び幼稚園の行事への参加支援」（-16.2%）、「テレワーク・在宅勤務制度の導入」（-12.0%）の順になっている。



注：企業調査については、平成 20 年 9 月～11 月に市内事業者を  
に行ったアンケートに基づく

## ＜市 ・ 企業比較：企業が職場見学や体験を積極的に受け入れる＞

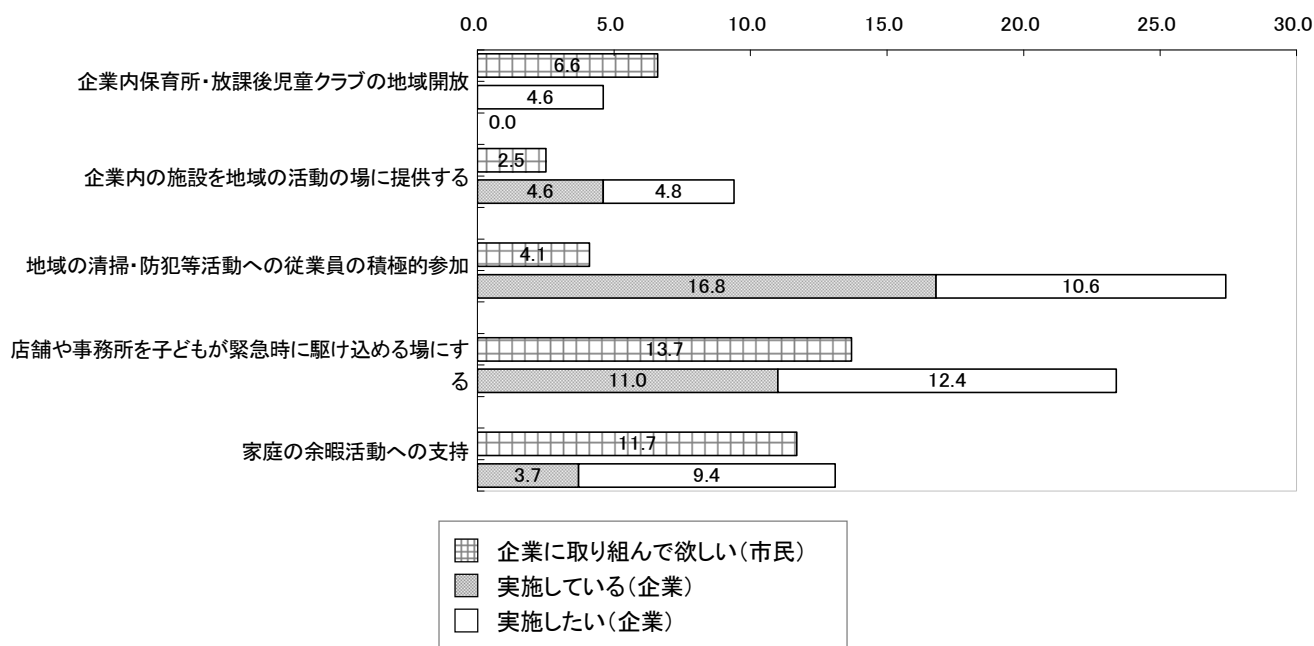
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、「子どもの会社・工場見学や体験学習の積極的受け入れ」以外の項目については、企業の取り組み姿勢に対して、市民の要望は低くなっている。



注：企業調査については、平成 20 年 9 月～11 月に市内事業者に行ったアンケートに基づく

## ＜市 ・ 企業比較：地元企業と地域や家庭との関わりを深める＞

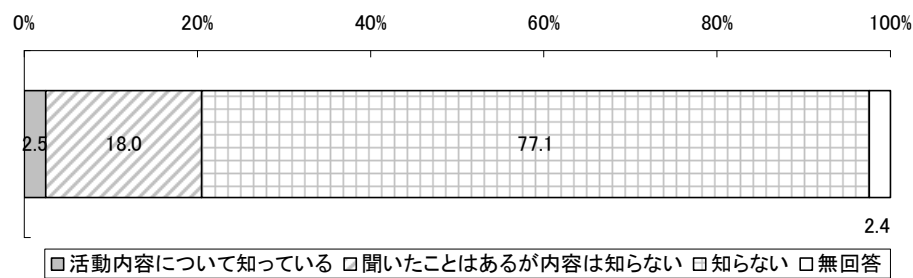
企業に取り組んで欲しい制度や支援策について、市民の意見と企業の意見を比較すると、「企業内の施設を地域の活動の場に提供する」「地域の清掃・防犯等活動への従業員の積極的参加」「店舗や事務所を子どもが緊急時に駆け込める場にする」「家庭の余暇活動への支持」については、企業の取り組み姿勢に対して、市民の要望は低くなっている。



注：企業調査については、平成 20 年 9 月～11 月に市内事業者に行ったアンケートに基づく

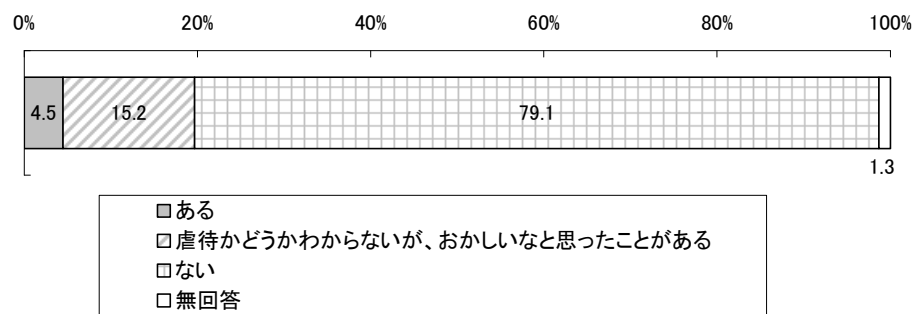
[11]－14 心豊かな岡山っ子応援団の認知度

心豊かな岡山っ子応援団の認知度について「活動内容について知っている」と回答した人の割合が2.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が18.0%、「知らない」が77.1%となっている。

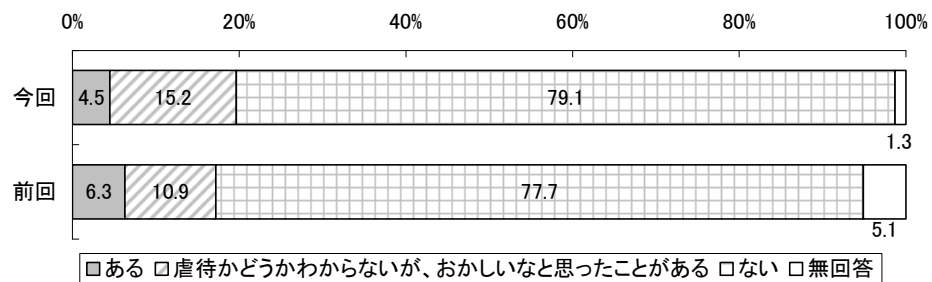


[11]－15 子どもへの虐待を見たり聞いたりしたこと

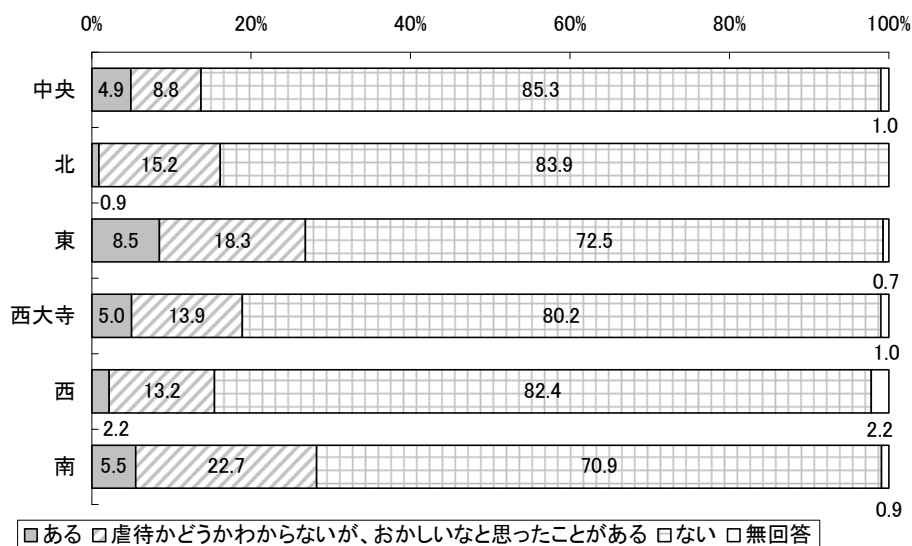
子どもへの虐待を見たり聞いたりしたことについて、「ある」と回答した人の割合が4.5%、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」が15.2%、「ない」が79.1%となっている。  
前回調査と比較すると、今回調査では「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」と回答した人の割合が高くなっている。  
地区別にみると、東・南では「ある」または「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」と回答した人の割合が高くなっている。



<前回比較>

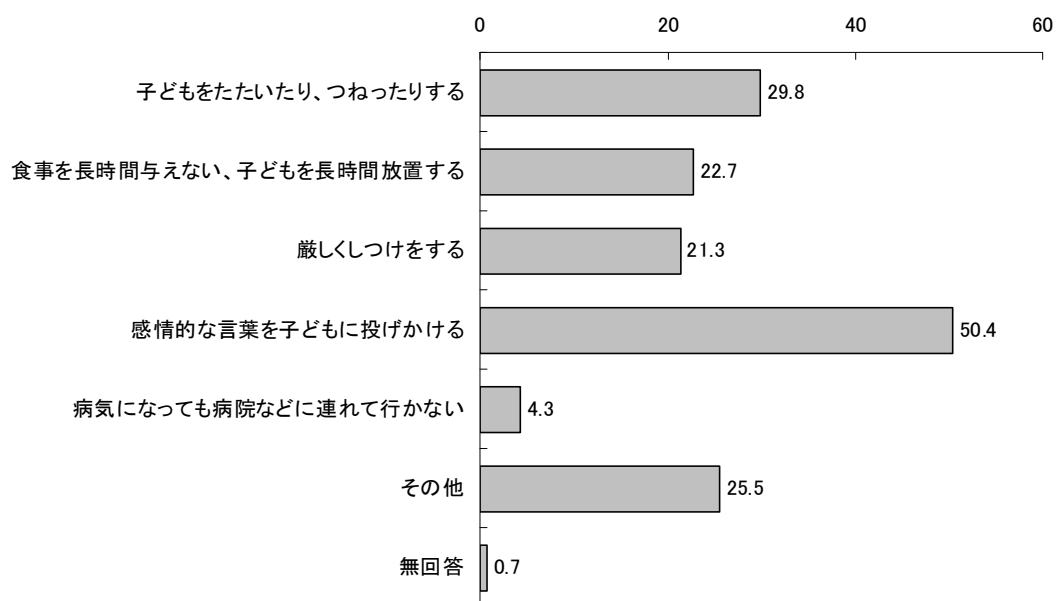


## <地区別>



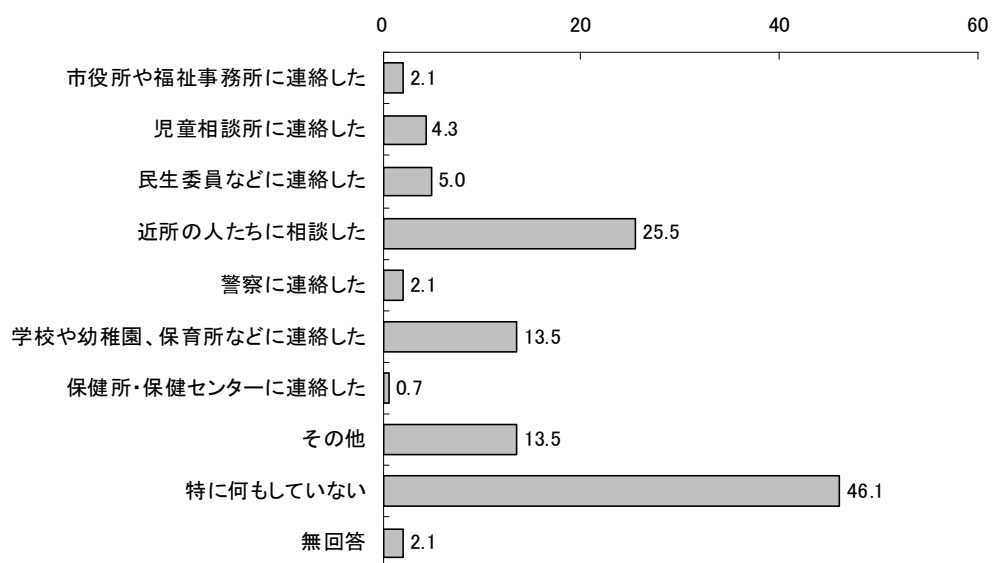
## [11]－16 どのような状況だったか

その時の状況について「感情的な言葉を子どもに投げかける」と回答した人の割合が5割以上（50.4%）と最も高く、次いで「子どもをたたいたり、つねったりする」（29.8%）、「その他」（25.5%）の順になっている。



## [11]－17 その時の対応

その時の対応について、「特に何もしていない」と回答した人の割合が5割程度（46.1%）と最も高く、次いで「近所の人たちに相談した」が25.5%となっている。



## IV 自由意見





#### IV. 自由意見

自由意見について、項目ごとに分類した。

##### 1 就学前児童自由意見

大項目	小項目	数
子育て について	保育園、幼稚園などの保育サービスについて	122
	病児保育、一時保育について	34
	子育て センター、児童 について	47
相談、 報 について	子育ての と相談について	27
	報 について	42
	子育てについて	10
について	小児 体制について	16
	について	1
	について	5
的 について	について	74
	保育 について	16
	的 について	53
子育てと仕事の両 について		25
環境について	子どもが遊 環境について	56
	施設、道路などの ー の 備について	21
	地域の環境について	16
市の 、体制について		84

## 2 小学校児童自由意見

大項目	小項目	数
子育て について	放課後児童クラブについて	23
	その他の保育サービスについて	16
	児童 、子どもの居場所について	1
育について	子育ての と相談について	20
相談、 報 について	子育ての と相談	10
	報 について	8
について		1
的 について	について	25
	育 について	1
	的 について	17
子育てと仕事の両 について		17
環境について	子どもが遊 環境について	11
	での子どもの環境について	5
	施設、道路など ー での 備について	9
	地域の環境について	16
親の子育てについて		11
市の 、体制について		37

